

ViewLight[®]

ビューライト

NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/ NP-PA550WJL/NP-PA500UJL

取扱説明書

本機を安全にお使いいただくために
ご使用前に必ずお読みください

1. 添付品や名称を —● 1
確認する
2. 映像を投写する —● 2
(基本操作)
3. 便利な機能 —● 3
4. ビューワを使う —● 4
5. オンスクリーン —● 5
メニュー
6. 機器と接続する —● 6
7. 本体のお手入れ／ —● 7
ランプの交換
8. ユーザーサポート —● 8
ウェア
9. 付録 —● 9

はじめに

このたびは、NEC データプロジェクター（以降「本機」または「プロジェクター」と呼びます）をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本機は、コンピュータやDVDプレーヤなどに接続して、文字や映像をスクリーンに鮮明に投写するプロジェクターです。

本機を安全に正しく使用していただくため、ご使用前に、この取扱説明書（本書）をよくお読みください。取扱説明書は、いつでも見られる所に大切に保存してください。万一ご使用中にわからないことや故障ではないかと思ったときにお読みください。本書は、下記の機種について共通の取扱説明書です。NP-PA600XJL を主にして説明しています。

本製品には「保証書」を添付しています。保証書は、お買い上げの販売店から必ずお受け取りのうえ、取扱説明書とともに、大切に保存してください。

本機は、日本国内向けモデルです。

- 本書で説明している機種名

NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/NP-PA550WJL/NP-PA500UJL

- 機種名について

本機に貼付しているラベルでは、機種名を「NP-PA600X」、「NP-PA500X」、「NP-PA550W」または「NP-PA500U」と表記しています。

取扱説明書では、機種名の末尾に「JL」を付けて表記しています。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
- (4) 本機の使用を理由とする損害、逸失利益等の請求につきましては、当社では（3）項にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5) 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

本機を安全にお使いいただくために、ご使用前の前に必ずお読みください

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡や大けがをするなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり周囲の家財に損害をあたえたりすることがあります。

絵表示の例

	▲ 記号は注意（警告を含む）をうながすことを表しています。図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⊘ 記号はしてはいけないことを表しています。図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	● 記号はしなければならないことを表しています。図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

警告

本機は日本国内専用です



国内では交流 100 ボルト以外使用禁止

- 日本国内で使用する場合は交流 100 ボルトで使用してください。
添付の電源コードは国内使用専用です。日本国外で本機を使用する場合は、電源コードの仕様を確認してください。使用する国の規格・電源電圧に適合した電源コードを使用すれば、海外でも使用可能です。電源コードは必ず使用する国の規格・電源電圧に適合したものを使ってください。
詳細に関しては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本機に添付している電源コードは、本機専用です。安全のため他の機器には使用しないでください。

電源コードの取り扱いは大切に



- 電源コードは大切に取扱ってください。コードが破損すると、火災・感電の原因となります。
 - ・ 添付されているもの以外の電源コードは使用しない
 - ・ コードの上に重い物をのせない
 - ・ コードをプロジェクターの下敷きにしな
 - い
 - ・ コードの上を敷物などで覆わない
 - ・ コードを傷つけない、加工しない
 - ・ コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない
 - ・ コードを加熱しない

電源コードが傷んだら（芯線の露出・断線など）NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換をご依頼ください。

故障したときは電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 煙が出ている、変なにおいや音がする場合やプロジェクターを落としたり、キャビネットを破損した場合は、本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理をご依頼ください。

水場や水にぬれるような所には置かない



水ぬれ禁止

- 次のような水にぬれるおそれがある所では使用しないでください。またプロジェクターの上に水の入った容器を置かないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ 雨天や降雪時、海岸や水辺で使用しない
 - ・ 風呂やシャワー室で使用しない
 - ・ プロジェクターの上に花びん、植木鉢を置かない
 - ・ プロジェクターの上にコップ、化粧品、薬品を置かない
 万一プロジェクターの内部に水などが入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

次のような所では使用しない



- 次のような所では使用しないでください。火災・感電の原因となります。
 - ・ ぐらついた台の上、傾いた所など、不安定な場所
 - ・ 暖房の近くや振動の多い所
 - ・ 湿気やほこりの多い場所
 - ・ 油煙や湯気の当たるような場所
 - ・ 調理台や加湿器のそば

警告

動作中にレンズをふさがない



- 動作中にレンズにレンズキャップをししないでください。レンズキャップが高温になり変形します。
- 動作中にレンズの前に物を置いて光をさえぎらないでください。物が高温になり、破損や火災の原因となります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



内部に物を入れない



異物挿入禁止

- プロジェクターの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなど異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。万一異物がプロジェクター内部に入った場合は、まず本体の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

キャビネットは絶対にあけない



分解禁止

- プロジェクターのキャビネットを外したり、あけたりしないでください。また改造しないでください。火災・感電の原因となります。内部の点検・調整・修理は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



- 雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れないでください。感電の原因となります。

プロジェクターのレンズをのぞかない



レンズをのぞかない

- プロジェクターのレンズをのぞかないでください。動作中は強い光が投写されていますので、目を痛める原因となります。特にお子様にはご注意ください。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



ランプ交換は電源を切ってから



電源プラグをコンセントから抜く

- ランプの交換は、電源を切りしばらく待って、電源プラグをコンセントから抜き、1時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となります。詳細は [194 ページ](#) をご覧ください。

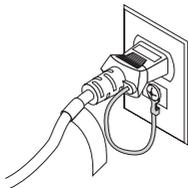
天吊りの設置について



- 天吊りなどの特別な工事が必要な設置については販売店にご相談ください。お客様による設置は絶対におやめください。落下してけがの原因となります。

⚠️ 注意

機器のアースは確実にとってください



- 本機の電源プラグはアース付き 2 芯プラグです。機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。詳細は [30 ページ](#) をご覧ください。

ぬれた手で電源プラグに触れない



ぬれた手は危険

- ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。

お手入れの際は電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- お手入れの際は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。

移動するときは電源コードを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 移動する場合は、電源を切り必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続ケーブルを外したことを確認のうえ、行ってください。
- 本機に別売のケーブルカバーを取り付けているとき、移動する場合は、ケーブルカバーを持たないでください。ケーブルカバーが外れ本体が落下し、けがの原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く



電源プラグをコンセントから抜く

- 長期間、プロジェクターをご使用にならないときは安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

通風孔をふさがない



- プロジェクターの通風孔をふさがないでください。またプロジェクターの下に紙や布などのやわらかい物を置かないでください。火災の原因となることがあります。プロジェクターを設置する場所は周囲から適当な空間（目安として 10cm 以上）あけてください。

投写中および投写終了直後は排気口をさわらない



- 投写中および投写終了直後は、排気口付近をさわらないでください。排気口付近が高温になる場合があり、やけどの原因となることがあります。
- プロジェクター本体に次の図記号を表示しています。



注意

過電圧が加わるおそれのあるネットワークには接続しない



- 本機の LAN ポートは、過電圧が加わるおそれのないネットワークに接続してください。LAN ポートに過電圧が加わると、感電の原因となることがあります。

電池の取り扱いについて



- 電池の取り扱いには注意してください。火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
 - ・ 電池をショート、分解、火に入れたりしない
 - ・ 指定以外の電池は使用しない
 - ・ 新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない
 - ・ 電池を入れるときは、極性（+と-の向き）に注意し、表示どおりに入れる
- 電池を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

点検・本体内部の清掃について



内部の清掃は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターで

- 1年に一度くらいは内部の清掃を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。プロジェクターの内部にほこりがたまったまま、長い間清掃をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。なお、内部の清掃費用につきましては NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。

電源コードはコンセントに接続する



- プロジェクターの電源はコンセントを使用してください。直接電灯線に接続することは危険ですので行わないでください。また、天吊り設置のときは電源プラグを抜き差しできるように手の届くコンセントをご使用ください。

お願い

性能確保のため、次の点にご留意ください

- 振動や衝撃が加わる場所への設置は避けてください。
動力源などの振動が伝わる所に設置したり、車両、船舶などに搭載すると、本機に振動や衝撃が加わって内部の部品がいたみ、故障の原因となります。
振動や衝撃の加わらない場所に設置してください。
- 高圧電線や動力源の近くに設置しないでください。
高圧電線、動力源の近くに設置すると、妨害を受ける場合があります。
- 本機は、本体を左右方向に傾けて使用しないでください。故障の原因となります。
また、本体を前後方向に傾ける設置角度に制限はありませんが、設置角度に応じてファンモードの「設置方向」を設定してください。(▶139 ページ)



- たばこの煙の多い場所での使用・長時間の使用
 - ・ たばこの煙・ほこりの多い場所で使用する場合、または長時間連続して(5時間/日または260日/年を超えて)使用する場合は、あらかじめNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
 - ・ 本機を長時間にわたり連続して使用される場合は、ファンモードを「高速」にしてください。(▶139 ページ)
 - ・ コンピュータなどで同じ絵柄の静止画を長時間投写すると、その絵柄が画面に若干残りますが、しばらくすると消えます。これは液晶パネルの特性上発生するもので、故障ではありません。コンピュータ側でスクリーンセーバーをお使いになることをおすすめします。
- 標高約1600m以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- 本機を高所(気圧の低い所)で使用すると、光学部品(ランプなど)の交換時期が早まる場合があります。
- スクリーンへの外光対策をしてください。
スクリーンには、照明など本機以外からの光が入らないようにしてください。
外光が入らないほど、ハイコントラストで美しい映像が見られます。
- スクリーンについて
ご使用のスクリーンに汚れ、傷、変色などが発生すると、きれいな映像が見られません。
スクリーンに揮発性のものをかけたり、傷や汚れが付かないよう取り扱いにご注意ください。
- 持ち運びについて
 - ・ 本機を移動する際は、いったんレンズユニットを取り外し、レンズに傷が付かないように必ずレンズキャップを取り付けてください。また、プロジェクターには防塵キャップを取り付けてください。
 - ・ プロジェクター本体に強い衝撃や振動を与えないように注意して運んでください。

- ・宅配便や貨物輸送はレンズユニットを外し、ご購入の際の梱包箱をご使用ください。プロジェクターの故障の原因となります。
- 投写レンズ面は素手でさわらないでください。
投写レンズ面に指紋や汚れが付くと、拡大されてスクリーンに映りますので、レンズ面には手を触れないでください。
- また、本機を使用されないときは、レンズキャップをかぶせておいてください。
- 廃棄について
本体を廃棄する際は、お買い上げの販売店、または自治体にお問い合わせください。

別売のレンズユニット取り扱い上の注意

本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。

ランプ取り扱い上の注意

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- プロジェクターの光源には、高輝度化を目的とした内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。このランプは、ご使用時間とともに輝度が徐々に低下する特性があります。また、電源の入/切の繰り返しによる劣化などにより、輝度低下を早めます。
- ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などにより、大きな音をともなって破裂したり、不点灯状態となることがあります。また、ランプが破裂や不点灯に至るまでの時間、条件には、ランプの個体差や使用条件によって差があり、本取扱説明書に記載してある指定の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。
なお、指定の使用時間を超えてお使いになった場合は、ランプが破裂する可能性が高くなりますので、ランプ交換の指示が出た場合には、すみやかに新しいランプに交換してください。
- ランプ破裂時には、ランプハウス内にガラスの破片が飛び散ったり、ランプ内部に含まれるガスがプロジェクターの通風孔から排出されることがあります。ランプ内部に使用されているガスには水銀が含まれていますので、破裂した場合は窓や扉をあけるなど十分に換気を行ってください。ガスを吸い込んだり、目に入った場合には、すみやかに医師にご相談ください。
- ランプが破裂した場合には、プロジェクター内部にガラスの破片が散乱している可能性があります。プロジェクター内部の清掃、ランプの交換その他の修理について、必ず NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに依頼し、お客様ご自身でプロジェクター内部の清掃、ランプ交換を行わないでください。

電源プラグを抜く際の注意

- ダイレクトパワーオフは、本機の電源を入れたあと（投写開始後）20分以上経過してから行ってください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- ランプ点灯後約 1 分間（電源インジケータが緑色で点滅中）は AC 電源を切断しないでください。ランプ交換時間（目安）*が短くなります。
※保証時間ではありません。
- 本機の電源を切ったあとの冷却ファンの回転中は、電源プラグをコンセントから抜くことができます。
電源を切ったあとの冷却ファン回転中に、電源プラグをコンセントから抜くと、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

投写する映像の著作権について

- 営利目的または公衆に視聴させることを目的として、本機を使って映像を投写する場合、本機の機能を使ってオリジナルの映像に対して投写範囲を小さくしたり変形したりすると、著作権法上で保護されている著作権者の権利を侵害するおそれがあります。
アスペクト、台形補正、部分拡大などの機能を使用する場合はご注意ください。

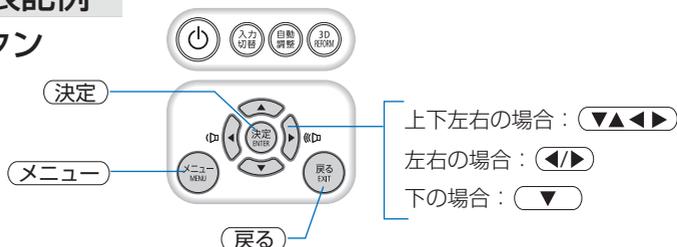
本書の表記について

マークの意味

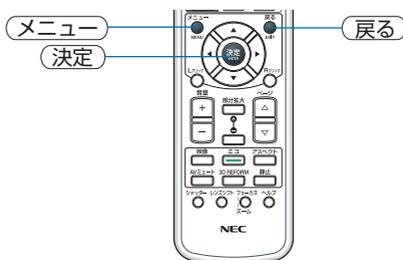
 重要	データが消えたり、もとに戻せない操作など、十分に注意していただきたいことを表しています。
 注意	注意や制限事項を表しています。
 参考	補足説明や役立つ情報を表しています。
	本書内の参照ページを表しています。
 適応機種	特定の機種についての説明を表しています。

操作ボタンの表記例

●本体の操作ボタン

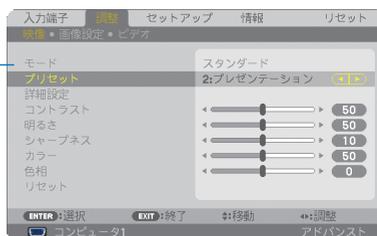


●リモコンの操作ボタン



メニュー項目の表記例

「プリセット」



参考

- 本書に載せている表示画面は、実際と多少異なる場合があります。

目次

はじめに	表紙裏
本機を安全にお使いいただくために、ご使用前に必ずお読みください	3
お願い	8
本書の表記について	11
目次	12
1. 添付品や名称を確認する	14
1-1. 特長	14
1-2. 添付品の確認	16
1-3. 本体各部の名称	18
1-4. リモコン各部の名称	23
1-5. 添付ソフトウェアの動作環境	27
2. 映像を投写する（基本操作）	29
2-1. 映像を投写する流れ	29
2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する	30
2-3. 本機の電源を入れる	31
2-4. 入力信号を選択する	33
2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する	36
2-6. 台形歪みを調整する	42
2-7. コンピュータの映像を自動調整する	44
2-8. 本機の音量を調整する	45
2-9. 本機の電源を切る	46
2-10. あとかたづけ	47
3. 便利な機能	48
3-1. 映像と音声を消去する（AV ミュート）	48
3-2. 動画を静止画にする（静止）	48
3-3. 映像の一部を拡大する（部分拡大）	49
3-4. エコモードと省エネ効果	50
3-5. 別売のマウスレシーバを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う	52
3-6. 台形歪みを調整する（4点補正）	54
3-7. 2つの映像を同時に投写する	57
3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する	60
3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作	63
3-10. LAN 経由でコンピュータの画面を本機へ送信して投写する （ネットワークプロジェクター）	71
3-11. 本機から LAN 経由でコンピュータを操作する（リモートデスクトップ）	75
4. ビューワを使う	82
4-1. ビューワでできること	82
4-2. プレゼンテーション資料の準備	85
4-3. ドライブに保存したファイルを投写する	86
4-4. 共有フォルダのファイルを投写する	99
4-5. メディアサーバのファイルを投写する	102
4-6. PowerPoint ファイル、PDF ファイルの表示に関する制限事項	105
5. オンスクリーンメニュー	106
5-1. オンスクリーンメニューの基本操作	106

5-2. オンスクリーンメニュー一覧	111
5-3. 入力端子	115
5-4. 調整	119
5-5. セットアップ	129
5-6. 情報	145
5-7. リセット	147
5-8. アプリケーションメニュー	149
6. 機器と接続する	172
6-1. レンズユニット（別売）を取り付ける	172
6-2. コンピュータと接続する	175
6-3. ディスプレイと接続する	179
6-4. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する	180
6-5. 書画カメラと接続する	183
6-6. 有線 LAN と接続する	184
6-7. 無線 LAN と接続する（別売）	185
7. 本体のお手入れ／ランプの交換	189
7-1. フィルタの清掃	189
7-2. レンズの清掃	192
7-3. キャビネットの清掃	193
7-4. ランプとフィルタの交換	194
8. ユーザーサポートウェア	201
8-1. インストール方法	201
8-2. LAN を経由して本機を操作する（Virtual Remote Tool）	204
8-3. LAN を経由して画像を投写する（Image Express Utility Lite）	207
8-4. スクリーンに斜め方向から投写する（Image Express Utility Lite の幾何学補正）	210
8-5. LAN を経由して画像や動画を投写する（Image Express Utility 2.0）	213
8-6. 本機から LAN 経由でコンピュータを操作する（Desktop Control Utility 1.0）	223
8-7. LAN を経由して本機を操作する（PC Control Utility Pro 4）	230
8-8. PowerPoint ファイルをスライド画像に変換する（Viewer PPT Converter 3.0）	232
8-9. Mac を使い LAN を経由して画像を投写する（Image Express Utility 2 for Mac）	234
9. 付 録	238
投写距離とスクリーンサイズ	238
対応解像度一覧	244
仕様	246
外観図	249
ケーブルカバー（別売）の取り付けかた	251
コンピュータ 1/2 映像入力端子のピン配列と信号名	252
故障かな？と思ったら	253
インジケータ表示一覧	258
トラブルチェックシート	260
海外へご出張時等でご使用になる場合（トラベルケア）	262
索引	263
別売品／商標について	266
保証と修理サービス（必ずお読みください）	267
NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターとビューライトクラブのご案内	裏表紙

1. 添付品や名称を確認する

1-1. 特長

●液晶方式の高輝度・高解像度プロジェクター

機種名	液晶パネル	解像度	アスペクト比
NP-PA600XJL	0.79 型 (MLA 付き)	1024 × 768 ドット	4:3
NP-PA500XJL	0.79 型 (MLA 付き)	1024 × 768 ドット	4:3
NP-PA550WJL	0.75 型 (MLA 付き)	1280 × 800 ドット	16:10
NP-PA500UJL	0.76 型 (MLA 付き)	1920 × 1200 ドット	16:10

NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/NP-PA550WJL は、アドバンスド・アキュブレンド機能により WUXGA (1920 × 1200 ドット) の入力信号までカバーしています。

●設置場所に応じて選べる豊富なオプションレンズ

本機は、5 種類のオプションレンズに対応しています。様々な設置場所、投写方法に合わせたレンズが選択できます。

また、レンズユニットの取り外し/取り付けがワンタッチで行えます。

なお、本機の工場出荷時はレンズが装着されていませんので別途オプションレンズをお買い求めください。

●投写画面の位置調整を容易にするレンズシフト機構を搭載

投写画面の位置の移動は、本体の前面にある「垂直方向用」および「水平方向用」の 2 つのダイヤルを回して行います。

●設置角度が 360° 可能 (チルトフリー)

本機は、360° のどの角度でも設置が可能です。

ただし、設置角度に応じて「ファンモード」の設定を変更していただく必要があります。

また、本体を左右に傾けて設置することはできません。

●HDMI、DisplayPort、BNC などの豊富な入出力端子、モノラルスピーカ内蔵

コンピュータ (アナログ)、5 芯の BNC、HDMI、DisplayPort、ビデオ、S-ビデオなど、豊富な入出力端子を装備しています (コンピュータ (アナログ) と BNC は、コンポーネント入力にも対応しています)。

本機の HDMI / DisplayPort 入力端子は、HDCP に対応しています。

また、10W のモノラルスピーカを内蔵しています。

●高画質処理回路を搭載

Reon-VX ビデオプロセッサの採用により高品質な映像を投写します。

●スタンバイ時の消費電力が 0.2 ワットの省エネ設計

オンスクリーンメニューのスタンバイモードで「省電力」を設定すると、スタンバイ時の消費電力が 0.2 ワットになります。

●消費電力を抑えるエコモードとカーボンメータ表示

使用中の消費電力を抑えるため「エコモード」を搭載しています。さらに、エコモード設定時の省エネ効果を CO₂ 排出削減量に換算して、電源切るときの「確認メッセージ」およびオンスクリーンメニューの「情報」に表示します (カーボンメータ)。

●ランプ交換時間が最大 4000 時間、そしてフィルタの清掃が不要

エコモードを設定して使用すると、ランプ交換時間※が最大 4000 時間に延びます。

※保障時間ではありません。

また、本機は大型で 2 層のフィルタを使用します。このフィルタは、ランプ交換の際に新しいものを取り替えていただければ、日常のフィルタ清掃は不要です。

●信号切り替え時の画面変更をスムーズに見せるシームレススイッチング機能 (NP-PA500UJL のみ)

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

●2つの映像を同時表示 (ピクチャーインピクチャー／ピクチャーバイピクチャー)

本機 1 台で 2 つの映像を同時に投写することができます。

2 画面の配置には 2 種類あり、主画面の中に小さな子画面を表示する「ピクチャーインピクチャー」と、主画面と副画面を左右に並べて表示する「ピクチャーバイピクチャー」があります。

●無断使用を防止するセキュリティ機能

本機には次のようなセキュリティ機能を装備しています。

- ・パスワードセキュリティ …… オンスクリーンメニューでパスワードを設定すると、本機の電源を入れたときにパスワード入力画面を表示します。
- ・盗難防止用ロック …………… 本機は、ケンジントン・ロックに対応したセキュリティケーブルを接続することができます。
- ・セキュリティバー …………… 本機は、一般的なセキュリティケーブル (またはワイヤー) を通す機構を装備しています。

●プロジェクター本体やリモコンに日本語表示

プロジェクター本体の操作ボタン名や接続端子名を日本語で表示し、さらに、日本語表示のリモコンを標準添付しています。

●有線 LAN / 無線 LAN 対応 (無線 LAN ユニットの別売)

LAN ポート (RJ-45) を装備しており有線 LAN に接続してコンピュータから本機へ画像を伝送したり、コンピュータから本機を制御したりできます。

さらに、別売の無線 LAN ユニットを装着すると、無線 LAN を利用することができます。

●便利なユーティリティソフト (User Supportware) を標準添付

添付の NEC Projector CD-ROM に 7 つのユーティリティソフト (Virtual Remote Tool、Image Express Utility Lite、Image Express Utility 2.0、Desktop Control Utility 1.0、PC Control Utility Pro 4、Viewer PPT Converter 3.0、Image Express Utility 2 for Mac) を収録しています。

●LAN 対応ビューワ機能

本機のビューワから LAN および無線 LAN に接続したコンピュータの共有フォルダの画像や動画を投写できます。

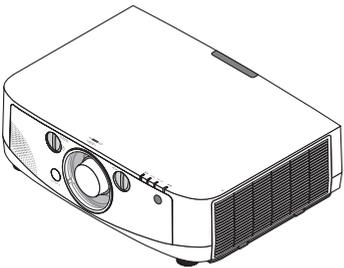
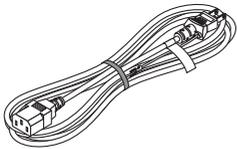
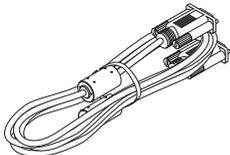
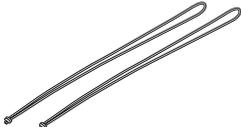
※ビューワは Windows Media Player 11 の「メディアの共有」機能に対応しています。

●CRESTRON ROOMVIEW に対応

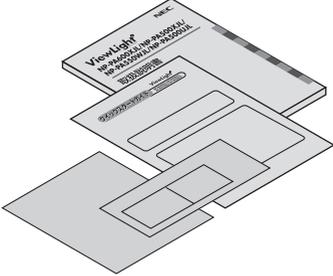
本機は CRESTRON ROOMVIEW に対応しています。コンピュータから、ネットワークに接続した複数の機器を管理・制御することができます。

1-2. 添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

	<p>プロジェクター (本機) コンピュータやDVDプレーヤーなどを接続して、文字や映像を大きなスクリーンに投写する機器です。</p> <p>防塵キャップ 本体からレンズユニットを外したときの防塵用キャップです。大切に保管してください。 (注) レンズユニットは添付していません。ご利用目的に合ったレンズユニットをお買い求めください。 レンズユニットの種類と投写距離は 238 ページをご覧ください。</p>
	<p>リモコン (7N900971) 本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。 ご購入後はじめて使用するときは、添付の単3アルカリ乾電池2本をセットしてください。(25 ページ)</p> <p>単3アルカリ乾電池 (リモコン用) 2本 添付のリモコンにセットします。</p>
	<p>電源コード (アース付き) (7N080123) AC100V のコンセントに本機を接続します。 日本国内用です。</p>
	<p>コンピュータケーブル (ミニ D-Sub 15 ピン) (7N520073) コンピュータの画面をスクリーンに投写する場合に使用します。(30 ページ)</p>
	<p>レンズユニット盗難防止用ネジ (24V00841) 本機に装着しているレンズユニットを簡単に取り外されないようにします。(173 ページ)</p>
	<p>ストラップ (ランプカバーとフィルタカバーの落下防止用) 2本 ランプカバーとフィルタカバーにストラップを付けることにより、天吊り設置時の落下を防止します。(次ページ)</p>

[次ページに続く](#)

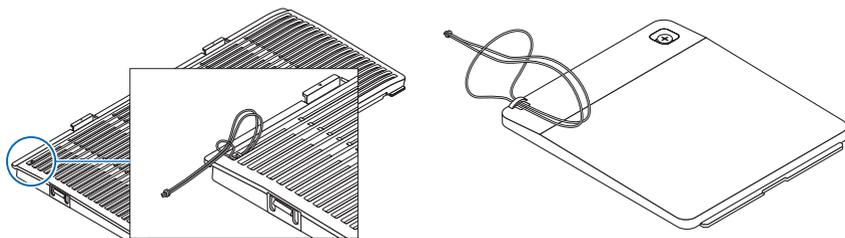
	<p>NEC Projector CD-ROM (7N951596) PDF (Portable Document Format) 形式の取扱説明書 (本書) とユーティリティソフトを取録しています。(▶ 27 ページ)</p>
	<p>取扱説明書 (本書) (7N8N1596) 本機の使いかた、安全のため守っていただきたいこと、保証とサービスなどについて記載しています。</p> <p>クイックスタートガイド (7N8N1603) 機器の接続、電源オン、投写画面の調整、電源オフといった、基本的な操作方法をコンパクトにまとめて説明しています。</p> <p>保証書 プロジェクターの保証内容・条件を記載しています。</p> <p>ビューライトクラブ申込書 ビューライトクラブに入会していただくと、会員ならではのサービスが受けられます。入会金・会費は無料です。</p> <p>セキュリティラベル 本機にパスワードを設定したときに、必要に応じて本体に貼ってください。</p>

参考

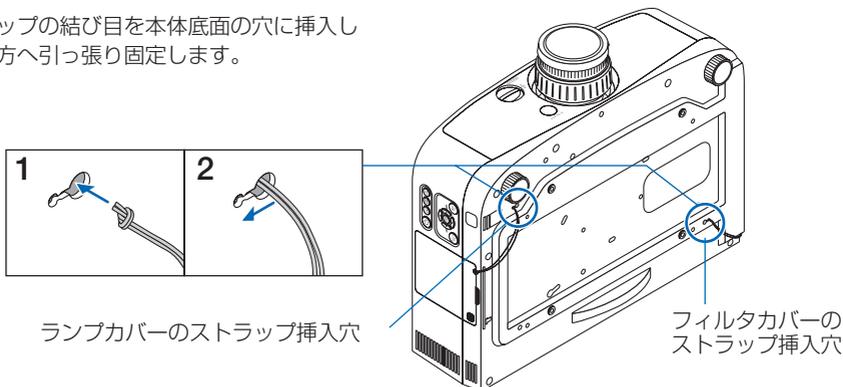
- 万一添付品などが不足していたり破損している場合は、お買い上げの販売店にご連絡ください。
- 添付品の外観が本書のイラストと多少異なる場合がありますが、実用上の支障はありません。

●ストラップの取り付けかた

① フィルタカバー/ランプカバーにストラップを下図のように取り付けます。



② ストラップの結び目を本体底面の穴に挿入し矢印の方へ引っ張り固定します。



ランプカバーのストラップ挿入穴

フィルタカバーのストラップ挿入穴

1-3. 本体各部の名称

本体前面

レンズは別売です。レンズユニット NP13ZL を装着している状態で説明しています。

レンズシフトダイヤル (上下・左右)
投写画面の位置を上下左右に移動します。
(▶ 37 ページ)

ズームレバーまたはズームリング
投写した画面の大きさを調整します。
(▶ 40 ページ)

リモコン受光部

排気口
ランプの熱を排気します。

ランプカバー
ランプ交換のときカバーを外します。(▶ 194 ページ)

本体操作部
本機の電源の入/切や、投写する映像信号の切り替え操作などができます。
(▶ 20 ページ)

セキュリティバー
盗難防止用チェーン (またはワイヤー) を取り付けます。
本機のセキュリティバーは、直径 4.6mm の太さのものまで対応しています。

チルトフット
チルトフットを回して投写角度や左右の傾きの微調整します。(▶ 40 ページ)

スピーカ (モノラル)
音声入力端子から入力された音声を出します。
(▶ 45 ページ)

インジケータ表示部
電源入/切など本機の状態をランプの点灯/点滅で知らせます。

リモコン受光部
リモコンの信号を受ける部分です。(▶ 26 ページ)
本体の前面と背面の 2 箇所にあります。

チルトフット



レンズキャップ (レンズユニットに装着)
レンズを保護します。

レンズ
ここから映像が投写されます。
・レンズユニットは別売です。

フォーカスリング
映像のフォーカスを合わせます。
(▶ 38 ページ)

レンズリリースボタン
レンズユニットを取り外す際に使用します。(▶ 174 ページ)

本体背面

接続端子部

各種映像信号や音声信号のケーブルを接続します。(▶ 21 ページ)

吸気口／フィルタ

内部にほこりやゴミが入るのを防止します。
この中に、無線 LAN ユニットの USB (LAN) ポートがあります。
(▶ 189,198 ページ)

ケーブルカバー取り付け部 (左右)

ケーブルカバー (別売) 取り付け用のねじ穴と固定用ミゾです。
(▶ 251 ページ)

リモコン受光部

リモコンの信号を受ける部分です。
(▶ 26 ページ)
本体の前面と背面の 2 箇所にあります。

排気口

ランプの熱を排気します。

AC IN 端子

添付の電源コードを接続します。
(▶ 30 ページ)

盗難防止用ロック

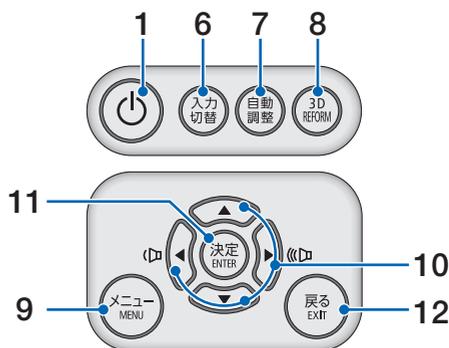
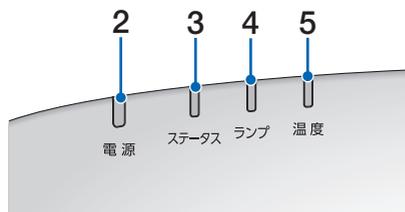
盗難防止のためワイヤーケーブルを付ける際に使用します。
詳しくは下記の **参考** をご覧ください。

参考

● 盗難防止用ロックについて

盗難防止用ロックは、市販のケンジントン社製セキュリティワイヤーに対応しています。製品については、ケンジントン社のホームページをご参照ください。

本体操作部／インジケータ表示部



1 電源ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入/切 (スタンバイ状態) します。

電源を切る (スタンバイ状態) ときは、一度押しと画面に確認メッセージが表示されるので、続いてもう一度電源ボタンを押します。

2 電源インジケータ

電源が入っているときは青色に点灯します。
([258 ページ](#))

電源が切れている (スタンバイ状態) ときはオレンジ色に点灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

3 ステータスインジケータ

電源が切れているとき (スタンバイ状態) は緑色に点灯します (スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)。

本体キーロック中に操作ボタンを押したときや、本機に異常が発生したときに、点灯/点滅します。

詳しくは「インジケータ表示一覧」をご覧ください。
([258 ページ](#))

4 ランプインジケータ

ランプが点灯していることやランプの交換時期がきたことをお知らせします。

([259 ページ](#))

5 温度インジケータ

プロジェクター周囲の温度が高くなっている (オレンジ点灯) ことをお知らせします。

([259 ページ](#))

6 (入力切替) ボタン

入力信号を検出します。

コンピュータ1→コンピュータ2→コンピュータ3→HDMI→DisplayPort→ビデオ→S-ビデオ→ビューワ→コンピュータ1…の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

7 (自動調整) ボタン

コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。
([44 ページ](#))

8 (3D REFORM) ボタン

上下左右方向の台形歪みを調整します。

([42, 54 ページ](#))

9 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。
([106 ページ](#))

10 (音量調整ボタンを兼用) ボタン

- ・オンスクリーンメニューを表示しているときに(音量調整ボタン) ボタンを押すと、設定・調整したい項目を選択できます。
([106 ページ](#))

- ・オンスクリーンメニューを表示していないときは、(音量調整ボタン) ボタンで音量の調整ができます。
([45 ページ](#))

11 (決定) ボタン

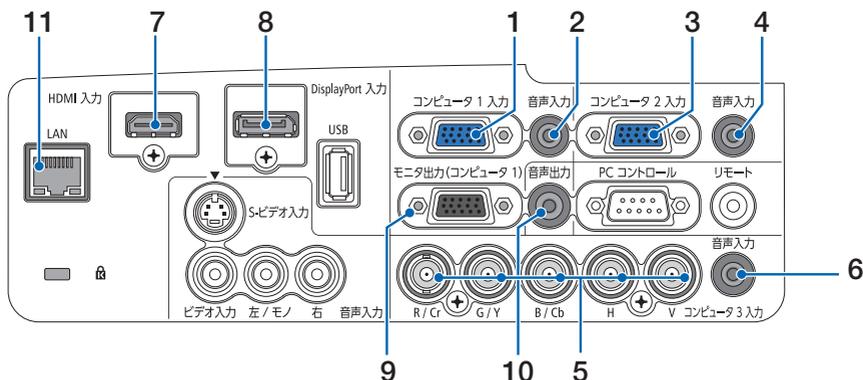
オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

12 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

接続端子部



1 コンピュータ 1 映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。

([30](#), [175](#), [181](#), [183](#) ページ)

2 コンピュータ 1 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピュータまたは DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。([175](#), [181](#) ページ)
本機のスピーカから出力される音はモノラルです。

3 コンピュータ 2 映像入力端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤなどのコンポーネント出力端子と接続します。([175](#), [181](#) ページ)

4 コンピュータ 2 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

コンピュータまたは DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続すると、本機のスピーカから音が出せます。([175](#), [181](#) ページ)
本機のスピーカから出力される音はモノラルです。

入力端子で、ネットワークを選択しているときは、コンピュータ 2 音声入力端子に入力している音声がスピーカから出力されます。

5 コンピュータ 3 映像入力端子 (BNC 5 芯)

市販の BNC ケーブル (5 芯タイプ) を使用して、コンピュータのディスプレイ出力端子や、DVD プレーヤの色差出力端子 (DVD 映像出力) などと接続します。

([175](#), [181](#) ページ)

6 コンピュータ 3 音声入力端子 (ステレオ・ミニ)

本機のコンピュータ 3 映像入力端子と接続したコンピュータや DVD プレーヤなどの音声出力端子と接続します。([175](#), [181](#) ページ)

7 HDMI 入力端子 (タイプ A)

ブルーレイプレーヤ、デジタル放送チューナーなどの出力端子と接続します。

([176](#), [177](#), [182](#) ページ)

本機のスピーカから出力される音はモノラルのみです。

8 DisplayPort 入力端子 (DisplayPort)

コンピュータなどの出力端子と接続します。

([176](#) ページ)

本機のスピーカから出力される音はモノラルのみです。

9 モニタ出力 (コンピュータ 1) 端子 (ミニ D-Sub 15 ピン)

コンピュータ 1 映像入力端子の映像信号を出力します。([179](#) ページ)

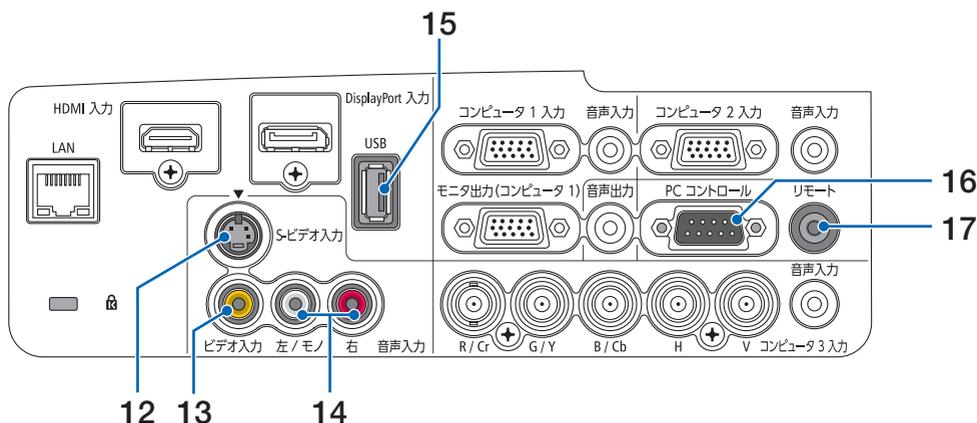
10 音声出力端子 (ステレオ・ミニ)

本機で投写されている音声信号 (コンピュータ 1、コンピュータ 2、コンピュータ 3、ビデオ、S-ビデオのいずれか) を出力します。([179](#) ページ)

音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音が出なくなります。出力音量は ([179](#) ページ) ボタンで調整できます。

11 LAN ポート (LAN) (RJ-45)

本機を LAN に接続すると、本機の HTTP サーバ機能を利用し、コンピュータでウェブブラウザを使用して本機を制御することができます。([184](#) ページ)



12 S-ビデオ映像入力端子 (ミニ DIN-4ピン)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの S 映像出力端子と接続します。(▶ 180, 183 ページ)

13 ビデオ映像入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの映像出力端子と接続します。(▶ 180, 183 ページ)

14 S-ビデオ/ビデオ音声入力端子 (RCA- フォノ)

ビデオデッキや DVD プレーヤーなどの音声出力端子と接続します。(▶ 180 ページ)

15 USB ポート (USB) (タイプ A)

USB メモリを接続します。
USB メモリに画像データを保存すると本機のビューワで投写することができます。(▶ 86 ページ)

16 PC コントロール端子 (D-Sub 9ピン)

コンピュータで本機を操作するときに使用します。

17 リモート端子 (ステレオ・ミニ)

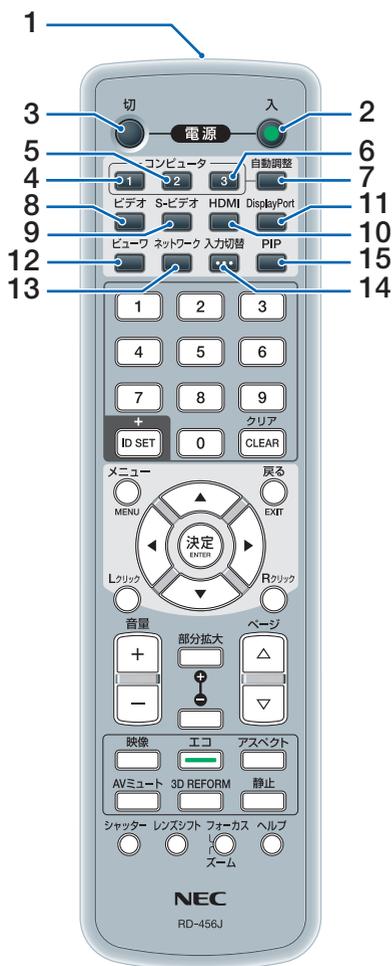
当社製オプションリモコンを使って本機を有線でリモコン操作する場合に使います。

- ・市販のワイヤードリモコンケーブルを使って本機とオプションリモコンを接続してください。

注意

- リモート端子にリモコンケーブルが接続されているときは、赤外線でのリモコン操作はできません。
- リモート端子にリモコンケーブルが接続されているときは、「スタンバイモード」の「省電力」と「ネットワークスタンバイ」機能は動作しません。

1-4. リモコン各部の名称



1 リモコン送信部

赤外線によるリモコン信号が送信されます。本体のリモコン受光部に向けて操作してください。

2 電源(入)ボタン

スタンバイ時(電源インジケータがオレンジ色*に点灯)に本機の電源を入れます。(※スタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

3 電源(切)ボタン

一度押しで電源オフ確認メッセージを表示してもう一度(切)(または(決定))ボタンを押すと、本機の電源が切れます(スタンバイ状態)。

4 (コンピュータ1)ボタン

コンピュータ1入力(またはコンポーネント)を選択します。

5 (コンピュータ2)ボタン

コンピュータ2入力(またはコンポーネント)を選択します。

6 (コンピュータ3)ボタン

コンピュータ3入力(またはコンポーネント)を選択します。

7 (自動調整)ボタン

コンピュータ画面を投写しているときに、最適な状態に自動調整します。(▶44ページ)

8 (ビデオ)ボタン

ビデオ入力を選択します。

9 (S-ビデオ)ボタン

S-ビデオ入力を選択します。

10 (HDMI)ボタン

HDMI入力を選択します。

11 (DisplayPort)ボタン

DisplayPortを選択します。

12 (ビューワ)ボタン

ビューワを選択します。

13 (ネットワーク)ボタン

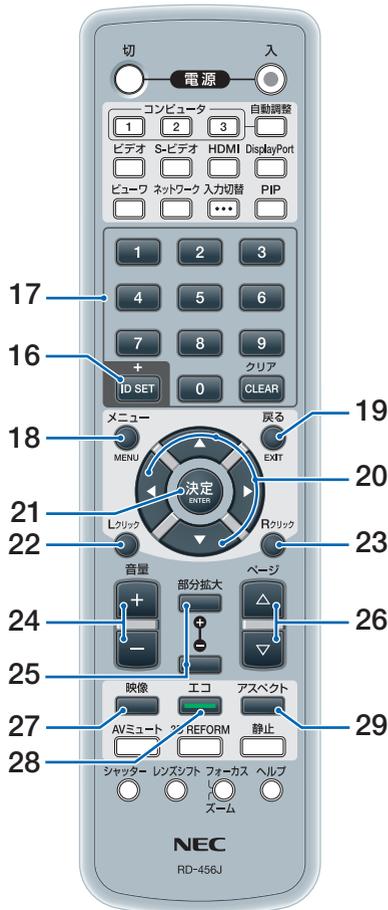
ネットワークを選択します。

14 (入力切替)ボタン

入力信号を検出します。
コンピュータ1→コンピュータ2→コンピュータ3→HDMI→DisplayPort→ビデオ→S-ビデオ→ビューワ→コンピュータ1…の順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。

15 (PIP)ボタン

2つの映像を同時に投写します。表示方法には、画面の中に小さい画面を投写する「ピクチャーインピクチャー機能」と2つの画面を並べて投写する「ピクチャーバイピクチャー機能」があります。(▶57ページ)



16 (ID SET) ボタン

複数台のプロジェクターを本機のリモコンで個別に操作するときのコントロールID設定に使用します。(▶ 137 ページ)

17 数字 (0)~(9) 入力ボタン

複数プロジェクターを本機のリモコンで個別に操作する場合のID入力に使用します(コントロールID設定)。

(CLEAR(クリア) ボタンはコントロールID設定を解除する場合に使用します。

(▶ 138 ページ)

18 (メニュー) ボタン

各種設定・調整のオンスクリーンメニューを表示します。

19 (戻る) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、前の階層のメニューに戻ります。メインメニューにカーソルがあるときは、メニューを閉じます。確認メッセージ表示中は、操作を取り消します。

20 (方向キー) ボタン

オンスクリーンメニュー操作や(部分拡大 +/-) ボタンを使った画面拡大時の表示位置調整に使用します。

また、別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときは、コンピュータのマウスとして動作します。(▶ 106, 49, 52 ページ)

21 (決定) ボタン

オンスクリーンメニュー表示中は、次の階層のメニューに進みます。

確認メッセージ表示中は、項目を決定します。

22 (マウスLクリック) ボタン

別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに、コンピュータを操作するボタンです。マウスの左ボタンの動作をします

(▶ 53 ページ)

23 (マウスRクリック) ボタン

別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに、コンピュータを操作するボタンです。マウスの右ボタンの動作をします

(▶ 53 ページ)

24 (音量 +/-) ボタン

内蔵スピーカの音量を調整します。音声出力端子の音量も調整します。

25 (部分拡大 +/-) ボタン

画面の拡大・縮小(もとに戻す)をします。

(▶ 49 ページ)

26 (ページ 上下) ボタン

ビューワのサムネイル画面の画面切り替えに使用します。(▶ 87 ページ)

また、別売のマウスレシーバをコンピュータに接続しているときに使用します。画面のスクロールや、PowerPointの画面切り替えなどに使用します。(▶ 53 ページ)

27 (映像) ボタン

ボタンを押すごとに、オンスクリーンメニューの調整メニューの映像にあるプリセット→コントラスト→明るさ→シャープネス→カラー→色相の映像調整項目を順に表示します。(▶ 119, 122 ページ)

28 (エコ) ボタン

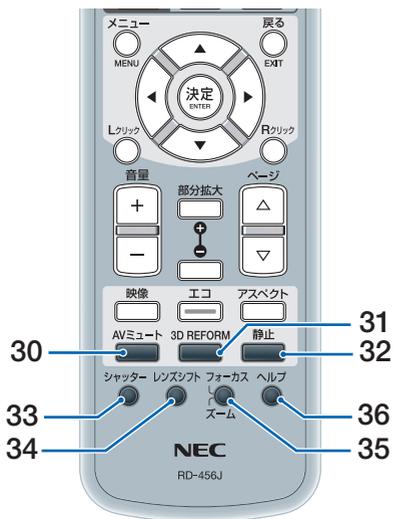
エコモード選択画面を表示します。

(▶ 50 ページ)

29 (アスペクト) ボタン

アスペクト調整項目を表示します。

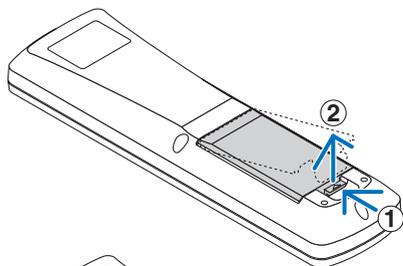
(▶ 124 ページ)



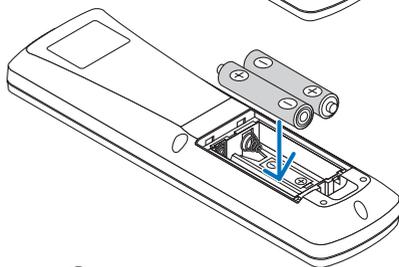
- 30 (AVミュート) ボタン**
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すと戻ります。(▶ 48 ページ)
- 31 (3D REFORM) ボタン**
上下左右方向の台形歪みを調整します。(▶ 42, 54 ページ)
- 32 (静止) ボタン**
表示されている画像が静止画となります。もう一度押すと戻ります。(▶ 48 ページ)
- 33 (シャッター) ボタン**
(本機では使用できません)
- 34 (レンズシフト) ボタン**
(本機では使用できません)
- 35 (フォーカス/ズーム) ボタン**
(本機では使用できません)
- 36 (ヘルプ) ボタン**
情報画面を表示します。(▶ 145 ページ)

● 電池の入れかた

1 リモコン裏面の電池ケースのふたをあける。



2 ケース内部に表示している+、-の向きに合わせて単3アルカリ乾電池をセットする。

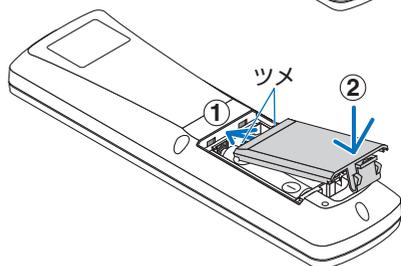


3 もとどおりにふたをする。

ふたのツメをケースのみぞに入れてからふたをしめます。



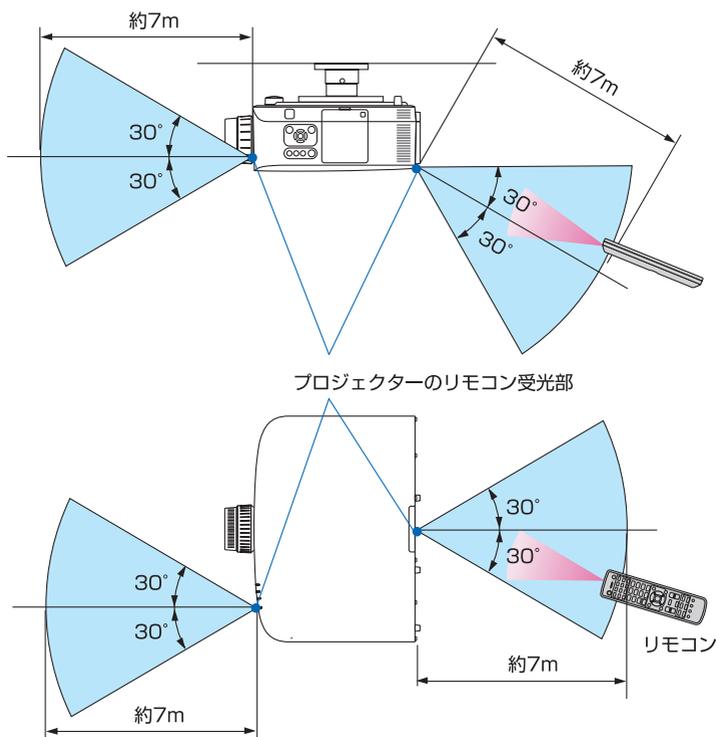
- 乾電池を交換するときは、2本とも同じ種類の単3アルカリ乾電池をお買い求めください。



●リモコンの有効範囲

リモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。およそ次の範囲内でリモコンの信号が受信できます。

【受光範囲】



(注) 有効範囲のイメージを表した図のため実際とは多少異なります。

●リモコンの使用上の注意

- ・ 本機のリモコン受光部やリモコン送信部に明るい光が当たっていたり、途中で障害物があると信号がさえぎられていると動作しません。
- ・ 本体から約7m以内で本体のリモコン受光部に向けて操作してください。
- ・ リモコンを落としたり、誤った取り扱いはしないでください。
- ・ リモコンに水や液体をかけないでください。万一ぬれた場合は、すぐにふき取ってください。
- ・ できるだけ熱や湿気のないところで使用してください。
- ・ 長期間リモコンを使用しないときは、乾電池を2本とも取り出してください。

1-5. 添付ソフトウェアの動作環境

添付ソフトウェアの種類と主な機能

ソフトウェア名	主な機能
Virtual Remote Tool	<ul style="list-style-type: none">● コンピュータとプロジェクターをネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を使って接続すると、コンピュータ画面に Virtual Remote 画面を表示し、プロジェクターの電源の入 / 切や信号切替などの操作を行うことができます。また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。(🔗 204 ページ)
Image Express Utility Lite	<ul style="list-style-type: none">● コンピュータとプロジェクターをネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を使って接続すると、コンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。コンピュータケーブルは必要ありません。(🔗 186 ページ)● コンピュータ側から、プロジェクターの電源の入 / 切や信号切替などの操作を行うことができます。● 幾何学補正機能を使うと、平面でない壁などに合わせて投写画面を補正することができます。(🔗 210 ページ)
Image Express Utility 2.0	<ul style="list-style-type: none">● ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を経由して、コンピュータの画面を同時に複数のプロジェクターへ伝送して投写することができます。また、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続している複数のコンピュータの画面を交互にプロジェクターへ伝送して投写することができます（ミーティングモード）。(🔗 213 ページ)
Desktop Control Utility 1.0	<ul style="list-style-type: none">● ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を利用して、離れた場所にあるコンピュータのデスクトップ画面をプロジェクターから遠隔操作することができます。(🔗 223 ページ)
PC Control Utility Pro 4	<ul style="list-style-type: none">● コンピュータとプロジェクターをネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）やシリアルケーブルを使って接続すると、コンピュータ側からプロジェクターの様々な機能を制御できます。(🔗 230 ページ)
Viewer PPT Converter 3.0	<ul style="list-style-type: none">● PowerPoint で作成したファイルを JPEG ファイルに変換するソフトウェアです。変換した JPEG ファイルを USB メモリに保存すると、プロジェクターのビューワ機能で呼び出し、スライドショーとして投写することができます。(🔗 232 ページ)
Image Express Utility 2 for Mac	<ul style="list-style-type: none">● Mac の画面をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を経由してプロジェクターへ伝送しスクリーンに投写することができます。(🔗 234 ページ) Mac の動作環境は 234 ページをご覧ください。

※無線 LAN を利用するには別売の無線 LAN ユニットが必要です。

注意

● Image Express Utility Lite と Image Express Utility 2 for Mac は、Image Express Utility 2.0 の「ミーティングモード」には対応していません。

ダウンロードサービスのご案内

これらのソフトウェアのバージョンアップ情報については、当社プロジェクターのサポートページをご覧ください。

URL: <http://www.nec-display.com/dl/jp/pj/soft/lineup.html>

動作環境

ここでは、Image Express Utility Lite の動作環境について記載します。その他のソフトウェアについては、各ソフトウェアのヘルプをご覧ください。

対応 OS	Windows 7 Home Basic Windows 7 Home Premium Windows 7 Professional Windows 7 Ultimate Windows 7 Enterprise Windows Vista Home Basic Windows Vista Home Premium Windows Vista Business Windows Vista Ultimate Windows Vista Enterprise Windows XP HomeEdition Service Pack 3 以降 Windows XP Professional Service Pack 3 以降 ※ 32 ビット版 OS のみ対応します。 ※ Windows の省電力機能には対応していません。
プロセッサ	• Windows 7 / Windows Vista の場合 Pentium M 1.2 ギガヘルツ相当以上 必須 1.5 ギガヘルツ以上のデュアルコア 推奨 • Windows XP の場合 Pentium M 1.0 ギガヘルツ相当以上 必須 1.0 ギガヘルツ以上のデュアルコア 推奨
メモリ	• Windows 7 / Windows Vista の場合 512 メガバイト以上 必須 1 ギガバイト以上 推奨 • Windows XP の場合 256 メガバイト以上 必須 512 メガバイト以上 推奨 ※ 同時に実行するアプリケーションによっては、さらにメモリが必要になる場合があります。
グラフィックプロセッサ	• Windows 7 / Windows Vista の場合 「Windows エクスペリエンスインデックス」の「グラフィックス」のスコアが 3.0 以上推奨
ネットワーク環境	TCP/IP をサポートした LAN または無線 LAN (※無線 LAN は、Wi-Fi 規格取得品を使用してください)
解像度	• Windows 7 / Windows Vista の場合 SVGA (800x600) 以上 必須 XGA (1024x768) 推奨 • Windows XP の場合 VGA (640x480) 以上 必須 XGA (1024x768) 推奨 (NP-PA550WJL/NP-PA500UJL の場合は、1024 ドット× 768 ライン～ 1280 ドット× 800 ラインを推奨)
画面の色	High Color (15 ビット、16 ビット) True Color (24 ビット、32 ビット) (推奨) ※ 256 色以下には対応していません。

2. 映像を投写する（基本操作）

2-1. 映像を投写する流れ

ステップ 1

コンピュータと接続する／電源コードを接続する (▶次ページ)



ステップ 2

本機の電源を入れる (▶31 ページ)



ステップ 3

入力信号を選択する (▶33 ページ)



ステップ 4

投写画面の位置と大きさを調整する (▶36 ページ)
台形歪みを調整する (▶42 ページ)



ステップ 5

映像や音声を調整する
・画質を調整する場合 (▶44 ページ)
・本機の音量を調整する場合 (▶45 ページ)



ステップ 6

プレゼンテーションを行う



ステップ 7

本機の電源を切る (▶46 ページ)



ステップ 8

あとかたづけ (▶47 ページ)

2-2. コンピュータと接続する／電源コードを接続する

1. コンピュータと接続する

ここでは、コンピュータとの基本的な接続を説明します。他の接続は「6. 機器と接続する」175～183ページをご覧ください。

コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ 1 映像入力端子を、添付のコンピュータケーブルで接続しコネクタのツマミを回して固定します。

2. 電源コードを接続する

本機の AC IN 端子と、AC100V アース付きのコンセント（アース工事済み）を、添付の電源コードで接続します。



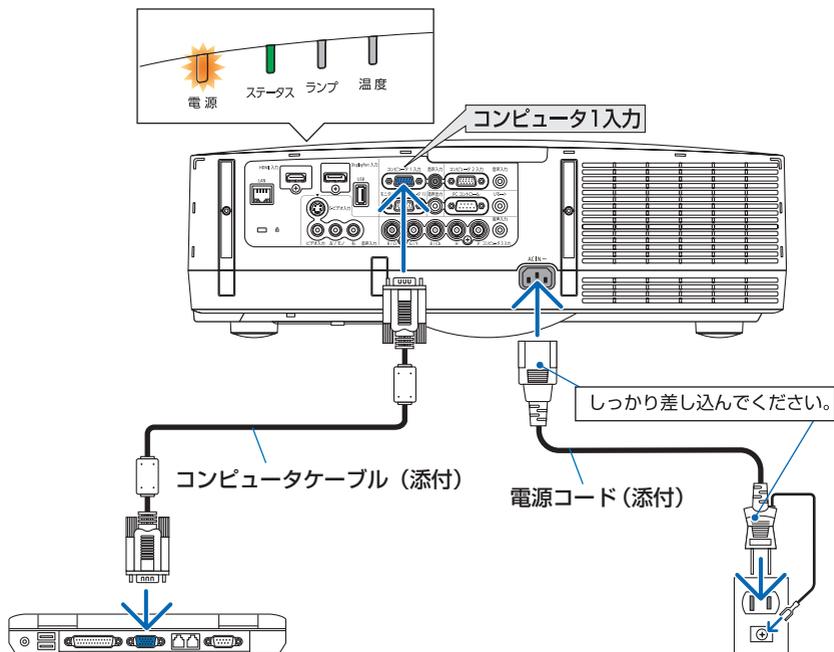
注意

機器の安全確保のため、機器のアースは確実にとってご使用ください。感電の原因となりますので、アース工事は専門業者にご依頼ください。アースの接続は、必ず電源プラグをコンセントに差し込む前に行ってください。また、アースを外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。

電源コードを接続すると、本機の電源インジケータがオレンジ色*に点灯します（スタンバイ状態）。また、ステータスインジケータが緑色*に点灯します。

* いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているときのインジケータ表示です。

（▶ 142 ページ）

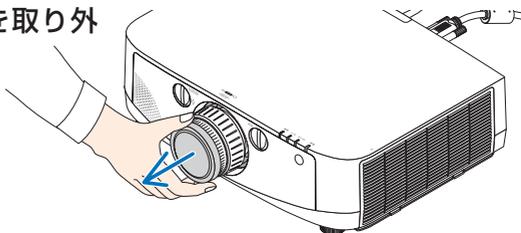


注意

電源を切ったとき、および投写中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。

2-3. 本機の電源を入れる

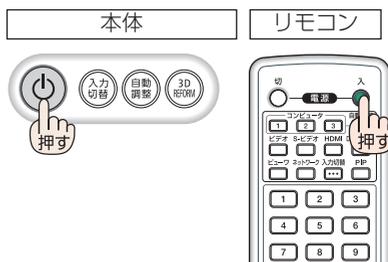
- 1** レンズからレンズキャップを取り外す。



- 2** 電源ボタンを押す。

ステータスインジケータが消灯し、しばらくして電源インジケータが点滅し始めます。その後、スクリーンに映像が投写されます。

- リモコンで操作する場合は、電源（入）ボタンを押します。
- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
- 映像がぼやけている場合は、フォーカスリングを回して画面のフォーカスを合わせてください。（▶ 38 ページ）



2

映像を投写する（基本操作）

参考

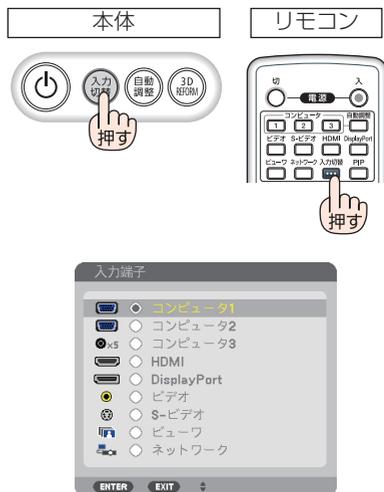
- 「セキュリティロック中です。」が表示されたときは、セキュリティキーワードが設定されています。（▶ 61 ページ）
 - エコメッセージを表示したときは、エコメッセージの表示が「オン」に設定されています。（▶ 131 ページ）
 - 電源ボタンや（メニュー）ボタンなどを押すとピープ音を出します。ピープ音を出したくないときは、オンスクリーンメニューで「オフ」に設定できます。（▶ 141 ページ）
-
- ご購入後はじめて電源を入れたときはLANGUAGE画面が表示されます。次ページのように操作して「日本語」を選択してください。
 - 誤って「日本語」以外を選択した場合は、オンスクリーンメニューを表示して「言語」を変更することができます。（▶ 130 ページ）



2-4. 入力信号を選択する

投写する信号を自動検出する

- 1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。
DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。
- 2 (入力切替) ボタンを押す。
入力端子画面が表示されます。
 - コンピュータ1→コンピュータ2→コンピュータ3→HDMI→DisplayPort→ビデオ→S-ビデオ→ビューワの順に自動でチェックし、入力信号を検出すると、その信号を投写します。
 - 入力端子画面が表示されているときに、(入力切替) ボタンを数回押して、投写したい入力信号を選択することもできます。



2

映像を投写する(基本操作)

リモコンのダイレクトボタンを押して選択する

- 1 本機に接続しているコンピュータやDVDプレーヤなどの電源を入れる。
DVDプレーヤなどの映像を投写するときは、再生 (PLAY) 操作をしてください。
- 2 リモコンの (コンピュータ1)、(コンピュータ2)、(コンピュータ3)、(HDMI)、(DisplayPort)、(ビデオ)、(S-ビデオ)、(ビューワ)、(ネットワーク)、ボタンを押す。



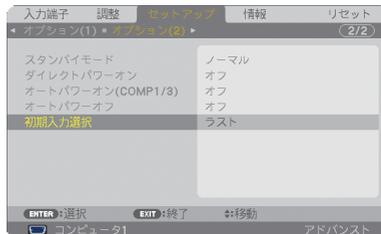
自動的に信号を選択する

入力信号を選択する操作を省略（自動化）することができます。

1 オンスクリーンメニューの「セットアップ」→「オプション (2)」→「初期入力選択」を選択する。

選択画面が表示されます。

- オンスクリーンメニューの操作については、「5-1. オンスクリーンメニューの基本操作」をご覧ください。 (106 ページ)



2 電源を入れたときに自動的に選択する信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

次回本機の電源を入れたときに自動的に選択される信号として設定されます。



3 (戻る) ボタンを 3 回押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

4 本機の電源を入れなおす。

手順 2 で設定した信号が自動的に投写されます。

注意

- 初期入力選択を「自動」に設定していてもネットワークは自動検出できません。本機の電源を入れたときに自動的に選択するには、初期入力選択でネットワークを選択してください。

- 本機とコンピュータをコンピュータケーブルで接続し本機をスタンバイ状態にしているとき、コンピュータから出されたコンピュータ信号を感知して自動的に本機の電源を入れてコンピュータ画面を投写することができます（オートパワーオン（COMP1/3））。(143 ページ)
- 信号が入力されていないときは、青い画面（ブルーバック）が表示されます（工場出荷時のメニュー設定時）。
DVD プレーヤなどは再生（PLAY）操作をしてください。
- ノートブックコンピュータの画面がうまく投写できない場合
ノートブックコンピュータの外部出力（モニタ出力）設定を外部に切り替えてください。
 - ・ Windows の場合はファンクションキーを使います。
 [Fn] キーを押したまま [L/R] などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクトが認識する時間）すると投写されます。
 通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
 - ・ Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま [P] キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F2]	MSI
[Fn] + [F3]	NEC, Panasonic, SOTEC, MITSUBISHI, Everex
[Fn] + [F4]	HP, Gateway
[Fn] + [F5]	ACER, TOSHIBA, SHARP, SOTEC
[Fn] + [F7]	SONY, IBM, Lenovo, HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL, ASUS, EPSON, HITACHI
[Fn] + [F10]	FUJITSU

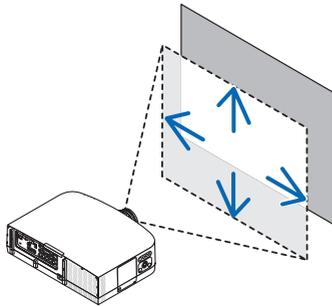
- ※ 詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。
- ・ Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。
 - ・ それでも投写しない場合は（入力切替）ボタンをもう一度押してください。
(33 ページ)

2-5. 投写画面の位置と大きさを調整する

レンズシフトやチルトフット、ズームレバー／ズームリング、フォーカスリングなどを操作して、投写画面の位置や大きさを調整します。

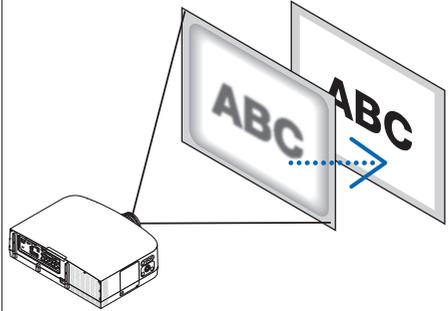
投写画面の上下・左右位置の調整

【レンズシフト】 (▶ 次ページ)



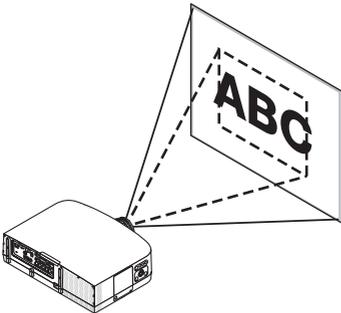
投写画面のフォーカス調整

【フォーカスリング】 (▶ 38 ページ)



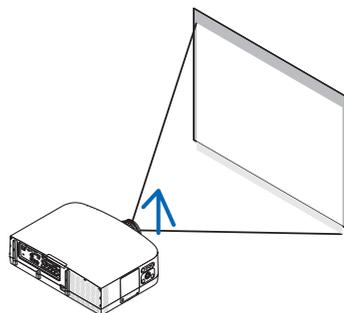
投写画面の大きさの調整

【ズームレバー／ズームリング】 (▶ 40 ページ)



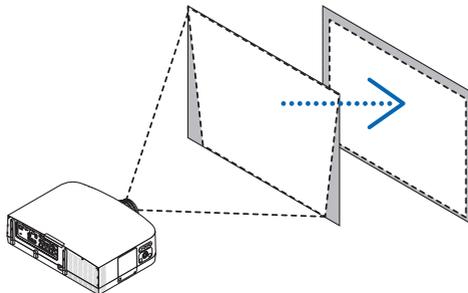
投写画面の高低と左右の傾き調整 (注 1)

【チルトフット】 (▶ 40 ページ)



投写画面の台形歪み補正【台形補正】

(▶ 42 ページ)



(注 1) チルトフットによる投写画面の高低の調整は、レンズシフトの範囲よりも高い位置に投写する場合に行ってください。

※ここでは、本機に接続しているケーブル類を省略したイラストにしています。

投写画面の位置の調整（レンズシフト）



注意

調整はプロジェクターの後ろまたは横から行ってください。前面で調整すると強い光が目に入り、目を痛める原因となります。

1 レンズシフトダイヤルを左右に回す。

上下ダイヤル

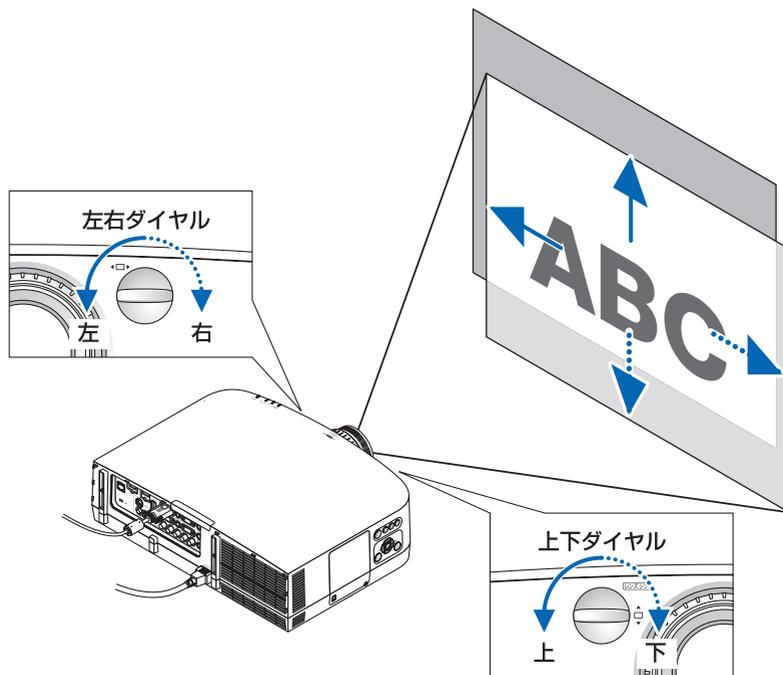
左右へ回して投写位置の上下方向を調整します。

回転の目安：レンズが中心位置にあるときは左へ約 6 回転、右へ約 2 回転

左右ダイヤル

左右へ回して投写位置の左右方向を調整します。

回転の目安：レンズが中心位置にあるときは左へ約 1 回転、右へ約 1 回転



2

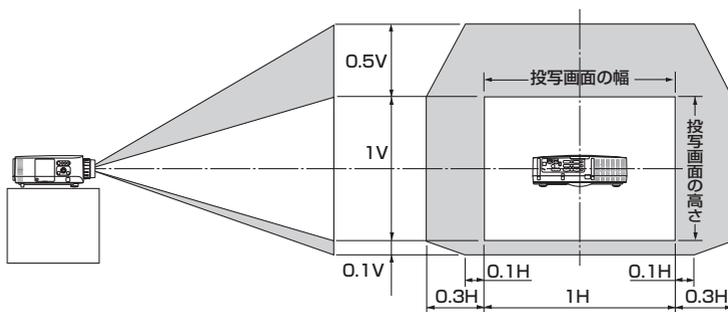
映像を投写する（基本操作）

注意

- ダイヤルは 1 回転以上回すことができます。ただし、投写位置を次ページの範囲を超えて移動することはできません。
- レンズシフトを斜め方向へ最大にすると、画面周辺が暗くなったり、影が出たりします。
- 上下方向のレンズシフトは画面が上がる方向で調整を終えてください。画面が下がる方向で調整を終えた場合、ズームやフォーカス調整を行う際や大きな震動が加わった際に画面が少し下がる場合があります。
- 別売のレンズユニット「NP11FL」をお使いの場合、レンズシフト機能を利用することはできません。

参考

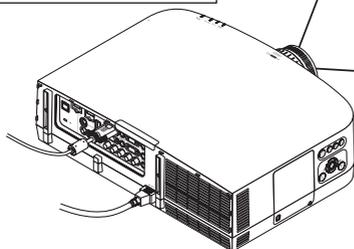
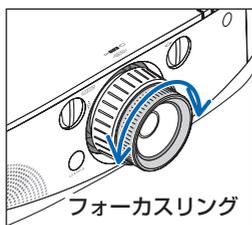
- 下図は NP-PA600XJL/NP-PA500XJL のレンズシフト調整範囲（投写方式：デスク／フロント）を示しています。これ以上投写位置を上げたいときはチルトフットを使います。（40 ページ）
- NP-PA550WJL/NP-PA500UJL および天吊り／フロント投写のレンズシフト調整範囲は 242 ページをご覧ください。



投写画面のフォーカス合わせ（フォーカスリング）

● 適応レンズユニット；NP12ZL/NP13ZL/NP14ZL/NP15ZL

- 1 フォーカスリング左右に回してピントを合わせる。



●適応レンズユニット：NP11FL

NP11FL レンズユニットはフォーカス合わせと画面歪みを調整します。

準備：本体のレンズシフトダイヤル（左右・上下）を回してレンズシフトをセンターに戻してください。

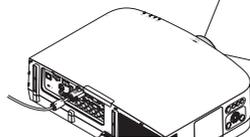
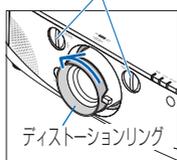
レンズセンターの目安（投写方式：デスク／フロントで説明しています。）

左右ダイヤル：一度左端までダイヤルを回し、そこからさらに回してノブを水平にします。
その位置からダイヤルを1回転時計方向に回します。

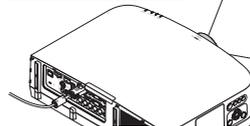
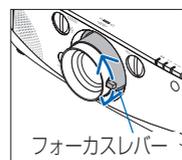
上下ダイヤル：一度下端までダイヤルを回し、そこからさらに回してノブを水平にします。
その位置からダイヤルを2回転反時計方向に回します。

- 1** ディストーションリングを左端に回す。

レンズシフトダイヤル

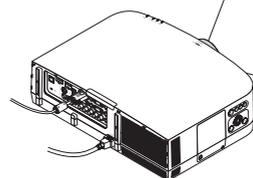
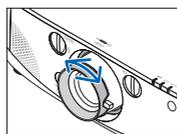


- 2** フォーカスレバーを左右に回して画面中央のフォーカスを合わせる。



- 3** ディストーションリングで画面の歪みを補正する

（併せて、画面周辺のフォーカスが合ってきます。）



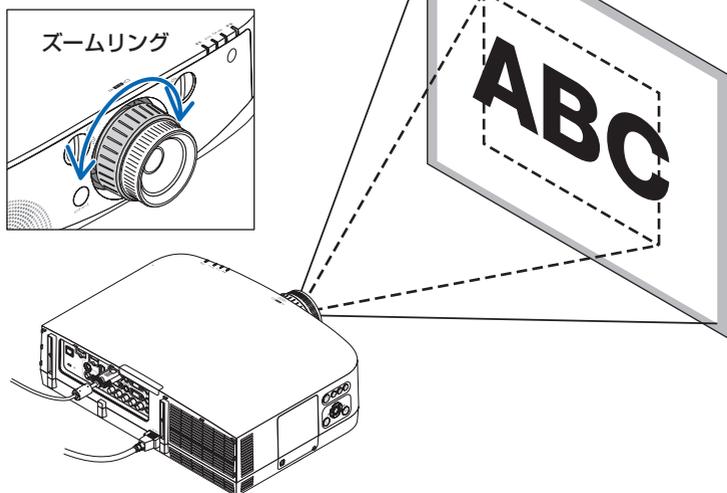
- 4** フォーカスレバーで画面全体のフォーカスを合わせる。

※画面中央のフォーカスが合わない場合ディストーションリングを左に少し回すとフォーカスレバーで画面中央のフォーカスが取れるようになります。

投写画面の大きさの調整（ズームレバー／ズームリング）

1 ズームレバーまたはズームリングを左右に回す。

- ・別売のレンズユニット「NP11FL」にズームリングはありません。



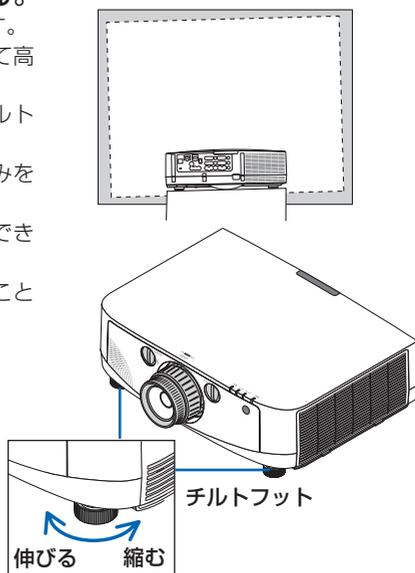
投写画面の高低と左右の傾き調整（チルトフット）

1 左右のチルトフットを回して調整する。

チルトフットを回すとチルトフットが伸縮します。投写画面の高低は左右のチルトフットを回して高さ調整をします。

投写画面が傾いているときは、どちらかのチルトフットを回して水平に調整します。

- ・投写画面が歪んでいるときは「2-6. 台形歪みを調整する」(42 ページ) をご覧ください。
- ・チルトフットは、最大 20mm 伸ばすことができます。
- ・チルトフットにより、本機を最大 4° 傾けることができます。



注意

- チルトフットは 20mm 以上伸ばさないでください。20mm を超えるとチルトフットの取り付け部分が不安定になり、チルトフットが本体から外れます。
- チルトフットは、本機の投写角度調整以外の用途には使用しないでください。チルトフット部分を持って運んだり、壁に掛けて使用するなどの誤った取り扱いをすると、故障の原因となります。

2-6. 台形歪みを調整する

本機を正しい投写角度に設置していないと投写画面が台形状に歪みます。この歪みを調整するのが台形補正です。ここでは台形補正画面を操作して、投写画面の台形歪みを調整する手順を説明します。

スクリーンに向かって斜め横から投写した場合は、投写画面の上下の辺が平行になるように、台形補正画面の「水平」で調整してください。

1 リモコンまたは本体の (3D REFORM) ボタンを押す。

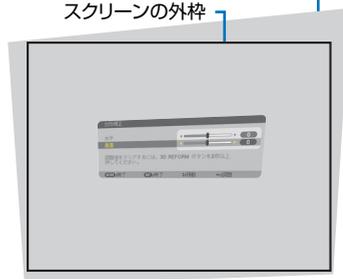
投写画面に台形補正画面が表示されます。



2 ▼ ボタンを押して「垂直」にカーソルを合わせ、◀▶ ボタンを押して左右の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（垂直）を調整します。

投写画面の外枠
スクリーンの外枠



3 スクリーンと投写画面の左辺または右辺を合わせる。

- ・ 投写画面の左辺と右辺を比べ、長さが短いほうの辺を合わせます。
- ・ 右の図のような台形歪みの場合は、左辺を合わせます。

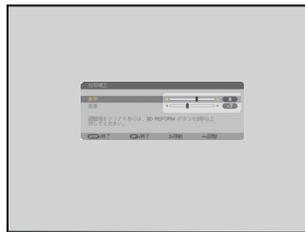
(左辺を合わせる)



4 ▲ ボタンを押して「水平」にカーソルを合わせ、◀▶ ボタンを押して上下の辺を平行にする。

投写画面の台形歪み（水平）を調整します。

- ・ 右の図のように左辺を合わせた場合は、▶ ボタンを押します。

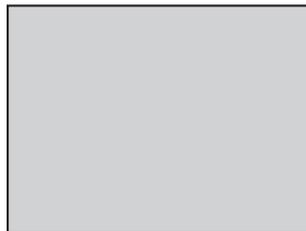


5 手順**2**～**4**を繰り返し、台形歪みを調整する。

6 台形歪みの調整が終わったら、◀ 戻る ボタンを押す。

台形補正画面が消え、台形補正が決定されます。

- ・ 再び台形歪みを調整する場合は、◀ **3D REFORM** ボタンを押して台形補正画面を表示し、上の手順**1**～**6**を行ってください。



参考

- 台形補正は、オンスクリーンメニューのセットアップ→ベーシック→台形補正からも行えます (▶ [129 ページ](#))

注意

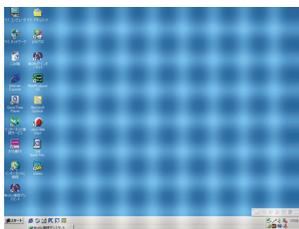
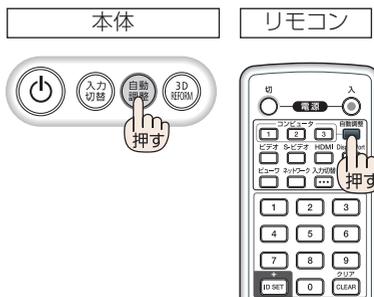
- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の台形補正の調整値を保持しています。
- 手順**2**において、投写画面の範囲内にスクリーンの外枠がすべて含まれるように、本機の設置位置を調整してください。
- 台形歪みの調整値をクリアする場合は、◀ **3D REFORM** ボタンを2秒以上押してください。
- 台形補正画面が表示されているときに◀ **3D REFORM** ボタンを押すと、4点補正画面に切り替わります。また、4点補正画面が表示されているときに◀ **3D REFORM** ボタンを押すと、メニューが消えます。4点補正画面の操作については、「3-6. 台形歪みを調整する（4点補正）」(▶ [54 ページ](#))をご覧ください。
- 台形補正画面で調整しているとき、または幾何学補正を設定しているとき、4点補正画面は表示されません。4点補正を行う場合は、◀ **3D REFORM** ボタンを2秒以上押して台形補正の調整値をクリアしてください。また、4点補正画面で調整しているとき、または幾何学補正を設定しているとき、台形補正画面は表示されません。台形補正を行う場合は、◀ **3D REFORM** ボタンを2秒以上押して4点補正の調整値をクリアしてください。
- 台形補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

2-7. コンピュータの映像を自動調整する

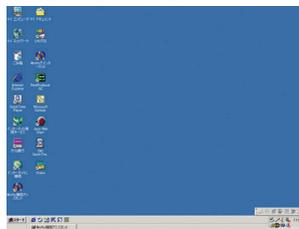
コンピュータ1、コンピュータ2およびコンピュータ3の信号を投写している場合、投写画面の端が切れていたり、映りが悪いときに、ワンタッチで画質を調整します。

1 自動調整 ボタンを押す。

しばらくすると投写画面の表示が自動調整されます。



【映りが悪い画面の例】



【自動調整後の画面の例】

参考

- 自動調整を行っても表示位置がずれていたたり、画面に縦縞が出たりして映りが悪い場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数、位相、水平、垂直で画面の調整を行ってください。(▶ 122, 123 ページ)
- コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、256 ページを参照してください。

2-8. 本機の音量を調整する

本機の内蔵スピーカの音量、および音声出力端子から出力されている音声信号の音量を調整します。

本体の操作ボタンで調整する

- 1 オンスクリーンメニューが表示されていないときに、(◀/▶) ボタンを押す。

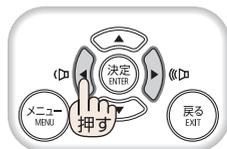
音量調整バーが表示されます。

◀側…音量が大きくなります。

▶側…音量が小さくなります。

注意

- オンスクリーンメニューが表示されているとき、(部分拡大+) ボタンで画面を拡大しているとき、ビューワ端子表示中、およびネットワーク端子表示中は、(◀/▶) ボタンを使った音量調整はできません。



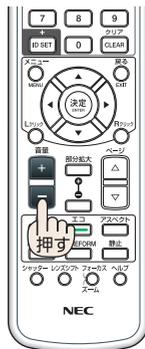
リモコンを使って調整する

- 1 リモコンの (音量 +/-) ボタンを押す。

音量調整バーが表示されます。

+側…音量が大きくなります。

-側…音量が小さくなります。



2

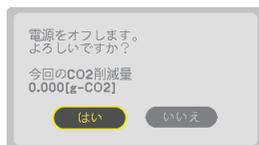
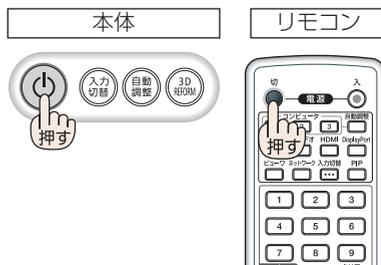
映像を投写する(基本操作)

2-9. 本機の電源を切る

1 電源ボタンを押す。

画面に電源オフ確認メッセージが表示されます。

- 電源オフ確認メッセージには今回のCO₂削減量を表示します。(51 ページ)
- リモコンで操作する場合は、電源(切)ボタンを押します。



2 決定ボタンを押す。

ランプが消灯し、電源が切れスタンバイ状態になります。

スタンバイ状態になると、電源インジケータがオレンジ色で点灯します。また、ステータスインジケータが緑色で点灯します。(いずれもスタンバイモードが「ノーマル」に設定されているとき)

- 決定) ボタンの代わりに、電源(切)ボタンまたは電源(切)ボタンを押しても、電源が切れます。
- 電源を切らない場合は、左右) ボタンで「いいえ」を選んで決定) ボタンを押します。



注意

投写中および冷却ファン回転中に AC 電源を切断したときは、一時的に本体が高温になることがあります。取り扱いに注意してください。



注意

- 電源インジケータが青色で短い点滅をしているときは電源を切る操作をしても電源は切れません。
- 電源を入れてスクリーンに映像が投写されてからの約 1 分間は、電源を切ることができません。
- 投写中および冷却ファンの回転中に、AC 電源を切断する場合は、本機の電源を入れたあと(投写開始後) 20 分以上経過してから行ってください。
- 投写中は、本機やコンセントから電源コードを抜かないでください。本機の AC IN 端子や電源プラグの接触部分が劣化するおそれがあります。投写中に AC 電源を切断する場合は、テーブルタップのスイッチ、ブレーカなどを利用してください。
- 各種の調整を行い調整画面を閉じたあと約 10 秒間は、AC 電源を切断しないでください。この間に AC 電源を切断すると、調整値が初期化されることがあります。

2-10. あとかたづけ

- 1 電源コードを取り外す。
- 2 各種信号ケーブルを取り外す。
 - ・ 本機に USB メモリを挿している場合は取り外してください。
- 3 レンズにレンズキャップを取り付ける。
- 4 移動させるとき、チルトフットを伸ばしていたら、もとに戻す。

3. 便利な機能

3-1. 映像と音声を消去する (AV ミュート)

1 リモコンの (AVミュート) ボタンを押す。

投写されている映像と、内蔵スピーカ、音声出力端子から出力されている音声、およびピープ音が一時的に消えます。

また、AVミュートにしてしばらくすると、節電機能が働き、ランプ電力が低下します。

- もう一度 (AVミュート) ボタンを押すと、映像と音声が出ます。



注意

- 節電機能が働いた直後に (AVミュート) ボタンを押すと、すぐに明るさが戻らない場合があります。

参考

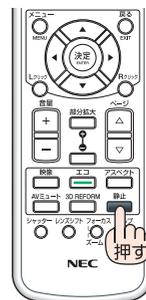
- 映像は消えますが、メニュー表示は消えません。

3-2. 動画を静止画にする (静止)

1 リモコンの (静止) ボタンを押す。

DVD プレーヤの映像を投写しているときなど、動画が静止画になります。

- もう一度 (静止) ボタンを押すと、動画に戻ります。



参考

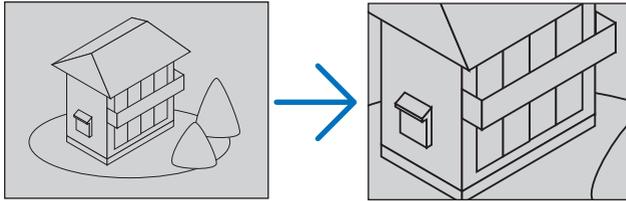
- (静止) ボタンを押すと、押すときに投写されていた映像を本機のメモリに保存し、メモリ内の映像 (静止画) を投写します。静止画表示中、DVD プレーヤなどの映像再生は先に進行しています。

3-3. 映像の一部を拡大する (部分拡大)

1 リモコンの(部分拡大+)ボタンを押す。

押すごとに映像が拡大します。

- ・最大4倍まで拡大できます。



2 ▼▲◀▶ボタンを押す。

拡大した映像の表示領域が移動します。

3 (部分拡大-)ボタンを押す。

押すごとに映像が縮小します。

- ・もとのサイズに戻ると、それ以上押しでも縮小されません。



3

便利な機能

注意

- 信号によっては、4倍まで拡大できない場合があります。

参考

- 拡大および縮小は、画面中央を中心にして拡大および縮小します。
- 映像を拡大しているときにオンスクリーンメニューを表示すると、拡大は解除されます。

3-4. エコモードと省エネ効果

エコモードを設定すると、本機の CO₂ 排出量を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間(目安)*を延ばすことにもなります。

エコモードの設定 (メニュー下部のアイコン表示)	ランプの輝度
オフ (表示なし)	ランプの輝度 (明るさ) が 100% になります。 明るい画面になります。
オン ()	ランプの輝度 (明るさ) が約 80% になります。 ランプ交換時間 (目安)* が延びます。 ランプの輝度 (明るさ) が下がるのと連動し、冷却ファンの回転数も下がります。

※保証時間ではありません。

エコモードに切り替える

1 リモコンの(エコ)ボタンを1回押す。

エコモード選択画面が表示されます。



2 さらに(エコ)ボタンを押して選択し、

(決定)ボタンを押す。

(エコ)ボタンを押すごとにオンとオフが交互に切り替わります。

(決定)ボタンを押すとエコモード選択画面が消えて、選択したモードに切り替わります。



参考

- オンスクリーンメニューのセットアップ→ベーシック→エコモードでも切り替えることができます。
- 電源を入れたとき、エコモードの設定状態を画面表示で知らせるエコメッセージ機能があります。オンスクリーンメニューのセットアップ→メニュー設定→エコメッセージで設定します。(▶ 131 ページ)
- ランプ残量/ランプ使用時間については、オンスクリーンメニューの情報→使用時間で確認できます。(▶ 145 ページ)
- 電源を入れた直後の約90秒間は、常にエコモードになります。また、この間はエコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。
- 本機に入力信号がない状態(ブルーバック、ブラックバック、またはロゴ表示のとき)のまま約1分経過すると、自動的にエコモードに切り替わります。その後、本機が入力信号を感知するとエコモードはもとの設定状態に戻ります。

- 室温が高いことにより本機内部の温度が上昇すると、一時的にランプの輝度（明るさ）を下げることがあります。これは、本機の保護機能の一つで「強制エコモード」と呼びます。

強制エコモードになると、画面が少し暗くなり、温度インジケータがオレンジ色に点灯しメニュー画面の右下に「」アイコンが表示されます。

室温を下げたり、ファンモード（[139 ページ](#)）を「高速」に設定したりすることにより、本機内部の温度が下がると、強制エコモードは解除され、エコモードはもとの設定状態に戻ります。

強制エコモード中は、エコモードの設定を変更しても、状態は変わりません。

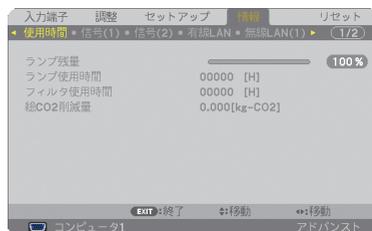


省エネ効果を見る（カーボンメータ）

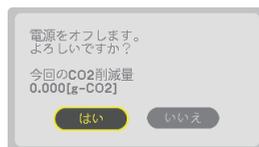
本機のエコモードを「オン」に設定している期間の省エネ効果を CO₂ 排出削減量で表示します。この表示を「カーボンメータ」と呼びます。

表示には「総 CO₂ 削減量」と「今回の CO₂ 削減量」があります。

「総 CO₂ 削減量」は本機の工場出荷時から現在までの CO₂ 削減量 (kg) を累積し、メニューの情報→使用時間に表示します。（[145 ページ](#)）



「今回の CO₂ 削減量」は電源を入れてエコモードに切り替わってから電源を切るまでの CO₂ 削減量 (g) を、電源オフ時に表示される電源オフ確認メッセージ内に表示します。



参考

- CO₂ 排出削減量は、エコモードを「オフ」に設定して使用したときの消費電力量（推定）から、実際に使用したときの消費電力量（推定）を差し引き、CO₂ 排出係数を掛けて算出*します。
エコモードを設定して使用したり AV ミュートをを使用すると、CO₂ 排出削減量の値は増加します。
* CO₂ 削減量は、OECD（経済協力開発機構）から出版されている“CO₂ Emissions from Fuel Combustion (2008 Edition)”に基づいて算出しています。
- 「総 CO₂ 削減量」は 15 分単位で記録された値をもとにしています。
- スタンバイモードなどエコモードの設定に左右されない消費電力は計算から除外します。

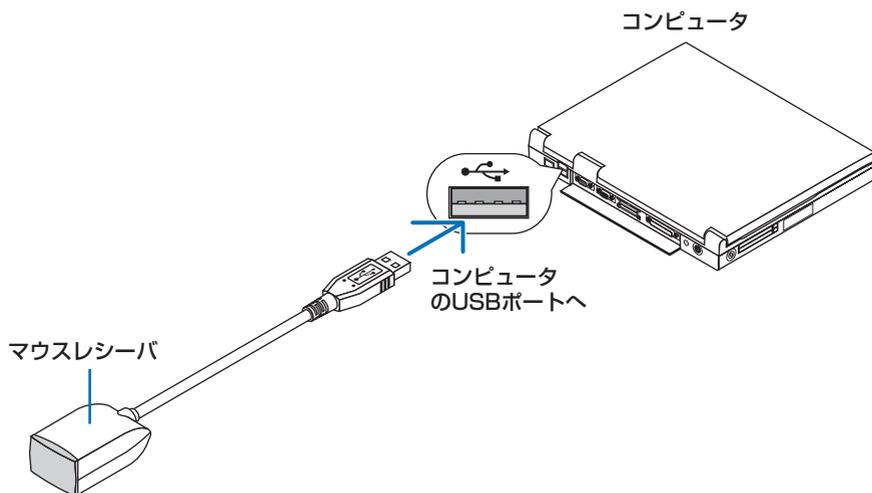


3-5. 別売のマウスレシーバを接続して本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行う

別売のマウスレシーバ（形名 NP01MR）をコンピュータに接続すると、本機のリモコンでコンピュータのマウス操作を行うことができます。

マウスレシーバの接続

マウスレシーバのプラグを、コンピュータのUSBポート（タイプA）に差し込みます。



注意

- マウスレシーバは、次の OS において使用できます。
Windows 7/Windows Vista/Windows XP
Mac OS X10.0.0 以降
- Windows XP の SP2 より前のバージョンで使用する場合は、「マウスのプロパティ」内の「ポインタオプション」タブの「ポインタの精度を高める」のチェックボックスをオフに設定してください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの (ページ▽/△) ボタンは動きません。
- コンピュータの USB ポートからマウスレシーバのプラグを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、コンピュータがマウスレシーバを正しく認識できないことがあります。

リモコンを使ったコンピュータのマウス操作

リモコンで以下のマウス操作ができます。

- ・ (ページ ▽/△) ボタン 画面を上下にスクロールしたり、PowerPoint の画面を切り替えます。
- ・ (▼▲◀▶) ボタン マウスポインタを移動します。
- ・ (マウス L クリック) ボタン マウスの左クリックの働きをします。
- ・ (マウス R クリック) ボタン マウスの右クリックの働きをします。

注意

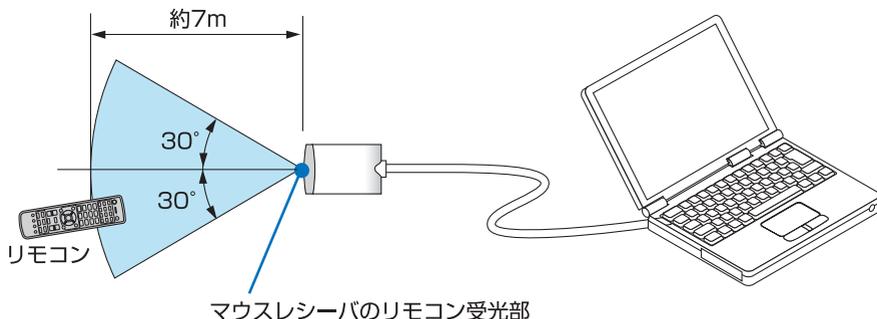
- 本機のオンスクリーンメニューを表示しているときに (▼▲◀▶) ボタンでコンピュータのマウス操作を行うと、メニューとマウスポインタの両方が動作します。オンスクリーンメニューを消した状態でマウス操作を行ってください。
- Mac OS 用の PowerPoint を使用しているときは、リモコンの (ページ ▽/△) ボタンは動きません。

参考

- マウスポインタの動く速さは、Windows の「マウスのプロパティ」で調節することができます。詳しくは、コンピュータのオンラインヘルプまたは取扱説明書をご覧ください。
- 本機のリモコンでドラッグ・アンド・ドロップを行えます。
 - ① マウスポインタでアイコンを選択する。
 - ② (マウス L クリック) (または (マウス R クリック)) ボタンを 2 ～ 3 秒以上押し続けて離す。
ドラッグモードになります。
 - ③ (▼▲◀▶) ボタンを押す。
選択したアイコンが移動します。
 - ④ (マウス L クリック) (または (マウス R クリック)) ボタンを押す。
アイコンがドラッグ・アンド・ドロップされます。
 - ・ ドラッグモードを解除するには、(マウス R クリック) (または (マウス L クリック)) ボタンを押します。

リモコンの有効範囲

リモコン送信部をマウスレシーバのリモコン受光部に向けてリモコンを操作してください。おおよそ次の範囲内でリモコン信号が受信できます。



3-6. 台形歪みを調整する（4点補正）

4点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。



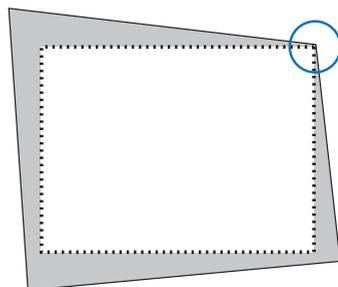
- NP-PA600XJL/NP-PA500XJL の場合、オンスクリーンメニューのスクリーン設定で「16:9 スクリーン」または「16:10 スクリーン」が選択されているときに4点補正を表示すると、16:9 または 16:10 の画面を表す線が表示されます。この線の外側に表示される四角形の角を選択して調整してください。
NP-PA550WJL/NP-PA500UJL の場合は、オンスクリーンメニューのスクリーン設定で「4:3 スクリーン」が選択されているときに4点補正を表示すると、4:3 の画面を表す線が表示されます。

1 (3D REFORM) ボタンを2秒以上押す。

台形補正または4点補正の調整値がクリアされます。

2 スクリーンがすべて含まれるように、投写画面の範囲を調整する。

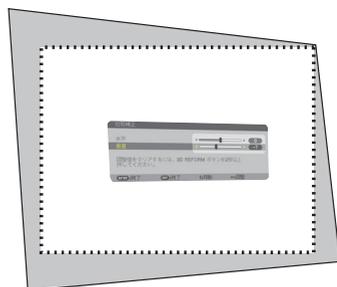
3 スクリーンと投写画面の角を合わせる（図は右上の角）。



4 (3D REFORM) ボタンを押す。

台形補正画面が表示されます。

- ・ 台形補正画面の操作については、「2-6. 台形歪みを調整する」(42 ページ)をご覧ください。



5 もう一度(3D REFORM) ボタンを押す。

4点補正画面に切り替わります。

注意

- すでに台形補正画面で調整しているとき、または幾何学補正を設定しているとき、4点補正画面は表示されません。表示されない場合は、(3D REFORM) ボタンを2秒以上押して台形補正の調整値をクリアしてください。



6 (▼▲◀▶) ボタンを押して、画面の外枠を動かしたい角の「▲」を選ぶ(図は左上の▼)。

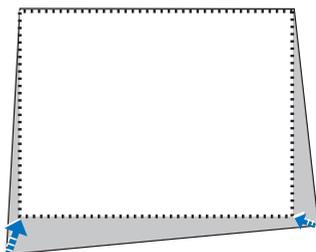
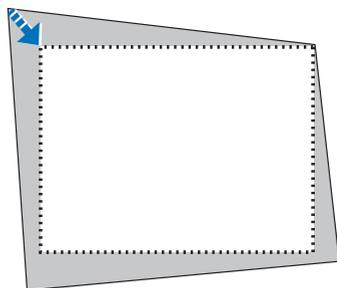
7 (決定) ボタンを押す。

8 (▼▲◀▶) ボタンを押して、投写画面の角がスクリーンの角に近付くように動かす。

9 (決定) ボタンを押す。

10 (▼▲◀▶) ボタンを押して、別の角の「▲」を選ぶ。

11 手順**7**～**10**を繰り返し、台形歪みを調整する。



12 台形歪みの調整が終わったら、4点補正画面で「終了」を選んで、(決定) ボタンを押す。

調整終了画面が表示されます。



13 ◀▶ ボタンを押して「確定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

4点補正の調整が確定されます。

- ・「取消」を選択して(決定)ボタンを押すと、4点補正画面に戻ります。

注意

- 本機の電源を入れたとき、本機の傾きを変えても前回使用時の4点補正の調整値を保持しています。
- 4点補正の調整値をクリアする場合は、手順18で「リセット」を選び、(決定)ボタンを押します。または、4点補正画面で(3D REFORM)ボタンを2秒以上押します。
- 4点補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が現れる場合があります。

参考

- 4点補正および台形補正での調整範囲は次のとおりです。

● 対応機種 NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/NP-PA550WJL

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 ±約 40度	最大 ±約 30度
台形補正		

● 対応機種 NP-PA500UJL

	水平方向	垂直方向
4点補正	最大 ±約 35度	最大 ±約 30度
台形補正		

上記の最大調整範囲の条件（以下のすべてを満たす場合）

- ・ NP13ZL レンズを使用している場合。
- ・ レンズシフトの位置がセンターの場合。
レンズシフトを使用し、センターでない場合は調整範囲が増減します。
- ・ ズームリングをワイド側に最大にした場合。

3-7. 2つの映像を同時に投写する

本機1台で2つの映像を同時に投写することができます。この機能には「ピクチャーインピクチャー機能」と「ピクチャーバイピクチャー機能」があります。

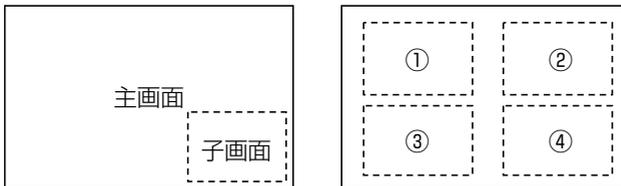
1画面表示の投写映像を主画面（MAIN）、あとから呼び出した投写映像を子画面または副画面（SUB）と呼びます。

どちらの機能で投写するかは、オンスクリーンメニューのセットアップ→ベーシック→PIP/PICTURE BY PICTURE→PIP/PBPモードで選択できます（工場出荷状態は子画面設定です）。（[129ページ](#)）

- ・電源を入れたときは1画面投写です。

●ピクチャーインピクチャー機能

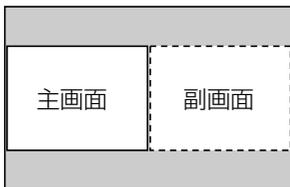
主画面の中に小さな子画面を表示します。



- ・子画面は、スクリーンの左上、右上、右下および左下の4つの位置から1つ選んで表示できます（大きさは固定）。

●ピクチャーバイピクチャー機能

主画面と副画面を左右に並べて表示します。



- ・主画面は左側に固定され、副画面との入れ替えはできません。

●主画面および子画面（または副画面）にできる信号

主画面および子画面（または副画面）は次の信号を投写します。

主画面	コンピュータ1、コンピュータ2、コンピュータ3
子画面（または副画面）	ビデオまたはS-ビデオ映像入力端子

- ・主画面は、1280×1024ドット以下のコンピュータ信号に対応しています。

2 画面を投写する

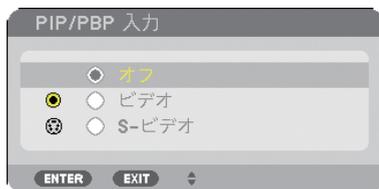
1 リモコンの (PIP) ボタンを押す。

PIP/PBP 入力画面を表示します。

2 (▼▲) ボタンで入力信号を選択し、(決定) ボタンを押す。

PIP/PBP モードで設定している「PIP」(ピクチャーインピクチャー) または「PICTURE BY PICTURE」(ピクチャーバイピクチャー) 画面が投写されます。(▶ 129 ページ)

- 信号名が薄く表示されているときは、選択できないことを表しています。
- (PIP) ボタンを続けて押しても信号の選択ができます。



3 1 画面に戻りたい場合は、もう一度リモコンの (PIP) ボタンを押す。

参考

- 入力信号を切り替えると 1 画面投写に戻ります。
- 2 画面を投写中、主画面または子画面 (副画面) に対応していない信号が入力された場合は 1 画面に戻ります。

ピクチャーインピクチャー画面の表示位置を選択する

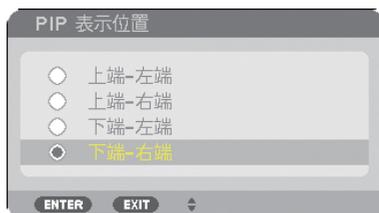
1 オンスクリーンメニューから PIP/PICTURE BY PICTURE を表示する。

注意

- PICTURE BY PICTURE 画面は、オンスクリーンメニューのセットアップ→ベーシック→PICTURE BY PICTURE で表示できます。オンスクリーンメニューについて詳しくは、本書の「5. オンスクリーンメニュー」(▶ 106 ページ) をご覧ください。

2 (▼▲) ボタンで「PIP 表示位置」を選択し、(決定) ボタンを押す。

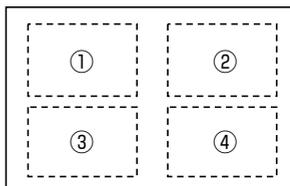
PIP 表示位置画面が表示されます。



3 **▼/▲** ボタンで選択したい項目にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

- ・ 上端 - 左端…子画面を右図の①に表示する。
- ・ 上端 - 右端…子画面を右図の②に表示する。
- ・ 下端 - 左端…子画面を右図の③に表示する。
- ・ 下端 - 右端…子画面を右図の④に表示する。

PIP 表示位置が設定されます。



PIP 表示位置画面が消え、PIP/PICTURE BY PICTURE 画面に戻ります。

4 **メニュー** ボタンを押す。

オンスクリーンメニューが消えます。

制限事項

- 次の操作は、主画面のみ有効です。
 - ・ 映像または音声の各種調整
 - ・ **部分拡大 +/-** ボタンによる映像の拡大／縮小
- 次の操作は、主画面および子画面（または副画面）の両画面で有効です。個別に適用することはできません。
 - ・ 画像 / 音声の一時的な消去
 - ・ 動画の一時停止

3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

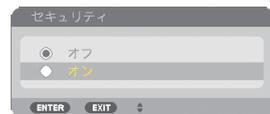
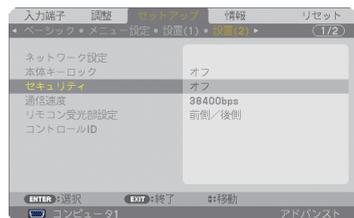
セキュリティを有効に設定すると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ投写できなくなります。

注意

- セキュリティは、リセットでは解除されません。

セキュリティを有効にする

- 1** **(メニュー)** ボタンを押す。
オンスクリーンメニュー画面が表示されます。
- 2** **(▶)** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
「ベーシック」にカーソルが移動します。
- 3** **(▶)** ボタンを押して「設置 (2)」にカーソルを合わせる。
- 4** **(▼)** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **(▼)** ボタンで「オン」を選択し、**(決定)** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** **(▼▲▶)** ボタンの組み合わせでセキュリティキーワードを入力し、**(決定)** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティキーワードは4個以上10個以下の組み合わせで設定してください。



重要

- セキュリティキーワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。

セキュリティキーワードの再入力画面が表示されます。



- 7** **6**で設定したセキュリティキーワードを再入力し、**決定**ボタンを押す。

確認画面が表示されます。



- 8** **戻る**ボタンで「はい」を選択し、**決定**ボタンを押す。

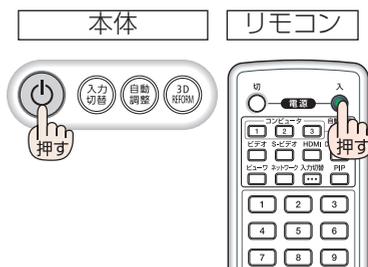
セキュリティが有効になります。

セキュリティを有効にしているときの電源の入れかた

- 1** **電源**ボタンを押す。

・リモコンで操作する場合は、電源**入**ボタンを押します。

本機の電源が入り、「セキュリティロック中です。キーワードを入力してください。」のメッセージが表示されます。



- 2** **メニュー**ボタンを押す。

セキュリティキーワード入力画面が表示されます。



- 3** セキュリティキーワードを入力し、**決定**ボタンを押す。

入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。

セキュリティロックが一時的に解除され、選択している信号が投写されます。

**注意**

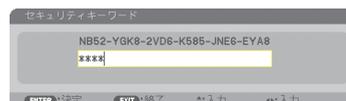
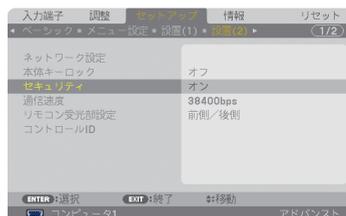
- セキュリティロックの解除状態は、AC電源を切断するまで保持されます。

3

便利な機能

セキュリティを無効にする

- 1** **メニュー** ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
- 2** **▶** ボタンで「セットアップ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
「ベーシック」にカーソルが移動します。
- 3** **▶** ボタンを押して「設置 (2)」にカーソルを合わせる。
- 4** **▼** ボタンを押して「セキュリティ」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
セキュリティ設定画面に変わります。
- 5** **▲** ボタンで「オフ」を選択し、**決定** ボタンを押す。
セキュリティキーワード入力画面が表示されます。
- 6** セキュリティキーワードを入力し、**決定** ボタンを押す。
入力したセキュリティキーワードは「*」で表示されます。
セキュリティが無効になります。



- キーワードを忘れてしまいセキュリティを解除できなくなった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター ([▶ 裏表紙](#)) にご連絡ください。

3-9. HTTP を使用したウェブブラウザによる操作

概要

HTTP サーバ機能では次の設定や操作が行えます。

- (1) 本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続するための設定を行います（NETWORK SETTINGS）。
無線 LAN を利用する場合は、あらかじめ別売の無線 LAN ユニットをお買い求めのうえ、本機に装着してください。（🔗 185 ページ）
有線 LAN / 無線 LAN の設定をする場合は、本機とコンピュータを市販の LAN ケーブルで接続してください。（🔗 184 ページ）
- (2) メール通知の設定を行います（ALERT MAIL）。
本機をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）に接続しているときに、ランプの交換時期や各種エラーを、設定したメールアドレスへ通知します。
- (3) 本機の操作を行います。
本機の電源のオン/オフ、入力端子の切り替え、音量調整、映像調整などが行えます。
- (4) PJLink PASSWORD や AMX BEACON などの設定を行います。

HTTP サーバ機能へのアクセスは、次の 2 つの方法があります。

- 本機とネットワークで接続されたコンピュータでウェブブラウザを起動し、アドレスまたは URL の入力欄へ `http://〈本機の IP アドレス〉/index.html` と指定する。
- 添付の NEC Projector CD-ROM に収録している Image Express Utility Lite または Image Express Utility 2.0 を使用する。

参考

- 工場出荷時の IP アドレス設定は、DHCP が「オン」になっています。

注意

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- ご使用のネットワーク環境によっては、表示速度やボタンの反応が遅くなったり、操作を受け付けなかったりすることがあります。その場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。
また続けてボタン操作を行うとプロジェクターが応答しなくなることがあります。その場合はしばらく待ってから再度操作を行ってください。しばらく待っても応答がない場合は、本機の電源を入れなおしてください。
- ウェブブラウザでネットワーク設定画面が表示されない場合は、Ctrl +F5 キーを押してウェブブラウザの画面表示を更新してください。
- 本機は「JavaScript」および「Cookie」を利用していますので、これらの機能が利用可能な設定をブラウザに対して行ってください。設定方法はバージョンにより異なりますので、それぞれのソフトにあるヘルプなどの説明を参照してください。

使用前の準備

ウェブブラウザによる操作を行う前にあらかじめ本機に市販の LAN ケーブルを接続してください。(▶ 184 ページ)

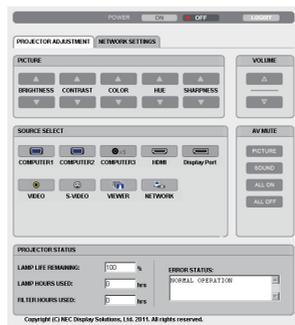
プロキシサーバの種類や設定方法によっては、プロキシサーバを経由したウェブブラウザ操作ができないことがあります。プロキシサーバの種類にもよりますがキャッシュの効果により実際に設定されているものが表示されない、ウェブブラウザから設定した内容が反映しないなどの現象が発生することがあります。プロキシサーバはできるだけ使用しないことを推奨します。

ウェブブラウザによる操作のアドレスの扱い

ウェブブラウザによる操作に際しアドレスまたは URL 欄に入力する実際のアドレスについてネットワーク管理者によってドメインネームサーバへ本機の IP アドレスに対するホスト名が登録されている場合、または使用しているコンピュータの「HOSTS」ファイルに本機の IP アドレスに対するホスト名が設定されている場合には、ホスト名がそのまま利用できます。

- (例 1) 本機のホスト名が「pj.nec.co.jp」と設定されている場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
<http://pj.nec.co.jp/index.html> と指定します。
- (例 2) 本機の IP アドレスが「192.168.73.1」の場合
ネットワーク設定へのアクセスはアドレスまたは URL の入力欄へ
<http://192.168.73.1/index.html> と指定します。

プロジェクター調整

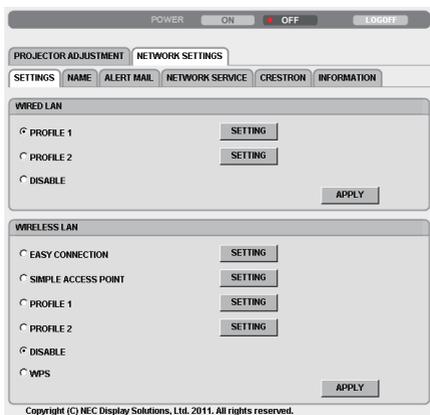


次ページに続く

POWER	本機の電源をオン/オフします。 ON 電源をオンにします。 OFF 電源をオフにします。
VOLUME	本機の音量をコントロールします。 ▲ 音量調整値をアップします。 ▼ 音量調整値をダウンします。
AV-MUTE	本機の MUTE をコントロールします。 PICTURE 映像をミュート（一時的に消去）します。 PICTURE  映像ミュートを解除します。 SOUND 音声をミュート（一時的に消去）します。 SOUND  音声ミュートを解除します。 ALL ON 映像と音声をミュート（一時的に消去）します。 ALL OFF 映像と音声のミュートを解除します。
PICTURE	本機の映像調整をコントロールします。 BRIGHTNESS ▲ 明るさの調整値をアップします。 BRIGHTNESS ▼ 明るさの調整値をダウンします。 CONTRAST ▲ コントラストの調整値をアップします。 CONTRAST ▼ コントラストの調整値をダウンします。 COLOR ▲ カラーの調整値をアップします。 COLOR ▼ カラーの調整値をダウンします。 HUE ▲ 色相の調整値をアップします。 HUE ▼ 色相の調整値をダウンします。 SHARPNESS ▲ シャープネスの調整値をアップします。 SHARPNESS ▼ シャープネスの調整値をダウンします。
※ 本機に入力されている信号によって、コントロールできる機能が変わります。詳しくは「5-4 調整」の「明るさ/コントラスト/シャープネス/カラー/色相」( 122 ページ)をご覧ください。	
SOURCE SELECT	本機の入力端子を切り替えます。 COMPUTER 1 コンピュータ 1 映像入力に切り替えます。 COMPUTER 2 コンピュータ 2 映像入力に切り替えます。 COMPUTER 3 コンピュータ 3 映像入力に切り替えます。 HDMI HDMI 映像入力に切り替えます。 DisplayPort DisplayPort 映像入力に切り替えます。 VIDEO ビデオ映像入力に切り替えます。 S-VIDEO S-ビデオ映像入力に切り替えます。 VIEWER 本機にセットした USB メモリのデータ表示に切り替えます。 NETWORK ネットワークから送られてくるデータ表示に切り替えます。
PROJECTOR STATUS	本機の状態を表示します。 LAMP LIFE REMAINING ランプの残り使用時間を%表示します。 LAMP HOURS USED ランプの使用時間を表示します。 FILTER HOURS USED フィルタの使用時間を表示します。 ERROR STATUS 本機内部のエラー発生状況を表示します。

ネットワーク設定

http:// <本機の IP アドレス> /index.html



● SETTINGS

WIRED または WIRELESS

SETTING	有線 LAN または無線 LAN に必要な設定を行います。
APPLY	「SETTING」の設定情報で有線 LAN または無線 LAN に接続します。
DISABLE	有線 LAN を無効にします。
PROFILE 1/PROFILE 2	有線 LAN/ 無線 LAN を使用する場合、各々 2 とおりの設定を本機のメモリに記憶することができます。
DHCP ON	DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。
DHCP OFF	ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。
IP ADDRESS	本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。
SUBNET MASK	本機を接続するネットワークのサブネットマスクを設定します。
GATEWAY	本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。
WINS	[DHCP] のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの WINS サーバの IP アドレスを設定します。
AUTO DNS ON	DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。
AUTO DNS OFF	本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。

WIRELESS（無線 LAN ユニット使用時）のみ設定が必要

EASY CONNECTION	EASY CONNECTION（かんたん接続）で無線 LAN に接続します。									
SIMPLE ACCESS POINT	本機を簡易アクセスポイントに設定します。									
WPS	<p>WPS（Wi-Fi Protected Setup™）を使用して接続した WPS のプロファイルに設定します。</p> <p>注意 ● WPS による接続および WPS のプロファイルの設定変更は、本機のメニューで行ってください。</p>									
CHANNEL	<p>国によって使用できるチャンネルが異なります。</p> <p>INFRASTRUCTURE のときは、無線 LAN アクセスポイント、ADHOC のときは相手のコンピュータと同じチャンネルに設定してください。</p>									
SSID	無線 LAN の識別名（SSID）を入力します。SSID が一致する機器とのみ、通信が行えます。									
SITE SURVEY	その場所で接続可能な無線 LAN の SSID をリスト表示し、リストの中から接続する SSID を選択します。									
NETWORK TYPE	<p>無線 LAN を使用するときの通信方式を選択します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • INFRASTRUCTURE 無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイントを利用した形態の通信を行うときに選択します。 • ADHOC 無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行うときに選択します。 									
SECURITY TYPE	<p>無線 LAN でセキュリティを設定するかしないかを選択します。セキュリティを行う場合は、WEP キーまたは暗号キーを設定します。</p> <p>お使いのコンピュータや無線 LAN 機器の機能にあわせて、どのセキュリティを使用するか選択してください。</p> <table border="1" data-bbox="367 975 1002 1532"> <tr> <td>DISABLE</td> <td>暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。</td> </tr> <tr> <td>WEP 64bit</td> <td>WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。</td> </tr> <tr> <td>WEP 128bit</td> <td>WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。</td> </tr> <tr> <td>WPA-PSK TKIP/ WPA-PSK AES/ WPA2-PSK TKIP/ WPA2-PSK AES / WPA-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA-EAP AES EAP-TLS/ WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA2-EAP AES EAP-TLS/ WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2</td> <td>これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。</td> </tr> </table>		DISABLE	暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。	WEP 64bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。	WEP 128bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。	WPA-PSK TKIP/ WPA-PSK AES/ WPA2-PSK TKIP/ WPA2-PSK AES / WPA-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA-EAP AES EAP-TLS/ WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA2-EAP AES EAP-TLS/ WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2	これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。
DISABLE	暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。									
WEP 64bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 64bit 長のデータを使います。									
WEP 128bit	WEP 形式の暗号化を行い、秘密鍵に 128bit 長のデータを使います。64bit 長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。									
WPA-PSK TKIP/ WPA-PSK AES/ WPA2-PSK TKIP/ WPA2-PSK AES / WPA-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA-EAP AES EAP-TLS/ WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP TKIP EAP-TLS/ WPA2-EAP AES EAP-TLS/ WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/ WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2	これらは WEP 形式よりもセキュリティが強化された形式です。									

	<p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティの種類、WEP キー、暗号キーは、通信を行う相手の機器（コンピュータや無線 LAN アクセスポイント）と同じ設定にしてください。 ● セキュリティ設定をすると、画像転送速度が低下します。 ● NETWORK TYPE で「ADHOC」を使用している場合、WEP 64bit、WEP 128bit 以外は使用できません。 ● 証明書のインストールについては、本機のメニューで行ってください。(156 ページ) 									
INDEX	「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したとき、どの WEP キーを使うかを選択します。									
KEY	<p>「SECURITY TYPE」で「WEP 64bit」または「WEP 128bit」を選択したとき</p> <p>-----</p> <p>WEP キーを入力します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 最大入力文字数 <table border="1"> <thead> <tr> <th>選択</th> <th>英数文字 (ASCII)</th> <th>16 進数 (HEX)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>WEP 64bit</td> <td>5 文字</td> <td>10 文字</td> </tr> <tr> <td>WEP 128bit</td> <td>13 文字</td> <td>26 文字</td> </tr> </tbody> </table> <p>「SECURITY TYPE」で「WPA PSK-TKIP」、「WPA PSK-AES」、「WPA2 PSK-TKIP」または「WPA2 PSK-AES」を選択したとき</p> <p>-----</p> <p>暗号キーを入力します。暗号キーは、8 文字以上、63 文字以下の英数文字を入力します。</p>	選択	英数文字 (ASCII)	16 進数 (HEX)	WEP 64bit	5 文字	10 文字	WEP 128bit	13 文字	26 文字
選択	英数文字 (ASCII)	16 進数 (HEX)								
WEP 64bit	5 文字	10 文字								
WEP 128bit	13 文字	26 文字								
USERNAME	WPA-EAP/WPA2-EAP を選択したときにユーザ名を設定します。									
PASSWORD	WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2 を選択したときにパスワードを設定します。									
USE DIGITAL CERTIFICATE	WPA-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/WPA-EAP AES PEAP-MSCHAPv2/WPA2-EAP TKIP PEAP-MSCHAPv2/WPA2-EAP AES PEAP-MSCHAPv2 を選択したときに電子証明書の使用の有無を選択します。									

● NAME

PROJECTOR NAME	<p>本機を含む複数のプロジェクターが LAN に接続されている場合、コンピュータ側でプロジェクターを識別するのに使います。英数字および記号が使用でき、最大 16 文字まで入力できます。</p> <p>● プロジェクター名は、リセットを行っても変更されません。</p>
HOST NAME	本機のホスト名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 15 文字まで入力できます。
DOMAIN NAME	本機のドメイン名を設定します。英数字および記号が使用でき、最大 60 文字まで入力できます。

● ALERT MAIL

ALERT MAIL	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。</p> <p>【本機から送信される Eメールの例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。 [情報] プロジェクター名：xxxx ランプ使用時間：xxxx [H]</p> </div>
SENDER'S ADDRESS	<p>本機からメールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。</p>
SMTP SERVER NAME	<p>本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。</p>
RECIPIENT'S ADDRESS 1 RECIPIENT'S ADDRESS 2 RECIPIENT'S ADDRESS 3	<p>本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。</p>
TEST MAIL	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワークの設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。
SAVE	<p>設定情報を本機のメモリへ記憶します。</p>

● NETWORK SERVICE

PJLink PASSWORD	PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 32 文字までの英数字で設定してください。
HTTP PASSWORD	HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。 パスワードは最大 10 文字までの英数字で設定してください。
AMX BEACON	<p>本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。</p> <p> ● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。</p>

● CRESTRON

ROOMVIEW：コンピュータで制御する場合に設定します。

DISABLE	ROOMVIEW を無効にします。
ENABLE	ROOMVIEW を有効にします。

CRESTRON CONTROL：コントローラで制御する場合に設定します。

DISABLE	CRESTRON CONTROL を無効にします。
ENABLE	CRESTRON CONTROL を有効にします。
IP ADDRESS	CRESTRON SERVER の IP ADDRESS を設定します。
IP ID	CRESTRON SERVER の IP ID を設定します。

● INFORMATION

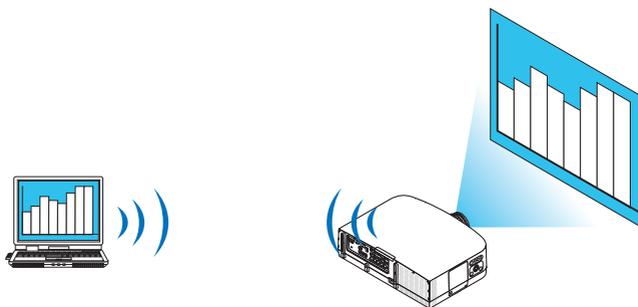
WIRED LAN	有線 LAN の設定情報を一覧表示します。
WIRELESS LAN	無線 LAN の設定情報を一覧表示します。
UPDATE	設定情報を変更した場合、一覧の表示を更新します。

-  ● 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター ( 裏表紙) にご連絡ください。
- CRESTRON の項目は、CRESTRON ROOMVIEW を使用する場合に設定します。CRESTRON ROOMVIEW については、Crestron 社のホームページをご覧ください。(英語のみ)

<http://www.crestron.com>

3-10.LAN 経由でコンピュータの画面を本機へ送信して投写する（ネットワークプロジェクター）

お使いのコンピュータと同一のネットワークに接続されているプロジェクター（本機）を選択し、コンピュータの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写できます。コンピュータケーブルで接続する必要がありません。



● この機能を利用するために必要な動作環境は次のとおりです。

- ・ 対応 OS
 - ・ Windows 7 Professional
 - ・ Windows 7 Ultimate
 - ・ Windows 7 Enterprise
 - ・ Windows Vista Home Premium
 - ・ Windows Vista Business
 - ・ Windows Vista Ultimate
 - ・ Windows Vista Enterprise
- ・ ハードウェア仕様
マイクロソフトが Windows Vista の動作環境として推奨しているスペックを満たしていること。
- ・ ネットワーク環境
TCP/IP をサポートした LAN または無線 LAN 環境必須
- ・ 画面の色
High Color (16 ビット)
True Color (24 ビット、32 ビット)
(注) 256 色以下には対応していません。

●本機をネットワークプロジェクター入力モードにする

1 本機の電源が入っている状態でプロジェクター本体の(入力切替)ボタンを押す。

信号選択画面が表示されます。

- ・ リモコンの場合は(ネットワーク)ボタンを押します。
アプリケーションメニュー画面が表示されます。手順3に進みます。



2 (▼/▲) ボタンを押して「ネットワーク」を選択し、(決定) ボタンを押す。

「アプリケーションメニュー」が表示されます。



3 アプリケーションメニューから「ネットワークプロジェクター」を選択する。

画面に「プロジェクター名/画面解像度/パスワード/URL」が表示されます。



● ネットワークプロジェクターを使って画面を投写する

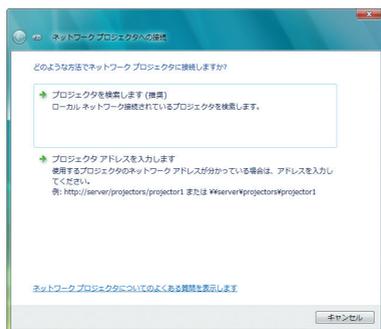
1 Windows 7 のデスクトップ画面で[スタート]ボタンをクリックする。

2 [すべてのプログラム] をクリックする。

3 [アクセサリ] をクリックする。

4 [ネットワークプロジェクターへの接続] をクリックする。

- ・ 「ネットワークプロジェクターへの接続のためのアクセス許可」画面が表示された場合は、[はい] をクリックしてください。
「ネットワークプロジェクターへの接続」画面が表示されます。



5 [→プロジェクトを検索します (推奨)] をクリックする。

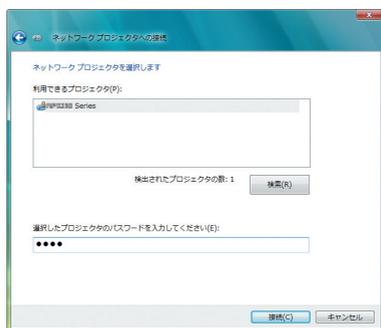
「利用できるプロジェクト(P)」欄に「プロジェクト名」が表示されます。

- ・ 本機の工場出荷時のプロジェクト名には「PA600 Series」が設定されています。

6 [PA600 Series] をクリックする。

画面の下方に「選択したプロジェクトのパスワードを入力してください(E)」と表示されます。

7 前ページの手順**3**の操作で表示されたパスワードをパスワード入力欄へ入力する。



8 [接続 (C)] をクリックする。

ネットワークプロジェクター機能が動き、Windows 7 の画面が本機から投写されます。

- コンピュータの画面解像度とプロジェクターの画面解像度が異なると、ネットワークプロジェクター機能を実行できない場合があります。コンピュータの画面解像度を [72 ページ](#) の手順 **3** の操作で表示された画面解像度以下に変更してください。

注意

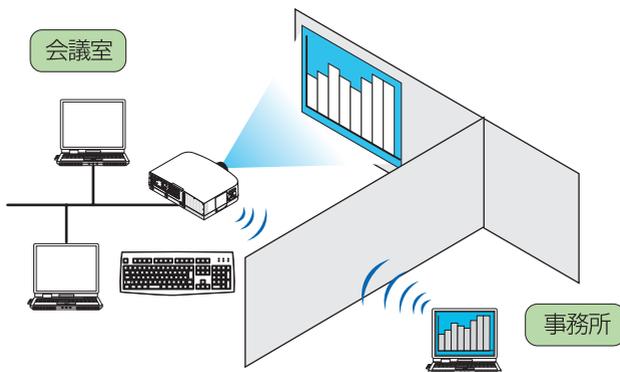
- ネットワークプロジェクター機能が働くと同時に、デスクトップの背景が単色に変わります。
ネットワークプロジェクター機能を終了すると、もとの背景に戻ります。

参考

- 手順 **5** で本機が検索できないときは、「→プロジェクターアドレスを入力します」をクリックします。そして、本機から投写された画面に表示されているアドレス（入力例: <http://10.32.97.61/wlan>）とパスワード（入力例: 82291627）を入力します。

3-11. 本機から LAN 経由でコンピュータを操作する (リモートデスクトップ)

- プロジェクター (本機) と同一のネットワークに接続しているコンピュータを選択し、コンピュータの画面イメージをネットワーク経由でスクリーンに投写します。そして、市販のキーボードを操作することにより、ネットワークに接続している Windows 7 (および Windows Vista、Windows XP) のコンピュータを操作します。
- リモートデスクトップ機能により、プロジェクター (本機) から離れたところに設置してあるコンピュータを遠隔操作できます。

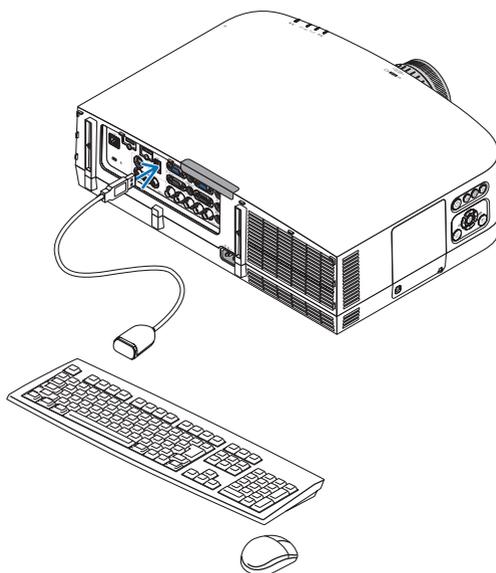


- この機能を使用できる Windows の種類等については、[28 ページ](#)をご覧ください。なお、[28 ページ](#)の記載に加え、Windows 7 Home Premium および Windows Vista Home Premium では、リモートデスクトップ機能は使用できません。
- 本書では Windows 7 を例にしてこの機能を説明していますが、Windows Vista および Windows XP Professional Service Pack 2 (SP2) 以降でもこの機能を使用できます。
- リモートデスクトップを行う際は、USB キーボードをプロジェクター本体に接続する必要があります。
- リモートデスクトップは、USB キーボードだけでも操作できますが、さらに USB マウスを使用すると操作性が向上します。
USB キーボードおよび USB マウスは、コンピュータ用として市販されている製品をお使いください。
- キーボードとマウスを同時に使用したい場合は、USB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのコンピュータ用として市販されているワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスをお使いください。
ただし、本機の USB ポートは、市販されているすべてのキーボードおよびマウスの動作を保証するものではありません。
- USB ハブを内蔵している USB キーボードは使用できません。また、Bluetooth 接続のワイヤレスキーボードやワイヤレスマウスは使用できません。
- リモートデスクトップのログイン画面では、英字配列キーボード (通称 101 キーボード) を使用してください。日本語キーボード (JIS 配列キーボードなど) を使用した場合、キーに印刷された文字と異なる文字が入力されることがあります。

●ワイヤレスキーボードを準備する

※次のイラストは、市販のUSB ワイヤレスレシーバーを使用するタイプのワイヤレスキーボードとワイヤレスマウスの例です。製品によって形状や仕様が異なります。

- 1 USB ワイヤレスレシーバーの USB 端子を本機の USB ポートに差し込む。



● Windows 7 のユーザーアカウントにパスワードを設定する

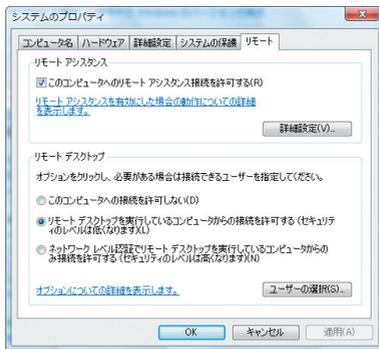
※すでにユーザーアカウントにパスワードが設定されている場合は、以下の手順⑨までの操作は省略できます。

- 1 Windows 7 のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] の下に表示されている [ユーザーアカウントの追加または削除] をクリックする。
- 4 ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[続行 (C)] をクリックする。
- 5 [Administrator] をクリックする。
- 6 [アカウントのパスワードの作成] をクリックする。
- 7 [新しいパスワード] 欄にパスワードを入力する。
- 8 [新しいパスワードの確認] 欄に手順7と同じパスワードを入力する。
- 9 [パスワードの作成] をクリックする。
Administrator が「パスワード保護」に変わりました。

● リモートアクセスの許可を設定する

- 1 Windows 7 のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。
- 2 [コントロールパネル] をクリックする。
- 3 [システムとセキュリティ] をクリックする。
・Windows Vista の場合は [システムとメンテナンス] をクリックします。
- 4 [システム] の下に表示されている [リモートアクセスの許可] をクリックする。
- 5 ユーザーアカウント制御の確認画面が表示されたら、[続行 (C)] をクリックする。
「システムのプロパティ」画面が表示されます。

- 6** リモートデスクトップ欄の [リモートデスクトップを実行しているコンピュータからの接続を許可する (セキュリティのレベルは低くなります) (L)] をクリックし、[OK] をクリックする。



● Windows 7 側の IP アドレスを確認する

- 1** Windows 7 のデスクトップ画面で [スタート] ボタンをクリックする。

- 2** [コントロールパネル] をクリックする。

- 3** [ネットワークとインターネット] の下に表示されている [ネットワークの状態とタスクの表示] をクリックする。

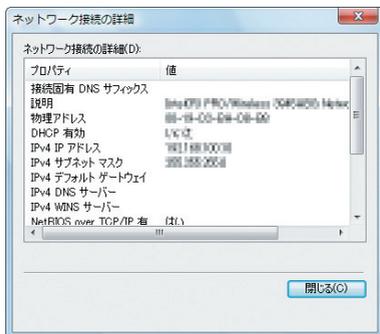
- 4** 無線 LAN で接続している場合は、画面の [ワイヤレスネットワーク接続 (xxxxxxx)] の右に青色で表示されている [状態の表示] をクリックする。

「ワイヤレスネットワーク接続の状態」画面が表示されます。



5 [詳細 (E)] をクリックする。

表示された「IPv4 IP アドレス」の値 (xxx.xxx.xxx.xxx) をメモします。



6 [閉じる (C)] をクリックする。

7 ウィンドウの右上の [X] をクリックする。

デスクトップ画面に戻ります。

● リモートデスクトップを開始する

1 本機の電源が入っている状態でプロジェクター本体の (入力切替) ボタンを押す。

信号選択画面が表示されます。

・リモコンの場合は (ネットワーク) ボタンを押します。

「アプリケーションメニュー」が表示されます。手順 3 に進みます。



2 (▼/▲) ボタンを押して「ネットワーク」を選択し、(決定) ボタンを押す。

「アプリケーションメニュー」が表示されます。



- 3** マウスを操作して、[リモートデスクトップ接続] をクリックする。
「リモートデスクトップ接続」画面が表示されます。



- 4** マウスを操作して、Windows 7 側の IP アドレスを入力し、[接続] をクリックする。

本機で投写した画面に Windows 7 のログオン画面が表示されます。

- 5** キーボードを操作して、ユーザーのパスワードを入力し、[Enter] キーを押す。

リモートデスクトップが開始され、本機で投写した画面に Windows 7 のデスクトップが表示されます。

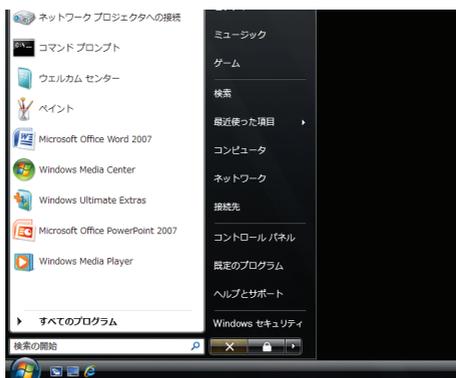
コンピュータはログアウトします。キーボードを使って、Windows 7 を操作します。



- リモートデスクトップで投写した場合、デスクトップの背景が単色に変わります。

● リモートデスクトップを終了する

- 1** マウスを操作して、本機から投写されているデスクトップ画面の [スタート] ボタンをクリックする。



- 2** スタートメニューの右側にある [X] をクリックする。

リモートデスクトップが終了します。

- 3** 本機の (入力切替) ボタンを押して、[ネットワーク] 以外の入力端子を選択する。

・リモコンの場合は、(ネットワーク)以外の入力端子のボタンを押します。

- リモートデスクトップの [オプション] 設定について
 リモートデスクトップの [オプション] 設定では、リモートデスクトップの操作中において、デスクトップの背景を表示したり、ウィンドウアニメーションなどを有効にすることができます。
 ただし、[オプション] 設定を変更すると、リモートデスクトップ操作中の画面表示やマウスの動作が遅くなります。[オプション] 設定は、工場出荷時の設定のままにしておくことをおすすめします。

設定項目	チェックを外しているときの動作	工場出荷時の設定
デスクトップの背景	デスクトップの背景を単色で表示します。	チェックなし
メニューとウィンドウアニメーション	メニューとウィンドウのアニメーション効果を無効にします。	チェックなし
テーマ	テーマを使用しません。	チェックなし
ドラッグ中にウィンドウの内容を表示	ウィンドウをドラッグするときに、ウィンドウの枠だけを表示します。	チェックなし

4. ビューワを使う

4-1. ビューワでできること

ビューワとは、本機の USB ポートにセットした USB メモリ内のデータや、本機と同一のネットワークにあるコンピュータの共有フォルダ内のデータを投写する機能です。

ビューワには次のような特長があります。

- プレゼンテーションで使用する発表資料などを、USB メモリに保存しておくこと、コンピュータと本機を接続することなしに、発表資料をスクリーンに投写することができます。コンピュータを持ち運ぶ必要がなく便利です。
- 動画ファイル（動画と音声）が再生できます。
- Microsoft PowerPoint ファイルまたは Adobe PDF ファイルを簡易表示する機能があります。このため、コンピュータと接続していなくても投写できます。
- ネットワークのコンピュータに接続して共有フォルダ内のデータを投写できます。また、コンピュータ側で Windows Media Player 11 または Windows Media Player 12 の「メディアの共有」が設定されていれば、そのコンピュータをメディアアサーバとして利用できます。

表示 / 再生可能なファイル

表示可能な画像ファイル（静止画）一覧

※本書では画像ファイルを静止画と呼ぶ場合があります。

ファイル形式	ファイル名の拡張子	ビューワのアイコン表示
JPEG	.jpg、.jpe、.jpeg（CMYK は非対応）	
BMP	.bmp（ビットフィールドは非対応）	
PNG	.png（インターレース / α チャンネルは非対応）	
GIF	.gif（インターレース / 透過 / アニメーションは非対応）	

※表示できない画像は、サムネイル画面で  アイコンを表示します。

注意

- 画像ファイルかどうかの判断は拡張子でのみ行い、上記拡張子以外のファイルはサムネイル画面やスライドの表示はできません。
- ビューワで表示できる画像のピクセル数には次のような上限があります。
 - ・ ベースライン JPEG：10000 × 10000
 - ・ プログレッシブ JPEG：1280 × 1280
 - ・ GIF：1280 × 1280
 - ・ その他の画像：4000 × 4000
- 上記の条件を満たしている画像ファイルであっても再生できない場合があります。

再生可能な動画ファイル一覧

ファイル名の拡張子	動画 圧縮・伸張方式	音声 圧縮・伸張方式	ビューワのアイコン表示
.mpg、.mpeg	MPEG2	MPEG Audio Layer2 MPEG Audio Layer3	
.wmv	VC-1/WMV9	WMA 9 Standard	
.mp4	H.264/AVC	AAC-LC	

※ 再生条件

- 動画解像度 : 320 × 240 ~ 1280 × 720 まで
- 動画フレームレート : 30fps まで
- 動画ビットレート : 15Mbps まで
- 音声サンプルレート : 48kHz まで
- 音声ビットレート : 256kbps まで
- ファイルの最大サイズ : 2GB まで

注意

- 上記の条件を満たしている動画ファイルであっても再生できない場合があります。
- 本機に搭載されていない圧縮・伸張方式で変換された動画ファイルは再生できません。また、事前にチェックができないため、再生できないことを示すアイコンは表示しません。
- デジタル著作権管理 (Digital Rights Management, DRM) 付きのファイルは再生できません。
- WMV 形式の動画ファイルはファイルのアスペクト設定に関わらず 1:1 で表示されません。
- メディアサーバで再生可能なファイルは、画像ファイルと動画ファイルです。ただし、WindowsMediaPlayer 11(Windows XP, Windows Vista) では「.mp4」の再生はできません。

表示可能な PDF ファイル

ファイル名の拡張子	対応ファイル	ビューワのアイコン表示
.pdf	Adobe Acrobat PDF	

注意

- PDF 作成時にフォントを埋め込まないと文字が表示されない場合があります。フォントの埋め込みの操作例は [85 ページ](#) をご覧ください。
- PDF 作成後に付加された機能は表示および動作をしません。たとえば、しおり、フォームツールのボックス、注釈などは表示しません。ページの自動切り替え、切替時の効果などは動作しません。
- Adobe Acrobat 形式の PDF であっても表示できない場合があります。

再生可能な PowerPoint ファイル

ファイル名の拡張子	対応ファイル	ビューワのアイコン表示
.ppt、.pptx	Microsoft PowerPoint 97-2007	

次ページに続く

注意

- 表示できるフォント、色、フォントの装飾、配置、オブジェクトの挿入や動作できるアニメーションなどに制限があります。詳しくは [105 ページ](#) でご確認ください。
- Microsoft PowerPoint 97-2007 形式のファイルであっても表示できない場合があります。

対応 USB メモリ

- 本機は、NTFS 形式でフォーマットされた USB メモリを認識できません。
本機にセットした USB メモリが認識されない場合は、フォーマット形式を確認してください。本機のビューワで使用する USB メモリは、exFAT 形式、FAT32 形式、FAT16 形式、または FAT 形式でフォーマットしてください。
フォーマット方法については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルを参照してください。

注意

- 本機の USB ポートは、市販されているすべての USB メモリの動作を保証するものではありません。
- プロジェクターの USB ポートから USB メモリを抜いて、再び差し込む場合は、抜いたあと 5 秒以上おいてから差し込んでください。瞬間的なプラグの抜き差しを行うと、プロジェクターが USB メモリを正しく認識できないことがあります。

共有フォルダ・メディアサーバの注意事項

- 共有フォルダおよびメディアサーバのファイルを投写する場合、コンピュータにセキュリティソフトまたはウイルスチェックソフトがインストールされていると表示・再生ができないことがあります。
- 開く必要のあるファイアウォールのポートについて

メディアサーバ

ポート番号	プロトコル
1900	UDP
2869	TCP
10243	TCP
10280-10284	UDP

共有フォルダ

ポート番号	プロトコル
137	UDP/TCP
138	UDP/TCP
139	UDP/TCP
445	UDP/TCP

- 共有フォルダ内のファイルへのアクセスを許可するようコンピュータの共有とセキュリティの設定をしてください。また、お使いのセキュリティソフト、ウイルスチェックソフトの設定をしてください。詳しくはネットワーク管理者にお尋ねください。
- 共有フォルダおよびメディアサーバ内の動画ファイルは、ネットワーク環境またはファイルのビットレートによっては正常に再生されないことがあります。

注意

- 共有フォルダ内の PowerPoint および PDF ファイルをスライド画面に表示しているとき、共有フォルダとの接続を切断するとビューワ操作ができなくなります。表示中は、LAN ケーブルを抜いたりコンピュータの電源を切るなど本機とコンピュータとの切断を行わないでください

その他の注意事項

- ビューワ表示中は、プロジェクター本体またはリモコンの次のボタン操作はできません。
本体操作ボタン
 - ・ (◀▶) ボタンによる音量調整
 - ・ (自動調整) ボタンによる自動調整
 リモコン操作ボタン
 - ・ (静止) ボタン、(アスペクト) ボタン、(自動調整) ボタン
- オンスクリーンメニューでリセット→全データを行うと、ビューワのメニュー設定は工場出荷状態に戻ります。

4-2 プレゼンテーション資料の準備

1 プレゼンテーション資料をコンピュータで作成し、ビューワで表示可能なファイル形式で保存する。

- 表示可能なファイル形式は [82 ページ](#) をご覧ください。
- PowerPoint ファイルはプレゼンテーションの前にあらかじめビューワで表示の確認を行ってください。
また、添付の CD-ROM に収録している Viewer PPT Converter 3.0 を使用すると画像に変換して表示できます。
- PDF ファイルを作成するときはフォント埋め込み設定を行ってください。フォントの埋め込みには Adobe Acrobat が必要です (Adobe Reader では埋め込みはできません)。

参考

- 印刷コマンドを使う方法
フォント埋め込みの例です。詳しくは Adobe Acrobat のヘルプをご覧ください。

1 「ファイル」メニューから「プリント」を選びます。

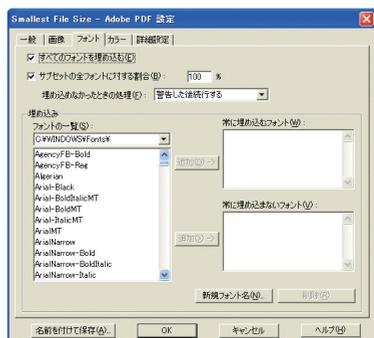
2 「プリンタ名」から「Adobe PDF」を選び、「プロパティ (P)」ボタンをクリックします。

3 Adobe PDF 設定の [編集 (E)] ボタンをクリックします。

4 編集画面でフォントタブをクリックしてフォント埋め込み画面に切り替えます。

5 「すべてのフォントを埋め込む (E)」にチェックを入れます。

[OK] ボタンをクリックし、印刷画面に戻して、[OK] ボタンをクリックします。
PDF の作成が始まります。



2 コンピュータのファイルをドライブに保存する。

USB メモリにデータを保存する場合

- Windows のエクスプローラなどを使って、ファイルを USB メモリにコピーします。

コンピュータに共有フォルダを作成しデータを入れる場合 ([99 ページ](#))

Windows Media Player 11 (または Windows Media Player 12) の [メディアの共有] を利用する場合 ([102 ページ](#))

4-3. ドライブに保存したファイルを投写する

ここでは、ビューワの基本操作をUSBメモリに保存したファイルで説明します。ビューワの各メニューが工場出荷時の状態になっているときの操作手順です。

準備： コンピュータを使ってビューワで表示可能な資料をUSBメモリに保存してください。

ビューワを起動する

1 本機の電源を入れる。([31ページ](#))

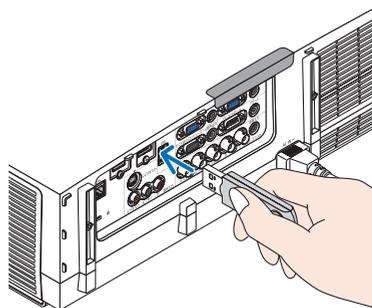
2 本機のUSBポートにUSBメモリを挿す。

注意

● USBメモリのアクセスインジケータが点滅しているときは、保存データが破損しますので取り外さないでください。

参考

● ドライブ一覧画面のときUSBメモリを挿すことも可能です。



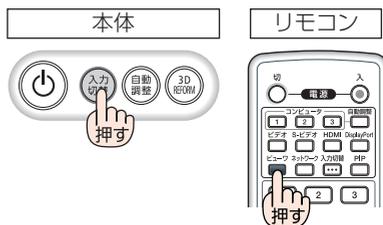
3 (入力切替) ボタンを押して「ビューワ」を選択する。

1回押すと入力選択画面を表示します。

さらに何回か押して「ビューワ」にカーソルを合わせます。

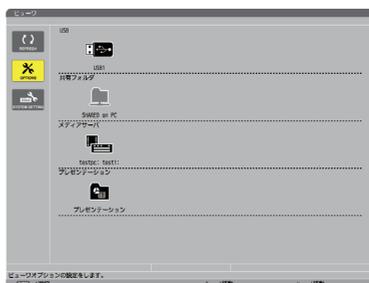
2、3秒後にドライブ一覧画面を表示します。

・リモコンの場合は(ビューワ)ボタンを押します。



参考

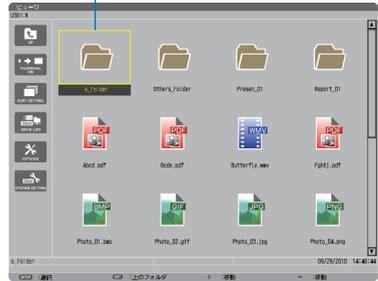
- ドライブ一覧画面については [91ページ](#) をご覧ください。
- 共有フォルダ内の画像などを表示させるには [99ページ](#)、メディアサーバ内の画像（静止画、動画）を表示させるには [102ページ](#) をご覧ください。



- 4**  ボタンを押してUSB1にカーソルを合わせて、**決定**ボタンを押す。
USB1のサムネイル画面に変わります。

参考 ● サムネイル画面については93ページをご覧ください。

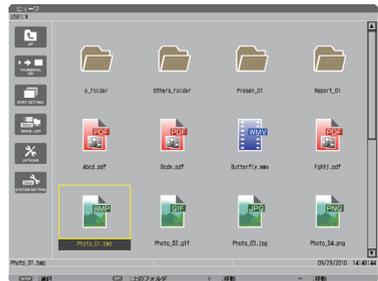
カーソル (黄色)



- 5**   ボタンを押して、カーソルを目的のアイコンに合わせる。

- ・フォルダの中に画像などがある場合はフォルダアイコンにカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押します。
- ・右端にスクロールバーを表示している場合は、サムネイル画面が複数ページあることを示します。**ページ下**ボタン (ページダウン) ボタンで次ページへ、**ページ上**ボタン (ページアップ) ボタンで前ページに変わります。

参考 ● サムネイル画面のアイコン表示をサムネイル表示に変えるには 93 ページをご覧ください。



- 6** **決定**ボタンを押す。
選んだファイルによって操作が異なります。

● **静止画ファイル**

スライドが表示されます。

 は次のスライド、 ボタンは前のスライドに切り替わります (サムネイル画面の表示順に替わります)。

- ・  ボタン、**ページ下**ボタンでもスライドが切り替わります。

- ・**決定**ボタンを押すと静止画のコントロールバーを表示します。スライド操作や静止画の回転などができます。 (94 ページ)

参考 ● 静止画ファイルは自動で順次切り替えることができます。 (96 ページ)

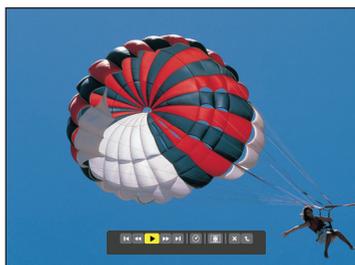


● 動画ファイル

動画の再生が始まります。

再生が終わると黒画面になります。(戻る)ボタンを押すとサムネイル画面に戻ります。

- ・(決定)を押すと動画のコントロールバーを表示します。一時停止や早送りなどの操作ができます。
(▶ 95 ページ)



● Microsoft PowerPoint ファイル

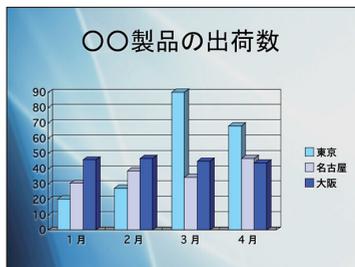
1 ページ目のスライドが表示されます。

(▶)は次のスライドまたは次の動作、(◀)ボタンは前のスライドに切り替わります。

- ・(▼/▲)ボタンでもページが切り替わります
サムネイル画面に戻るときは(戻る)ボタンを押します。

注意

- スライドショー設定やアニメーションの設定をしているファイルの場合、コンピュータでの表示とビューワでの表示や動作(表示が乱れる、動作しないなど)が異なります。「PowerPoint ファイルの制限事項の一部」をご覧ください。(▶ 105 ページ)



● Adobe PDF ファイル

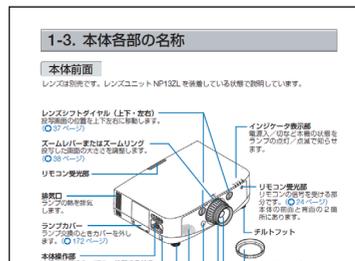
1 ページ目が表示されます。

- ・PDF ファイルは設定サイズに関わらず横幅一杯に表示されます。

(▼/▲)ボタンを押すと下または上にスクロールします。(ページ▼)または(ページ▲)ボタンを押すと表示画面単位で下または上に切り替わります。

サムネイル画面に戻るときは、(戻る)ボタンを押します。

- ・パスワード解除画面を表示した場合はPDF ファイルにパスワードが設定されています。(決定)ボタンを押すと文字入力画面を表示します。パスワードを入力して「確定」選択し、(決定)ボタンを押すと表示されます。
- ・文字入力のしかたは 110 ページをご覧ください。



注意

- PDF 作成後に追加したしおりや注釈などは表示しません。また PDF ファイル作成時に書体を埋め込んでいないと文字は表示されません。(▶ 85 ページ)

参考

- 貼り付けた図(写真やイラストなど)の容量が大きい場合、読み込み処理のため表示に時間(約 20 秒~2 分)がかかります。そのままお待ちください。

また、複数ページのPDFファイルはページが切り替わるときも同じように時間がかかります。

●インデックスファイル（拡張子が .idx）

- Viewer PPT Converter 3.0 を使って変換したインデックスファイルと JPEG ファイルは、サムネイル画面ではフォルダと JPEG ファイルのみ表示されます。インデックスファイルは表示されません。
- インデックスファイルのスライドショーを選択する場合は、ドライバー一覧画面で「プレゼンテーション」フォルダを開いてください。ただし、インデックスファイルは表示されず、フォルダと JPEG ファイルが表示されます。
- インデックスファイルのフォルダは、USB や共有フォルダ内のものを合計して、更新日時が新しいものから最大 4 個まで表示します。
- ビューワを起動している状態のとき、インデックスファイルを保存している USB メモリをプロジェクター本体に挿すと、自動的にインデックスファイルの内容を表示します。



注意

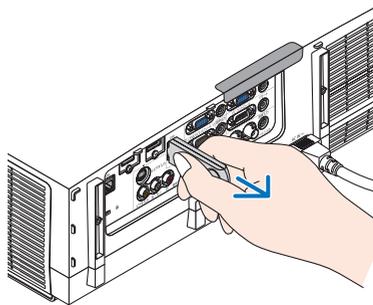
- インデックスファイルのスライド自動送り／手動送りは次のようになります。
【ビューワの再生モードが「手動」の場合】
ビューワのオプション設定→スライド設定→再生モードが「手動」の場合、インデックスファイルの再生間隔の設定に関わらず手動送りになります。
【ビューワの再生モードが「自動」の場合】
ビューワのオプション設定→スライド設定→再生モードが「自動」の場合、インデックスファイルの再生間隔の設定で自動送りになります。
ただし「-1」が設定されている場合は「オプション設定→スライド設定→間隔」の設定に従って自動送りになります。

7 本機から USB メモリを取り外す

ドライバー一覧画面に戻してください。
USBメモリのアクセスインジケータが点滅していないことを確認してから取り外してください。

注意

- スライドを表示中にUSBメモリを取り外した場合、本機の動作が不安定になることがあります。その場合は、いったん本機の電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。
その後約3分待つて、電源コードをコンセントに接続し、本機の電源を入れてください。



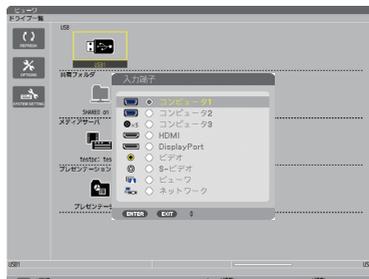
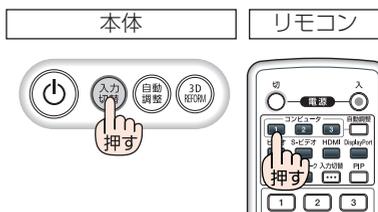
ビューワを終了する

1 (入力切替) ボタンを押して「ビューワ」以外を選択する。

1回押すと入力選択画面を表示します。

さらに何回か押して「ビューワ」以外にカーソルを合わせます。

- ・リモコンで操作する場合は「ビューワ」以外の入力端子を選択してください。

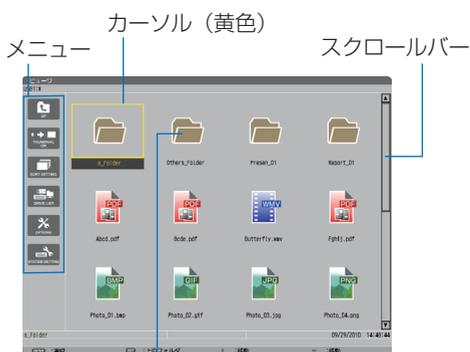


ビューワ画面の名称とはたらき

ビューワ画面には、ドライブ一覧画面、サムネイル画面、スライド画面があります。



【ドライブ一覧画面】



【サムネイル画面】

パス情報



ドライブ情報/ファイル情報



メニューガイド

操作ボタンガイド



【スライド画面】

コントロールバー

※静止画と動画では操作ボタンの内容が異なります。

● ドライブ一覧画面

本機に接続されているドライブを一覧表示します。

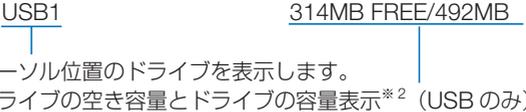
メニューの操作

- ▼▲ ボタンで黄色のカーソルが上下移動します。目的のメニューで(決定)ボタンを押すとサブメニューを開きます。

ドライブ一覧の操作

- ▶ ボタンを押すとカーソルがドライブ一覧へ移動し、黄色枠のカーソルに変わります。(◀▶)ボタンでメニューとドライブ一覧のカーソル移動を行います。(▼▲)ボタンでドライブの種類を選び、(◀▶)ボタンで接続ドライブを選択します。
- 目的のドライブにカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押すと選択したドライブのサムネイル画面に変わります。

各部の働き

名称	説明
 REFRESH	新たに追加されたメディアサーバをドライバー一覧に表示します。
 OPTIONS	オプションメニューを開きます。
 SLIDE SETTING	スライドの設定をします。(🔗 96 ページ)
 MOVIE SETTING	動画の設定をします。(🔗 97 ページ)
 AUTO PLAY SETTING	自動再生の設定をします。(🔗 97 ページ)
 SHARED FOLDER	共有フォルダの設定をします。(🔗 99 ページ)
 MEDIA SERVER	メディアサーバの設定をします。(🔗 102 ページ)
 RETURN	オプションメニューを閉じます。
 SYSTEM SETTING ※ 1	システム設定のメニュー画面に切り替わります。設定方法は「5-8. アプリケーションメニュー」(🔗 149 ページ)の有線 LAN、無線 LAN、WPS、ネットワーク情報、マウスの各項目をご覧ください。
 USB	本機の USB ポートに接続している USB メモリをアイコン表示します。
 共有フォルダ	LAN に接続しているコンピュータ (共有フォルダ設定済み) のドライブを表示します。最大 4 台まで表示します。 ・本機の共有フォルダの接続設定は (🔗 99 ページ)
 メディアサーバ	LAN に接続しているコンピュータ (メディアサーバ設定済み) のドライブを表示します。最大 4 台まで表示します。 ・本機のメディアサーバの接続設定は (🔗 102 ページ)
 プレゼンテーション	USB または共有フォルダにインデックスファイルが保存されているときに表示されます。
パス情報	フォルダやファイルのある場所を表示します。
ドライブ情報	表示例  カーソル位置のドライブを表示します。 ドライブの空き容量とドライブの容量表示※ 2 (USB のみ)
メニューガイド	カーソル位置のメニュー説明を表示します。
操作ボタンガイド	操作ボタンの補助説明です。

※ 1 : 管理者モードのメニューモードで「ベーシックメニュー」に設定しているときはネットワーク情報、マウスの項目を表示します。(🔗 167 ページ)

※ 2 : 3 桁 (端数は切り上げ) で表示します。

注意

- オプションメニューを表示しているときは、ドライバー一覧画面やサムネイル画面は表示されません。表示するには  (RETURN) アイコンにカーソルを合わせて(決定)ボタンを押して、 (OPTIONS) ボタンに戻してください。

●サムネイル画面

ドライブ一覧画面で選択したドライブ内のフォルダおよびサムネイル／アイコン一覧を表示します。

メニューの操作

(▼▲)ボタンで黄色のカーソルが上下移動します。目的のメニューで(決定)ボタンを押すとメニューまたは設定画面を開きます。

サムネイル画面の操作

- 1 オプションメニューを表示していない状態で(▶)ボタンを押すとカーソルがサムネイル画面へ移動し、黄色枠のカーソルに変わります。
- 2 (▼▲▶)ボタンで目的のファイルまたはフォルダを選択します。
- 3 目的のファイルにカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押すと選択したファイルのスライドの表示や再生を行います。フォルダを選択したときはフォルダ内のサムネイル画面に変わります。

各部の働き

名称	説明
 UP	1つ上の階層のメニューに戻ります。
 THUMBAIL ON/OFF	サムネイル表示とアイコン表示を切り替えます。 選択するごとにサムネイル表示とアイコン表示が切り替わります。
 SORT SETTING	フォルダおよびファイルの並び順の設定をします。(98 ページ)
 DRIVE LIST	ドライブ一覧画面に戻ります。
 OPTIONS	ビューワのオプションメニューに変わります。
 SYSTEM SETTING	システム設定のメニュー画面を開きます。
スクロールバー	サムネイル画面には横4×縦3の12のファイルまたはフォルダを画面に表示します。12以上のファイルまたはフォルダがある場合は、スクロールバーを右に表示します。(ページ▼)または(ページ△)ボタンを押すと表示画面単位で下または上に切り替わります。
パス情報	フォルダやファイルのある場所を表示します。
サムネイル情報	表示例 カーソル位置のフォルダ名またはファイル名 005jpg 5/200 11/03/2010 13:25:12 502KB フォルダ内のファイル数と順位 (フォルダ選択のみ表示) 作成／変更日時：月／日／年 時／分／秒 ファイル容量表示 (ファイルのみ表示)
メニューガイド	カーソル位置のメニュー説明を表示します。
操作ボタンガイド	操作ボタンの補助説明です。

参考

- サムネイル表示を設定していても画像の表示中はアイコン表示になります。また、画像が表示できないファイルは🔍アイコンで表示します。
- サムネイル画面の最大表示数は300枚です(フォルダ数を含み、表示はフォルダを優先します)。

- ファイル名やフォルダのパスが規定の文字数より長い場合は中央の文字やパスを省略して表示します。

例) 123456789.jpg は 123...789.jpg と表示します。



●スライド画面（静止画／動画）

サムネイル／アイコン一覧で選択したファイルを再生します。

- ・ Microsoft PowerPoint ファイルと Adobe PDF ファイルの操作方法は [88 ページ](#)をご覧ください。本体またはリモコンのボタンで操作します。

コントロールバーの操作

・ コントロールバーは静止画（およびインデックスファイル）と動画を選択したときのみ表示します。

・ 静止画と動画はコントロールバーが異なります。

- 1 スライド画面で**（決定）**ボタンを押すとコントロールバーを画面下部に表示します。
- 2 **（◀/▶）**ボタンを押して黄色のカーソルを合わせて、**（決定）**ボタンを押します。
 - ・ 選択したボタンの機能が実行されます。

静止画コントロールバー各部の働き



名称	説明	
PREV	1 つ前の画像に戻ります。 自動切り替え設定をしているときは（以下スライドショーと記載します）、停止状態になります。 ・ （▲） 、 （ページ△） ボタンは同じ動作をします。	
PLAY	次の画像に進みます。 スライドショーの停止と開始を切り替えます。	
NEXT	1 つ次の画像に進みます。 ・ （▼） 、 （ページ▽） ボタンは同じ動作をします。	
RIGHT	画像を 90 度単位で右へ回転します。 ・ スライドショーが停止状態のときに選択できます。 ・ 回転設定はスライドを実行するフォルダを替えると解除されます。	
LEFT	画像を 90 度単位で左へ回転します。 ・ スライドショーが停止状態のときに選択できます。 ・ 回転設定はスライドを実行するフォルダを替えると解除されます。	
サイズ	BEST FIT	本機の表示可能な最大サイズ（アスペクト比維持）で画像を表示します。
	ACTUAL SIZE	実サイズで表示します。 ・ 本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
CLOSE	コントロールバーを閉じます。 ・ （戻る） ボタンは同じ動作をします。	
END	スライドまたはスライドショーを終了し、コントロールバーを閉じてサムネイル画面に戻ります。	

動画コントロールバー各部の働き



名称	説明	
 PREV	動画ファイルの先頭に戻ります。 ・再生してすぐ実行した場合は1つ前の動画ファイルの先頭に戻ります。	
 FR	約7秒間分を巻き戻します。	
再生/停止	 PLAY	動画を再生します。
	 PAUSE	再生を一時停止します。
 FF	約7秒間分を早送りします。	
 NEXT	次の動画ファイルの先頭へ移動します。	
 TIME	再生中または一時停止中に経過時間の表示を行います。 ・ボタンを選択するごとに表示/非表示を切り替えます。	
サイズ	 BEST FIT	本機の表示可能な最大サイズ（アスペクト比維持）で画像を表示します。
	 ACTUAL SIZE	実サイズで表示します。 ・本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
 CLOSE	コントロールバーを閉じます。 ・ 戻る ボタンは同じ動作をします。	
 END	再生を終了し、コントロールバーを閉じてサムネイル画面に戻ります。	

ビューワオプションの設定

● SLIDE SETTING

静止画のスライド画面の設定を行います。



項目名	内容	説明
スクリーンサイズ	最大サイズ	本機の表示可能な最大サイズで画像を表示します。
	実サイズ	実サイズで表示します。 ・ 本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
再生モード	手動	スライド切り替えを手動で行います。
	自動	スライド切り替えを間隔で設定した時間で切り替えます。
間隔	5 秒～ 300 秒	自動再生するときのスライドの切り替え間隔を設定します。 5 秒～ 300 秒まで 1 秒刻みで設定できます。 ※スライド表示完了から次のスライド読み込み開始時間の設定です。たとえば 5 秒の設定でスライド表示に 4 秒かかると 9 秒後に切り替わります。
繰り返し	<input type="checkbox"/> (オフ)	—
	<input checked="" type="checkbox"/> (オン)	サムネイル画面内の画像ファイルを繰り返し再生します。 ※使用する画像を 1 つのフォルダに保存しておく、フォルダ内の画像を繰り返し再生できます。

- 参考**
- 複数のスライドを再生する場合は、ファイルをフォルダに入れてください。また、スライドに表示の順番がある場合は、ファイル名を名前（昇順）にしてください。たとえば、001.jpg、002.jpg、……、010.jpg のようにファイル名を付けると 001 画面から順に切り替えていきます。

● MOVIE SETTING

動画の再生設定を行います。



項目名	内容	説明
スクリーンサイズ	最大サイズ	本機の表示可能な最大サイズで画像を表示します。
	実サイズ	実サイズで表示します。 ・ 本機の解像度より小さい画像のみ実サイズで表示されます。
繰り返し	オフ	—
	1つのファイル	選択している動画ファイルを繰り返し再生します。
	すべて	フォルダ内（ドライブ内）すべての動画ファイルを順次再生して、再生を繰り返します。

参考

- 動画を繰り返し設定しているとき、動画と動画の間は黒画面になります。

● AUTO PLAY SETTING

本機の USB ポートに USB メモリを挿したとき、または入力端子をビューワに切り替えたときに、再生を自動で開始するための設定です。



項目名	内容	説明
自動再生	オフ	—
	静止画	ドライブ内で最初に見つけた静止画を再生します。 ※再生モードを自動に設定していると自動でスライドショーを開始します。
	動画	ドライブ内で最初に見つけた動画を再生します。
	PowerPoint	ドライブ内で最初に見つけた PowerPoint ファイルを表示します。

参考

- USB メモリを挿したときと、入力端子をビューワに切り替えたときとで、自動再生の動作が異なります。
USB メモリを挿したときは、自動再生設定と種類の一致するファイルをドライブのルート以下を検索して最初に見つけたファイルを自動再生します。
入力端子をビューワに切り替えたときは、直前に表示 / 選択していたファイルが存在する場合は、当該ファイルを自動再生します。または直前に表示していたフォルダ内を検索して最初に見つけた種類の一致するファイルを自動再生します。

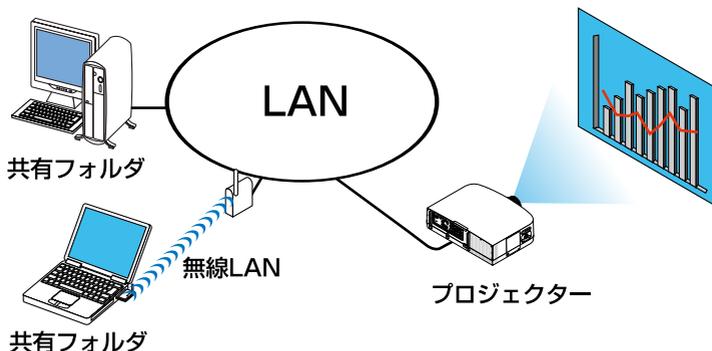
SORT SETTING

ドライブ内のサムネイル画面の表示順、およびスライド画面での画像の表示順を並び替えます。



項目名	内容	説明
並び順	名前 (ABC. .)	ファイル名の昇順
	名前 (ZYX. .)	ファイル名の降順
	種類 (ABC. .)	拡張子の昇順
	種類 (ZYX. .)	拡張子の降順
	日付 (新)	作成日時の新しい順
	日付 (旧)	作成日時の古い順
	サイズ (大)	ファイル容量に大きい順
	サイズ (小)	ファイル容量に小さい順

4-4. 共有フォルダのファイルを投写する



準備：

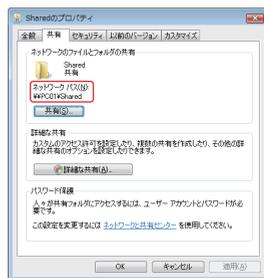
(本機の準備)

本機を LAN へ接続してください。

(コンピュータの準備)

投写する画像・動画を共有するフォルダへ入れて、フォルダのパスを確認してください。

- ・ フォルダの共有設定については、お使いの Windows の取扱説明書またはヘルプファイルをご覧ください。
- ・ 共有するフォルダは英数字で名前を付けてください。本機の文字入力画面は、日本語入力に対応していません。
- ・ サブネットを越えた共有フォルダへの接続は、[ネットワーク設定] の [WINS 設定] を行ってください。
- ・ 通信のデジタル署名 (SMB 署名) には対応していません。



●本機から共有フォルダへ接続する

1 ビューワ入力に切り替える

リモコンの(ビューワ)ボタンを押すとドライバー一覧画面を表示します。

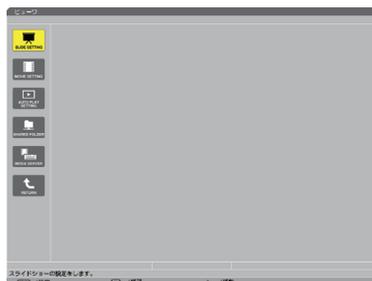
- ・ 本体で操作する場合は、(入力切替)ボタンを数回押して、「ビューワ」を選択してください。

(086 ページ)

2 OPTIONS メニューに切り替える

▽ボタンを押して (OPTIONS) アイコンにカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押すと OPTIONS メニューに変わります。

- ・ OPTIONS メニューのときドライバー一覧画面は表示されません。そのときは、[RETURN] アイコンにカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押して上のメニューへ戻してください。



4

ビューワを使う

3 共有フォルダ設定画面を開く

 ボタンを押して  (SHARED FOLDER) アイコンにカーソルを合わせて、 ボタンを押すと「共有フォルダ」設定画面が表示されます。



4 フォルダ番号を選び、有効に設定する

 ボタンを押してフォルダ番号を選択し、 ボタンを押して有効欄にカーソルを合わせて、 ボタンを押します。チェックボックスにチェックが入り接続が有効になります。



5 コンピュータの共有フォルダのパス、ユーザー名、パスワードを入力する

 ボタンを押して共有フォルダ欄にカーソルを合わせて、 ボタンを押します。文字入力画面を表示します。

操作方法は [110 ページ](#) をご覧ください。

同じようにユーザー名欄およびパスワード欄も入力します。

- コンピュータにパスワードを設定していない場合はパスワードの入力は不要です。
- 最大で 4 つの共有フォルダを追加できます。
- 共有フォルダのパス（フォルダのある位置）は、コンピュータ名が 15 文字、フォルダ名が 23 文字までです（英文字のみ）。小文字や特殊文字はソフトウェアキーボードの MODE で切り替えます。



6 設定を終わる

 ボタンを押して [確定] にカーソルを合わせて、 ボタンを押します。共有フォルダ設定画面が閉じます。

- エラーメッセージを表示した場合は設定が間違っています。 ボタンを押すと表示を閉じ、間違っている入力欄にカーソルが置かれます。入力しなおしてください。



ビューワ画面各部の名称および操作の詳細は「4-3. ドライブに保存したファイルを投写する」[\(86 ページ\)](#) をご覧ください。

●共有フォルダとの接続を切る

1 切断したいフォルダ番号を無効にする

100 ページの手順③のとき切断したいフォルダ番号を選択し(▼)ボタンを押して有効欄にカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押します。

チェックが外れて無効に設定されます。



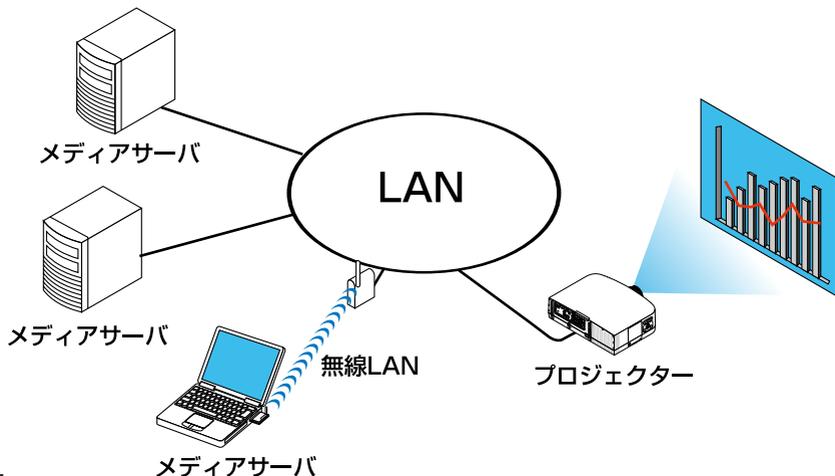
注意

- 共有フォルダ上の PowerPoint ファイルや PDF ファイルの表示中は、LAN ケーブルを抜かないでください。ビューワを操作できなくなります。

参考

- 共有フォルダの接続設定について
共有フォルダの設定は 4 つまで保存することができます。本機を再起動すると、設定を保存した共有フォルダがドライブ一覧画面に  アイコンで表示されます。
 アイコンにフォーカスを合わせ(決定)ボタンを押すことで、フォルダのパス名の入力を省略できます。
- 共有フォルダとの接続に失敗した場合、 アイコンが表示されます。共有フォルダの設定が正しいか、確認してください。

4-5. メディアサーバの画像や動画を投写する



準備：

(本機の準備)

本機を LAN へ接続してください。

(コンピュータの準備)

投写する画像・動画を準備し、Windows Media Player 11 (または Windows Media Player 12) の [メディアの共有] を設定してください。

注意

- プロジェクターは、メディアサーバと同一サブネット上にある必要があります。サブネットを越えたメディアサーバへの接続はできません。
- 共有される静止画や動画の種類は Windows のバージョンによって異なる場合があります。

● Windows Media Player 11 で「メディアの共有」を設定する

1 Windows Media Player 11 を起動する。

2 [ライブラリ] から [メディアの共有(S)] を選択する。

[メディアの共有] 設定画面が表示されます。



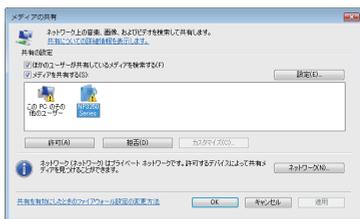
- 3** [メディアを共有する(S)] にチェックマークを入れて [OK] を選択する。

接続を許可する外部機器の選択画面が表示されます。

- 4** [PA600 Series] を選択して [許可(A)] を選択する。

[PA600 Series] のアイコンにチェックマークが入ります。

- 表示される「PA600 Series」は、「ネットワーク設定」の「プロジェクト名」です。



- 5** [OK] を選択する。

[ライブラリ] の画像や動画のファイルが本機から利用できるようになります。



● Windows Media Player 12でメディアの共有を設定する

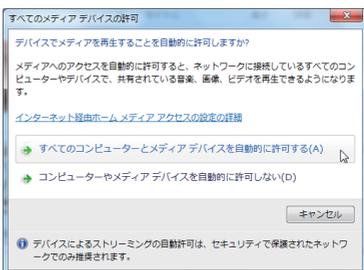
- 1** Windows Media Player 12 を起動する。

- ここでは例としてネットワーク設定が「ホームネットワーク」に設定されている場合にについて説明します。



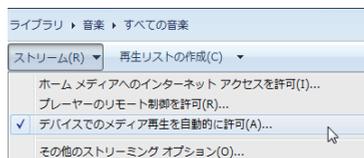
- 2** [ストリーム] から [デバイスでのメディア再生を自動的に許可(A)] を選択する。

[すべてのメディアデバイスの許可] 設定画面が表示されます。



- 3** [すべてのコンピューターとメディアデバイスを自動的に許可する(A)] を選択する。

[ライブラリ] の画像や動画のファイルが本機から利用できるようになります。



●本機からメディアサーバへ接続する

1 リモコンの(ビューワ)ボタンを押す。

ビューワ画面が表示されます。

- 本体で操作する場合は、(入力切替)ボタンを数回押して、「ビューワ」を選択してください。

(▶86 ページ)

- ネットワーク内の「メディアの共有」を設定したコンピュータを検索して、ドライブ一覧画面のメディアサーバ欄へ追加します。

メディアサーバの接続を切断(無効)しているときは下記の手順③の操作で(決定)ボタンを押してください。チェックボックスにチェックが入り有効になります。その後、(リフレッシュ) (REFRESH) にカーソルを合わせて(決定)ボタンを押してください。



注意

- ネットワーク上で接続可能なメディアサーバを自動検索して、検出された先着 4 サーバまでを表示します。5 台目以降は表示されません。

ビューワ画面各部の名称および操作の詳細は「4-3. ドライブに保存したファイルを投写する」(▶86 ページ) をご覧ください。

●本機とネットワークのメディアサーバを切断する

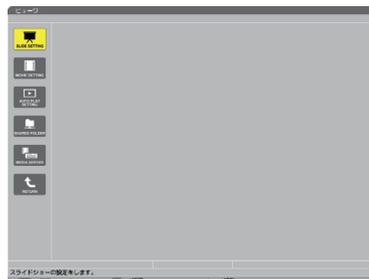
1 OPTIONS メニューに切り替える

(▼)ボタンを押して (OPTIONS) アイコンにカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押すと OPTIONS メニューに変わります。



2 メディアサーバ設定画面を開く

(▼)ボタンを押して (MEDIA SERVER) アイコンにカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押すと「メディアサーバ」設定画面が表示されます。



3 接続を無効にする

(決定)ボタンを押すとチェックボックスのチェックが外れて無効に設定されます。

(▼)ボタンを押して[確定]にカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押します。メディアサーバ設定画面が閉じます。



4-6. PowerPoint ファイル、PDF ファイルの表示に関する制限事項

本機のビューワは、PowerPoint ファイルおよび PDF ファイルを簡易表示する機能があります。

ただし、簡易表示のためコンピュータ用のアプリケーションソフトでの表示とは異なる場合があります。PowerPoint ファイルおよび PDF ファイルをビューワ内蔵の表示機能を使って表示する場合は、あらかじめ本機でご確認ください。

PowerPoint ファイルの制限事項の一部

- 文字フォントは自動的に本機搭載のフォントに変換して表示します。フォントによって大きさや間隔が異なるため、文字がはみ出したり行崩れすることがあります。また、一部の文字やフォントは表示されない場合があります。
- ファイルに含まれるいくつかの機能をサポートしません。たとえば、アニメーションや切り替え、ハイパーリンクなどに制限があります。
- コンピュータと比べてページ送りに時間がかかる場合があります。
- Microsoft PowerPoint 97 – 2007 形式のファイルであっても表示できない場合があります。

PDF ファイルの制限事項の一部

- PDF 作成時にフォントを埋め込まないと文字が表示されない場合があります。
- ファイルに含まれるいくつかの機能をサポートしません。たとえば、注釈や切り替え、フォーム、色空間などに制限があります。
- コンピュータと比べてページ送りに時間がかかる場合があります。
- Adobe Acrobat 形式の PDF であっても表示できない場合があります。

5. オンスクリーンメニュー

5-1. オンスクリーンメニューの基本操作

本機で投写する映像の画質調整や、本機の動作モードの切り替えなどは、オンスクリーンメニューを表示して行います。以降、「オンスクリーンメニュー」を「メニュー」と省略して記載します。

オンスクリーンメニュー画面の構成

メニューを表示するには(メニュー)ボタンを押します。また、メニューを消す場合は(戻る)ボタンを押します。

ここでは、メニューを操作しながら、メニュー画面の構成や各部の名称を説明します。

準備：本機の電源を入れて、スクリーンに映像を投写してください。

1 (メニュー) ボタンを押す。

ご購入後、はじめて操作したときは入力端子のメニューが表示されます。

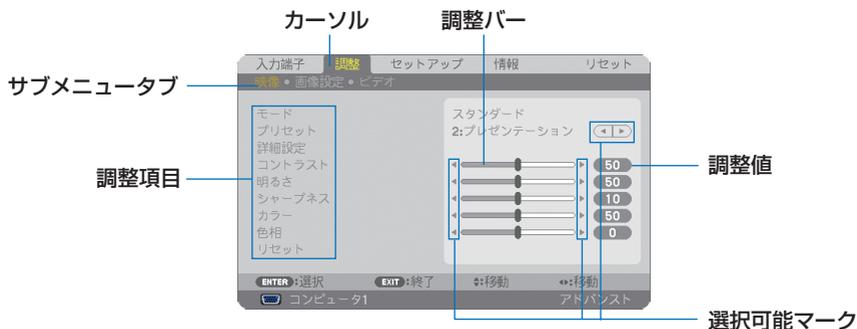
カーソル (黄色の部分)



無線 LAN ユニットの動作中、エコモード設定、ファンモードの「高地」設定、強制エコモード、本体キーロック中、オフタイマーの残り時間のアイコン

2 (▶) ボタンを 1 回押す。

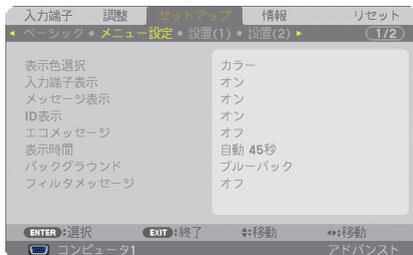
カーソルが「調整」に移動し、調整のメニューが表示されます。



- 3 (▼/▲) ボタンを押す。
カーソルが上下に移動し、調整項目を選択することができます。
- 4 「明るさ」にカーソルを合わせ、(◀/▶) ボタンを押す。
画面の明るさが調整されます。
 - ・ 「」が付いている項目は (◀/▶) ボタンで設定を切り替えることができます。
 - ・ 「」が付いていない項目の設定を行う場合は、その項目にカーソルを合わせ (決定) ボタンを押します。
 - ・ 調整項目内のリセットにカーソルを合わせ (決定) ボタンを押すと、映像の調整や設定を工場出荷状態に戻します。
- 5 (戻る) ボタンを 2 回押す。
カーソルがメインメニュータブの調整に移動します。
- 6 (▶) ボタンを 1 回押す。
カーソルがセットアップに移動し、セットアップのメニューが表示されます。



- 7 (決定) ボタンを押す。
ベーシックにカーソルが移動します。
 - ・ セットアップにはベーシック、メニュー設定、設置(1)、設置(2)、オプション(1)、オプション(2) という 6 つのサブメニュータブがあります。(◀/▶) ボタンで選択します。
- 8 (▶) ボタンを 1 回押して「メニュー設定」にカーソルを合わせる。
メニュー設定のメニューに切り替わります。



- 9 (▼) ボタンを押して「バックグラウンド」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。

バックグラウンド選択画面が表示されます。

- ・バックグラウンドとは、無信号時に表示される画面のことです。



- 10 (▼▲) ボタンを押して「ブルーバック」、「ブラックバック」、「ロゴ」のいずれかにカーソルを合わせる。

- 11 選択したい項目にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
バックグラウンドが設定されます。

- ・選択を取り消す場合は、(戻る) ボタンを押します。

- 12 (メニュー) ボタンを 1 回押す。
メニューが消えます。



注意

- ・入力信号や設定内容によっては、メニューの一部の情報が欠ける場合があります。

調整画面、設定画面の操作例

●ラジオボタンの選択

選択肢の中からから 1 つ「」を選びます。

【例 1】「壁色補正」の選択

セットアップ→ベーシック→壁色補正



- 1 (▼▲) ボタンを押す。

選択されているマーク () が移動します。

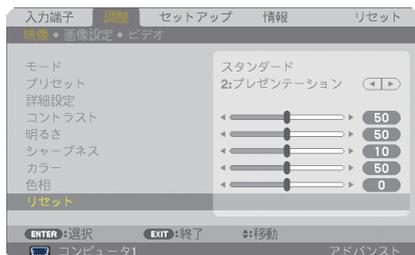
- 2 選択する項目に「」を移動したら、(決定) ボタンを押す。

● 実行ボタン

機能を実行します。

実行ボタンを選択して機能を実行すると、サブメニュー画面で **戻る** ボタンを押しても実行を取り消すことができません。

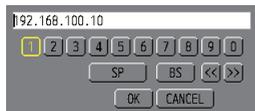
【例 2】 調整のリセット



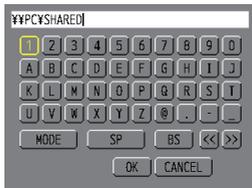
- 1 「リセット」にカーソルが合っていることを確認する。
- 2 **決定** ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 3 実行する場合は、**左右** ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
機能が実行されます。
 - 機能を実行しない場合は、確認メッセージで「いいえ」を選択し、**決定** ボタンを押します。

文字入力画面の使い方

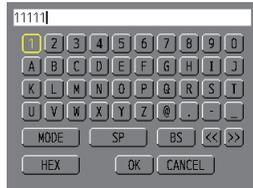
入力する項目によって、入力画面が異なります。



【IP アドレスのとき】



【ユーザー名、プロジェクター名、パスワード、信号リストの信号名など入力するとき】



【WEP キー入力するとき】

- 1 文字を入力する項目にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
文字入力画面を表示します。

文字以外の項目は、次のような動きをします。

- ・ [MODE] 英大文字、英小文字、特殊文字の切り替えを行います。
- ・ [SP] スペースを入力します。
- ・ [BS] カーソルの左側にある 1 文字を消します。
- ・ [<<] [>>] 英数字入力欄のカーソルを左右に移動します。
- ・ [OK] 入力した文字を確定して、文字入力画面を閉じます。
- ・ [CANCEL] .. 入力した文字を取り消して、文字入力画面を閉じます。
- ・ [HEX] 16 進数が入力できる場合に表示され、16 進数入力ができます。

- 2 **▼▲▶▶** ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
文字が入力されます。

- 3 入力が終わったら **▼▲▶▶** ボタンを押して [OK] にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
入力した文字を確定して、文字入力画面が閉じます。

5-2. オンスクリーンメニュー一覧

以下は、「アドバンスメニュー」の一覧です。「ベーシックメニュー」で表示される項目には「**B**」マークを付けています。

アドバンスメニューとベーシックメニューの選択はアプリケーションメニュー→ツール→管理者モードで選択します。(🔗 167 ページ)

は、各項目の工場出荷時の値を表しています。

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ	
メインメニュー		サブメニュー				
入力端子		-		コンピュータ 1 B コンピュータ 2 B コンピュータ 3 B HDMI B DisplayPort B ビデオ B S-ビデオ B ビューワ B ネットワーク B 信号リスト テストパターン	115	
調整	映像	モード		スタンダード、プロフェッショナル	119	
		プリセット		1：高輝度モード、2：プレゼンテーション、3：ビデオ、4：ムービー、5：グラフィック、6：sRGB、7：DICOM SIM.		
		詳細設定	全般	参照	高輝度モード、プレゼンテーション、ビデオ、ムービー、グラフィック、sRGB、DICOM SIM.	120
				ガンマ補正※1	ダイナミック、ナチュラル、ソフト	
				スクリーンサイズ※2	大、中、小	
				色温度※3	5000、6500、7800、8500、9300、10500	121
				ダイナミックコントラスト	オフ、オン	
		ホワイトバランス		コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青	121	
		色補正		赤、緑、青、イエロー、マゼンタ、シアン	122	
		コントラスト B				
明るさ B						
シャープネス B						
カラー B						
リセット B						

※1：ガンマ補正は、参照で「DICOM SIM.」以外を選択しているときに表示されます。

※2：スクリーンサイズは、参照で「DICOM SIM.」を選択しているときに表示されます。

※3：色温度は、プリセットで高輝度モードまたはプレゼンテーションを選択しているときに表示されません。

メニュー		選択項目	参照 ページ		
メインメニュー	サブメニュー				
調整	画像設定	クロック周波数		122	
		位相		123	
		水平			
		垂直			
		ブラッキング	上端、下端、左端、右端	124	
		オーバースキャン	自動、0%、5%、10%		
	アスペクト B	(コンピュータ信号入力時) 自動、4:3、5:4、16:9、15:9、16:10、リアル (コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ信号入力時) 自動、4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、スタジアム (スクリーンタイプが 16:9 / 16:10 の時) (コンポーネント/ビデオ/S-ビデオ信号入力時) 自動、4:3、レターボックス、ワイドスクリーン、ズーム (スクリーンタイプが 4:3 の時)			
	解像度				
	ビデオ	ノイズリダクション	ランダム NR		オフ、弱、中、強
			モスキート NR	オフ、弱、中、強	
			ブロック NR	オフ、オン	
		デインターレース	自動、ビデオ、フィルム	127	
	3D Y/C 分離	オフ、 オン			
	DETAIL ENHANCEMENT				
	信号形式	RGB、コンポーネント			
セットアップ	ベーシック	ビデオレベル	自動、ノーマル、拡張	128	
		台形補正 B	水平、垂直	129	
		4点補正 B			
		PIP/PICTURE BY PICTURE B	PIP/PBP モード		子画面設定、PICTURE BY PICTURE
			PIP 表示位置		上端 - 左端、上端 - 右端、下端 - 左端、下端 - 右端
			PIP/PBP 入力		オフ、ビデオ、S-ビデオ
		壁色補正 B	オフ、ホワイトボード、黒板、黒板 (グレー)、ライトイエロー、ライトグリーン、ライトブルー、スカイブルー、ライトローズ、ピンク	130	
		エコモード B	オフ、オン		
		クローズドキャプション B	オフ、キャプション 1、キャプション 2、キャプション 3、キャプション 4、テキスト 1、テキスト 2、テキスト 3、テキスト 4		
		オフタイマー B	オフ、0:30、1:00、2:00、4:00、8:00、12:00、16:00		
ツール B (アプリケーションメニューのツール設定画面に移行します。)					

メニュー		サブメニュー		選択項目	参照ページ	
メインメニュー セットアップ	ベーシック	言語 ^{※4}		ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、SVENSKA、日本語、DANSK、PORTUGUÊS、ČEŠTINA、MAGYAR、POLSKI、NEDERLANDS、SUOMI、NORSK、TÜRKÇE、РУССКИЙ、عربي、ΕΛΛΗΝΙΚΑ、中文、한국어、ROMÂNĂ、HRVATSKI、БЪЛГАРСКИ、ไทย、हिंदी、INDONESIA	130	
		メニュー設定	表示色選択	カラー、モノクロ	131	
	入力端子表示	オフ、オン				
	メッセージ表示	オフ、オン				
	ID表示	オフ、オン				
	エコメッセージ	オフ、オン				
	表示時間	手動、自動5秒、自動15秒、自動45秒				
設置 (1)	投写方法	デスク/フロント、天吊り/リア、デスク/リア、天吊り/フロント		133		
		スクリーン設定	スクリーンタイプ		4:3スクリーン、16:9スクリーン、16:10スクリーン	134
		表示位置 ^{※4}				
		幾何学補正	オフ、1、2、3			
		MULTI-SCREEN COMP.	モード	オフ、オン	135	
			コントラスト			
			明るさ			
		基準ホワイトバランス	コントラスト 赤、コントラスト 緑、コントラスト 青、明るさ 赤、明るさ 緑、明るさ 青、ユニフォミティ 赤、ユニフォミティ 青			
		コンバージェンス ^{※5}	水平 赤、水平 緑、水平 青、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青			
						136
	設置 (2)	ネットワーク設定 (アプリケーションメニューのネットワーク設定画面に移行します)				—
			本体キーロック	オフ、オン		136
		セキュリティ	オフ、オン		137	
		通信速度	4800bps、9600bps、19200bps、38400bps、115200bps			
		リモコン受光部設定	前側/後側、前側、後側			
		コントロールID	コントロールID番号	1- 254		
			コントロールID	オフ、オン		
オプション (1)	自動調整		オフ、ノーマル、ファイン		139	
	ファンモード	モード	自動、高速、高地			
		設置方向	標準、上向き設置			
	信号選択 (COMP3)		RBG/コンポーネント、ビデオ		141	
シームレススイッチング ^{※5}		オフ、オン				

※4：NP-PA600XJL/NP-PA500XJLのみ表示されます。

※5：NP-PA500UJLのみ表示されます。

メニュー			選択項目	参照ページ	
メインメニュー	サブメニュー				
セットアップ	オプション (1)	カラー方式	ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	141
			S-ビデオ	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	
			コンピュータ 3 (ビデオ)	自動判別、NTSC3.58、NTSC4.43、PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60、SECAM	
		音声選択	HDMI	HDMI、コンピュータ 2	
			DisplayPort	DisplayPort、コンピュータ 2	
		ピープ音		オフ、オン	
	オプション (2)	スタンバイモード		ノーマル、省電力、ネットワークスタンバイ	142
		ダイレクトパワーオン		オフ、オン	143
		オートパワーオン (COMP1/3)		オフ、コンピュータ 1、コンピュータ 3	
		オートパワーオフ		オフ、0:05、0:10、0:20、0:30	144
初期入力選択		ラスト、自動、コンピュータ 1、コンピュータ 2、コンピュータ 3、HDMI、DisplayPort、ビデオ、S-ビデオ、ビューワ、ネットワーク			
情報	使用時間 [ⓑ]		ランプ残量、ランプ使用時間、フィルタ使用時間、総 CO2 削減量	145	
	信号 (1) [ⓑ]		入力端子、解像度、水平同期周波数、垂直同期周波数、同期形態、同期極性、走査方式、信号名、登録番号		
	信号 (2) [ⓑ]		信号形式、ビデオ標準、色深度、ビデオレベル、データレート、レーン数		
	有線 LAN		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス		
	無線 LAN (1)		IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、MAC アドレス、		
	無線 LAN (2)		SSID、通信モード、WEP/WPA、チャンネル、信号レベル		
	VERSION (1) [ⓑ]		FIRMWARE、DATA、FIRMWARE2、SUB-CPU		
	VERSION (2) [ⓑ]		FIRMWARE3		
その他 [ⓑ]		プロジェクター名、MODEL NO.、SERIAL NUMBER、LAN UNIT TYPE、CONTROL ID ^{※6}			
リセット	—		表示中の信号	147	
			全データ		
			全データ (信号リストを含む)		
			ランプ時間クリア	148	
		フィルタ時間クリア			

※6：CONTROL ID はコントロール ID を設定しているときに表示されます。

5-3. 入力端子



入力端子を選択する

投写する入力端子を選択します。

現在選択されている入力端子には「●」(ドット)を表示します。

コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ 2	コンピュータ 2 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
コンピュータ 3	コンピュータ 3 映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
HDMI	HDMI 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
DisplayPort	DisplayPort 入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子に接続している機器の映像を投写します。
ビューワ	ビューワに切り替えます。(82 ページ)
ネットワーク	LAN ポート (RJ-45) または本体に装着している別売の無線 LAN ユニットの介してコンピュータから送られてくるデータを投写します。
信号リスト	信号リストから信号を呼び出してして投写します。(116 ページ)
テストパターン	メニューを閉じてテストパターン画面に切り替わります。(戻る) ボタンを押すとともに戻ります。

参考

- コンポーネント入力信号をコンピュータ 1、コンピュータ 2 およびコンピュータ 3 映像入力端子に接続している場合は、コンピュータ 1、コンピュータ 2 およびコンピュータ 3 を選択してください。
コンピュータ 1、コンピュータ 2 およびコンピュータ 3 映像入力端子の入力信号は、コンピュータ信号とコンポーネント信号を自動的に判別します。

信号リストを利用する

画像設定を少しでも行くと、信号の調整値が本機の信号リストに自動的に登録されます。登録された信号（の調整値）は、必要ときに信号リストから呼び出すことができます。

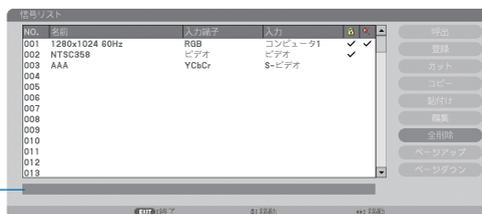
信号リストには100パターンまで登録できます。信号リストへの登録数が100パターンに達すると、それ以降メッセージを表示して登録できなくなります。必要なくなった信号（の調整値）は、信号リストから削除してください。

●信号リストを表示する

- 1 **メニュー** ボタンを押す。
メニューが表示されます。
- 2 **◀▶** ボタンを押して [入力端子] にカーソルを合わせる。
入力端子一覧が表示されます。



- 3 **▼** ボタンを押して、カーソルを信号欄に移動する。
- 4 **▼▲◀▶** ボタンを押して「信号リスト」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。
信号リストが表示されます。
 - メニューに信号リストが表示されていない場合は、アドバンスメニューに変更してください。アドバンスメニューとベーシックメニューの選択はアプリケーションメニュー→ツール→管理者モードで行います。 ([167 ページ](#))



クリップボード

●投写している信号を登録する [登録]

- 1 信号リストで **▼▲** ボタンを押して登録する番号にカーソルを合わせる。
- 2 **◀▶** ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し **▼▲** で「登録」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

●信号リストから信号を選択する [呼出]

- 1 信号リストで(▼▲)ボタンを押して選択する信号にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

●信号リストの項目を編集する [編集]

- 1 信号リストで(▼▲)ボタンを押して編集する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「編集」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
信号編集画面が表示されます。



信号名	最大英数 18 文字で、信号名を入力します。
入力端子	入力端子の変更ができます。コンピュータ信号は、コンピュータ 1 / コンピュータ 2 / コンピュータ 3 / HDMI / DisplayPort の切り替えができます。 ビデオ、S-ビデオ信号は、ビデオ / S-ビデオの切り替えができます。コンポーネント信号は、コンピュータ 1 / コンピュータ 2 / コンピュータ 3 / HDMI の切り替えができます。
ロック (🔒)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、[全削除] を行ったときに残しておくことができます。また、ロック後に調整を行った値は保存されません。
スキップ (🚫)	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマーク) を付けておくと、入力信号を自動検出するときにスキップすることができます。

- 3 各項目を設定し、「確定」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。



- 現在投写中の信号を編集する場合、入力端子は変更できません。

●信号リストの項目を削除する [カット]

- 1 信号リストで(▼▲)ボタンを押して削除する信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「カット」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
信号リストから削除され、信号リストのいちばん下のクリップボードに、削除した信号が表示されます。

注意

- 現在投写中の信号を削除することはできません。
- 信号編集画面でロックした信号を選択した場合は、カットは文字が薄く表示され選択できません。

参考

- クリップボードの内容は、信号編集コマンドの貼付けで信号リストに貼り付ける(複製する)ことができます。
- クリップボードの内容は、信号リストを閉じても消えません。

●信号リストの項目をコピーする [コピー] [貼付け]

- 1 信号リストで(▼▲)ボタンを押してコピーする信号にカーソルを合わせる。
- 2 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「コピー」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
信号リストのいちばん下のクリップボードに、コピーする信号が表示されます。
- 3 (◀▶)ボタンを押して信号リストに移動する。
- 4 (▼▲)ボタンを押して、コピーしたい項目へカーソルを合わせる。
- 5 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「貼付け」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
クリップボードの内容がコピーされます。

●信号リストの項目をすべて削除する [全削除]

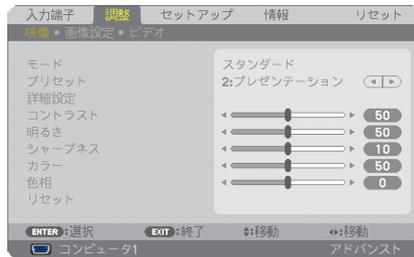
- 1 (◀▶)ボタンを押して信号編集コマンド一覧にカーソルを移動し、(▼▲)ボタンで「全削除」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
確認メッセージが表示されます。
- 2 (◀▶)ボタンを押して「はい」にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

注意

- 信号編集画面でロックした信号は削除されません。

5-4. 調整

映像



●モード

プリセットの詳細設定の設定値を、入力信号ごとに保存するかどうかを設定します。

スタンダード	プリセットの詳細設定の設定値を、プリセットの項目ごと（1～7）に保存します。
プロフェッショナル	映像ページ内のすべての設定値が入力信号ごとに保存されません。

●プリセット

映像ソースに最適な設定を選択する

投写した映像に最適な設定を選択します。

鮮やかな色調にしたり、淡い色調にしたり、ガンマ（階調再現性）を設定できます。本機の工場出荷時は、プリセット項目1～7に、あらかじめ次の設定がされています。また、詳細設定でお好みの色調およびガンマにするための細かな設定ができ、設定値をプリセット項目1～7に登録できます。

1：高輝度モード	明るい部屋で投写するときに適した設定にします。
2：プレゼンテーション	PowerPointなどでプレゼンテーションを行うときに適した設定にします。
3：ビデオ	テレビ番組や一般的な映像ソースを投写するときに適した設定にします。
4：ムービー	映画を投写するときに適した設定にします。
5：グラフィック	グラフィック画面に適した設定にします。
6：sRGB	sRGBに準拠した色が再現されます。
7：DICOM SIM.	医療業界で用いられているDICOM規格に近似した設定にします。



- 本機の「DICOM SIM.」は、DICOM規格に近似した映像に調整する設定であり正しく投写できない場合があります。そのため「DICOM SIM.」は教育用途のみに使用し、実際の診断には使用しないでください。

参考

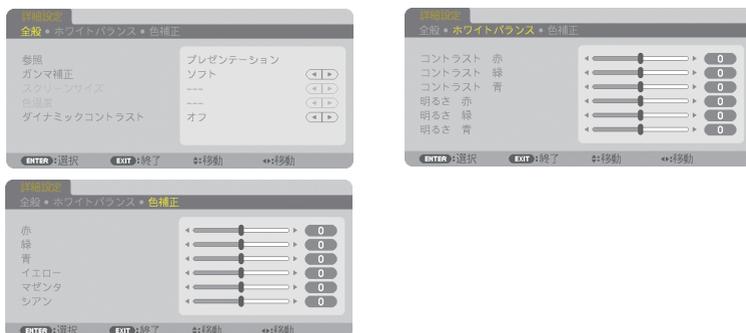
- 「sRGB」は、機器間の色再現の違いを統一するために、コンピュータやディスプレイ、スキャナ、プリンタなどの色空間を規定・統一した国際標準規格です。1996年に Hewlett-Packard社と Microsoft社が策定し、1999年に IECの国際規格となりました。
- 「DICOM SIM.」の DICOM（ダイコム）は、医療用画像の保存や通信に用いられている世界標準規格の名称です。コンピュータ断層撮影（CT）、磁気共鳴映像法（MRI）や内視鏡などの診療で用いられています。

詳細設定

お客様のお好みに調整した設定にします。

調整値を登録するには、プリセット項目 1～7 のいずれかを選択し、「詳細設定」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。

ガンマ補正、スクリーンサイズ、色温度、ダイナミックコントラスト、ホワイトバランス、色補正の項目について、細かな設定ができます。



全般 — 参照

詳細設定のもとになるモードを選択します。

全般 — ガンマ補正

映像の階調を選択します。これにより暗い部分も鮮明に表現できます。

ダイナミック	メリハリのある映像設定です。
ナチュラル	標準的な設定です。
ソフト	信号の暗い部分が鮮明になります。

注意

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合は、ガンマ補正は設定できません。

全般 — スクリーンサイズ

投写画面のサイズに応じた適切なガンマ補正を行います。

大	150 型前後のサイズのときに選択します。
中	100 型前後のサイズのときに選択します。
小	50 型前後のサイズのときに選択します。

注意

- 詳細設定で「DICOM SIM.」を選択した場合のみ設定できます。

全般 — 色温度

色 (R, G, B) のバランスを調整して色再現性を最良にします。
高い数値の色温度は青みがかった白になり、低い数値の色温度は赤みがかった白になります。

注意

- 詳細設定で「高輝度モード」および「プレゼンテーション」を選択した場合、色温度は選択できません。

全般 — ダイナミックコントラスト

「オン」に設定すると、最適なコントラスト比に調整します。

● ホワイトバランス

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

明るさ 赤 明るさ 緑 明るさ 青	映像の黒色を調整します。
コントラスト 赤 コントラスト 緑 コントラスト 青	映像の白色を調整します。

注意

- ホワイトバランスを操作した場合は、色温度の数値と実際の色合いが異なります。

● 色補正

各信号共通の色補正を行います。

赤、緑、青、イエロー、マゼンタ（紫）、シアン（明るい青緑）の各色の色味を調整します。

赤	赤色を中心とした赤色付近の色を調整します。 黄あるいはマゼンタがかった赤色に調整できます。
緑	緑色を中心とした緑色付近の色を調整します。 黄あるいはシアンがかった緑色に調整できます。
青	青色を中心とした青色付近の色を調整します。 紫あるいはシアンがかった青色に調整できます。
イエロー	黄色を中心とした黄色付近の色を調整します。 赤あるいは緑がかった黄色に調整できます。
マゼンタ	マゼンタを中心としたマゼンタ付近の色を調整します。 赤あるいは青がかったマゼンタに調整できます。
シアン	シアンを中心としたシアン付近の色を調整します。 緑あるいは青がかったシアンに調整できます。

●コントラスト／明るさ／シャープネス／カラー／色相

スクリーンに投写している映像の調整を行います。

コントラスト	映像の暗い部分と明るい部分の差をはっきりしたり、淡くします。
明るさ	映像を明るくしたり、暗くします。
シャープネス	映像をくっきりしたり、やわらかくします。
カラー	色を濃くしたり、淡くします。
色相	赤みがかかった映像にしたり、緑がかかった映像にします。



- 各調整項目は入力信号によって調整できない場合があります。

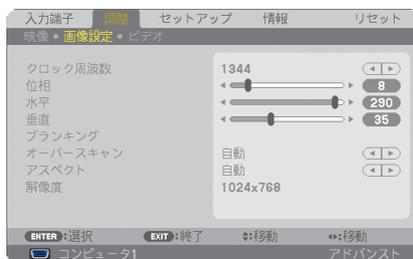
入力信号	コントラスト	明るさ	シャープネス	カラー	色相
コンピュータ/DisplayPort/ HDMI (RGB)	○	○	○	×	×
コンピュータ /DisplayPort/ HDMI (コンポーネント)	○	○	○	○	○
ビデオ、S-ビデオ	○	○	○	○	○
ビューワ、ネットワーク	○	○	○	×	×

(○：調整可、×：調整不可)

●リセット

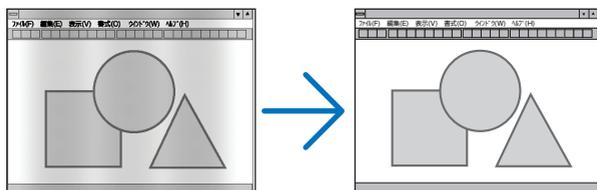
「映像」の調整および設定を工場出荷状態に戻します。プリセットの番号、およびそのプリセット内の参照はリセットされません。現在選択されていないプリセットの詳細設定もリセットされません。

画像設定



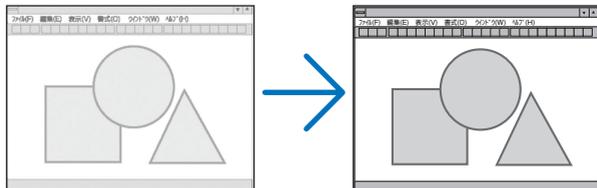
●クロック周波数

画面の明るさが一定になる（明暗の縦帯が出なくなる）ように調整します。



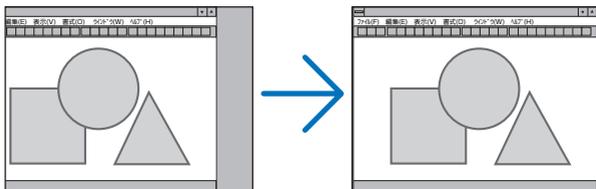
●位相

画面の色ずれ、ちらつきが最小になるように調整します。



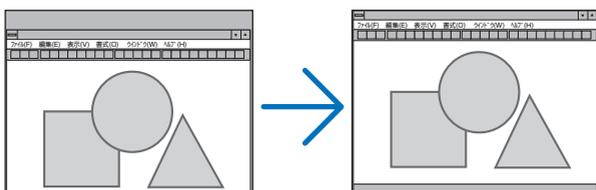
●水平

画面を水平方向に移動します。



●垂直

画面を垂直方向に移動します。

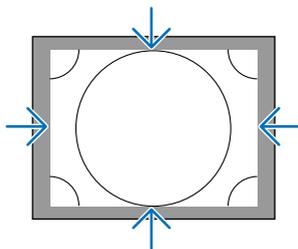


注意

- クロック周波数、位相を調整中に画面が乱れることがありますが故障ではありません。
- クロック周波数、位相、水平、垂直を調整すると、そのとき投写している信号に応じた調整値として本機に記憶します。そして、次回同じ信号(解像度、水平・垂直走査周波数)を投写したとき、本機に記憶している調整値を自動的に呼び出して設定します。
本機に記憶した調整値を消去する場合は、オンスクリーンメニューのリセット→「表示中の信号」を行ってください。

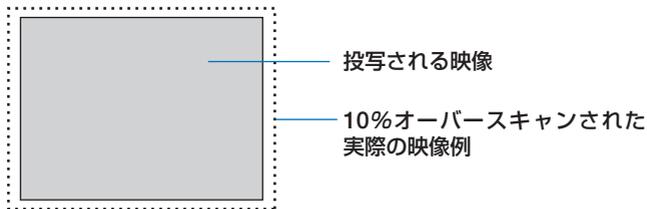
●ブランキング

映像信号の上端、下端、左端、右端の表示範囲(ブランキング)を調整します。



●オーバースキャン

オーバースキャン（画面周囲のフレーム部分をカットする処理）の割合を設定します。



- アスペクトが「リアル」のときは選択できません。

●アスペクト

画面の縦横の比率を選択します。

アスペクトを設定する前に、スクリーン設定のスクリーンタイプ（4：3 / 16：9 / 16：10）を選択してください。（👉 134 ページ）

【コンピュータ信号時】



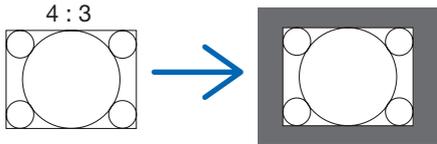
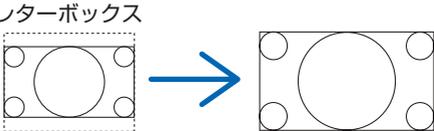
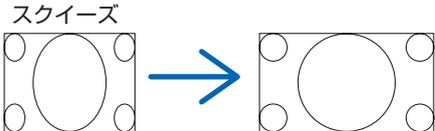
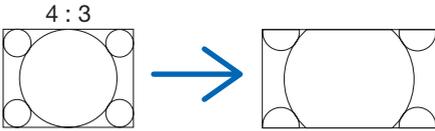
【コンポーネント／ビデオ／S-ビデオ信号時】

スクリーンタイプが「4：3」スクリーンするとき



スクリーンタイプが「16：9」または「16：10」スクリーンするとき



自動	<p>入力信号のアスペクト比を自動判別して投写します。</p> <p>入力信号によっては、アスペクト比を誤判別することがあります。誤判別したときは、以下の項目から適切なアスペクト比を選択してください。</p>
4 : 3	4 : 3 のサイズで投写します。
5 : 4	5 : 4 のサイズで投写します。
16 : 9	16 : 9 のサイズで投写します。
15 : 9	15 : 9 のサイズで投写します。
16 : 10	16 : 10 のサイズで投写します。
リアル	<p>コンピュータ入力信号の解像度が本機の解像度 (14 ページ) よりも小さいときに、コンピュータ入力信号の解像度のまま投写します。また、本機の解像度よりも大きいときは、コンピュータ入力信号の解像度のまま画面の中心を投写します。</p> 
レターボックス	<p>16 : 9 のレターボックス信号を投写します。</p> 
ワイドスクリーン	<p>16 : 9 のスクイーズ信号入力時、垂直方向を圧縮して 16 : 9 のサイズで投写します。</p> 
ズーム	<p>16 : 9 のスクイーズ信号入力時、左右に引き伸ばして 4 : 3 のサイズで投写します。そのため、左右の両端は表示されません。</p> 
スタジアム	<p>4 : 3 の入力信号を左右に引き延ばして 16 : 9 のサイズで投写します。</p> 

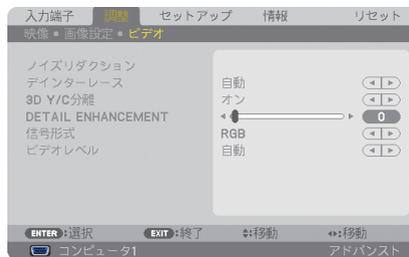
- コンピュータの主な解像度とアスペクト比は次のとおりです。

解像度		アスペクト比
VGA	640 × 480	4 : 3
SVGA	800 × 600	4 : 3
XGA	1024 × 768	4 : 3
WXGA	1280 × 768	15 : 9
HD (FWXGA)	1366 × 768	約 16 : 9
WXGA	1280 × 800	16 : 10
WXGA+	1440 × 900	16 : 10
WXGA++	1600 × 900	16 : 9
SXGA	1280 × 1024	5 : 4
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 9
FHD(1080P)	1920 × 1080	16 : 9
UXGA	1600 × 1200	4 : 3
WUXGA	1920 × 1200	16 : 10

● 解像度

自動判別が難しい信号が入力された場合に解像度を強制的に指定します。

ビデオ



● ノイズリダクション

ビデオ映像入力端子から入力された映像を投写するとき、ノイズリダクション機能を使うと、画面のノイズ（ざらつきや乱れ）を軽減することができます。本機には3種類のノイズ軽減機能がありますので、ノイズの種類に応じた機能を選択します。またノイズの度合いに応じて、ランダム NR およびモスキート NR は「オフ」「弱」「中」「強」の4段階から、ブロック NR は「オフ」「オン」の2段階からノイズリダクション効果を選択できます。

ランダム NR	画面全体に散らしたようなノイズを軽減します。
モスキート NR	映像の輪郭部に蚊の大群がまとわり付いているような、もやもやしたノイズを軽減します。
ブロック NR	映像がモザイクのように四角いかたまり状態に見えるノイズを軽減します。

●デインターレース

インターレース信号が入力された場合のプログレッシブ変換処理を選択します。

自動	映像によって最適な処理方法を自動判別します。
ビデオ	通常の変換処理を適用します。
フィルム	テレシネ信号の自動検出モードを適用します。映画を投写する場合に設定します。

注意 ● コンピュータ信号のときは選択できません。

● 3D Y / C 分離

ビデオ映像入力端子から入力された映像を投写するとき、「オン」に設定すると画質を向上することができます。

オフ	3次元の Y/C 分離機能を無効にします。
オン	3次元の Y/C 分離機能を有効にします。

注意 ● NTSC3.58 のビデオ信号以外のときは選択できません。

● DETAIL ENHANCEMENT

コンポーネント信号を投写しているとき、映像の輪郭を強調します。

●信号形式

本機はコンピュータ 1、コンピュータ 2、コンピュータ 3*入力は RGB とコンポーネント信号を自動判別して投写します。それでも画像の色彩が不自然な場合には設定を切り替えてみてください。

*コンピュータ 3 は信号選択 (COMP3) でコンピュータ信号とビデオ信号を選択することができます。

RGB	RGB 入力に切り替えます。
コンポーネント	コンポーネント信号入力に切り替えます。

●ビデオレベル

本機のHDMI入力端子およびDisplayPort入力端子と外部機器とを接続した場合の映像信号レベルの選択です。

自動	信号を出力する機器の情報をもとにビデオレベルを自動的に切り替えます。 接続している機器によっては正しく設定できない場合があります。その場合は、メニューで「ノーマル」または「拡張」に切り替え最適な状態で視聴してください。
ノーマル	拡張を無効にします。
拡張	映像のコントラストが向上し、暗部および明部がよりダイナミックに表現されます。

5-5. セットアップ

ベーシック



● 台形補正

台形補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「2-6. 台形歪みを調整する」(42 ページ)をご覧ください。

● 4点補正

4点補正画面を表示して、投写画面の台形歪みを調整します。

操作について詳しくは、「3-6. 台形歪みを調整する (4点補正)」(54 ページ)をご覧ください。

● PIP/PICTURE BY PICTURE

ピクチャーインピクチャー機能およびピクチャーバイピクチャー機能を設定します。

操作について詳しくは、「3-7. 2つの映像を同時に投写する」(57 ページ)をご覧ください。

PIP/PBP モード	PIP (ピクチャーインピクチャー画面) にするか PICTURE BY PICTURE (ピクチャーバイピクチャー画面) にするかを選択します。
PIP 表示位置	PIP のときの子画面の表示位置を選択します。
PIP/PBP 入力	子画面または副画面に表示する入力信号を選択します。

● 壁色補正



映像を投写する面がスクリーンではなく、部屋の壁などの場合、メニューから壁の色に近い項目を選択すると、壁の色に適応した色合いに補正して投写できます。



- 「ホワイトボード」を選択すると、明るさが低下します。

●エコモード

エコモードを設定すると、本機の CO₂ 排出量（消費電力削減量より換算）を削減することができます。エコモードは主にランプの輝度を下げて消費電力を削減します。このためにランプ交換時間（目安）^{*}を延ばすことにもなります。（▶ 50,146 ページ）

^{*}保証時間ではありません。

●クローズドキャプション

ビデオ信号、S-ビデオ信号にクローズドキャプション信号が含まれている場合に字幕や文字を画面に表示します。

オフ	表示しません。
キャプション 1～4、テキスト 1～4	選択した字幕や文字を表示します。

参考

- クローズドキャプションは、アメリカで聴覚に障害を持つ人々のために、ビデオ信号などを画面に投写する際、音声情報を字幕や文字で表示する技術です。

●オフタイマー

オフタイマーを設定しておく、本機の電源の切り忘れ防止になり、省エネになります。設定した時間後に本機の電源が切れます（スタンバイ状態になります）。

オフタイマーを設定するとオンスクリーンメニュー下部には、本機の電源が切れるまでの残り時間が表示されます。また、オフタイマー動作時は電源インジケータの青色が長い点滅になります。

●ツール

アプリケーションメニューのツール設定画面に移行します。（▶ 167 ページ）

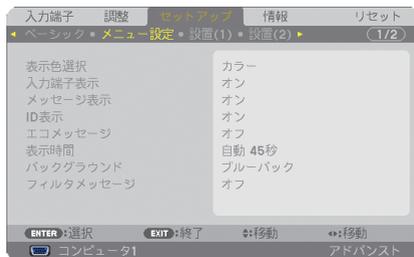
●言語

メニューに表示される言語を選択します。

参考

- 言語は、リセットを行っても変更されません。

メニュー設定



●表示色選択

本機のメニューをカラーで表示するか、モノクロで表示するかを選択します。

●入力端子表示

画面右上に入力端子を表示するか、しないかを選択します。

「オン」を選択した場合は、次の表示を行います。

- ・入力信号を切り替えたときに、画面右上に「コンピュータ 1」などの入力端子名を表示します。

●メッセージ表示

投写画面下側に本機のメッセージを表示するか、しないかを選択します。

「オフ」を選択しても、セキュリティロック中の警告は表示されます。セキュリティロック中の警告は、ロックを解除すると表示が消えます。

●ID表示

複数台のプロジェクターを本機のリモコンやコントロール ID 機能対応のリモコンを使って操作する場合、リモコンの (ID SET) ボタンを押したときに、コントロール ID 画面を表示するか、しないかを選択します。設定はコントロール ID (🔵 137 ページ) をご覧ください。

●エコメッセージ

本機の電源を入れたときに下の画面のようなエコメッセージを表示するか、しないかを選択します。

エコメッセージは、本機の利用者に省エネをすすめるためのメッセージで、エコモードが「オフ」の場合はエコモードを設定するように促します。

エコモードを設定しているときのエコメッセージ

表示を消すにはいずれかのボタンを押します。30 秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



エコモードが「オフ」のときのエコメッセージ

(決定) ボタンを押すとエコモード選択画面を表示します。(🔵 50 ページ)

表示を消すには(戻る) ボタンを押します。

- ・30 秒間ボタン操作をしない場合は自動で消えます。



●表示時間

メニューを表示しているとき、次のボタン操作がない場合にメニューを自動的に閉じるまでの時間を選択します。

●バックグラウンド

入力信号がないときの背景色を選択します。

ブルーバック	背景色が青
ブラックバック	背景色が黒
ロゴ	背景に画像を表示

注意

- バックグラウンド「ロゴ」を選択していても、PIP/PICTURE BY PICTUREで2画面を表示している場合は、無信号状態になるとロゴは表示されずブルーバック表示になります。

参考

- バックグラウンドは、リセットを行っても変更されません。

●フィルタメッセージ

本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。フィルタメッセージで設定した時間（工場出荷時は「オフ」）を超えると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。

この場合はフィルタの清掃時期ですので、フィルタを清掃してください。清掃のしかたは「7-1. フィルタの清掃」(189ページ)をご覧ください。

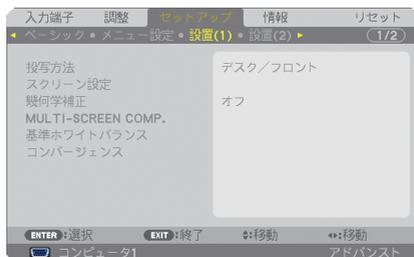
フィルタの汚れかたに応じて、工場出荷時の設定「オフ」を変更してください。たとえば、フィルタの汚れかたがひどい場合は、設定時間を短くしてこまめに清掃してください。

オフ	フィルタ清掃のメッセージは表示されません。
100[H] / 500[H] / 1000[H] / 2000[H]	設定した時間（100時間 / 500時間 / 1000時間 / 2000時間）を超えると、画面上にフィルタ清掃のメッセージが表示されます。

参考

- フィルタ清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本機の \odot ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。電源投入時にフィルタ清掃のメッセージを消す場合は、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
- フィルタメッセージは、リセットを行っても変更されません。

設置 (1)



●投写方法

本機やスクリーンの設置状況に合わせて選択してください。

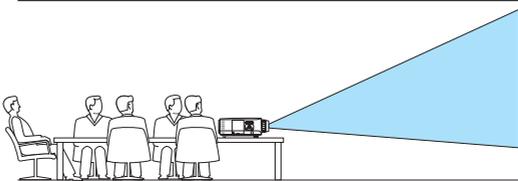
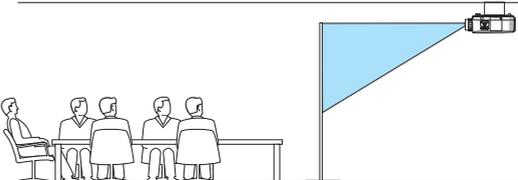
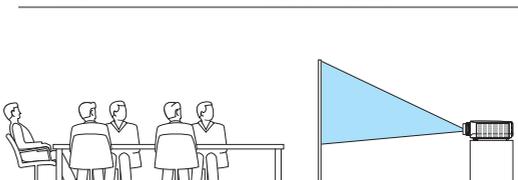


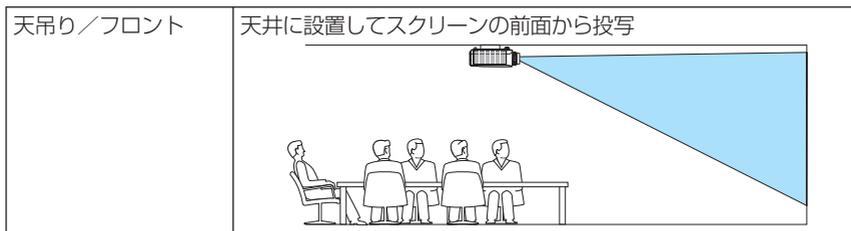
警告

天吊りなどの特別な工事が必要な設置についてはお買い上げの販売店にご相談ください。
お客様による設置は絶対にしないでください。
落下してけがの原因となります。

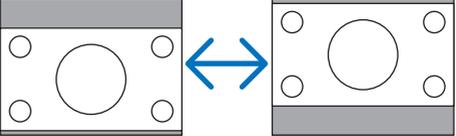


- 本機は天井（上向き）や床面（下向き）に投写することができるフリーチルト対応プロジェクターです。垂直方向に設置する場合はファンモードの設置方向を設定してください。（▶139 ページ）

デスク/フロント	テーブルに設置してスクリーンの前面から投写 
天吊り/リア	天井に設置してスクリーンの背面から投写 
デスク/リア	テーブルに設置してスクリーンの背面から投写 



●スクリーン設定

スクリーンタイプ	投写するスクリーンの比率を設定します。	
	4 : 3 スクリーン	縦横比が 4 : 3 のスクリーンの場合
	16 : 9 スクリーン	縦横比が 16 : 9 のスクリーンの場合
	16 : 10 スクリーン	縦横比が 16 : 10 のスクリーンの場合
表示位置 (NP-PA600XJL/ NP-PA500XJLの とき)	スクリーンタイプが 16 : 9 と 16 : 10 スクリーンのときに、表示領域の垂直位置を調整します。 下へ ↓  上へ ↑	

注意

- スクリーンタイプを変更したら、必ず [アスペクト] の設定を確認してください。
([124 ページ](#))
- スクリーンタイプが「4 : 3 スクリーン」のときは、表示位置は文字が薄く表示され選択できません。

●幾何学補正

本機にあらかじめ登録されている幾何学補正のデータを呼び出します。
登録データは 3 つあります。

注意

- 幾何学補正を設定しているときは、台形補正および 4 点補正は選択できません。
- 設定した幾何学補正のデータをクリアする場合は、(3D REFORM) ボタンを 2 秒以上押してください。
- 幾何学補正は電気的な補正を行っているため、輝度の低下や画質の劣化が見れる場合があります。

● MULTI-SCREEN COMP. (マルチスクリーン補正)

複数台のプロジェクターを並べて投写するとき、各プロジェクター間の投写映像の色合いを近づけます。

モード	オフ	マルチスクリーン補正を無効にします。 通常の明るさに戻ります。
	オン	マルチスクリーン補正を有効にします。 画面が暗くなります。コントラスト、明るさの調整が可能になります。
明るさ	暗部を調整します。	
コントラスト	明部を調整します。	

調整方法

- 1 コンピュータ画面いっばいに白色および黒色が表示できるような画面を用意する。
- 2 コンピュータに黒画面を表示し、複数のプロジェクターで投写する。
- 3 調整するプロジェクターの MULTI-SCREEN COMP. のモードを「オン」にする。
MULTI-SCREEN COMP. 設定画面の「モード」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。
(▼) ボタンを押して「オン」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。
- 4 プロジェクター間の暗部を調整する。
(▼) ボタンを押して、「明るさ」にカーソルを合わせ、**(◀/▶)** ボタンを押して他のプロジェクターの黒色に合わせます。
- 5 コンピュータに白画面を表示し、複数のプロジェクターで投写する。
- 6 プロジェクター間の明部を調整する。
(▲) ボタンを押して、「コントラスト」にカーソルを合わせ、**(◀/▶)** ボタンを押して他のプロジェクターの白に合わせます。
+ 方向にスライドさせると白みが変わる場合がありますので、このときは-方向で調整してください。

参考

- 本機を複数台使用して投写している場合、コントロール ID 機能を使って、リモコンから目的のプロジェクターを操作したり、同時に操作することができます。[137 ページ](#)のコントロール ID をご覧ください。
- MULTI-SCREEN COMP. で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

● 基準ホワイトバランス

各信号共通のホワイトバランスを調整します。

信号の白レベルと黒レベルを調整して色再現性を最良にします。

また、画面水平（左右）方向で白色の赤み、青みが不均一な場合はユニフォミティ赤および青を調整します。

明るさ 赤	画面の黒色を調整します。
明るさ 緑	
明るさ 青	

次ページに続く

コントラスト 赤	画面の白色を調整します。
コントラスト 緑	
コントラスト 青	
ユニフォミティ 赤	+ 側にするほど画面左側の赤みが（左端に行くほど）強まり、逆に画面右側の赤みが（右端に行くほど）弱まります。 - 側は逆の状態になります。
ユニフォミティ 青	+ 側にするほど画面左側の青みが（左端に行くほど）強まり、逆に画面右側の青みが（右端に行くほど）弱まります。 - 側は逆の状態になります。

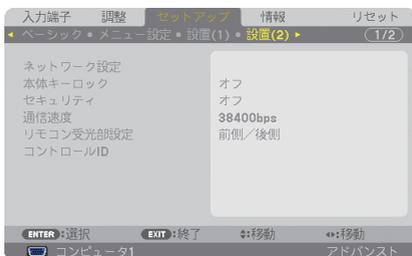
●コンバージェンス (対応機種 NP-PA500UJL)

画面の色ずれを調整します。

水平 赤、水平 緑、水平 青は水平方向、垂直 赤、垂直 緑、垂直 青は垂直方向に±1画素の調整ができます。

- 注意**
- NP-PA500UJL のみ設定できます。

設置 (2)



●本体キーロック

プロジェクター本体にある操作ボタンを動作しないようにします。

オフ	本体操作部のボタンが働きます。
オン	本体操作部のボタンが利かなくなります（ロック）。

- 注意**
- 本体キーロックの解除方法
本体の操作ボタンが「オン」に設定されているときに、本体の(戻る)ボタンを約10秒間押しすと、本体キーロックの設定が解除されます。

- 参考**
- 本体キーロック中は、メニュー画面右下に「」アイコンが表示されます。
 - 本体の操作ボタンがロックされていてもリモコンのボタンは動作します。

●セキュリティ

セキュリティキーワードを登録することで、本機を無断で使用されないようにすることができます。

セキュリティを有効にすると、本機の電源を入れたときにセキュリティキーワード入力画面が表示され、正しいセキュリティキーワードを入力しなければ映像は投写されません。

セキュリティ設定のしかたは「3-8. セキュリティを設定して無断使用を防止する」(60 ページ) をご覧ください。

オフ	セキュリティを無効にします。
オン	セキュリティキーワードを設定してセキュリティを有効にします。

参考

- セキュリティは、リセットを行っても解除されません。

●通信速度

PC コントロール端子のデータ転送速度の設定を行います。接続する機器と転送速度を合わせてください。

注意

- 添付の CD-ROM に収録しているソフトウェアを使用する場合は、38400bps 以下に設定してください。

参考

- 通信速度は、リセットを行っても変更されません。

●リモコン受光部設定

本体前面と後面のリモコン受光部の設定を行います。

前側／後側	前面および後面のリモコン受光部を有効にします。
前側	前面のみのリモコン受光部を有効にします。
後側	後面のみのリモコン受光部を有効にします。

参考

- 本機を天吊り設置したときなどに、蛍光灯の影響でリモコンが利きづらくなる場合があります。その場合はリモコン受光部設定を変更してみてください。

●コントロール ID

複数台のプロジェクターに ID を割り振り、1 個のリモコンを使用して、ID を切り替えることにより、各々のプロジェクターを個別に操作することができます。

また、複数台のプロジェクターに同じ ID を設定し、1 個のリモコンで一括操作する場合などに利用します。

コントロール ID 番号	割り当てる番号を 1 ～ 254 の中から選択します。	
コントロール ID	オフ	コントロール ID 機能が無効になります。
	オン	コントロール ID 機能が有効になります。

注意

- コントロール ID を「オン」にすると、コントロール ID 機能に対応していないリモコンからは操作できなくなります（本体操作ボタンは除く）。

参考

- コントロール ID は、リセットを行っても変更されません。
- 本体の（決定）ボタンを 10 秒間押し続けると、コントロール ID を解除するメニューが表示されます。

リモコンへの ID の設定／変更方法

- 1 プロジェクターの電源を入れる。
- 2 リモコンの（ID SET）ボタンを押す。
コントロール ID 画面が表示されます。



このとき、現在のリモコン ID で操作できる場合は「動作」、操作できない場合は「非動作」画面が表示されます。「非動作」になっているプロジェクターを操作したい場合は、手順 3 でプロジェクターのコントロール ID 番号と同じ番号をリモコンに設定します。

- 3 リモコンの（ID SET）ボタンを押したまま数字ボタンを押して、リモコンの ID を設定する。

たとえば「3」に変更するには数字の 3 を押します。ID なし（すべてのプロジェクターを一括操作）にするには、000 を入力するか、または（CLEAR（クリア））ボタンを押します。

参考

- リモコンの ID は 1 ～ 254 まで登録できます。

- 4 （ID SET）ボタンを離す。

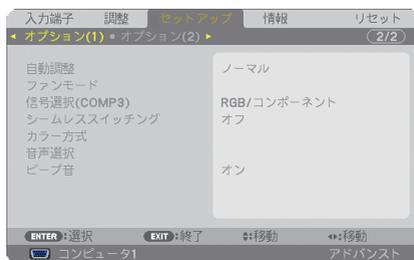
コントロール ID 画面が表示されます。このとき、変更されたリモコン ID で動作・非動作画面が更新されます。

注意

- リモコンの電池が消耗した場合や電池を抜いた場合、しばらくすると ID はクリアされることがあります。
- リモコンの電池を抜いた状態でいずれかのボタンを押してしまうと、設定している ID はクリアされます。



オプション (1)



●自動調整

調整されていないコンピュータ入力信号に切り替わったときに、表示位置と画素のずれについて調整方法を設定します。

オフ	自動調整を行いません。 (自動調整)を押して表示を調整してください。 または、オンスクリーンメニューを表示して、クロック周波数や位相を調整してください
ノーマル	簡易的な自動調整を行います。
ファイン	より精密な自動調整を行います。 「ノーマル」よりも処理時間がかかるため、信号を切り替えたあとと映像が表示されるまで時間がかかります。

参考

- 工場出荷時は「ノーマル」に設定されています。
- (自動調整)を押したときは、「ファイン」と同じ調整処理を行います。

●ファンモード

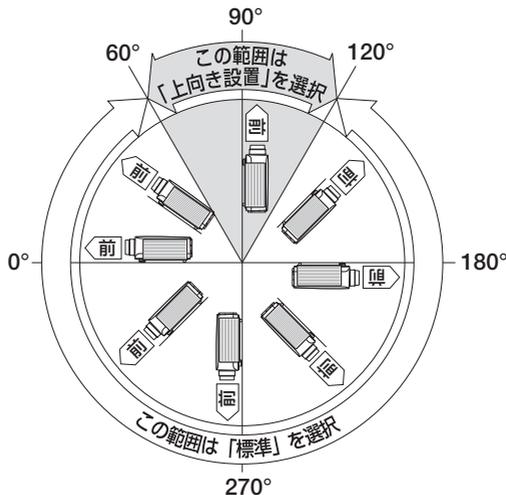
本機内部の温度を下げるための冷却ファンの動作を設定します。

モード	自動	本機内部の温度センサにより、適切な速度で回転します。
	高速	常に高速で回転します。
	高地	標高約 1600m 以上の高地など気圧の低い場所で本機を使用する場合に選びます。常に高速で回転します。
設置方向	標準	本機を設置している角度に応じて、「標準」と「上向き設置」を切り替えます。
	上向き設置	次ページの図のように、60° ~ 120° の範囲 (灰色部分) では「上向き設置」を、それ以外の範囲では「標準」を選択してください。



警告

本機を天吊りで使用しているときは、本機の下方に人が近づかないようにしてください。万が一ランプが破裂した場合、本機からガラスの破片が落ちてくるおそれがあります。



注意

- 数日間連続して本機を使用する場合は、必ず「高速」に設定してください。
- 標高約 1600m 以上の場所で本機を使用する場合は、必ずファンモードを「高地」に設定してください。「高地」に設定していないと、本機内部が高温になり、故障の原因となります。
- ファンモードを「高地」に設定しないまま、標高約 1600m 以上の高地で本機を使用した場合、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。
- 「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1600m 未満）で使用すると、ランプが冷えすぎて画面がちらつくことがあります。
- 高地で使用すると、光学部品（ランプなど）の交換時期が早まる場合があります。
- ファンモードは、リセットを行っても変更されません。

参考

- 「高地」を選択するとオンスクリーンメニュー下部に アイコンが表示されます。

高地でエコモードを使用するときの制限事項

高地でエコモードを「オン」に設定して使用する場合、ファンモードと設置方向の選択は下表の設定に従ってください。エコモードの選択は [50 ページ](#) をご覧ください。

表の設定に従わなかった場合、ランプの交換時期が著しく早まる可能性があります。

エコモード		オフ	オン				
ファンモード	設置方向	標準または上向き設置	標準		上向き設置	標高 (m)	
	モード	自動	自動	自動	自動		0
		高地	高地	高地	高地		1000 1600
		高地			2100 2500		
エコモードは「オフ」にしてください。							

●信号選択 (COMP3)

コンピュータ 3 映像入力端子と出力機器を接続するとき、入力信号の設定をします。

RGB/ コンポーネント	RGB 信号とコンポーネント信号を自動判別します。
ビデオ	ビデオ信号に切り替えます。

参考

- コンピュータ 3 映像入力端子の G/Y 端子にビデオケーブル (市販) を接続すると、ビデオ信号を投写できます。その場合は「ビデオ」に設定してください。

●シームレススイッチング (**適応機種** NP-PA500UJL)

入力端子切り替え時、切り替え前の映像を保持 (フリーズ) することで、無信号状態を経ずに切り替え後の映像が映し出されます。

注意

- NP-PA500UJL のみ設定できます。

●カラー方式

NTSC や PAL など、国によって異なるテレビジョン映像信号方式を選択します。工場出荷状態は「自動判別」に設定されています。プロジェクターが自動的に判別できない信号のときに設定します。

●音声選択

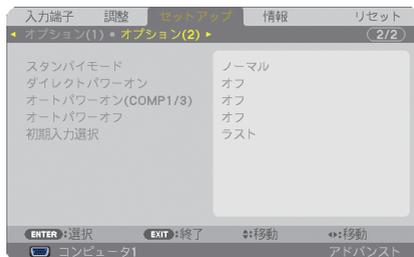
本機の HDMI 入力端子と DisplayPort 入力端子の音声入力の選択です。

HDMI	HDMI	HDMI 入力端子のデジタル音声になります。
	コンピュータ 2	コンピュータ 2 の音声入力端子になります。
DisplayPort	DisplayPort	DisplayPort 入力端子のデジタル音声になります。
	コンピュータ 2	コンピュータ 2 の音声入力端子になります。

●ビープ音

電源の入/切や入力切り替えなどの操作をしたとき、また本機にエラーが発生したときなどに確認音を鳴らします。

オプション (2)



●スタンバイモード

本機がスタンバイ状態になったときの電力消費量の設定を行います。

ノーマル	スタンバイ状態のとき、ステータスインジケータが緑色で点灯します。
省電力	省電力状態になり、本機のスタンバイ状態のときの消費電力が下がります。 スタンバイ状態のとき、電源インジケータは赤色で点灯し、ステータスインジケータが消灯します。 スタンバイ状態のときに次の端子や機能が動きません。 モニタ出力 (コンピュータ 1) 端子、音声出力端子、LAN ポート、無線 LAN ユニット、オートパワーオン (COMP1/3)、本体の (⏻) ボタン以外の操作ボタン、リモコンの電源 (⏻) 以外の操作ボタン、電源入以外の PC コントロールコマンド、Virtual Remote Tool
ネットワークスタンバイ	スタンバイ状態のとき、電源インジケータはオレンジ色で点灯しステータスインジケータが消灯します。 スタンバイ状態のとき、有線 LAN により本機の電源を入れることができます。 スタンバイ状態のときに次の端子や機能が動きません。 モニタ出力 (コンピュータ 1) 端子、音声出力端子、無線 LAN ユニット、オートパワーオン (COMP1/3)、本体の (⏻) ボタン以外の操作ボタン、リモコンの電源 (⏻) 以外の操作ボタン、電源入以外の PC コントロールコマンド



- 本体キーロック、コントロール ID のいずれかを「オン」、オートパワーオン (COMP1/3) を「コンピュータ 1」または「コンピュータ 3」に設定すると、スタンバイモードの設定は無効になります。スタンバイ状態のとき、スタンバイモードを「ノーマル」に設定した場合と同じ動作になります。



- スタンバイモードは、リセットを行っても変更されません。
- スタンバイモードはカーボンメータの CO2 削減量の計算から除外しています。

●ダイレクトパワーオン

本機の電源プラグに AC 電源が供給されると自動的に電源が入るように設定します。本機を制御卓などでコントロールする場合に使用します。

オフ	AC 電源が供給されるとスタンバイ状態になります。
オン	AC 電源が供給されると電源が入ります。 初期入力選択 (🔵次ページ) で設定している信号が投写されます。

●オートパワーオン (COMP1/3)

本機がスタンバイ状態のとき、コンピュータ信号が入力されると自動的に投写する設定です。

本機のコンピュータ 1 またはコンピュータ 3 映像入力端子とコンピュータをケーブルで接続し、本機をスタンバイ状態にします。

オフ	オートパワーオン (COMP1/3) 機能は働きません。
コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子がコンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピュータ画面を投写します。
コンピュータ 3	コンピュータ 3 映像入力端子がコンピュータ信号を感知すると本機の電源を自動で入れてコンピュータ画面を投写します。

注意

- コンピュータ 1 またはコンピュータ 3 映像入力端子にコンポーネント信号を入力したときやシンクオングリーン (Sync on Green) またはコンポジットシンク (Composite Sync) のコンピュータ信号の場合は働きません。
- オートパワーオン (COMP1/3) を設定すると、スタンバイモードの設定は無効になります。スタンバイ状態のとき、スタンバイモードを「ノーマル」に設定した場合と同じ動作になります。
- 本機の電源を切ったあとにオートパワーオン (COMP1/3) を働かせたい場合は、電源を切ったあと 3 秒以上待ってから、コンピュータ信号を入力してください。本機の電源を切りスタンバイ状態になるときに、コンピュータ信号が本機に入力され続けていると、本機の電源は入らずスタンバイ状態を継続します。

●オートパワーオフ

設定した時間以上信号入力がなく、また本機を操作しなかった場合、自動的に本機の電源を切ります。

オフ	オートパワーオフ機能は働きません。
0:05 / 0:10 / 0:20 / 0:30	設定した時間 (5分 / 10分 / 20分 / 30分) 以上信号入力がないと自動的に本機の電源を切りスタンバイ状態になります。

注意

- ビューワ端子またはネットワーク端子で投写中はオートパワーオフは働きません。

●初期入力選択

本機の電源を入れたとき、どの入力信号（入力端子）にするかの設定を行います。

ラスト	最後に投写した入力信号を投写します。
自動	入力信号の自動検出を行い、最初に見つかった入力信号を投写します。
コンピュータ 1	コンピュータ 1 映像入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ 2	コンピュータ 2 映像入力端子の入力信号を投写します。
コンピュータ 3	コンピュータ 3 映像入力端子の入力信号を投写します。
HDMI	HDMI 入力端子の入力信号を投写します。
DisplayPort	DisplayPort 入力端子の入力信号を投写します。
ビデオ	ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
S-ビデオ	S-ビデオ映像入力端子の入力信号を投写します。
ビューワ	ビューワを表示します。 (👉 82 ページ)
ネットワーク	LAN ポート (RJ-45) または本体装着の無線 LAN ユニット (別売) を介してコンピュータから送られてくるデータを投写します。

5-6. 情報

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN • 無線LAN(1) • (1/2)

ランプ残量	<div style="width: 100%;"></div> 100%
ランプ使用時間	00000 [H]
フィルタ使用時間	00000 [H]
総CO2削減量	0.000[kg-CO2]

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN • 無線LAN(1) • (1/2)

入力端子	コンピュータ1
解像度	1024x768
水平同期周波数	48.50[kHz]
垂直同期周波数	62.13[Hz]
同期形態	セパレート
同期極性	H(-) V(-)
走査方式	ノンインターレース
信号名	1024x768
登録番号	1

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN • 無線LAN(1) • (1/2)

信号形式	RGB
ビデオ標準	NTSC
色深度	8[bits]
ビデオレベル	フル
データレート	2.7[Gbps]
レーン数	1[lane]

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN • 無線LAN(1) • (1/2)

IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 使用時間 • 信号(1) • 信号(2) • 有線LAN • 無線LAN(1) • (1/2)

IPアドレス	192.168.1.1
サブネットマスク	255.255.255.0
ゲートウェイ	192.168.1.1
MACアドレス	00-00-00-00-00-00

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 無線LAN(2) • VERSION(1) • VERSION(2) • その他 • (2/2)

SSID	
通信モード	かんたん接続
WEP/WPA	オフ
チャンネル	5
信号レベル	---

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 無線LAN(2) • VERSION(1) • VERSION(2) • その他 • (2/2)

FIRMWARE	1.00
DATA	1.00
FIRMWARE2	1.00
SUB-CPU	1.00

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 無線LAN(2) • VERSION(1) • VERSION(2) • その他 • (2/2)

FIRMWARE3	1.00
-----------	------

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

入力端子 調整 セットアップ **情報** リセット
 無線LAN(2) • VERSION(1) • VERSION(2) • その他 • (2/2)

プロジェクター名	PA600X Series
MODEL NO.	NP-PA600X
SERIAL NUMBER	
LAN UNIT TYPE	

EXIT:終了 移動 移動 アドバンス

コンピュータ1

ランプ使用時間、総 CO2 削減量、有線 LAN や無線 LAN のアドレス情報、入力選択されている入力信号の詳細、製品の形名や製造番号、ファームウェアなどの情報を表示します。

- ・使用時間ページの「総 CO2 削減量」は、プロジェクターの省エネ効果を表示します。
(🔗 51 ページ)
- ・信号ページは、色が極端におかしかったり、画面が流れたり、映像が投写されない場合、入力信号が本機に適しているかの確認に使います。「対応解像度一覧」(🔗 244 ページ) もあわせてご覧ください。

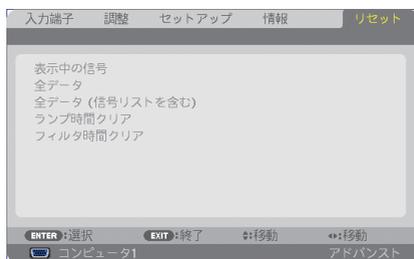
参考

- ランプ残量／ランプ使用時間の表示について
本機にはエコモード機能があります。エコモードを「オフ」で使用した場合と、「オン」で使用した場合はランプの交換時間(目安)^{*}が異なります。
ランプ使用時間はランプの通算使用時間を示し、ランプ残量はランプの使用時間に対する残量をパーセントで表示しています。
 - ・0%になると、電源オフ時の確認メッセージと同時に「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」のメッセージが表示されます。新しいランプと交換してください。交換のしかたは「7-4. ランプとフィルタの交換」(🔗 194 ページ) をご覧ください。
 - ・ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間および本機の Ⓞ ボタンまたはリモコンの電源 (切) ボタンを押したときに表示されます。
電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。
 - ・ランプ交換時間 (目安)^{*}に到達 (ランプ残量 0%) 後、ランプ残量表示は赤色の時間表示に変わります。このとき、ランプ残量表示は「100 時間」と表示され、そのあとランプを投写しただけ時間がマイナスされていきます。そしてランプ残量表示が「0 時間」になると、本機の電源が入らなくなります。
 - ・ランプ使用時間は、ランプの個体差や使用条件によって差があり、下の表の使用時間内であっても、破裂または不点灯状態に至ることがあります。

	ランプ使用時間		ランプ残量
	エコモード「オフ」でのみ使用 (最小)	エコモード「オン」でのみ使用 (最大)	
工場出荷時	0000 時間		100%
ランプ交換時間 (目安) [*]	3000 時間	4000 時間	0%

※ : 保証時間ではありません。

5-7. リセット



本機に記憶されている全調整・設定値、または表示中の信号について、調整した調整値を工場出荷状態に戻します。

リセットの処理には多少時間がかかります。

●表示中の信号

表示中の信号について、調整した調整値が工場出荷状態に戻ります。

注意 ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

●全データ

すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

信号リスト・言語・バックグラウンド・フィルタメッセージ・スクリーン設定・幾何学補正・MULTI-SCREEN COMP.・基準ホワイトバランス・コンバージェンス・本体キーロック・シームレススイッチング・セキュリティ設定・通信速度・時刻設定・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・ランプ残量・ランプ使用時間・フィルタ使用時間・総CO2削減量・有線LAN・無線LAN

●全データ（信号リストを含む）

信号リストに登録されている内容を含め、すべての調整・設定値が工場出荷状態に戻ります。

【リセットされないデータ】

言語・バックグラウンド・フィルタメッセージ・スクリーン設定・幾何学補正・MULTI-SCREEN COMP.・基準ホワイトバランス・コンバージェンス・本体キーロック・シームレススイッチング・セキュリティ設定・通信速度・時刻設定・コントロールID・スタンバイモード・ファンモード・ランプ残量・ランプ使用時間・フィルタ使用時間・総CO2削減量・有線LAN・無線LAN

注意 ● 信号リストでロックされている信号調整値は変更されません。

●ランプ時間クリア

ランプ交換を行ったときに「ランプ残量」と「ランプ使用時間」をクリアします。



- ランプ使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

●フィルタ時間クリア

フィルタの清掃または交換を行ったときに「フィルタ使用時間」をクリアします。
本機の工場出荷時、オンスクリーンメニューの「フィルタメッセージ」は「オフ」に設定されています。「オフ」の場合は「フィルタ時間クリア」を行う必要はありません。



- フィルタ使用時間は、リセット→全データではクリアされません。

5-8. アプリケーションメニュー

オンスクリーンメニューの入力端子画面で「ネットワーク」を選択した場合にアプリケーションメニューが表示されます。

アプリケーションメニューは添付の NEC Projector CD-ROM に収録しているユーザーサポートウェアの設定に必要な情報を表示したり、本機のネットワークやツールの設定を行います。

管理者モードのメニューモードで「アドバンスメニュー」と「ベーシックメニュー」の選択ができます。(▶ 167 ページ)

「ベーシックメニュー」は項目を限定して表示します。

アプリケーションメニューの説明ではアドバンスメニューのみ表示する項目名には「アドバンスメニューのみ」と表記します。



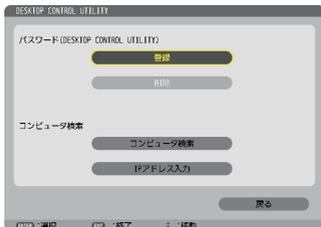
IMAGE EXPRESS UTILITY

IMAGE EXPRESS UTILITY を使用する場合には必要なプロジェクター名、画面解像度、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）の情報を表示します。この画面に表示された情報を使用してコンピュータの設定を行います。



DESKTOP CONTROL UTILITY

DESKTOP CONTROL UTILITY を使用する場合に必要なパスワードの登録・削除、ネットワーク上（有線 LAN / 無線 LAN）のコンピュータの検索および IP アドレス入力による設定を行います。



ネットワークプロジェクター

ネットワークプロジェクターを使用する場合に必要なプロジェクター名、画面解像度、パスワード、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）の情報を表示します。この画面に表示された情報を使用してコンピュータの設定を行います。



リモートデスクトップ接続

リモートデスクトップ接続を使用するコンピュータ名の入力、およびリモートデスクトップ操作時の効果を設定します。



- リモートデスクトップ接続の設定には USB キーボードが必要です。

ネットワーク設定



重要

- 本機をネットワーク環境で使用する場合は、必ずネットワーク管理者の指示に従って、各設定を行ってください。
- 有線 LAN を使う場合は、本機の LAN ポート (LAN) に LAN ケーブル (Ethernet ケーブル) を接続してください。 (🔗 184 ページ)

参考

- ネットワーク設定で設定した内容は、「リセット」を行っても変更されません。

本機にLANの設定を行うヒント

● LAN の設定を行うには？ (設定を本機のメモリに記憶するには？)

有線 LAN または無線 LAN ページを表示し、「プロファイル」のリストから、設定を記憶するプロファイル番号を選択します。

本機では、内蔵の LAN ポートを使用する設定を 2 とおり、また無線 LAN ユニットを使用する手動設定を 2 とおりと、WPS 機能を使用した自動設定を 1 とおり、メモリに記憶することができます。

続いて、同じページで、「DHCP」の有効／無効、「IP アドレス」、「サブネットマスク」などの設定後、「確定」にカーソルを合わせ (決定) ボタンを押します。 (🔗 153 ページ)

● プロファイル番号に記憶した設定を呼び出すには？

有線 LAN または無線 LAN ページの「プロファイル」のリストから呼び出すプロファイル番号を選択します。続いて「確定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。

(🔗 153 ページ)

● DHCP サーバに接続するには？

有線 LAN または無線 LAN ページで「DHCP」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。チェックマークが付きます。「DHCP」にカーソルを合わせ、もう一度 (決定) ボタンを押すと、チェックマークが外れます。DHCP サーバを使用せず直接 IP アドレスを設定する場合は、「DHCP」のチェックマークを外してください。 (🔗 153 ページ)

● **無線 LAN 特有の設定（通信モードや WEP(セキュリティ通信)）を行うには？**

無線 LAN ページの「プロファイル」で、「プロファイル 1」または「プロファイル 2」を選択します。

続いて、同じページの「詳細設定」にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。

「詳細設定」画面が表示されます。[\(👉155 ページ～162 ページ\)](#)

● **接続する SSID を選択するには？**

無線 LAN ページの「詳細設定」→「接続」ページで [サイトサーベイ] にカーソルを合わせ、**(決定)** ボタンを押します。リストの中から、接続する SSID にカーソルを合わせます。

(▶) ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し **(決定)** ボタンを押します。

[サイトサーベイ] を使用しない場合は、同じ [接続] ページで、[SSID] を直接入力し、「インフラストラクチャ」または [アドホック] を選択します。[\(👉155 ページ\)](#)

● **プロジェクターのランプ交換時期や各種のエラーを Eメールで受け取るには？**

[アラートメール] ページで [メール通知] にカーソルを合わせ **(決定)** ボタンを押します。

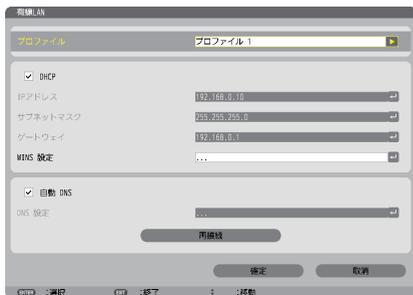
チェックマークが付きます。続いて、[差出人アドレス] や [SMTP サーバ名]、[宛先アドレス]などを設定し、[確定]にカーソルを合わせ **(決定)** ボタンを押します。[\(👉165 ページ\)](#)

● **Image Express Utility Lite、Image Express Utility 2.0、および Image Express Utility 2 for Mac を使って “かんたん接続” を行うには？**

添付の NEC Projector CD-ROM に収録している Image Express Utility Lite、Image Express Utility 2.0、および Image Express Utility 2 for Mac では、無線 LAN を使ったコンピュータとプロジェクターの接続を少ない手順で行う “かんたん接続” モードがあります。“かんたん接続” を行う場合は、無線 LAN ページの「プロファイル」のリストの中から「かんたん接続」を選択します。

(注) “かんたん接続” は、使用するソフトウェアにより使用できる OS が異なりますので、それぞれのソフトウェアのヘルプを参照してください。

有線 LAN または 無線 LAN (アドバンスメニューのみ)



※無線 LAN 機能を使うには別売の無線 LAN ユニットのを本機に接続してください。(185 ページ)

プロファイル	<ul style="list-style-type: none"> 本機に内蔵の LAN ポートを使用する場合の設定を 2 とおり、また無線 LAN ユニットを使用する場合の手動設定を 2 とおりと、WPS 機能を使用した自動設定を 1 とおりの合計 5 とおりを、本機のメモリに記憶することができます。 「プロファイル 1」、「プロファイル 2」を選択し、「DHCP」以下の項目の設定を行います。設定が終わったら、画面下の「確定」にカーソルを合わせ(決定) ボタンを押します。設定内容が本機のメモリに記憶されます。 本機のメモリに記憶した設定を呼び出す場合は、「プロファイル」から選んで画面下の「確定」にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押します。 添付の NEC Projector CD-ROM に収録している Image Express Utility Lite を使って “かんたん接続” を行う場合は、無線 LAN ページのプロファイルのリストから「かんたん接続」を選択します。 無線 LAN ユニットから電波を出さないにするには「無効」を選択します。 簡易アクセスポイントを選択すると、プロジェクターはインフラストラクチャネットワークを作成します。SSID は自動生成されます。プロジェクターの IP アドレスは設定変更後、1～2 分後に自動設定されます。接続するコンピュータの IP アドレス設定は「IP アドレスを自動的に取得する」を選択してください。 WPS を選択した場合は、WPS 機能を用いて自動的に記憶された設定を用いてネットワークに接続します。 	—
DHCP	<p>本機を接続するネットワークが、DHCP サーバによって IP アドレスを自動的に割り当てる場合は、チェックマーク (☑) を付けます。自動的に割り当てられない場合は、チェックマークを付けずに、下の「IP アドレス」と「サブネットマスク」を設定してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ☑ (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバによって IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイが自動的に割り当てられます。 	—

	<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……ネットワーク管理者から割り当てられた IP アドレスやサブネットマスクを設定します。 	
IP アドレス	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機の IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
サブネットマスク	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークにおける本機のサブネットマスクを設定します。	数字 12 文字
ゲートウェイ	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークのデフォルトゲートウェイを設定します。	数字 12 文字
WINS 設定	「DHCP」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの WINS サーバの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
自動 DNS	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……DHCP サーバによって、本機を接続する DNS サーバの IP アドレスを自動的に設定します。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。 	数字 12 文字
DNS 設定	「自動 DNS」のチェックマークを外した場合に、本機を接続するネットワークの DNS サーバの IP アドレスを設定します。	数字 12 文字
詳細設定 (注)	無線 LAN に接続するための詳細設定 (通信モード、セキュリティ) を行います。	—
再接続	ネットワークの接続を試みます。「プロファイル」を変更したときなどに実行してください。	—

(注) [詳細設定] ボタンは、[無線] ページのときに表示されます。

注意

- プロファイルで「かんたん接続」を選択した場合は、DHCP、IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、「自動 DNS」の項目の設定を変更できません。ただし、「チャンネル」の設定は変更できます。
- プロファイルで簡易アクセスポイントを選択したときの補足説明
 - ・コンピュータの「ワイヤレスネットワークの接続先」で「接続範囲内に入ると自動的に接続する」を選択しておく、
 - ・コンピュータもしくはプロジェクターの電源投入時
 - ・ノート型コンピュータをプロジェクターの無線接続範囲内に近づけた場合などで、自動的に無線 LAN がつながるようになります。
 - ・コンピュータの IP アドレスが設定されるまで、Windows 7/Windows Vista は数秒で設定されますが、Windows XP では 1～2 分程度かかります。
 - ・無線 LAN と有線 LAN の間でデータ転送することはできません。
 - ・簡易アクセスポイントモードを使用して画像伝送を行う場合、接続するコンピュータの推奨台数は 1 台です。

詳細設定 (別売の無線LANユニット使用時のみ設定が必要) (アドバンスメニューのみ)



サイトサーベイ	<p>その場所で接続可能な無線LANのSSIDをリスト表示し、リストの中から接続するSSIDを選択します。SSIDを選択するには、SSIDにカーソルを合わせ、▶ ボタンを押して [確定] にカーソルを移動し、決定 ボタンを押します。</p> <p>リストに表示されるアイコンは、次の意味を持っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> : 無線LANアクセスポイント : コンピュータ (アドホック) : WEP または WPA の設定あり 	—
セキュリティ	<p>無線LANでセキュリティを設定するかしないかを選択します。</p> <p>セキュリティを行う場合は、WEP キーまたは暗号キーを設定します。</p> <p>お使いのコンピュータや無線LAN機器の機能にあわせて、どのセキュリティを使用するか選択してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無効…暗号化を行いません。他人から通信内容を傍受されるおそれがあります。 ・WEP (64bit) …WEP形式の暗号化を行い、秘密鍵に64bit長のデータを使います。 ・WEP (128bit) …WEP形式の暗号化を行い、秘密鍵に128bit長のデータを使います。64bit長の秘密鍵に比べ、セキュリティが強化されます。 ・WPA-PSK/WPA-EAP/WPA2-PSK/WPA2-EAP…これらはWEP形式よりもセキュリティが強化された形式です。 <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● セキュリティの種類、WEP キー、暗号キーは、通信を行う相手の機器 (コンピュータや無線LANアクセスポイント) と同じ設定にしてください。 ● セキュリティ設定をすると、画像転送速度が低下します。 ● 通信モードで「アドホック」を使用している場合、WPA-PSK、WPA-EAP、WPA2-PSK、およびWPA2-EAPは使用できません。 	—

SSID	無線 LAN の識別名 (SSID) を入力します。SSID が一致する機器とのみ、通信が行えます。	英数字 最大 32 文字 注：大文字と小文字は区別されます。
通信モード	無線 LAN を使用するときの通信方式を選択します。 ・インフラストラクチャ……無線 LAN 端末と無線 LAN アクセスポイントを利用した形態の通信を行うときに選択します。 ・アドホック……無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行うときに選択します。	—
チャンネル	国によって使用できるチャンネルが異なります。インフラストラクチャのときは、無線 LAN アクセスポイント、アドホックのときは相手のコンピュータと同じチャンネルに設定してください。	—

「セキュリティ」で「WEP(64bit)」または「WEP(128bit)」を選択したとき

キーインデックス	下のキー 1～キー 4 のどの WEP キーを使うかを選択します。		
キー 1/キー 2/ キー 3/キー 4	WEP キーを入力します。 ● 最大入力文字数		
	選択	英数文字 (ASCII)	16 進数 (HEX)
	WEP 64bit	5 文字	10 文字
	WEP 128bit	13 文字	26 文字

「セキュリティの種類」で「WPA-PSK」、「WPA-EAP」、「WPA2-PSK」、または「WPA2-EAP」を選択したとき

暗号化の種類	TKIP または AES を選択します。
キー	暗号キーを入力します。暗号キーは、8 文字以上、63 文字以下の英数文字を入力します。

「詳細設定(認証)」(WPA-EAPまたはWPA2-EAPを使用する場合に設定が必要)

設定前の準備

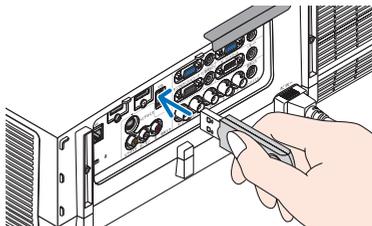
無線 LAN に対応した WPA-EAP, WPA2-EAP 認証を選択し、電子証明書を本機にインストールします。

- 1 本機の「日付と時刻」設定を行う。(🔗 171 ページ)
- 2 コンピュータを使って、WPA-EAP, WPA2-EAP の設定に必要な電子証明書 (ファイル) を USB メモリに保存する。
必要なファイルを保存したら、コンピュータから USB メモリを取り外してください。



- 本機にインストールできる電子証明書のファイル形式は、DER 形式と PKCS#12 形式です。
- ファイル容量が 8 キロバイトを超える電子証明書は、本機で使用できません。
- CRL (失効リスト) はサポートしていません。
- クライアント証明書のチェーンはサポートしていません。

- 3 電子証明書を保存した USB メモリを、本機の接続端子部にある USB ポートに差し込む。



設定方法

- 1 [ネットワーク設定] → [無線 LAN] を選択する。

- 2 プロファイル、DHCP のオン/オフや IP アドレス、サブネットマスクなど必要な設定を行う。
- ・プロファイルは、「プロファイル 1」または「プロファイル 2」を選択してください。「かんたん接続」を選択すると WEP 以外のセキュリティは使用できません。

- 3 [詳細設定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
- 詳細設定画面が表示されます。

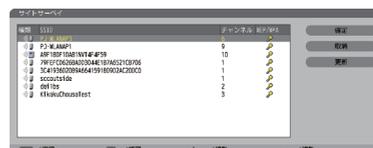
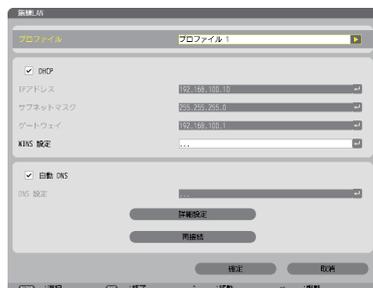
- 4 [サイトサーベイ] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
- SSID のリストが表示されます。

- 5 接続する SSID を選択し [確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

- ・ WPA-EAP または WPA2-EAP が設定されている SSID を選択してください。
- ・ [通信モード] は、「インフラストラクチャ (無線機)」を選択してください。「アドホック (無線機)」を選択しているときは、WEP 以外は使用できません。セキュリティ画面に切り替わります。

- 6 [セキュリティの種類] 欄にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
- プルダウンリストが表示されます。

- 7 [WPA-EAP] または [WPA2-EAP] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。



- 8 [TKIP/AES] 欄にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

プルダウンリストが表示されます。



- 9 [TKIP] または [AES] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

・アクセスポイントの設定に合わせて、「TKIP」または「AES」を選択してください。

- 10 [認証] にカーソルを合わせて、(決定)ボタンを押す。

EAP タイプは、「EAP-TLS」または「PEAP-MSCHAPv2」を選択でき、EAP タイプによって設定項目が異なります。次の表を参照してください。



EAP タイプ	設定する項目	設定する内容
EAP-TLS	ユーザー名	1 文字以上、32 文字以下
	クライアント証明書	PKCS#12 形式のファイル
	ルート証明書	DER 形式のファイル
PEAP-MSCHAPv2	ユーザー名	1 文字以上、32 文字以下
	パスワード	1 文字以上、32 文字以下
	ルート証明書	DER 形式のファイル

EAP タイプで「EAP-TLS」を選択する場合は、[このページの手順 11](#)へ

EAP タイプで「PEAP-MSCHAPv2」を選択する場合は、[160 ページの手順 11](#)へ

① EAP タイプで「EAP-TLS」を選択する場合

ここからは「EAP-TLS」を選択する場合の操作です。

- 11 [ユーザー名] 欄にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

文字入力画面が表示されますので、ユーザー名を入力してください。

- ・ユーザー名は、1 文字以上、32 文字以下で入力してください。
- ・文字入力画面の操作については、[110 ページ](#)をご覧ください。



- 12 ユーザー名を設定したら、[クライアント証明書] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。ファイル一覧画面が表示されます

・「認証」ページに戻る場合は、(戻る)ボタンを押します。





電子証明書のインストールについて

各電子証明書（クライアント証明書、ルート証明書）は、プロファイル（1、2）ごとに1ファイルずつインストールできます。

- ルート証明書には、ルート認証局証明書をインストールしてください。
- すでに電子証明書をインストール済みの項目に新たに電子証明書をインストールすると、新しい電子証明書に上書きされます。
- 電子証明書のインストールを実行すると、その後 WPA-EAP、WPA2-EAP の設定を中止しても、インストールした情報は消去されません。

- 13** ファイラー一覧画面内の電子証明書（PKCS#12形式のファイル）にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。

パスワード画面が表示されます。



- 14** パスワード入力欄にカーソルが合っていることを確認し、**決定**ボタンを押す。

文字入力画面が表示されますので、秘密鍵のパスワードを入力してください。

パスワードは、1文字以上、32文字以下で入力してください。

選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。

- ・手順**13**で選択したファイルにルート認証局証明書が含まれていない場合は、手順**15**に進みます。
- ・ルート認証局証明書が含まれている場合は、手順**17**に進みます。



- 15** [ルート証明書] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。

ファイラー一覧画面が表示されます。

- 16** ファイラー一覧画面内の電子証明書（DER形式のファイル）にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。

- ・ここではルート認証局証明書を選択してください。
- ・選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。

- 17** 必要な項目の設定が終わったら、[確定] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。
- セキュリティページに戻ります。

- 18** [確定] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。
- 詳細ページに戻ります。

- 19** [確定] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。
- 無線 LAN ページに戻ります。

- 20** [再接続] にカーソルを合わせ、**決定**ボタンを押す。
- 無線ページに戻ります。

- 15 パスワードを設定したら、[ルート証明書] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
ファイル一覧画面が表示されます。
・「認証」ページに戻る場合は、(戻る)ボタンを押します。



注意 電子証明書のインストールについて

各電子証明書（クライアント証明書、ルート証明書）は、プロファイル（1、2）ごとに1ファイルずつインストールできます。

- ルート証明書には、ルート認証局証明書をインストールしてください。
- すでに電子証明書をインストール済みの項目に新たに電子証明書をインストールすると、新しい電子証明書に上書きされます。
- 電子証明書のインストールを実行すると、その後 WPA-EAP、WPA2-EAP の設定を中止しても、インストールした情報は消去されません。

- 16 ファイル画面内の電子証明書（DER 形式のファイル）にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
選択した電子証明書ファイルが本機にインストールされます。



- 17 必要な項目の設定が終わったら、[確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
セキュリティページに戻ります。

- 18 [確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
詳細ページに戻ります。

- 19 [確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。
無線 LAN ページに戻ります。

- 20 [再接続] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

- 21 [確定] にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

これで WPA-EAP、WPA2-EAP の EAP タイプ「PEAP-MSCHAPv2」の設定が完了しました。

参考

●本機にインストールした電子証明書をクリアする

本機にインストールした電子証明書をクリアするときには、次のように操作します。表示中のプロファイルのすべての電子証明書がクリアされます。

- 1 [詳細設定] 画面の左下にある [証明書のクリア] にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。



確認メッセージが表示されます。

- 2 [[はい] にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。
電子証明書がクリアされます。

参考

●WEP キーの入力 (英数文字入力と 16 進数入力の切り替え)

[キー 1] ~ [キー 4] に WEP キーを入力する場合は、次のように操作します。

- 1 カーソルが [キー 1] ~ [キー 4] に合っているときに**[決定]** ボタンを押す。
文字入力画面が表示されます。



- 2 **[▼▲◀▶]** ボタンを押して、文字などにカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。

文字が入力されます。

- ・文字入力画面の操作については、[110 ページ](#)をご覧ください。
 - ・WEPキーまたはパスフレーズを入力する場合は、英数文字 (ASCII) と 16 進数 (HEX) の 2 とおり、PSKキーの場合は、英数文字 (ASCII) の入力が行えます。次のようにして切り替えます。
 - ・文字入力画面の左下に「HEX」と表示されているときは、英数文字 (ASCII) が入力できます。
 - ・16 進数を入力する場合は、「HEX」にカーソルを合わせ **[決定]** ボタンを押します。「HEX」表示が「ASCII」表示に変わります。
 - ・文字入力画面の左下に「ASCII」と表示されているときは、16 進数が入力できます。
 - ・16 進数入力の場合は、入力欄の先頭に自動的に「0x(ゼロエックス)」と表示されます。
- 3 WEPキーまたはパスフレーズを入力したら、**[▼▲◀▶]** ボタンを押して、[OK] にカーソルを合わせ、**[決定]** ボタンを押す。

入力した文字が確定して、文字入力画面が閉じます。

WPS

本機を接続する無線 LAN アクセスポイントが WPS (Wi-Fi Protected Setup™) に対応している場合は、PIN 方式またはプッシュボタン方式を使用して本機の無線 LAN 設定をすることができます。



PIN 方式	WPS 画面の [次へ] ボタンを押して表示される 8 桁の PIN コードをアクセスポイントに設定することで無線 LAN のセキュリティ設定が完了します。
プッシュボタン方式	WPS 画面の [次へ] ボタンを押して表示されるメッセージに従って、アクセスポイントの専用ボタンを押すことにより、無線 LAN の設定が完了します。

ネットワーク情報

本機をネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN) に接続したとき以下の情報を表示します。



プロジェクト名	
ホスト名	
ドメイン	
ネットワーク情報 (有線 LAN / 無線 LAN)	接続状態 / IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイ / WINS / DNS / MAC アドレス / SSID / 通信モード / WEP / WPA / チャンネル / 信号レベル / 認証※ / 認証期限
アプリケーションメニューに情報を表示する	<ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …… ネットワークの簡易情報を表示する。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) …… ネットワークの簡易情報を表示しない。

※：認証状況の表示の意味は次ページをご覧ください。

表示	認証状況
認証完了	正常に認証されています。
認証失敗	何らかの原因で認証が失敗しています。
認証中	認証中です。
期限切れ	本機にインストールした電子証明書の有効期限が切れています。 または、本機の「時刻設定」が正確ではありません。
時刻エラー	本機の「時刻設定」がクリアされています。 正確な日付、時刻、およびタイムゾーンを設定してください。

プロジェクター名 (アドバンスメニューのみ)



プロジェクター名	本機のプロジェクター名を設定します。	半角英数記号 1～16文字
----------	--------------------	------------------

ドメイン (アドバンスメニューのみ)

本機のホスト名とドメイン名を設定します。



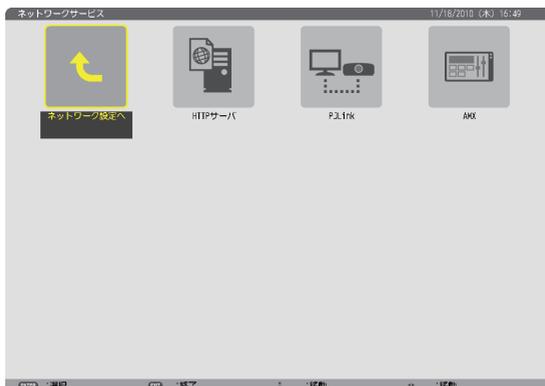
ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字

アラートメール (アドバンスメニューのみ)



メール通知	<p>本機を LAN に接続して使用する場合、本機のランプ交換時期や各種エラーが発生したときに、本機の状態を E メールでコンピュータなどへ通知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ <input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……以下の設定に基づいてメール通知機能が働きます。 ・ <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……メール通知機能は停止します。 <p>【本機から送信される E メール例】</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>ランプの交換時期です。新しいランプに交換してください。</p> <p>[情報] プロジェクター名：xxxx ランプ使用時間：xxxx [H]</p> </div>	—
ホスト名	本機のホスト名を設定します。	英数字 最大 15 文字
ドメイン名	本機のドメイン名を設定します。	英数字 最大 60 文字
差出人アドレス	本機から E メールを送信する際の差出人アドレスを設定します。Eメールの「from」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
SMTPサーバ名	本機が接続をするネットワークの SMTP サーバを設定します。	最大 60 文字
宛先アドレス 1 宛先アドレス 2 宛先アドレス 3	本機からメールを送信する際の宛先のアドレスを設定します。宛先は 3 つまで設定できます。Eメールの「to」にあたるアドレスです。	英数字、記号 最大 60 文字
送信テスト	<p>Eメールの設定を確認するために、テストメールを送信します。</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>注意</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 送信テストを行って、送信エラーになったりメールが届かない場合は、ネットワーク設定を確認してください。 ● 宛先アドレスが間違っている場合は、送信テストでエラーにならないことがあります。テストメールが届かない場合は、宛先アドレスの設定を確認してください。 </div>	—

ネットワークサービス (アドバンスメニューのみ)



HTTP サーバ	HTTP サーバを使用する場合に、パスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字
PJLink	<p>PJLink (ピージェイリンク) を使用する場合に、パスワードを設定します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ● PJLink (ピージェイリンク) とは社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会 (略称 JBMIA) が制定したネットワーク (通信) インターフェイス規格です。 http://pjlink.jbmia.or.jp/index.html 本機は、PJLink class 1 のすべてのコマンドに対応しています。 ● 登録したパスワードを忘れてしまった場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。 ● パスワードは、「リセット」を行っても解除されません。 	英数字 最大 32 文字
AMX	<p>本機を AMX 社の NetLinx コントロールシステムに対応したネットワークに接続した場合、AMX Device Discovery からの検出の有効/無効を設定します。</p> <p>参考</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AMX Device Discovery は、対応した機器を接続すると自動的に検出し、制御に必要な Device Discovery Module を AMX のサーバからダウンロードする仕組みです。 <p><input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) ……AMX Device Discovery からの本機の検出を有効にします。</p> <p><input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……AMX Device Discovery からの本機の検出を無効にします。</p>	—

ツール



管理者モード

本機のメニューモードの選択、プロジェクター全体の設定値の保存の有効／無効、管理者モードのパスワードの設定を行います。



メニューモード	ベーシックメニューとアドバンストメニューを選択します。 それぞれのメニューで使用できる項目は 111 , 149 ページ をご覧ください。	—
設定値の保存を行わない	<input checked="" type="checkbox"/> (チェックマークを付ける) …オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存しない場合にチェックマークを付けます。 <input type="checkbox"/> (チェックマークを外す) ……オンスクリーンメニューで設定を行った項目の値を保存する場合にチェックマークを外します。	—
新規パスワード パスワード再確認	管理者モードにパスワードを設定します。	英数字 最大 10 文字

注意

- 「初期入力選択」で「ラスト」を設定しているとき、「設定値の保存を行わない」にチェックマークを付けると、次に本機の電源を入れた際の入力端子が「ネットワーク」に固定されます。「ネットワーク」に固定したくない場合は、「初期入力選択」で「自動」などを設定してください。

参考

- ベーシックメニューをアドバンストメニューに戻すには
 - ① (入力切替)ボタンでネットワークを選択すると、アプリケーションメニューを表示します (リモコンでは(ネットワーク)ボタン)。
 - ② ツール、管理者モードの順に選択すると、管理者モード画面を表示しますのでメニューモードの「アドバンストメニュー」を選択してください。

プログラムタイマー



曜日や時刻を設定することにより、本機の電源オン／オフや映像信号の切り替え、およびエコモードの切り替えを自動で行うことができます。たとえば、上の画面の設定では、日曜日の9時に電源がオンになり、9時1分にコンピュータ2の画面に切り替わり、17時に電源がオフになります。



- 「プログラムタイマー」を使用するときは、必ず「日付・時刻設定」に現在の日付／時刻を設定してください（▶ 171 ページ）。
また、本機をスタンバイ状態にしておいてください。本機の電源コードを外したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「日付・時刻設定」を再度行ってください。
- プログラムタイマーを「有効」に設定すると、スタンバイモードの設定は無効になります。スタンバイ状態のとき、スタンバイモードを「ノーマル」に設定した場合と同じ動作になります。

プログラムを新しく設定する

- 1 プログラムタイマー画面で (▼/▲) ボタンを押して [設定] にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
プログラムリスト画面が表示されます。



- 2 予定が入っていない番号にカーソルを合わせ、(決定) ボタンを押す。
編集画面が表示されます。



- 3 編集画面で、各項目を設定したい内容に変更する。



動作	チェックマークを付けるとプログラムが有効になります。
曜日	プログラムを実行する曜日を設定します。「月 - 金」を選択すると月曜日から金曜日まで毎日、「月 - 土」を選択すると月曜日から土曜日まで毎日、「毎日」を選択すると毎日実行されます。
時刻	プログラムを実行する時刻を設定します。時刻は 24 時間表記で入力します。
機能	実行したい機能を設定します。「電源」を選択すると [詳細設定] で電源のオン/オフ、「入力端子」を選択すると [詳細設定] で映像信号、「エコモード」を選択すると [詳細設定] でエコモードを選べるようになります。
詳細設定	[機能] で選択した内容に応じて、電源のオン/オフ、映像信号の種類、またはエコモードのモードを選択します。
繰り返し	プログラムを継続して実行する場合はチェックマークを付けます。一度だけ実行する場合はチェックマークを付けません。

4 設定が終わったら「確定」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

5 「戻る」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

プログラムタイマー画面に戻ります。



6 「確定」にカーソルを合わせ、**決定** ボタンを押す。

ツール画面に戻ります。



注意

- プログラムは 30 個まで設定できます。
- [繰り返し] にチェックを付けていないプログラムは、一度実行すると自動的に [動作] のチェックが外されて無効になります。
- 電源オン時刻、および電源オフ時刻が同時刻に重なるときは、電源オフのプログラムが優先されます。
- 異なる入力端子の映像信号設定が同時刻に重なるときは、プログラム番号の大きいプログラムが優先されます。
- 冷却ファン回転中やエラー状態のときは、電源オンの時刻になっても電源オンは実行されません。
- 電源オフできない状態のときに電源オフの時刻になると、電源オフができる状態になったときに電源オフが実行されます。
- プログラムタイマーの [有効] にチェックが付いていても [動作] にチェックが付いていないプログラムは実行されません。
- 電源オンのプログラムを設定したときは、本機の電源が入ったままにならないように電源オフのプログラムを設定するか、手動で電源をオフにしてください。

プログラムタイマーを有効にする

- 1 プログラムタイマー画面で【プログラムタイマー】の項目の【有効】にチェックマークを付ける。

「有効」が選択されます。

- 2  ボタンを押して【確定】にカーソルを合わせて、 ボタンを押す。

プログラムタイマー画面から、ツール画面に戻ります。

注意

- プログラムタイマーの「有効」にチェックが付いていないときは、プログラムリストの【動作】の項目にチェックが付いていてもプログラムは実行されません。
- プログラムタイマーが「有効」にチェックが付いていても、プログラムタイマー画面を閉じるまではプログラムタイマーは動作しません。

プログラムを編集する

- 1 プログラムリスト画面で編集したい番号にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

- 2 編集画面で設定を変更する。

- 3 設定が終わったら【確定】にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。
これで設定が終わり、プログラムリスト画面に戻ります。

プログラムの順番を変更する

プログラムタイマーは、設定時刻の早い順にプログラムを実行します。

- 1 プログラムリスト画面で順番を変更したい番号にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

- 2  ボタンを押して「▲」または「▼」を選択する。

- 3 希望の位置まで移動するまで  ボタンを数回押す。
これでプログラムの順番が変更されます。

プログラムを削除する

- 1 プログラムリスト画面で削除したい番号にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

- 2  ボタンを押して「削除」にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。

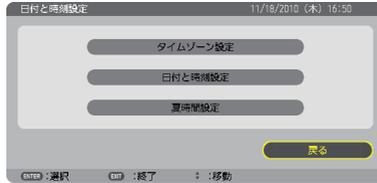
確認画面が表示されます。

- 3 「はい」にカーソルを合わせ、 ボタンを押す。
削除されプログラムリスト画面に戻ります。

日付と時刻

本機に「日付・時刻」と「タイムゾーン」を設定します。

(注) 日本で使用する場合は「夏時間設定」は、設定しないでください。



タイムゾーン設定 (注)	<ul style="list-style-type: none">時刻を設定するときに必ず「タイムゾーン」も設定してください。日本の時刻の場合は「GMT +09:00」を選択します。
日付・時刻設定	現在の「月/日/年」、「時/分」を設定します。
インターネット時刻サーバ	<ul style="list-style-type: none">ネットワーク上のNTPサーバと同期して、正しい時刻を取得するときに設定します。NTPサーバのIPアドレス、またはホスト名を入力します。

注意

- 本機の時計機能を使用するときは、本機の未使用時にスタンバイ状態にしておいてください。
本機の電源コードを外したあと、そのまま約2週間以上経過すると、日付・時刻が工場出荷状態に戻り、時計機能は停止します。時計機能が停止した場合は、「時刻設定」を再度行ってください。

マウス

市販のUSBマウスを本機と接続すると、マウスを使用してメニュー操作ができます。このときのマウスの設定です。

ボタン設定	マウスの左右ボタンの役割を入れ替えます。	
	右手用	マウスボタンが右手用の動作をします。
	左手用	マウスボタンが左手用の動作をします。
スピード設定	マウスを動かしたときのポインタの速度を3つのレベルから選択します。	

6. 機器と接続する

6-1. レンズユニット(別売)を取り付ける

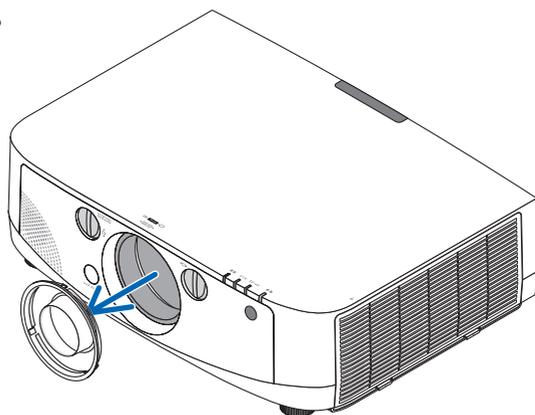
本機は、5種類の別売レンズユニットが使用できます。ここでは NP13ZL(2倍ズーム)のレンズユニットで説明します。他のレンズユニットも同じ方法で取り付けてください。



- プロジェクターおよびレンズユニットは精密部品でできています。衝撃を与えたり、無理な力を加えたりしないでください。
- 別売のレンズユニットを装着しているときに本機を移動する際はいったんレンズユニットを取り外してから行ってください。移動する際にレンズユニットに衝撃を与えると、レンズユニットおよびレンズシフト機構が破損するおそれがあります。
- レンズユニットの取り付けおよび取り外しの際は、電源を切り、冷却ファン停止後に行ってください。
- 作業中、レンズ面には絶対に手を触れないでください。
- レンズ面にゴミや油などが付着しないよう、また、傷が付かないように十分ご注意ください。
- 作業は平らな場所で、傷が付かないように布などを敷いて行ってください。
- 長時間レンズユニットを外しておく場合は、防塵キャップを本体に取り付け、ほこりやゴミが内部に入らないようにしてください。
- プロジェクターを複数台お持ちのお客様は、次の点にご注意ください。
 - ・ 本機専用のレンズユニットを他の NP シリーズのプロジェクターに取り付ける場合は、必ずレンズユニットのアタッチメントを外してからプロジェクター本体に取り付けてください。レンズユニットにアタッチメントが付いたままだと、取り付けることができません。取り付け可能な対象機種や外しかたはレンズユニットの取扱説明書をご覧ください。
 - ・ 他の機種のレンズユニットを本機に取り付けることはできません。

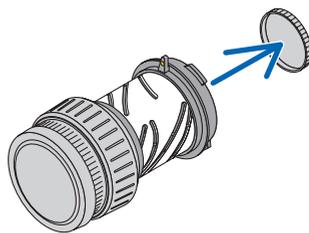
レンズユニットを取り付ける

- 1 本体の防塵キャップを外す。



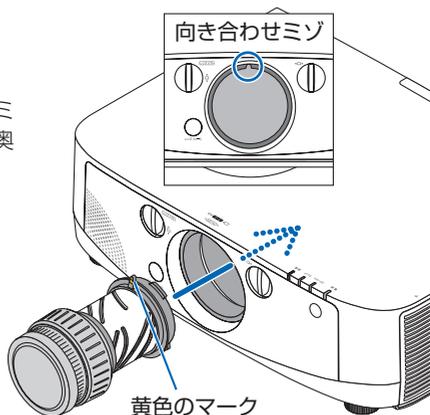
2 レンズユニット後ろのレンズキャップを外す。

・レンズユニット FL13ZL で説明しています。



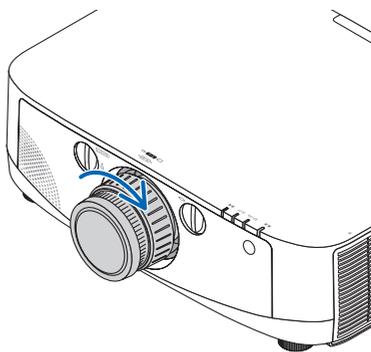
3 レンズユニットの黄色のマークが付いた突起を上にして、プロジェクター本体に挿入する。

プロジェクターのレンズ挿入口には向き合わせのミゾがあります。その角度を維持したままゆっくり奥まで挿入してください。



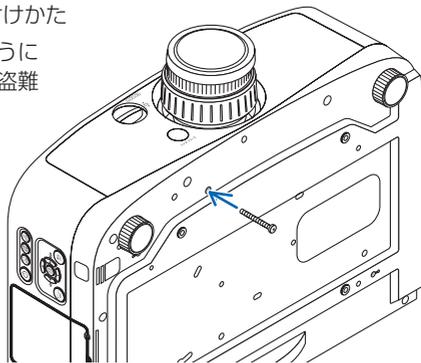
4 レンズユニットを右に回す。

カチッと音がするまで回します。
レンズユニットがプロジェクター本体に固定されます。



参考

● レンズユニット盗難防止用ネジの取り付け
たレンズユニットを簡単に取り外されないようにする場合は、本機に添付のレンズユニット盗難防止用ネジを本体底面にネジ止めします。



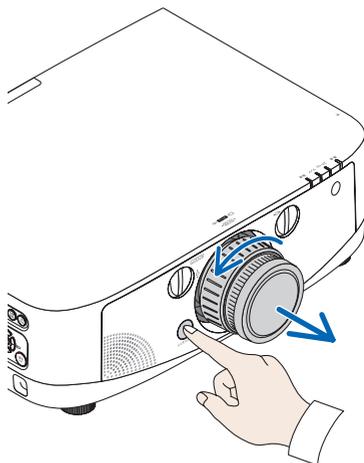
レンズユニットを取り外す

1 プロジェクター本体前面のレンズリリースボタンを奥まで押し込みながら、レンズを左に回す。

レンズユニットが外れます。

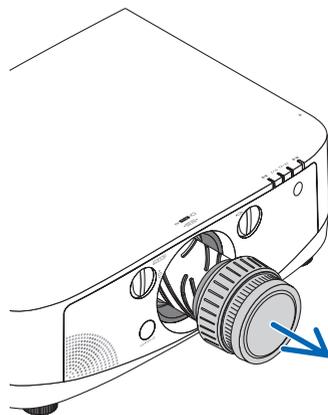
注意

- レンズリリースボタンを押してもレンズユニットを取り外せない場合は、レンズユニット盗難防止用ネジが取り付けられていないか確認してください。



2 プロジェクター本体からレンズユニットをゆっくり引き出す。

- ・ 外したレンズユニットはレンズユニットに添付していたレンズキャップ（前と後）を取り付けてから保管してください。
- ・ レンズユニットを取り付けないときは、本体に添付の防塵キャップを取り付けてください。

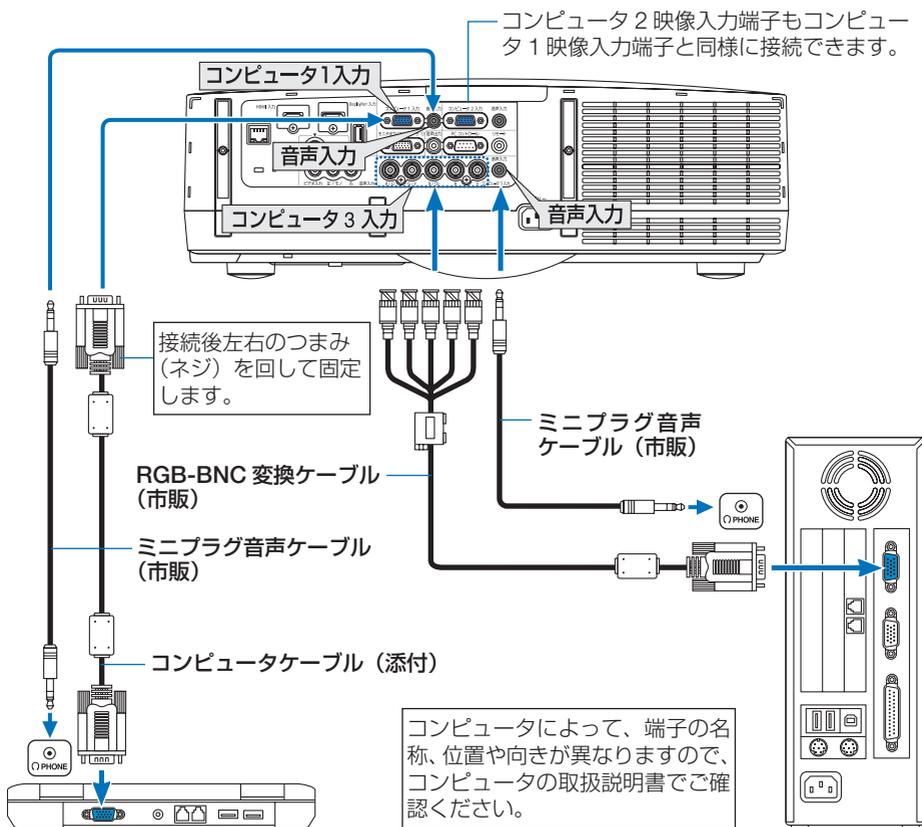


6-2. コンピュータと接続する

コンピュータとの接続は、コンピュータケーブル（添付）、BNC ケーブル（5 芯タイプ）（市販）、HDMI ケーブル（市販）、および DisplayPort ケーブル（市販）を使用する方法があります。

アナログ RGB 信号の接続

- 添付のコンピュータケーブルは、コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）と、本機のコンピュータ 1 映像入力端子またはコンピュータ 2 映像入力端子を接続します。
- コンピュータ側のディスプレイ出力端子（ミニ D-Sub15 ピン）とコンピュータ 3 映像入力端子とを接続する場合は、BNC ケーブル（5 芯）→ミニ D-Sub15 ピン変換ケーブルをご使用ください。

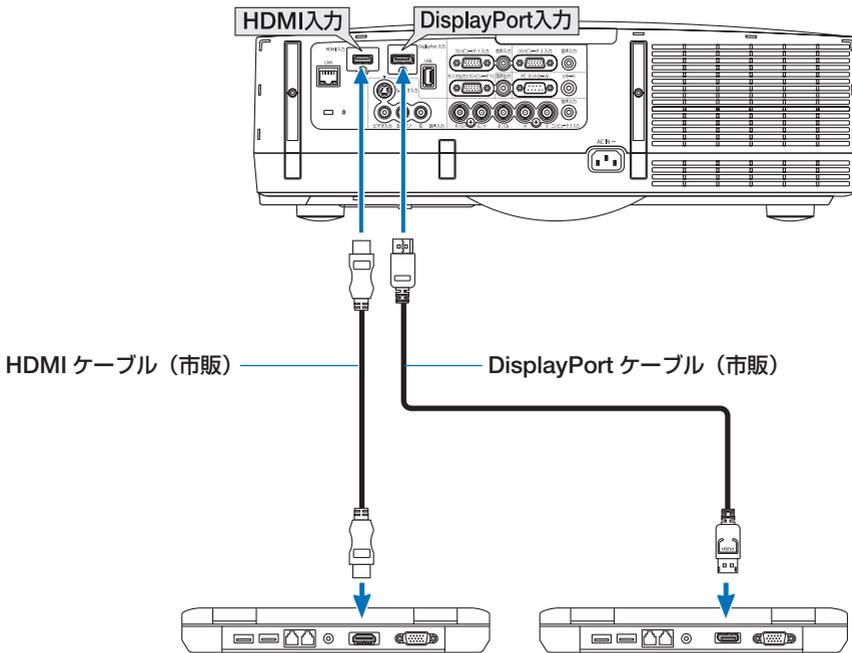


- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ 1 映像入力端子	コンピュータ 1	(コンピュータ1)
コンピュータ 2 映像入力端子	コンピュータ 2	(コンピュータ2)
コンピュータ 3 映像入力端子	×5 コンピュータ 3	(コンピュータ3)

デジタル RGB 信号の接続

- 市販の HDMI ケーブルは、コンピュータの HDMI 出力端子と本機の HDMI 入力端子を接続します。
- 市販の DisplayPort ケーブルはコンピュータの DisplayPort 出力端子と本機の DisplayPort 入力端子を接続します。



- 本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 入力端子	 HDMI	 (HDMI)
DisplayPort 入力端子	 DisplayPort	 (DisplayPort)

- HDMI ケーブル接続時の注意
 - ・ HDMI ケーブルは、認証済みの HIGH SPEED ケーブルまたは ETHERNET 対応 HIGH SPEED ケーブルを使用してください。
- DisplayPort ケーブル接続時の注意
 - ・ DisplayPort ケーブルは、認証済み CERTIFIED ケーブルを使用ください。



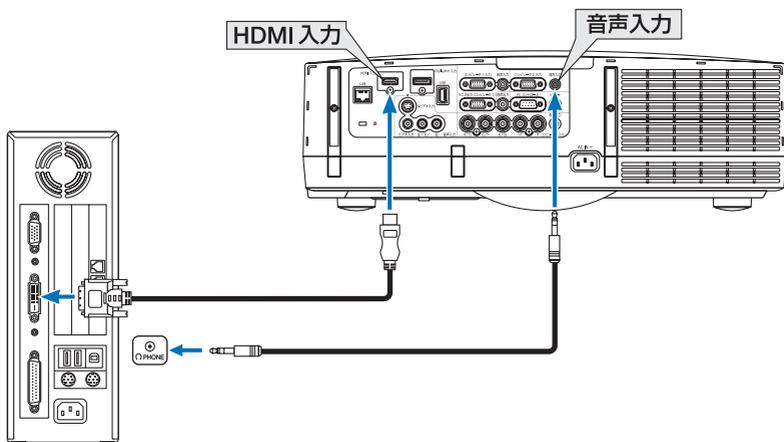
- ・ コンピュータによっては、映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。
- ・ DisplayPort ケーブル (市販) はロック付きのものが 있습니다。
- ・ ケーブルを取り外す際は、ケーブルのコネクタ上部にあるボタンを押しながら、ケーブルを抜いてください。
- ・ DisplayPort 入力端子からは接続機器へ電源を供給しません。
- ・ 信号変換アダプタを使用した機器からの信号を DisplayPort 入力端子に接続した場合、映像が表示されないことがあります。

- コンピュータの HDMI 出力端子と本機の DisplayPort 入力端子を接続する場合は、市販のコンバータを使用してください。

● DVI 入力時の注意

- コンピュータ側が DVI 出力端子の場合は、市販の変換ケーブルを使用して本機の HDMI 入力端子に接続します（デジタル映像信号のみ入力できます）。また、コンピュータの音声出力は、本機のコンピュータ 2 音声入力端子に接続してください。その場合は、本機のオンスクリーンメニューの音声選択で HDMI の設定を「コンピュータ 2」に切り替えてください。

[141 ページ](#)



注意

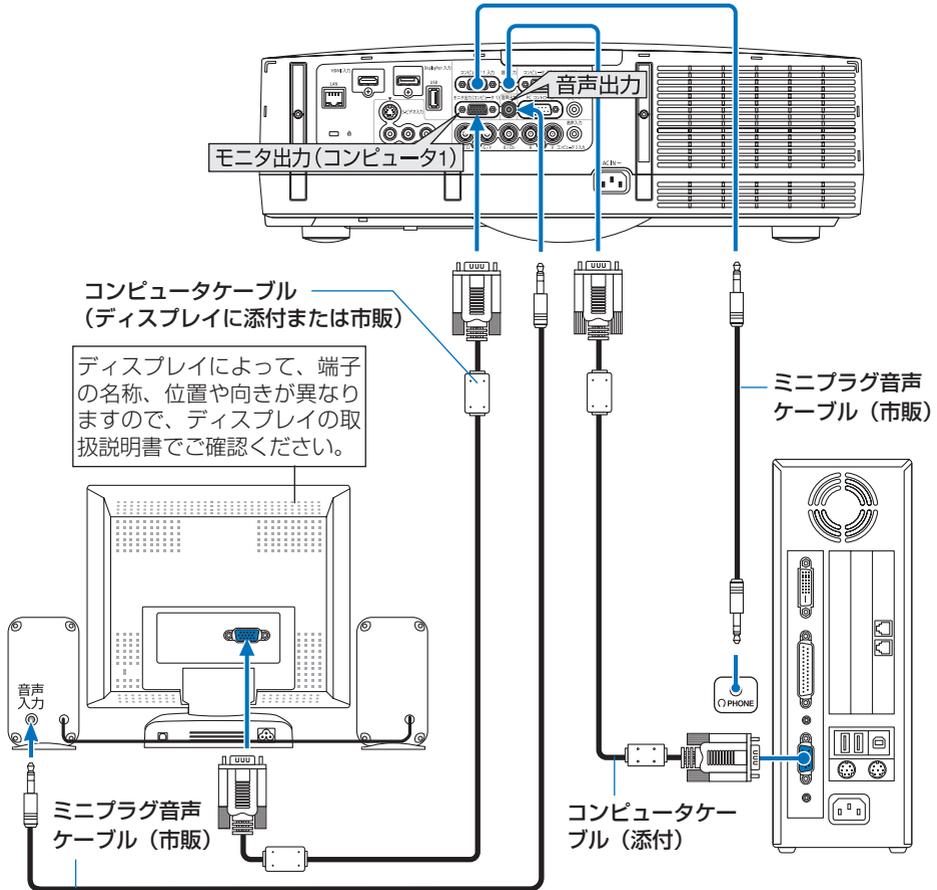
- コンピュータや本機の電源を切ってから接続してください。
- 音声ケーブルをヘッドフォン端子と接続する場合、接続する前にコンピュータの音量を低めに調整してください。そして、コンピュータと本機を接続して使用する際に、本機の音量とコンピュータの音量を相互に調整し、適切な音量にしてください。
- コンピュータにミニジャックタイプの音声出力端子がある場合は、その端子に音声ケーブルを接続することをおすすめします。
- 当社製のビデオユニット（形名 ISS-6020J）のビデオデコード出力には対応していません。
- スキャンコンバータなどを介してビデオデッキを接続した場合、早送り・巻き戻し再生時に正常に表示できない場合があります。
- DVI-HDMI 変換ケーブルは、DDWG Revision1.0 に準拠したのものを使用してください。
- DVI-HDMI 変換ケーブルを接続するときは、本機とコンピュータの電源が切れた状態で行ってください。
- DVI（デジタル）信号を投写する際は、ケーブル接続後、まず本機の電源を入れ、HDMI 入力を選択します。最後にコンピュータを起動してください。上記の手順どおりに操作しないと、映像が投写されないことがあります。映像が投写されない場合はコンピュータを再起動してください。
- コンピュータのグラフィックカードによっては、アナログ RGB（D-Sub）と DVI（または DFP）の両端子を有するものがあります。この場合、D-Sub 端子に RGB 信号ケーブルを接続していると、DVI デジタル信号が出力されないものがあります。
- 本機の電源が入っているときに信号ケーブルを抜かないでください。一度抜いて、再度接続した場合、映像が正常に投写されないことがあります。その場合はコンピュータを再起動してください。

参考

- コンピュータ1映像入力端子とコンピュータ2映像入力端子は、Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応しています。コンピュータ3映像入力端子は、Windowsのプラグ・アンド・プレイに対応していません。
- Macintoshとの接続では、Macintosh用信号アダプタ（市販）が必要になる場合があります。
Mini Displayportを装備しているMacintoshと本機を接続する場合は、市販のMini Displayport-Displayport変換ケーブルを使用してください。

6-3. ディスプレイと接続する

図のように、デスクトップコンピュータと本機を接続したときなど、本機で投写している画面と同じ画面を、手もとのディスプレイにも表示（モニタ）して確認できます。コンピュータ 1 映像入力端子に入力された信号だけがモニタ出力（コンピュータ 1）端子から出力されます。



注意

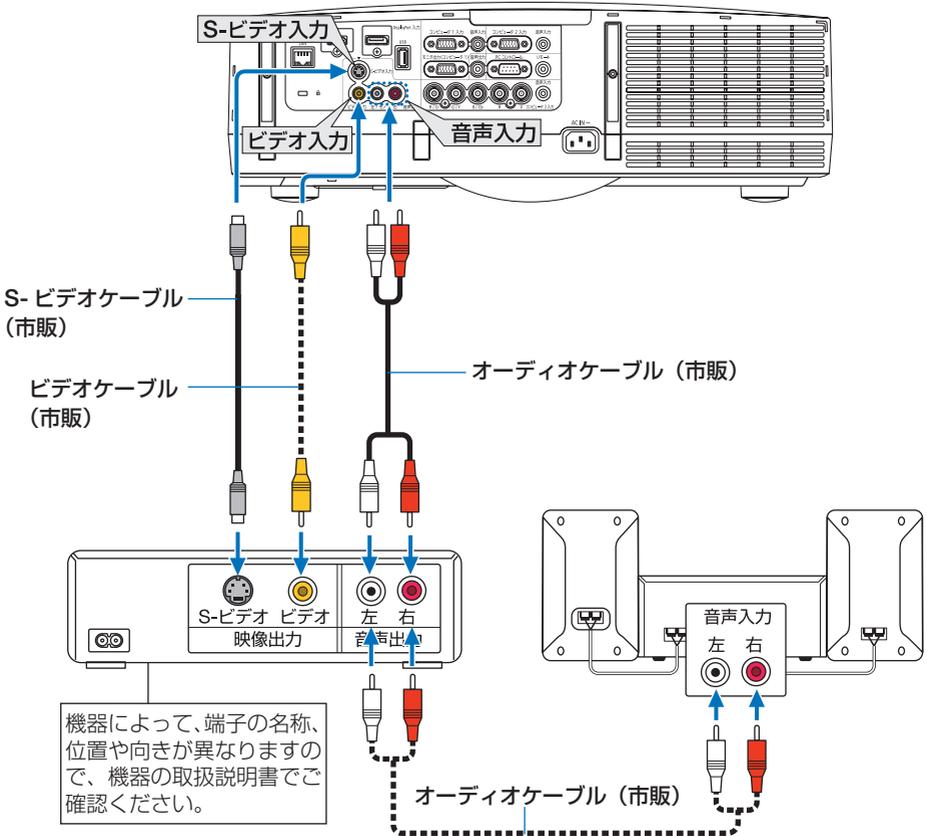
- 本機のモニタ出力（コンピュータ 1）端子は、1 台のディスプレイへ映像信号を出力するためのものです。複数のディスプレイやプロジェクターを連続してつなぐような使いかたはできません。
- 本機の音声出力端子に音声ケーブルを接続すると、本機のスピーカから音声がなくなります。
- 本機がスタンバイ状態のときは、本機の電源を切る前に投写されていた映像信号および音声信号がモニタ出力（コンピュータ 1）端子および音声出力端子から出力されます。また、音声信号の音量も本機の電源を切ったときと同じになります。なお、スタンバイモードが「省電力」および「ネットワークスタンバイ」に設定されているときは出力しません。

6-4. DVD プレーヤなどの AV 機器と接続する

ビデオ信号／S-ビデオ信号の接続

DVD プレーヤ、テレビチューナなどのビデオ機器の映像を投写する場合は、市販のケーブルを使用してください。

本機の内蔵スピーカはモノラルですので、ビデオ機器の音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
ビデオ映像入力端子	● ビデオ	(ビデオ)
S-ビデオ映像入力端子	● S-ビデオ	(S-ビデオ)

参考

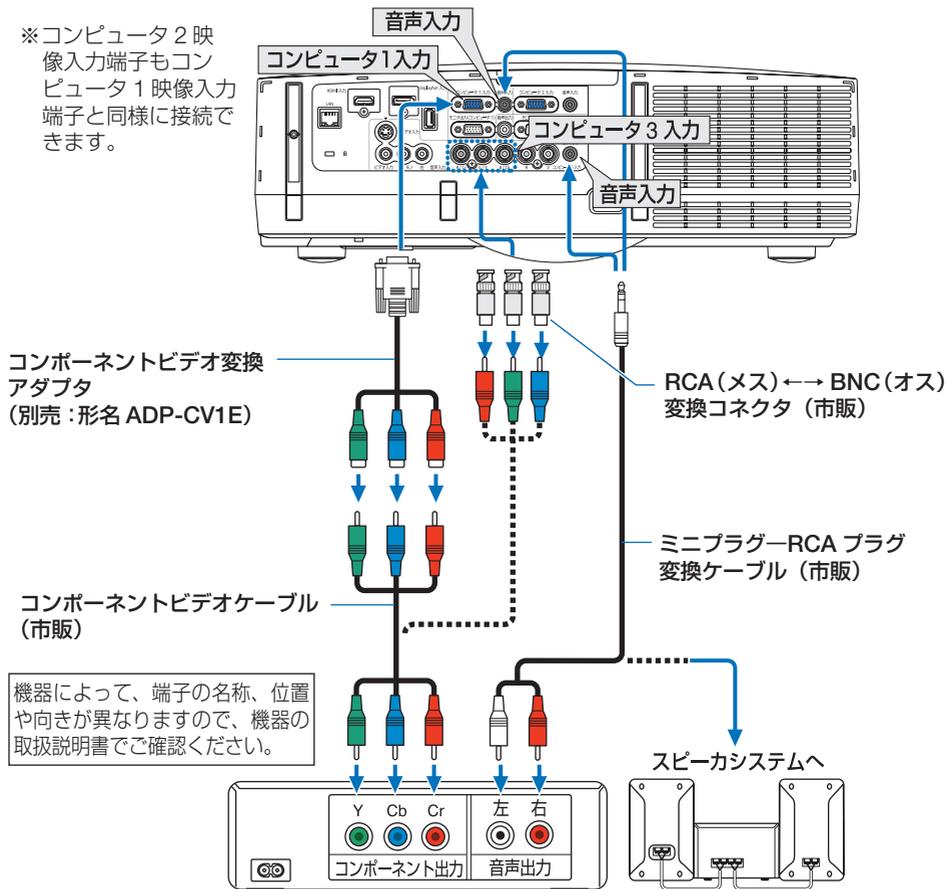
- ビデオとS-ビデオの音声入力端子は共用です。
- コンピュータ3映像入力端子のG/Y端子にビデオケーブル(市販)を接続すると、ビデオ信号を投写できます。その場合は、オンスクリーンメニューのセットアップ→オプション(1)→信号選択(COMP3)を「ビデオ」に設定し、入力切り替えはコンピュータ3を選択してください。

コンポーネント信号の接続

DVD プレーヤーの色差出力端子（DVD 映像出力）やハイビジョンビデオなどの YPbPr 出力端子（HD 映像出力）を使って本機で投写することができます。

DVD プレーヤーの音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。

※コンピュータ 2 映像入力端子もコンピュータ 1 映像入力端子と同様に接続できます。



●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

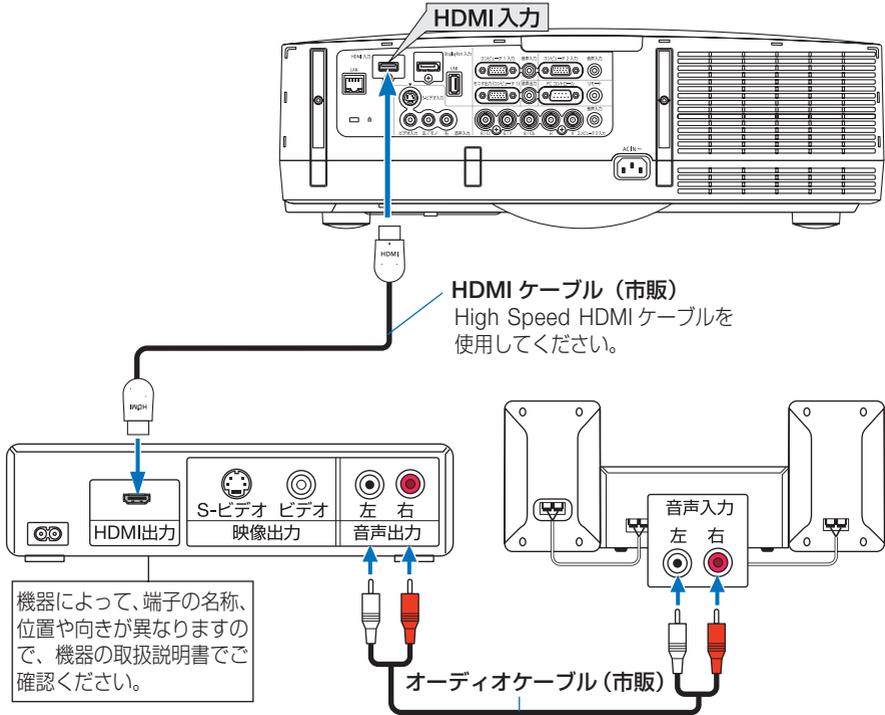
接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ1映像入力端子	コンピュータ1	(コンピュータ1)
コンピュータ2映像入力端子	コンピュータ2	(コンピュータ2)
コンピュータ3映像入力端子	コンピュータ3	(コンピュータ3)

参考

- 通常は自動でコンピュータ信号とコンポーネント信号を判別して切り替えますが、判別できない場合は、本機のオンスクリーンメニューから調整→ビデオ信号→信号形式で選択します(127 ページ)。コンピュータ3映像入力端子の「コンピュータ」か「ビデオ」かの選択はセットアップ→オプション(1)→信号選択 (COMP3)で行います(141 ページ)。
- D 端子付きの映像機器と接続する場合は、別売の D 端子変換アダプタ (形名 ADP-DT1E) をお使いください。

デジタル映像・音声信号（HDMI）の接続

ブルーレイプレーヤまたはデジタル放送チューナなどの HDMI 出力端子を本機に接続してハイビジョン映像を投写することができます。本機の HDMI 入力端子はデジタル映像とデジタル音声を入力しますが、本機の内蔵スピーカはモノラルですので、音声はオーディオ機器に接続することをおすすめします。



- 本機の電源を入れたあとに HDMI を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
HDMI 入力端子	 HDMI	(HDMI)

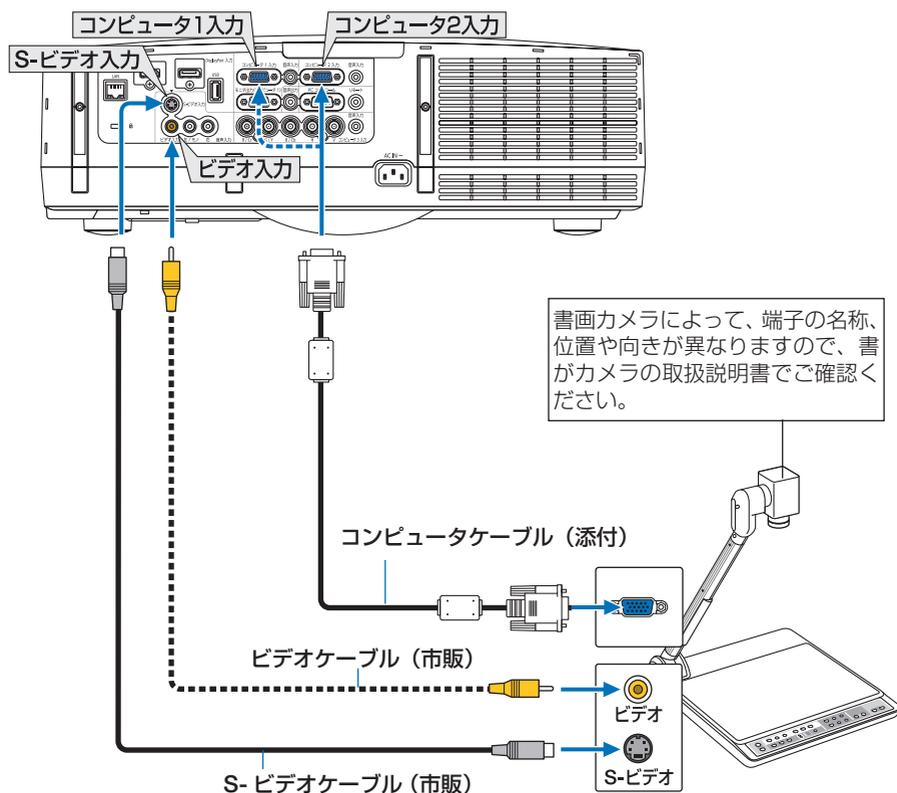
参考

- 本機の HDMI 入力端子に DVD プレーヤを接続している場合に、DVD プレーヤのビデオレベルの設定に合わせて本機のビデオレベルを設定できます。本機のオンスクリーンメニューのビデオ→ビデオレベルで設定します。DVD プレーヤのビデオレベルの設定については、DVD プレーヤの取扱説明書をご覧ください。
- 本機は HDCP（不正コピー防止を目的とする著作権保護システム）を装備しています。ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していても、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。
- HDMI 入力の音声が出力されない場合は、本機のオンスクリーンメニューのオプション（1）→音声選択→HDMI が「HDMI」に設定されているか確認してください。

(141 ページ)

6-5. 書画カメラと接続する

本機に市販の書画カメラを接続すると、印刷された資料や立体をスクリーンに投写することができます。



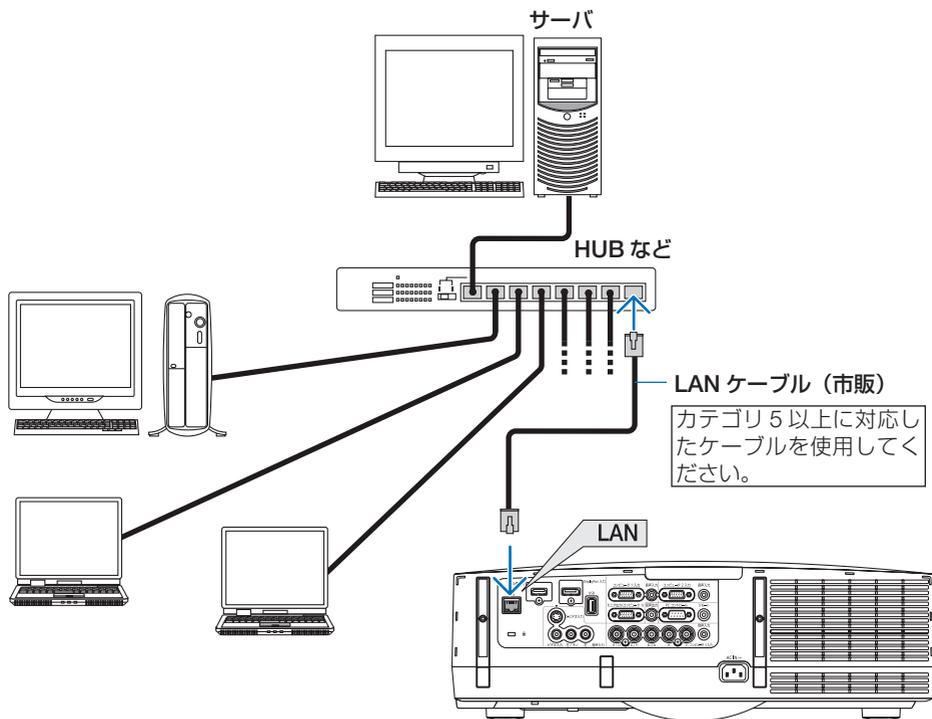
●本機の電源を入れたあとに接続端子に応じた入力端子名を選択してください。

接続端子	本体の(入力切替)ボタン	リモコンのボタン
コンピュータ 1 映像入力端子 または コンピュータ 2 映像入力端子	コンピュータ 1 または コンピュータ 2	(コンピュータ1) または (コンピュータ2)
ビデオ映像入力端子	ビデオ	(ビデオ)
S-ビデオ映像入力端子	S-ビデオ	(S-ビデオ)

6-6. 有線 LAN と接続する

本機には LAN ポート (RJ-45) が標準装備されています。LAN ケーブルを接続すると LAN 環境を利用することができます。本機を LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。本機への LAN の設定について詳しくは、本書のアプリケーションメニュー→ネットワーク設定→有線 LAN (153 ページ) をご覧ください。

接続例



6-7. 無線 LAN と接続する（別売）

別売の無線 LAN ユニットにより、無線 LAN 環境を利用することができます。本機を無線 LAN 環境で使用する場合は、本機に IP アドレスなどを設定する必要があります。



- 本機を無線機器が禁止されている区域で使用する場合は、無線 LAN ユニットを取り外してください。
- 別売の無線 LAN ユニットは、日本国内仕様をお買い求めください。



- 無線 LAN ユニットの動作中は、無線 LAN ユニットにある緑色 LED が点滅します。
- コンピュータ側の無線 LAN アダプタ（またはユニット）は、Wi-Fi (IEEE802.11b/g/n) 規格のものを使用してください。

無線 LAN 設定の流れ

ステップ 1

本体内部に無線 LAN ユニットを取り付ける (👉次ページ)



ステップ 2

アプリケーションメニューの「ネットワーク設定」を表示する。

(👉151 ページ)



ステップ 3

ネットワーク設定 → 無線 LAN ページで「かんたん接続」、「プロファイル 1」、「プロファイル 2」の設定を行います。(👉153 ページ)



- HTTP サーバから無線 LAN の設定を行う場合は、NETWORK SETTINGS → WIRELESS ページで「EASY CONNECTION (かんたん接続)」、「PROFILE 1 (プロファイル 1)」、「PROFILE 2 (プロファイル 2)」の設定を行います。

無線 LAN ユニットの取り付けかた



注意

無線 LAN ユニットは本体内部に取り付けます。取り付けの前に、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから行ってください。動作中にフィルタユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

注意

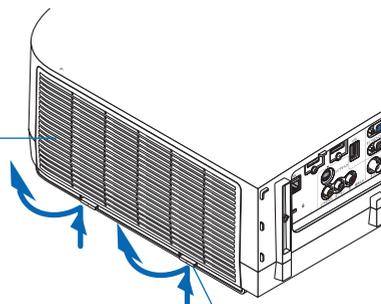
- 無線 LAN ユニットには表と裏があり、無線 LAN ユニット専用ポートに取り付ける向きが決まっています。逆に取り付けようとしてもできないようになっていますが、無理に押し込もうとすると、無線 LAN ユニット専用ポートが壊れます。
- 静電気による破損を防ぐため、無線 LAN ユニットに触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。
- 無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しは、電源コードを外して行ってください。本機の電源が入っているときやスタンバイ状態のときに無線 LAN ユニットの取り付け／取り外しを行うと、無線 LAN ユニットが壊れたり、本機が誤動作することがあります。万一本機が誤動作した場合は、本機の電源を切り、電源コードを抜いてください。その後電源コードを差し込んでください。
- USB (LAN) ポートには、無線 LAN ユニット以外の USB 機器を取り付けしないでください。また、端子部にある USB ポートには無線 LAN ユニットを取り付けしないでください。

1 電源ボタンを押して本機をスタンバイ状態にし、電源コードを抜く。本体が十分冷えるまでお待ちください。

2 フィルタカバーを取り外す。

フィルタカバーの左右のボタンを上押ししたまま手前に引いて取り外します。

フィルタカバー



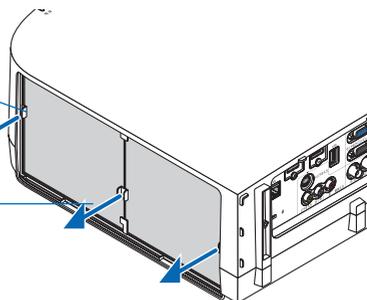
ボタン

3 フィルタユニットを取り外す。

フィルタユニットの左右のつまみを手前に引いて外します。

つまみ

フィルタユニット



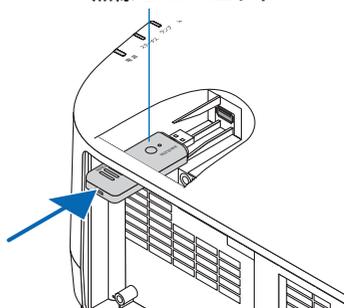
4 無線 LAN ユニートを USB(LAN)ポートにゆっくり差し込む。

- 無線 LAN ユニートのキャップを外し、表面（インジケータのある面）を上側にし、後端を持って軽く挿入します。
その後、無線 LAN ユニートを指で押し込みます。
- 外したキャップは、取り外したときに使いますので大切に保管してください。



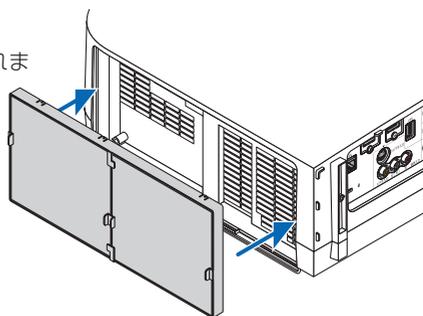
- 挿入しづらい場合は、無理に押し込まないでください。

無線 LAN ユニート



5 フィルタユニットを取り付ける。

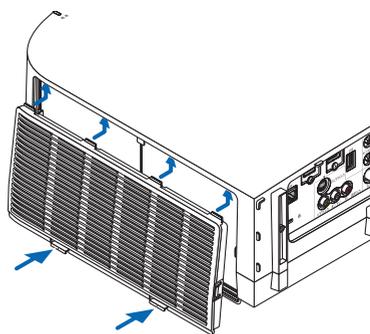
左右のつまみがある方を外側にして本体に入れます。



6 フィルタカバーを取り付ける。

フィルタカバーの上端にあるツメ 4 箇所を本体のミゾに入れ、左右のボタンを押して閉めます。

- 「カチッ」と音がしてフィルタユニットが固定されます。



無線 LAN ユニートを取り外すとき

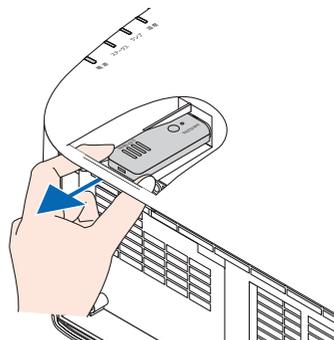
1 1～3の手順でフィルタユニットを外します。

2 無線 LAN ユニートを取り外します。
外しにくいときは、ラジオペンチにやわらかい布などを挟んで無線 LAN ユニートを引き抜きます。



- 強く無線 LAN ユニートを挟み込まないでください。無線 LAN ユニートが破損します。

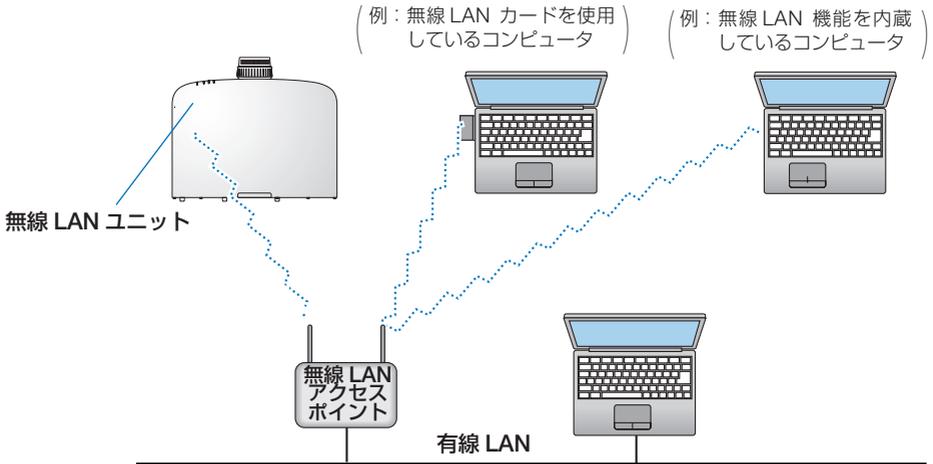
3 5、6の手順でフィルタユニット、フィルタカバーを取り付けます。



無線 LAN への接続例

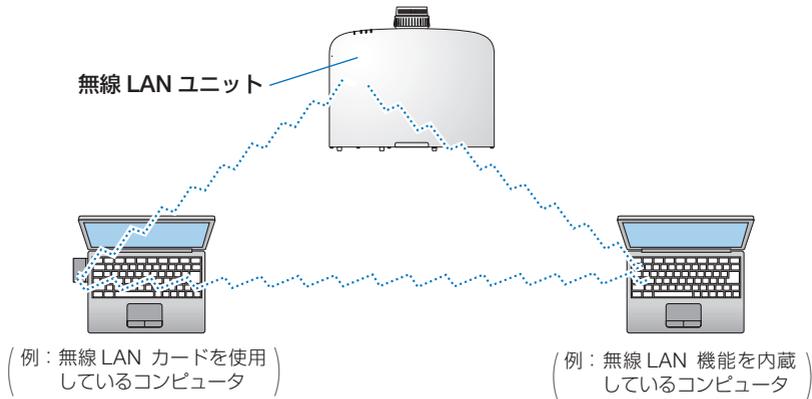
●通信モード：インフラストラクチャ

無線 LAN アクセスポイントを介して有線/無線 LAN と接続する場合は、通信モードを「インフラストラクチャ」に設定します。(▶ 156 ページ)



●通信モード：アドホック

無線 LAN アクセスポイントを使わず、無線 LAN 端末同士で通信を行う場合は、通信モードを「アドホック」に設定します。(▶ 156 ページ)



7. 本体のお手入れ／ランプの交換

7-1. フィルタの清掃

吸気口のフィルタはプロジェクター内部をほこりや汚れから守っています。フィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、汚れが気になるときは清掃をしてください。

参考

- フィルタ清掃時期の表示について
本機には、フィルタの清掃時期をお知らせする機能があります。あらかじめ設定した時間（工場出荷時は「オフ」）を超えて本機を使用すると、画面上に「フィルタ清掃時期です。」のメッセージが表示されます。メッセージが表示されたら、フィルタを清掃してください。
 - ・ 設置する環境に合わせて、フィルタ清掃のメッセージ表示間隔を変更することができます。設定についてはオンスクリーンメニューの「フィルタメッセージ」(▶ 132 ページ) をご覧ください。
 - ・ フィルタ清掃のメッセージは、電源投入時の1分間、および本機の④ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。
 - ・ 「フィルタ清掃時期です。」というメッセージは、本機またはリモコンのいずれかのボタンを押すと消えます。

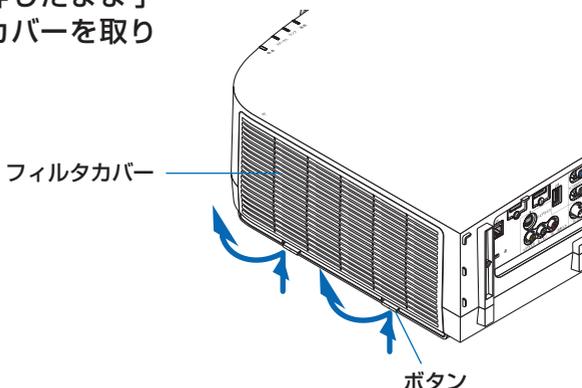
本機のフィルタは大型2層構造で冷却と防塵効果を向上させています。ホコリは1層目および2層目フィルタの外側（空気の入る方）で除去します。このためフィルタの清掃はフィルタユニットおよびフィルタカバーを取り外して清掃します。



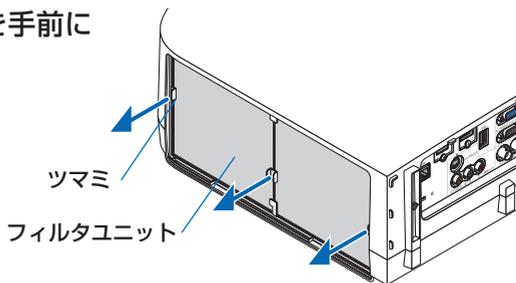
注意

フィルタの清掃は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、本体が十分冷えてから行ってください。動作中にフィルタユニットを外すとやけどや内部に触れて感電のおそれがあります。

- 1 左右のボタンを上を押したまま手前に引いてフィルタカバーを取り外す。

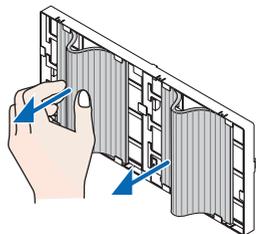


2 フィルタユニットのつまみを手前に引いて取り外す。



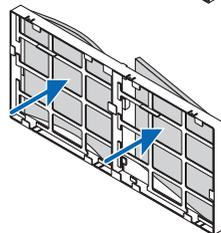
3 フィルタ 4 枚を取り外す。

① フィルタユニットを裏返して、ジャバラ状のフィルタをつまんで取り外します。



② ハニカム状のフィルタの中央付近を指で押してフィルタを取り外します。

- ・フィルタの左端および右端を押しても外れません。

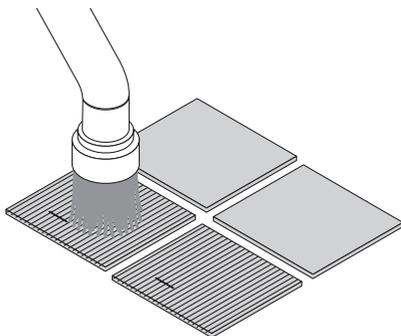


4 掃除機でフィルタ 4 枚のホコリを吸い取る。

ジャバラ状の柔らかいフィルタのすき間のほこりもていねいに取り除いてください。

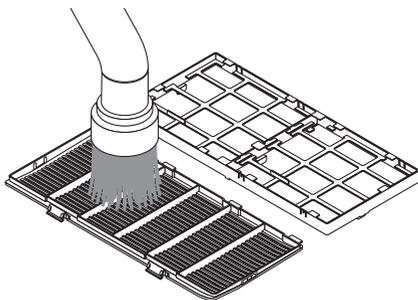
注意

- フィルタの清掃はブラシ付きアダプタを使用してください。アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。
- 水洗いをしないでください。目詰まりの原因となります。



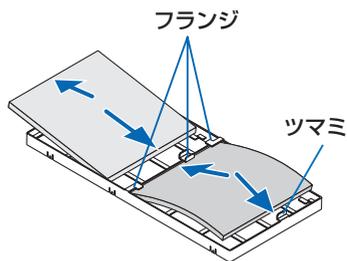
5 フィルタユニットおよびフィルタカバーのホコリを取り去る。

表側と裏側を清掃してください。

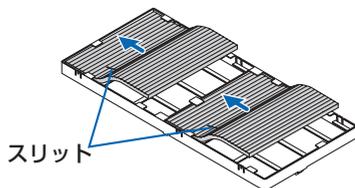


6 フィルタユニットにフィルタ 4 枚を取り付ける。

- ① ハニカム状の固いフィルタを中央のフランジ部に先に入れ、フィルタを湾曲させてツマミの下に押し込みます。
- ・フィルタを外側から入ると入りません。

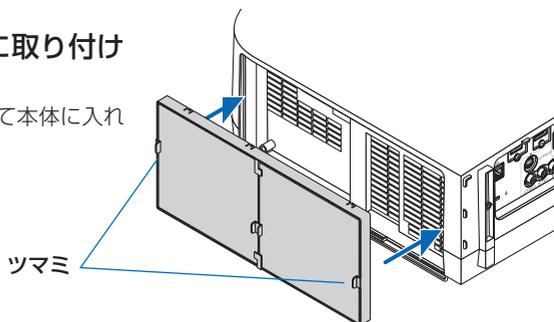


- ② フィルタユニットを裏返します。ジャバラ状のやわらかいフィルタを周囲にあるフランジの下に取り付けます。
- ・このフィルタにはスリット（切れ目）があります。フィルタのスリットをフィルタユニットの突起部に合わせてください。



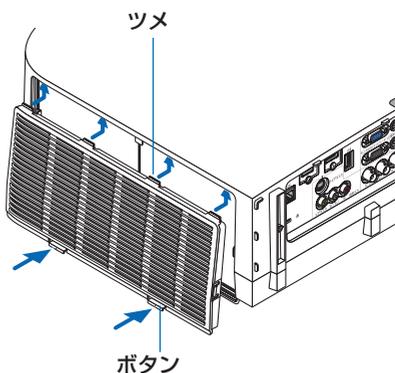
7 フィルタユニットを本体に取り付ける。

- 左右のツマミがある方を外側にして本体に入れます。



8 フィルタカバーを本体に取り付ける。

- フィルタカバーの上端にあるツメ 4 箇所を本体のミゾに入れ、左右のボタンを押して閉めます。
- ・「カチッ」と音がしてフィルタユニットが固定されます。



9 フィルタ使用時間をクリアする。

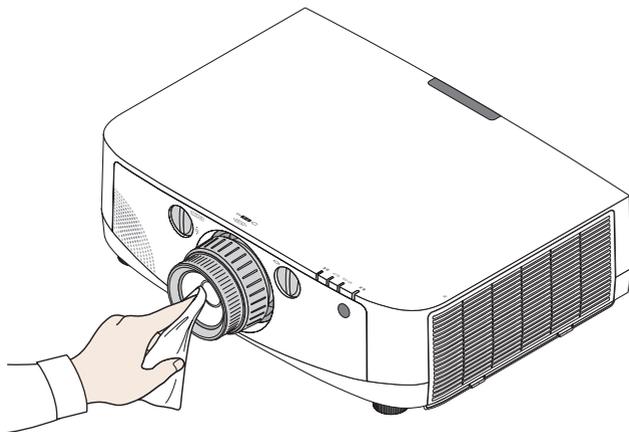
- 電源プラグをコンセントに差し込み、本体の電源を入れます。
- オンスクリーンメニューのリセットの「フィルタ時間クリア」を選択してください。

[\(▶148 ページ\)](#)

7-2. レンズの清掃

本機専用のレンズユニット（別売）のレンズはプラスチック製です。レンズを清掃する際は、プラスチックレンズ手拭専用洗剤液（オリンパス製 EE-3310 または EE-3320）を使用して汚れをふき取ってください。

オリンパス製 EE-3310 または EE-3320 は、カメラ販売店等でお買い求めください。



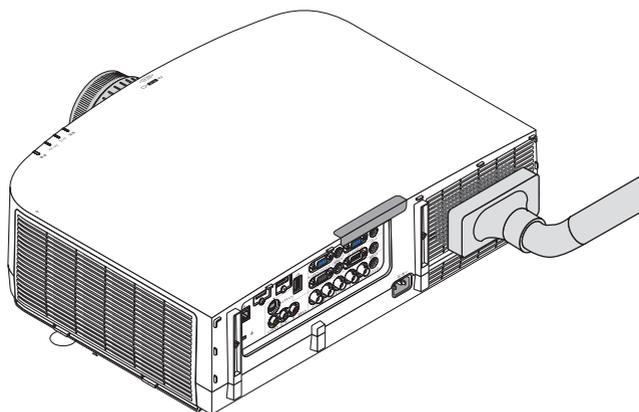
注意

- ガラス用クリーナーやアルコールなどは絶対に使用しないでください。プラスチックレンズの表面を侵食し、輝度低下や画質劣化の原因となります。

7-3. キャビネットの清掃

お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 毛羽立ちの少ないやわらかい乾いた布でふいてください。
汚れのひどいときは、水でうすめた中性洗剤にひたした布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。
化学ぞうきんを使用する場合は、その注意書きに従ってください。
- シンナーやベンジンなどの溶剤でふかないでください。変質したり、塗料がはげることがあります。
- 通風孔やスピーカ部のほこりを取り除く場合は、掃除機のブラシ付きのアダプタを使用して吸い取ってください。なお、アダプタを付けずに直接当てたり、ノズルアダプタを使用することは避けてください。



通風孔のほこりを吸い取ります。

- 通風孔にほこりがたまると、空気の通りが悪くなり内部の温度が上昇し、故障の原因となりますので、こまめに清掃をしてください。
- キャビネットを爪や硬いもので強くひっかいたり、当てたりしないでください。傷の原因となります。
- 本体内部の清掃については、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

注意

- キャビネットやレンズおよびスクリーンに殺虫剤など揮発性のものをかけたりしないでください。
また、ゴムやビニール製品などを長時間接触したままにしないでください。変質したり、塗料がはげるとの原因となります。

7-4. ランプとフィルタの交換

光源に使われているランプの使用時間がランプ交換時間(目安)^{*1} (🔍 146 ページ) を超えるとランプインジケータが赤く点滅し、メッセージ「ランプの交換時期です。取扱説明書に従って早めに交換してください。」が画面上に表示されます^{*2}。

この場合は光源ランプの交換時期ですので、新しいランプと交換してください。

なお、エコモードで使用している割合が多いとランプ交換時間(目安)^{*1} が延びます。したがってこの場合ランプ使用時間は延びることになります。現在のランプ使用残量の目安はオンスクリーンメニューの「情報(使用時間)」(🔍 145 ページ) をご覧ください。

- 安全・性能維持のため指定ランプを使用してください。
- 交換用ランプは販売店でお求めください。ご注文の際は交換用ランプ形名 NP21LP をご指定ください。
- 交換用ランプにはフィルタが添付されていますので、ランプを交換したあとにフィルタも交換してください。
- 指定のネジ以外は外さないでください。
- ランプハウスには、ランプ保護のためガラスが付いています。誤って割らないよう取り扱いには注意してください。
また、ガラス表面には触れないでください。輝度にかかわる性能劣化の原因となります。
- メッセージが表示されてもなお使用を続けると、ランプが切れることがあります。ランプが切れるときには、大きな音をともなって破裂し、ランプの破片がランプハウス内に散らばります。この場合は、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターに交換を依頼してください。
- 本機を天吊りで設置した状態でランプ交換を行う場合は、本機の下部に人が入らないように注意してください。ランプが破裂している場合に、ランプの破片が飛散するおそれがあります。
- ランプ交換時間(目安)^{*1} に到達後 100 時間を超えて使用すると、ランプインジケータが赤く点灯するとともにスタンバイ状態になり電源が入らなくなります。

※ 1 保証時間ではありません。

※ 2 ランプ交換のメッセージは電源投入時の 1 分間、および本機の🔍 ボタンまたはリモコンの電源(切)ボタンを押したときに表示されます。

電源投入時にランプ交換のメッセージを消す場合は本機またはリモコンのいずれかのボタンを押してください。



注意

ランプの交換は、電源を切り電源プラグをコンセントから抜き、約 1 時間おいてから行ってください。動作中や停止直後にランプを交換すると高温のため、やけどの原因となることがあります。

ランプとフィルタ交換の流れ

ステップ 1

ランプを交換する (このページ)

ステップ 2

フィルタを交換する (198 ページ)

ステップ 3

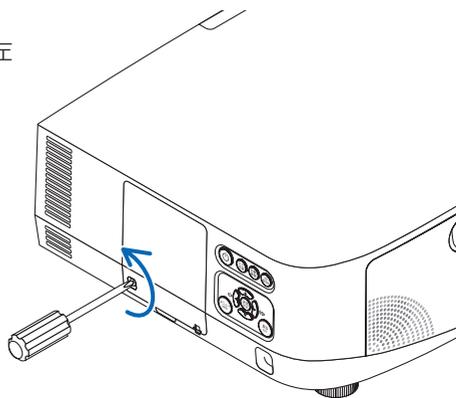
ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする (200 ページ)

ランプを交換する

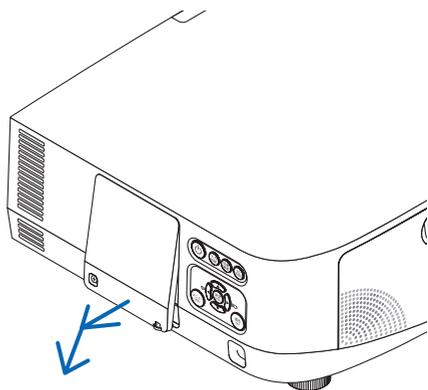
準備：プラスドライバーを用意してください。

1 ランプカバーを外す。

- ① ランプカバーネジを空転するまで左にゆるめる。
 - ・ネジは外れません。

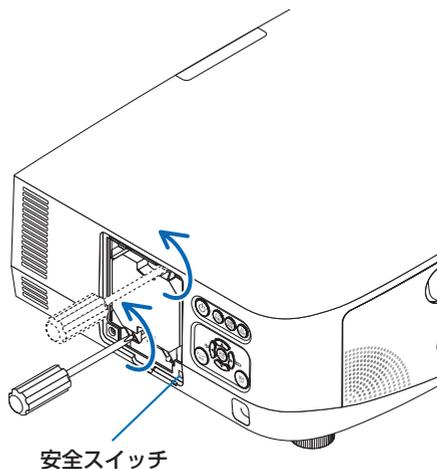


- ② ランプカバーの下部を手前に引いて外します。



2 ランプハウスを外す。

- 1 ランプハウス固定のネジ (2箇所) を空転するまで左にゆるめる。
 - ・ネジは外れません。
 - ・本機には安全スイッチが付いています。安全スイッチには触れないでください。

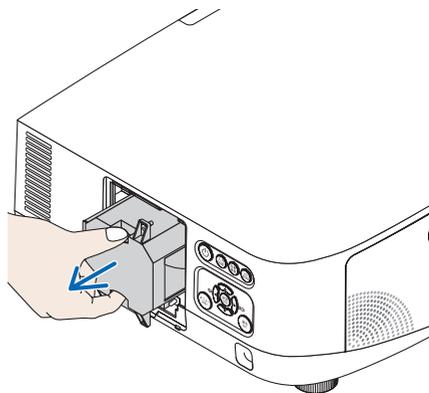


- 2 ランプハウスのつまみを指で挟んで持ち上げる。



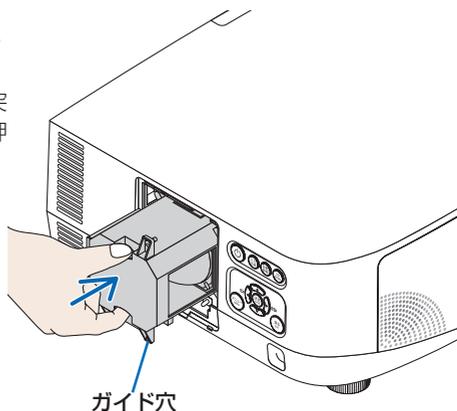
注意

高温に注意してください。ランプハウスが冷えていることを確認してから外してください。

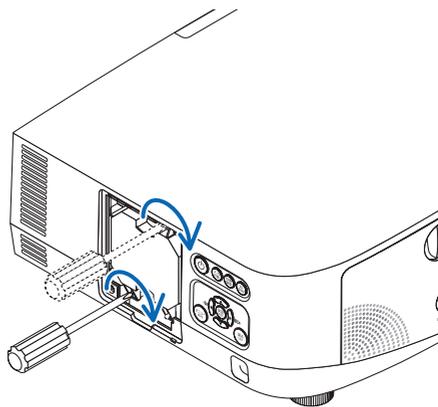


3 新しいランプハウスを取り付ける。

- 1 ランプハウスを静かに入れる。
 - ・ランプハウス右下のガイド穴が本体の突起に入るように位置決めして、奥まで押し込んでください。

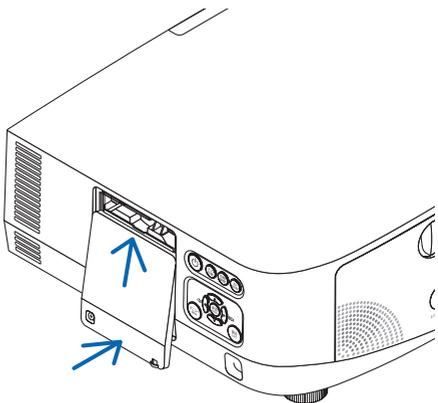


- ② ランプハウス固定のネジ (2箇所) を右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。



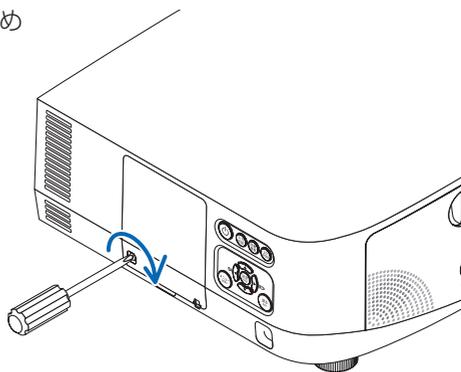
4 ランプカバーを取り付ける。

- ① ランプカバーの上端を本体のミゾに入れて閉める。



- ② ランプカバーのネジを右に回してしめる。
・ネジは確実にしめてください。

これで、ランプ交換が終わりました。
続いてフィルタを交換してください。



参考

- ランプ交換時間 (目安) * (🔋 146 ページ) に到達後 100 時間を超えて使用すると、電源が入らなくなります。その場合は、スタンバイ状態でリモコンの(ヘルプ)ボタンを 10 秒以上押すことでランプ残量とランプ使用時間をクリアできます。クリアされたかどうかは、ランプインジケータが消灯することで確認できます。
※保証時間ではありません。

フィルタを交換する

交換ランプに添付されているフィルタは 4 枚あります。

ハニカム状の目の粗いフィルタ…2 枚

ジャバラ状に折り畳んだ目の細かいフィルタ…2 枚

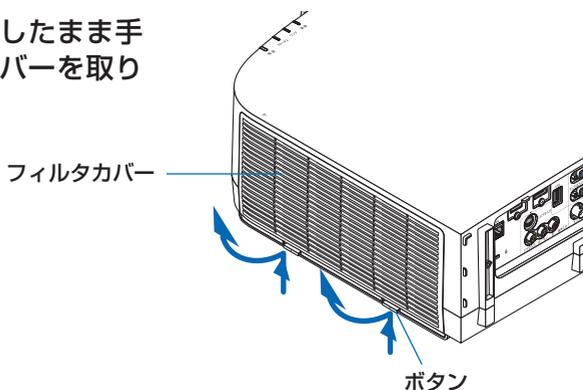
説明に従って間違わないように交換してください。

注意

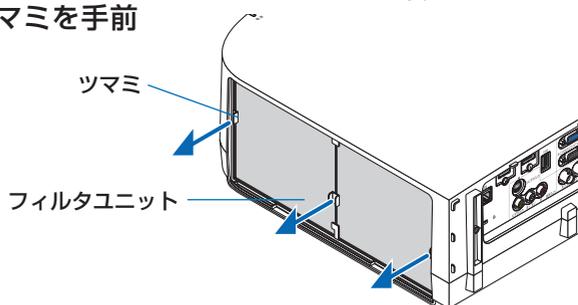
- フィルタは、4 枚とも同時期に交換してください。
- フィルタを交換するときは、プロジェクター本体のほこりをよくふき取ってから行ってください。
- プロジェクターは精密機器ですので、内部にほこりが入らないようにご注意ください。
- フィルタは水洗いしないでください。目詰まりの原因となります。
- 必ずフィルタを正しく取り付けてください。フィルタを正しく取り付けていないと、内部にほこりなどが入り故障の原因となります。

準備：先にランプの交換を行ってください。(▶195 ページ)

- 1 左右のボタンを上を押したまま手前に引いてフィルタカバーを取り外す。

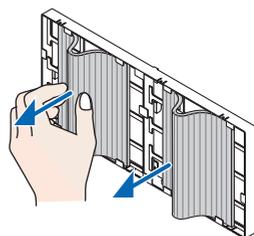


- 2 フィルタユニットのつまみを手前に引いて取り外す。

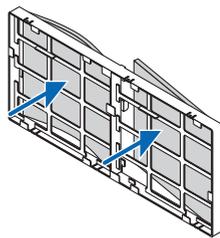


- 3 フィルタ 4 枚を取り外す。

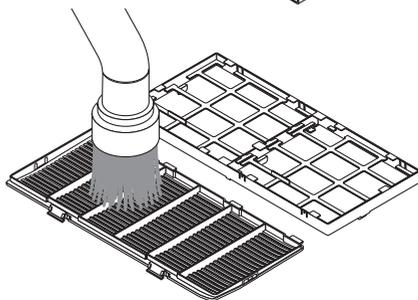
- 1 フィルタユニットを裏返して、ジャバラ状のフィルタをつまんで取り外します。



- ② ハニカム状のフィルタの中央付近を指で押してフィルタを取り外します。
- ・フィルタの左端および右端を押しても外れません。

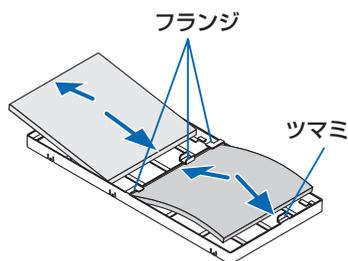


- ④ フィルタユニットおよびフィルタカバーのホコリを取り去る。
表側と裏側を清掃してください。

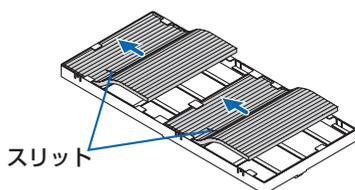


- ⑤ フィルタユニットに新しいフィルタ4枚を取り付ける。

- ① ハニカム状の固いフィルタを中央のフランジ部に先に入れ、フィルタを湾曲させてツマミの下に押し込みます。
- ・フィルタを外側から入ると入りません。

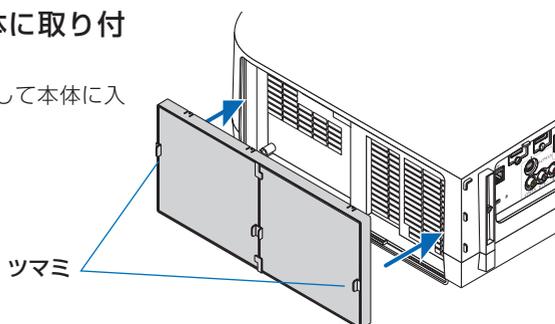


- ② フィルタユニットを裏返します。
ジャバラ状のやわらかいフィルタを周囲にあるフランジの下に取り付けます。
- ・このフィルタにはスリット（切れ目）があります。フィルタのスリットをフィルタユニットの突起部に合わせてください。



- ⑥ フィルタユニットを本体に取り付ける。

左右のツマミがある方を外側にして本体に入れます。

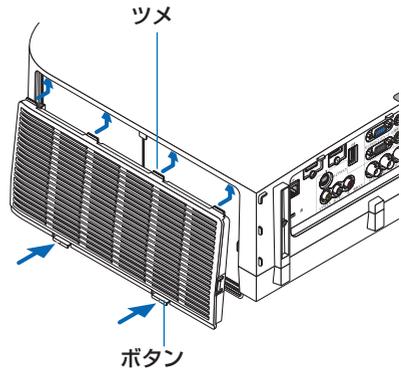


7 フィルタカバーを本体に取り付ける。

フィルタカバーの上端にあるツメ4箇所を本体のミゾに入れ、左右のボタンを押して閉めます。

- ・「カチッ」と音がしてフィルタユニットが固定されます。

これで、フィルタ交換が終わりました。
続いてランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアしてください。



ランプ使用時間とフィルタ使用時間をクリアする

1 本機を投写する場所に設置する。

2 電源プラグをコンセントに差し込み、電源を入れる。

3 ランプ使用時間やフィルタ使用時間をクリアする。

① オンスクリーンメニューのリセットで「ランプ時間クリア」を実行してください。(▶148 ページ)

② 続いて「フィルタ時間クリア」を実行してください。

8. ユーザーサポートウェア

8-1. インストール方法

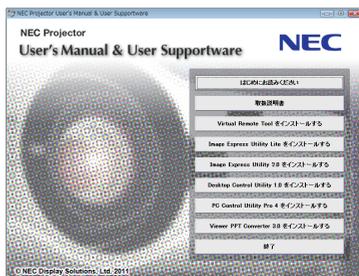
Windows 用ソフトウェアのインストール

Image Express Utility 2 for Mac を除くソフトウェアは、Windows 7/Windows Vista/Windows XP に対応しています。



- ソフトウェアのインストール/アンインストールは、Windows 7/Windows Vista の場合「管理者」権限、Windows XP の場合「コンピュータの管理者」権限で行ってください。
- インストールを行う前に、起動しているアプリケーションソフトをすべて終了してください。他のアプリケーションソフトが起動していると、インストールが正常に終了しない場合があります。
- Windows XP Home Edition および Windows XP Professional において Virtual Remote Tool または PC Control Utility Pro 4 を起動する場合は「Microsoft .NET Framework (Version 2.0 以上)」が必要です。「Microsoft .NET Framework」は、マイクロソフトのホームページからダウンロードし、コンピュータにインストールしてください。
- Image Express Utility Lite は、システムドライブにインストールします。「インストール先の空き容量が不足しています」というエラーが表示された場合、十分な空き容量（約 100 メガバイト程度）を確保してから、インストールしてください。

- 1 添付の NEC Projector CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットする。
メニューウィンドウが表示されます。



メニューウィンドウが表示されないときは、次の手順を行ってください。

(※ Windows 7 のときの例)

- 1 Windows の [スタート] をクリックする。
- 2 [すべてのプログラム] → [アクセサリ] → [ファイル名を指定して実行] をクリックする。
- 3 [名前(O)] に CD-ROM ドライブ名^(*) (例: [Q:¥]) と [LAUNCHER.EXE] を続けて入力する。(例: Q:¥LAUNCHER.EXE)
^(*) CD-ROM ドライブ名は、お使いのコンピュータによって異なります。
- 4 [OK] をクリックする。
メニューウィンドウが表示されます。

2 インストールするソフトウェアをクリックする。

インストールの準備が始まります。

- 以降は、画面のメッセージに従って操作してください。



●ソフトウェアのアンインストール方法

準備：アンインストールの前に、アンインストールするソフトウェアを終了してください。

アンインストールの際は、Windows 7/Windows Vista は「管理者」権限、Windows XP は「コンピュータの管理者」権限で行ってください。

◆Windows 7/Windows Vista の場合

- 1 「スタート」 → 「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラム」の下の「プログラムのアンインストール」をクリックする。
プログラムと機能画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールするプログラムをクリックする。
- 4 「アンインストールと変更」または「アンインストール」をクリックする。
 - ・ユーザーアカウント制御画面が表示された場合は、「続行 (C)」ボタンをクリックします。

以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

◆Windows XP の場合

- 1 「スタート」 → 「コントロールパネル」の順にクリックする。
コントロールパネル画面が表示されます。
- 2 「プログラムの追加と削除」をダブルクリックする。
プログラムの追加と削除画面が表示されます。
- 3 一覧からアンインストールするプログラムをクリックし、「削除」をクリックする。
以降は、画面のメッセージに従って操作してください。

Mac 用ソフトウェアのインストール

Image Express Utility 2 for Mac は、Mac OS X に対応しています。

- 1 添付の NEC Projector CD-ROM を Mac の CD-ROM ドライブにセットする。
- 2 CD-ROM アイコンをダブルクリックする。
- 3 「Mac OS X」フォルダをダブルクリックする。

- 4 「Image Express Utility 2(Intel).dmg」をダブルクリックする。

「Image Express Utility 2」フォルダが表示されません。

- ・お使いの Mac の CPU が PowerPC の場合は、「Image Express Utility 2.dmg」をダブルクリックします。

- 5 「Image Express Utility 2」フォルダを「アプリケーション」フォルダにドラッグ&ドロップする。



●ソフトウェアのアンインストール方法

- 1 「Image Express Utility 2」フォルダをゴミ箱に入れる。
- 2 Image Express Utility 2 の環境設定ファイルをゴミ箱に入れる
 - ・ Image Express Utility 2 の環境設定ファイルは、「/ ユーザ / あなたのユーザ名 / ライブラリ / Preferences / jp.co.nec.nevt.ImageExpressUtility.plist」にあります。

8-2. LAN を経由して本機を操作する (Virtual Remote Tool)

Virtual Remote Tool を使用すると、コンピュータの画面に Virtual Remote 画面（リモコンウインドウまたはツールバー）を表示し、LAN を経由してプロジェクターの電源の入/切や信号切り替えなどの操作ができます。

また、画像をプロジェクターへ送信して、バックグラウンドロゴとして登録することができます。登録後は、ロックをかけてロゴの書き換えを防止できます。

【Virtual Remote 画面】



リモコンウインドウ

●主な制御機能

- 電源の入/切
 - 入力信号切替
 - 映像・音声のミュート
 - 投写中の動画を静止する
 - プロジェクターへロゴ画像を送信する
- その他、コンピュータの画面上でのリモコン操作



ツールバー

ここでは、Virtual Remote Tool を使用するまでの流れを説明します。Virtual Remote Tool の詳しい操作については、Virtual Remote Tool のヘルプをご覧ください。

[\(206 ページ\)](#)

注意

- Virtual Remote Tool を使って送信できるロゴデータ（画像）には以下の条件があります。
 - * ファイルサイズ：256 キロバイト以内
 - * 画像サイズ：本機の解像度以内
 - * ファイル形式：JPEG
- Virtual Remote Tool で送信したロゴデータ（画像）は中央に表示され、周囲の色は黒色になります。

参考

- Virtual Remote Tool は、シリアル接続での制御も可能です。

本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」([206 ページ](#))、「6-7. 無線 LAN と接続する（別売）」([185 ページ](#))、および「5-8. アプリケーションメニュー」の「ネットワーク設定」([151 ページ](#))の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

● Virtual Remote Tool の終了方法

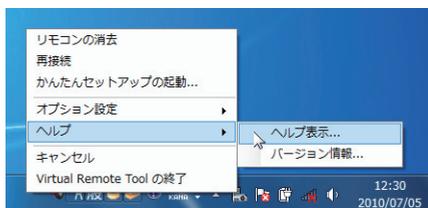
- 1 タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。
- 2 「Virtual Remote Tool の終了」をクリックする。
Virtual Remote Tool が終了します。



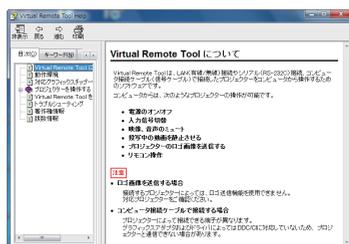
● Virtual Remote Tool のヘルプ表示方法

◆ タスクトレイから表示する

- 1 Virtual Remote Tool が起動しているときに、タスクトレイの Virtual Remote Tool アイコンをクリックする。
ポップアップメニューが表示されます。



- 2 「ヘルプ」 → 「ヘルプ表示」をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。



◆ スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」または「プログラム」 → 「NEC Projector User Supportware」 → 「Virtual Remote Tool」 → 「Virtual Remote Tool Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

8-3. LAN を経由して画像を投写する (Image Express Utility Lite)

Image Express Utility Lite を使用すると、コンピュータからネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を経由してプロジェクターへ画像を伝送し、投写することができます。

ここでは、本機を LAN に接続して、Image Express Utility Lite を使用するまでの流れを説明します。Image Express Utility Lite の詳しい操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。

Image Express Utility Lite でできること

●画像伝送

- コンピュータケーブルを接続する代わりに、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を使ってコンピュータの画面をプロジェクターへ伝送して投写することができます。
- ネットワーク設定を省略し自動的にコンピュータとプロジェクターを接続することができます（かんたん接続）。
- 同時に最大 4 台のプロジェクターへコンピュータの画面を伝送できます。

●幾何学補正 (Geometric Correction Tool)

「8-4. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)」をご覧ください。 (🔗 210 ページ)

本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」 (🔗 184 ページ)、「6-7. 無線 LAN と接続する (別売)」 (🔗 185 ページ)、および「5-8. アプリケーションメニュー」の「ネットワーク設定」 (🔗 151 ページ) の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

Image Express Utility Lite を起動する

- 1** Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Image Express Utility Lite] → [Image Express Utility Lite] の順にクリックする。

Image Express Utility Lite が起動します。
ネットワーク接続の選択ウィンドウが表示されません。

2 使用するネットワークを選択し、[OK] をクリックする。

- コンピュータとプロジェクターを1対1で接続する場合は「かんたん接続」をおすすめします。
- 「かんたん接続」で使用されているネットワークが複数見つかった場合は、3のウィンドウが表示されます。
- 接続するプロジェクターが使用しているネットワークを確認するには、プロジェクターのオンスクリーンメニューの「情報」→「無線LAN」画面を表示し、「SSID」の文字列を確認してください。



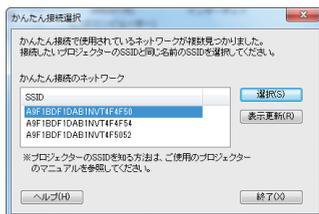
3 使用するネットワークを選択し、[選択(S)] をクリックする。

接続先選択ウィンドウが表示されます。

4 接続するプロジェクターにチェックマークを付け、[接続(C)] をクリックする。

- 複数のプロジェクターが表示された場合は、接続するプロジェクターのオンスクリーンメニューの「情報」→「無線LAN」画面を表示し、「IP アドレス」を確認してください。

プロジェクターと接続すると、コントロールウィンドウを操作してコンピュータをコントロールできるようになります。



注意

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」または「ネットワークスタンバイ」に設定しているプロジェクターは、スタンバイ状態のときに接続先選択に表示されません。
- NP-PA500UJL が検索された場合、解像度は 1280 × 800 と表示されます。

●コントロールウィンドウの操作



名称	説明
① (入力)	プロジェクターの入力信号を切り替えます。
② (映像)	ブランク (映像消去)、フリーズ (静止画)、表示、GCT (幾何学補正) が行えます。 GCT (幾何学補正) については、 210 ページ をご覧ください。
③ (音声)	ミュート (音声消去)、再生、音量の調整が行えます。
④ (その他)	更新、HTTP サーバ、設定、情報が行えます。
⑤ (終了)	Image Express Utility Lite を終了します。同時にプロジェクターの電源を切ることもできます。
⑥ (ヘルプ)	Image Express Utility Lite のヘルプを表示します。

参考

● Image Express Utility Lite のヘルプ表示方法

◆ Image Express Utility Lite の起動中に表示する

- 1 コントロールウィンドウの (ヘルプ) をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆ GCT (幾何学補正) の起動中に表示する

- 1 編集ウィンドウの「ヘルプ」→「ヘルプ」をクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆ スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「Image Express Utility Lite」→「Image Express Utility Lite Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

8-4. スクリーンに斜め方向から投写する (Image Express Utility Lite の幾何学補正)

Image Express Utility Lite の「GCT」(幾何学補正 / Geometric Correction Tool) を使用すると、スクリーンに対して斜め方向から投写したときなどの画面の歪みを調整できます。

幾何学補正 (GCT) でできること

- 幾何学補正 (GCT) には、以下の 3 つの機能があります。
 - ・ 4点補正 …………… 歪んだ投写画面の 4 つの角を移動してスクリーンの角に合わせることにより、簡易な操作でスクリーンの枠内に投写画面を収めることができます。
 - ・ 多点補正 …………… 4点補正から、さらに画面を分割して補正を行うことにより、コーナーや複雑なスクリーンに投写画面を合わせることができます。
 - ・ パラメータ補正 …… あらかじめ用意した変形規則を組み合わせて補正を行います。

ここでは、4点補正について説明します。

多点補正とパラメータ補正については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。(🔗 209 ページ)

- 補正した情報をプロジェクター本体またはコンピュータに保存し、必要なときに呼び出すことができます。
- 幾何学補正は、ネットワーク (有線 LAN / 無線 LAN)、映像ケーブルでの接続時に使用できます。

スクリーンに斜め方向から投写する (4点補正)

準備: スクリーン全体が入るように投写画面の向きや大きさ (ズーム) を調整してください。

1 Image Express Utility Lite を起動する。(🔗 207 ページ)

- 2**  (映像) アイコンをクリックし、
 ボタンをクリックする。

4点補正編集ウィンドウが表示されます。



次ページに続く

3 4点補正編集ウィンドウの「補正開始」ボタンをクリックし、「4点補正開始」ボタンをクリックする

投写画面に緑色の枠とマウスポインタ「」が表示されます。

- 緑色の枠の4つの角には「●」が表示されます。

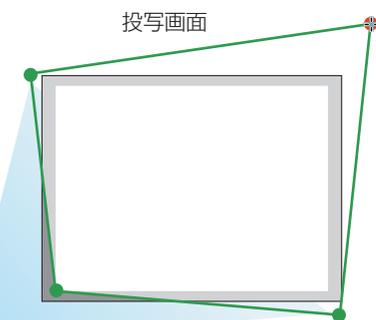


4 投写画面上でマウス操作を行い、動かしたい角の「●」をクリックする。

- 選択されている「●」は赤色になります。



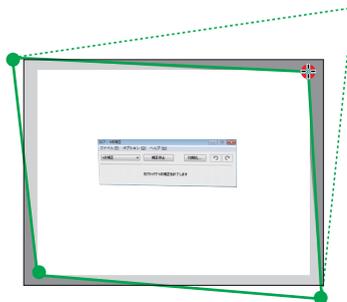
(Windows の画面は省略しています)



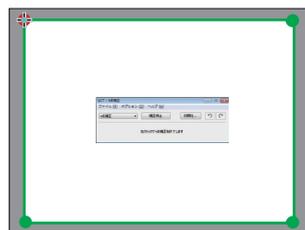
プロジェクター

5 補正したいところまでドラッグ&ドロップする。

- 投写画面内でマウスクリックすると、最も近い角がマウスポインタの位置に動きます。



6 4、5の手順を繰り返し、画面の歪みを調整する。



7 調整が終わったら、マウスを右クリックする。

投写画面から緑色の枠とマウスポインタが消えて、調整が終了します。

8 4点補正編集ウィンドウのをクリックする。

4点補正編集ウィンドウが消え、4点補正の調整が確定されます。

9 コントロールウィンドウのをクリックして終了する。

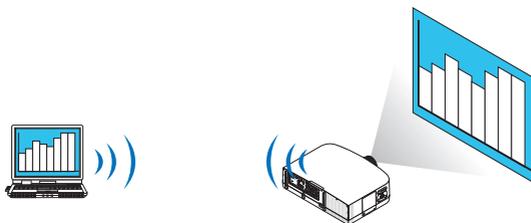
- 参考**
- 調整終了後、4点補正編集ウィンドウの「ファイル」→「プロジェクターに書き出し」をクリックすることで、4点補正の調整値を保存しておくことができます。
 - 4点補正編集ウィンドウの詳細な操作については、Image Express Utility Lite のヘルプをご覧ください。([👉 209 ページ](#))

8-5. LAN を経由して画像や動画を投写する (Image Express Utility 2.0)

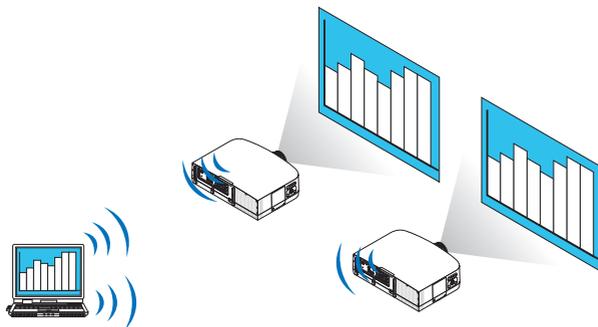
Image Express Utility 2.0 を使用すると、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を経由してプロジェクターへ画像を伝送し、投写することができます。Image Express Utility Lite との違いは複数のプロジェクターに同時に画像を伝送できることです。さらに「ミーティングモード」では、複数のコンピュータ間で画像のやり取りができます。

Image Express Utility 2.0 でできること

- **独自圧縮方式（スイートコンプレッション）による高速、高品位な画像送信**
独自圧縮方式（スイートコンプレッション）の採用により、ほとんど画質を劣化させることなくコンピュータの画面をコンパクトに圧縮します。それにより、ネットワークを経由して、高速にプロジェクターへ送信することができます。



- **複数のプロジェクターで同時投写が可能**
1台のコンピュータから、1台のプロジェクターへ画像を送信するだけでなく、複数のプロジェクターへ同時に送信し投写することができます。



- **簡単な設定で、無線 LAN 接続を行う「かんたん接続」機能**
「かんたん接続」機能*1を使用すると、複雑な無線 LAN の設定を簡略化することができます。
*1 OS が Windows XP で「コンピュータの管理者」権限の場合に使用できます。OS が Windows 7/Windows Vista の場合は、「管理者」のログオンパスワードの入力を求められることがあります。

● プロジェクターで投写した画像を、コンピュータへ送信／保存可能

「ミーティングモード」を使用すると、プロジェクターで投写した画像を参加者のコンピュータへも送信できます。また、受信した画像は、メモ（テキストデータ）を付けて自分のコンピュータに保存できます。

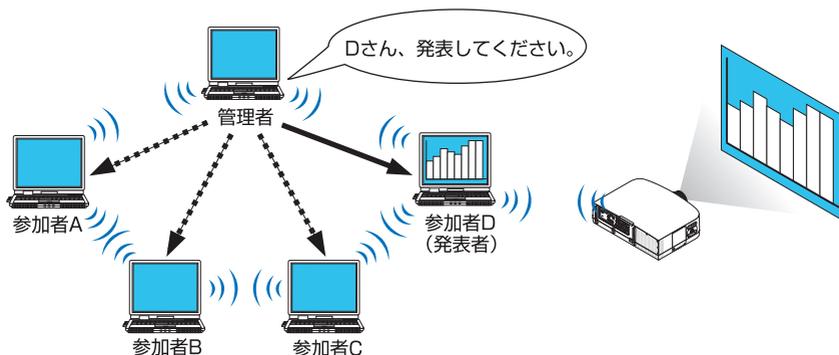


● 発表者の交代もワンクリックでOK

発表者を交代する場合でも、会議の参加者はボタンをクリックするだけで発表者の交代ができます。

● プロジェクターで投写するコンピュータ（発表者）を1台のコンピュータ（管理者）で集中管理可能

「発表者指定モード」を使用すると、1台のコンピュータ（管理者）からプロジェクターで投写するコンピュータ（発表者と参加者）を管理できます。プロジェクターで投写するコンピュータ（発表者）の切り替えや、プロジェクターとの通信の一時停止などの操作が行えます。



注意

- 「発表者指定モード」は、Image Express Utility 2.0 をインストールする際に、インストールタイプ「標準」を選択した場合にはインストールされません。「発表者指定モード」を使用する場合は、Image Express Utility 2.0 をインストールする途中に表示されるインストール選択画面で「拡張」を選択し、「発表者指定モード（参加者）」または「発表者指定モード（管理者）」を追加してインストールしてください。

本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(🔗 184 ページ)、「6-7. 無線 LAN と接続する (別売)」(🔗 185 ページ)、および「5-8. アプリケーションメニュー」の「ネットワーク設定」(🔗 151 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

Image Express Utility 2.0 を操作する

ここでは、Image Express Utility 2.0 の操作例として次の 3 つのケースについて説明します。

- (1) プロジェクターに画像を送信する
- (2) 会議を開催する
- (3) 会議に参加する

● プロジェクターに画像を送信する

プロジェクターに接続する

1 LAN の設定をしたプロジェクターの電源を入れる。

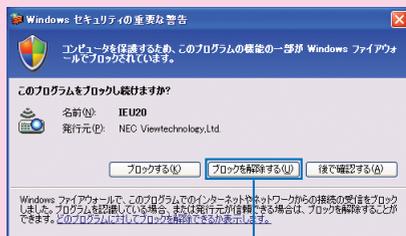
2 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Image Express Utility 2.0] → [Image Express Utility 2.0] の順にクリックする。

「ネットワーク接続の選択」ウィンドウが表示されます。

お使いのコンピュータに接続されているネットワーク機器のリストが表示されます。



- Windows XP Service Pack 2 (SP2) 以降をインストールした環境で、ソフトウェアを起動した場合、次のような画面が表示されることがあります。この画面が表示された場合は [ブロックを解除する (U)] をクリックしてください。



クリック

3 使用するネットワーク機器を選択して、[OK] をクリックする。

プロジェクター側の LAN の設定で [かんたん接続] を設定している場合は、[かんたん接続] と表示されているネットワーク機器を選択してください。「接続先選択」ウィンドウが表示されず。

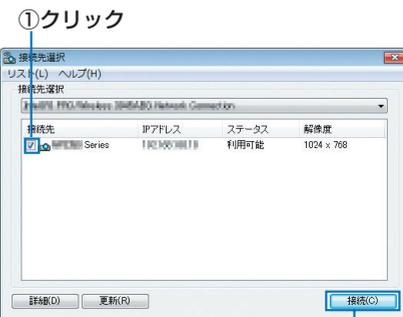


4 接続したいプロジェクターに () チェックマーク) を付け、[接続] をクリックする。

一覧に接続したいプロジェクター名が表示されていない場合、またはハイド表示されている場合は、[更新] をクリックしてください。

お使いのコンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。

このとき、プロジェクターの入力信号が自動的に「ネットワーク」に切り替わります。



②クリック



- NP-PA500UJL が検索された場合、解像度は 1280 × 800 と表示されません。

画像を送信する

お使いのコンピュータがプロジェクターに接続すると、コンピュータの画面がそのままプロジェクターから投写されます。PowerPoint ファイルなどを使ってプレゼンテーションする場合は、この状態で PowerPoint ファイルを開き、プレゼンテーションを始めてください。

画像の送信を中止／再開する

コンピュータの画面をプロジェクターへ送信するのを一時的に中止し、その後再開します。

1 Windows のタスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。



2 [送信中止] をクリックする。

タスクトレイのプロジェクターアイコンが変化 ( → ) します。

注意

- この状態でコンピュータの画面を変えても、プロジェクターから投写される画像は変化しません。
公開したくない（プロジェクターで投写したくない）画面の操作を行う場合は、画像の送信を中止にしてください。

3 Windows のタスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。

4 [送信開始] をクリックする。

タスクトレイのプロジェクターアイコンが変化 ( → ) します。

コンピュータの画面の送信が再開され、現在のコンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。

画像の送信を終了する

Image Express Utility 2.0 を終了します。

1 Windows のタスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。

2 [終了] をクリックする。

● 会議を開催する

会議を開催する

1 「プロジェクターに画像を送信する」の「プロジェクターに接続する」([215 ページ](#))の手順①～④と同様に操作する。

お使いのコンピュータの画面がプロジェクターから投写されます。

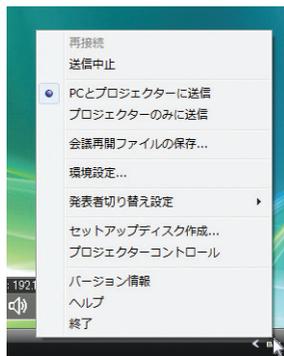
会議の参加者にファイルを公開する

注意

- 参加者にファイルを公開する場合は、フォルダ単位の選択になります。そのため、参加者に公開してもよいファイルだけを入れたフォルダを事前に準備しておく必要があります。

- 1 Windows のタスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

ポップアップメニューが表示されます。



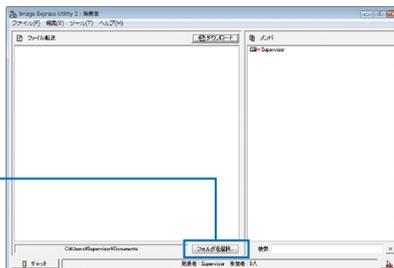
- 2 [PC とプロジェクターに送信] の前に「・」マークが付いていることを確認する。

- 3 タスクバーの [Image Express Utility 2.0] ボタンをクリックする。

発表者ウィンドウが開きます。



- 4 [フォルダを選択] ボタンをクリックする。



クリック

- 5 参加者に公開するファイルが保存されているフォルダを選択し、[OK] をクリックする。

選択したフォルダ内にあるファイルが、ファイル転送リストに表示されます。

- 6 [ダウンロード] ボタンをクリックする。

参加者にファイルが公開されます。

注意

- コンピュータがプロジェクターに接続されていると、コンピュータを操作中の画面でも、プロジェクターから投写されます。公開したくない（プロジェクターで投写したくない）画面の操作を行う場合は、画像の送信を一時的に中止してください。
( 216 ページ)

会議を終了する

- 1 発表者ウィンドウの [ファイル (F)] → [終了 (X)] の順にクリックする。

発表者ウィンドウの右上の [×] をクリックしても終了できます。

●会議に参加する

会議に参加する

- 1 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Image Express Utility 2.0] → [Image Express Utility 2.0] の順にクリックする。

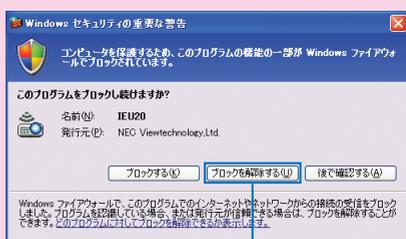
「ネットワーク接続の選択」ウィンドウが表示されます。

お使いのコンピュータに接続されているネットワーク機器のリストが表示されます。



重要

- Windows XP Service Pack 2 (SP2) 以降をインストールした環境で、ソフトウェアを起動した場合、次のような画面が表示されることがあります。この画面が表示された場合は [ブロックを解除する (U)] をクリックしてください。



クリック

- 2 使用するネットワーク機器を選択して、[OK] をクリックする。

プロジェクター側の LAN の設定で [かんたん接続] を設定している場合は、[かんたん接続] と表示されているネットワーク機器を選択してください。「会議選択」ウィンドウが表示されます。



- 3 接続したい会議をクリックして選択し、[接続] をクリックする。

選択した会議に接続し、参加者ウィンドウが表示されます。



クリック

発表者が「PC とプロジェクターに送信」を選択している場合は、プロジェクターから投写されている画像と同じものが参加者ウィンドウ内に表示されます。



受信した画像を保存する

1 参加者ウィンドウの「メモ」をクリックする。

メモペインが表示されます。

メモペイン



クリック

2 参加者ウィンドウの「画像保存」ボタンをクリックする。

参加者ウィンドウ内に表示されている画像が保存されます。

- 保存した画像はメモ一覧に追加され、サムネイル表示されます。
- 保存した画像には、メモを付けることができます。

クリック



参考

- 初期状態の保存先フォルダは、Windows XP の場合「My Documents¥ImageExpress¥」です。
Windows 7/Windows Vista の場合は「Documents¥ImageExpress¥」です。
- 保存先フォルダの下に、会議開催日時をもとにフォルダを作成し、その下に保存します。
たとえば、2009年5月14日11時20分に会議が開催された場合、Windows XP のフォルダ名は「My Documents¥ImageExpress¥2009-05-14_11-20_会議記録」となり、その中に「会議記録」というHTMLファイルが作成されます。
また、保存した画像は「Image」フォルダ内に保存されます。

1 参加者ウィンドウの【ファイル転送】ボタンをクリックする。

【ファイル転送】ウィンドウが表示されます。



クリック

2 ダウンロードするファイルを選択し、【ダウンロード】ボタンをクリックする。

ダウンロードが始まります。

ウィンドウの左下にダウンロードの経過が表示されます。

3 ダウンロードが終了したら、【ファイル転送】ウィンドウの【ファイル(F)】 → 【閉じる(C)】の順にクリックする。

【ファイル転送】ウィンドウが閉じます。

参考

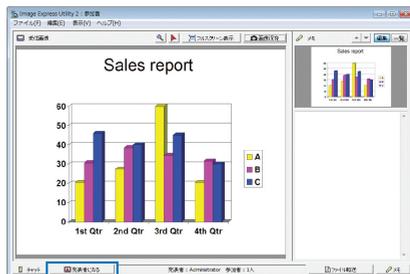
- [ダウンロード後開く] にチェックマークを付けた場合は、ダウンロード終了後、Windows で指定されたアプリケーションソフトでファイルを開きます。
- 初期状態の保存先フォルダは、Windows XP の場合「My Documents¥ ImageExpress¥」です。
Windows 7/Windows Vista の場合は「Documents¥ImageExpress¥」です。
- 保存先フォルダの下に、会議開催日時をもとにフォルダを作成し、その下に保存します。
たとえば、2009年5月14日11時20分に会議が開催された場合、Windows XP のフォルダ名は「My Documents¥ImageExpress¥2009-05-14_11-20_会議記録¥download」となります。

発表者を交代する

発表者を交代する設定には、「承認なし」、「承認あり」、「切り替え禁止」の3とおりがあります（発表者側でのみ切り替え可能）。ここでは、「承認なし」を設定している場合の操作を説明します。

1 参加者ウィンドウの【発表者になる】ボタンをクリックする。

参加者から発表者に切り替わります。



クリック

会議から退出する

会議から退出して、Image Express Utility 2.0 を終了します。

1 参加者ウィンドウの【ファイル(F)】→【終了(X)】の順にクリックする。

発表者ウィンドウの右上の【×】をクリックしても終了できます。

8-6. 本機から LAN 経由でコンピュータを操作する (Desktop Control Utility 1.0)

Desktop Control Utility 1.0 を使用すると、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を利用して、離れた場所にあるコンピュータのデスクトップ画面をプロジェクターから操作することができます。

Desktop Control Utility 1.0 でできること

- 市販の USB マウスをプロジェクターに接続して操作します。
- たとえば、会議で発表する PowerPoint ファイルを事務所にあるコンピュータに保存してあるとします。そこで会議の際に、事務所にあるコンピュータと会議室にある本機が LAN で接続されていれば、本機を操作することによって、事務所にあるコンピュータ（Windows 7/Windows Vista/Windows XP）のデスクトップ画面を投写し、会議で発表する PowerPoint ファイルを表示することができます。つまり、事務所にあるコンピュータを会議室へ持ち込む必要がありません。

重要

- Desktop Control Utility 1.0 では、離れた場所にあるコンピュータをネットワーク経由で操作します。そのため、無断で第三者にコンピュータの画面（重要な資料）を見られたり、ファイルをコピーされたり、コンピュータの電源を切られたりしないように十分注意してください。
当社は、Desktop Control Utility 1.0 使用中の機密漏洩、システム障害等に対して、いかなる責任も負いかねます。
- Desktop Control Utility 1.0 を使用中に、コンピュータがスタンバイ状態になると、LAN が切断されます。
Windows 7/Windows Vista の場合は [コントロールパネル] の [電源オプション] の設定で、[コンピュータをスリープ状態にする] を「なし」に設定してください。
Windows XP の場合は [コントロールパネル] の [電源オプション] の設定で、[システムスタンバイ (T)] を「なし」に設定してください。
- Desktop Control Utility 1.0 が起動中は、スクリーンセーバー機能がオフになります。

本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(🔗 184 ページ)、「6-7. 無線 LAN と接続する (別売)」(🔗 185 ページ)、および「5-8. アプリケーションメニュー」の「ネットワーク設定」(🔗 151 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

プロジェクターを使ってデスクトップ画面を操作する



- Windows 7/ Windows Vista の場合、Desktop Control Utility 1.0 を使う前に、ユーザーアカウント制御を無効にしてください。

Windows 7/Windows Vista には、コンピュータを保護するための「ユーザーアカウント制御」機能があり、ユーザーアカウントの確認画面が表示されることがあります。

Desktop Control Utility 1.0 では、ユーザーアカウントの確認画面は伝送できないため、操作できません。Desktop Control Utility 1.0 を使う前に、Windows 7/ Windows Vista のユーザーアカウント制御を無効にしておく必要があります。管理者アカウントでログオンした後、次の手順で変更することができます。

変更手順

【Windows 7 の場合】

- ① スタートメニューから [コントロールパネル] をクリックする。
- ② [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] をクリックする。
- ③ [ユーザーアカウント] をクリックする。
- ④ [ユーザーアカウント制御設定の変更] をクリックする。
- ⑤ [コンピュータに対する変更の通知を受け取るタイミングの選択] を [通知しない] に変更し、[OK] ボタンをクリックする。

・再起動を要求されたら [今すぐ再起動する] をクリックします。

【Windows Vista の場合】

- ① スタートメニューから [コントロールパネル] をクリックする。
 - ② [ユーザーアカウントと家族のための安全設定] をクリックする。
 - ③ [ユーザーアカウント] をクリックする。
 - ④ [ユーザーアカウント制御の有効化または無効化] をクリックする。
 - ⑤ [ユーザーアカウント制御 (UAC) を使ってコンピュータの保護に役立たせる] のチェックを外し、[OK] ボタンをクリックする。
- ・再起動を要求されたら [今すぐ再起動する] をクリックします。
- Desktop Control Utility 1.0 を終了したら、ユーザーアカウント制御を有効にしておくことをおすすめします。

● コンピュータ側の操作

- 1 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Desktop Control Utility 1.0] → [Desktop Control] の順にクリックする。

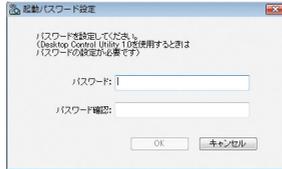
「ネットワーク接続の選択」ウィンドウが表示されます。

お使いのコンピュータに接続されているネットワーク機器のリストが表示されます。

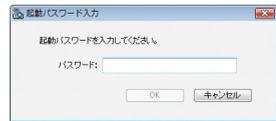
2 使用するネットワーク機器を選択して、[OK] をクリックする。

「起動パスワード設定」ウィンドウが表示されます。

- Windows 7/Windows Vista の場合は、ユーザーアカウント制御の画面が表示されます。そのときは、[確認] をクリックするか、管理者のパスワードを入力してください。



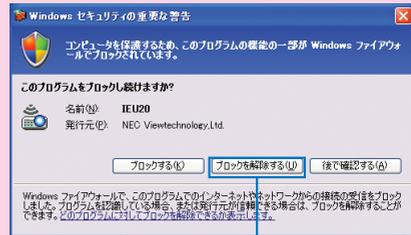
はじめて起動したときの画面



すでに起動パスワードを設定しているときの画面

重要

- 起動パスワードは、忘れないように必ずメモしておいてください。
- 起動パスワードは、Desktop Control Utility 1.0 を起動するたびに入力が必要です。
- 万一起動パスワードを忘れた場合は、Desktop Control Utility 1.0 を再インストールしてください。
- Windows XP Service Pack 2 (SP2) 以降をインストールした環境で、ソフトウェアを起動した場合、次のような画面が表示されることがあります。この画面が表示された場合は [ブロックを解除する (U)] をクリックしてください。



クリック

3 Desktop Control Utility 1.0 の起動パスワードを入力して [OK] をクリックする。

「今回のパスワード」ウィンドウが表示されます。



注意

- パスワード欄に表示される文字列は、Desktop Control Utility 1.0 を起動するたびに変わりますのでご注意ください。

4 パスワード欄に表示された文字列を紙にメモする。

手順 3 の画面例の場合は、「FTHK」とメモします

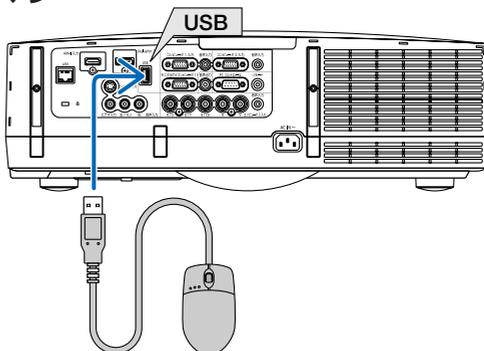
5 [OK] をクリックする。

Desktop Control Utility 1.0 がスタートします。手順 4 でパスワードをメモした用紙を持って、プロジェクターが設置されている部屋へ移動してください。

● プロジェクター側の操作

コンピュータと接続する

- 1 プロジェクターに市販の USB マウスを接続する。



- 2 プロジェクターの電源を入れる。
プロジェクターには、あらかじめ LAN の設定を行っておいてください。

- 3 プロジェクター本体の(入力切替)ボタンを押す。

信号選択画面が表示されます。

- ・ リモコンの場合は(ネットワーク)ボタンを押します。
アプリケーションメニュー画面が表示されます。手順5に進みます。



- 4 (▼/▲)ボタンを押して[ネットワーク]を選択し、(決定)ボタンを押す。

アプリケーションメニュー画面が表示されます。

- 5 [DESKTOP CONTROL UTILITY] をクリックする。

DESKTOP CONTROL UTILITY のメニュー画面が表示されます。

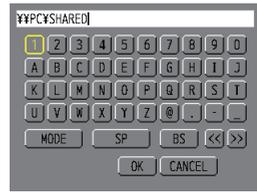


- 6 [登録] をクリックする。
パスワード入力画面が表示されます。



**7 「コンピュータ側の操作」の手順4
でメモしたパスワードを入力する。**

[パスワード] 欄の右側にある [BS] をクリックすると、文字挿入位置の左側にある 1 文字を消します。



8 パスワードを入力したら、[パスワード] 欄の右側にある [改行マーク] をクリックする。

DESKTOP CONTROL UTILITY のメニュー画面に戻ります。

9 [コンピュータ検索] をクリックする。

接続先選択画面が表示されます。
[コンピュータ検索] で接続先が見つからなかった場合、または接続先のコンピュータの IP アドレスを入力して検索する場合は、「IP アドレス入力」をクリックします。



10 接続先のコンピュータをクリックし、[確定] をクリックする。

接続先のコンピュータのデスクトップ画面が表示されます。

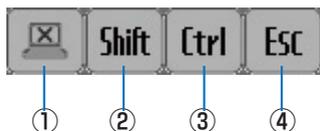


デスクトップ画面を操作する

プロジェクターに接続している USB マウスを使って、表示されたデスクトップ画面を操作することができます。

デスクトップ画面表示中に、プロジェクター本体またはリモコンの(戻る)ボタンを押すと、画面の左下に補助操作バーが表示されます。

補助操作バーは、プロジェクター本体またはリモコンのボタンで操作してください。



- ① (切断アイコン) …… コンピュータとの通信を切断します。
- ② (Shift アイコン) …… カーソルを合わせ(決定)ボタンを押すと、シフトロックの状態になります。もう 1 回カーソルを合わせて(決定)ボタンを押すと、シフトロックが解除されます。
- ③ (Ctrl アイコン) …… カーソルを合わせ(決定)ボタンを押すと、コントロールロックの状態になります。もう 1 回カーソルを合わせて(決定)ボタンを押すと、コントロールロックが解除されます。
- ④ (ESC アイコン) …… コンピュータの [ESC] キーを押した動作になります。たとえば、PowerPoint のスライドショーを中止するときなどに使用します。

通信を切断する

- 1 デスクトップ画面を表示中に、(戻る)ボタンを押す。

画面の左下に補助操作バーが表示されます。



- 2 (切断アイコン) にカーソルを合わせ、(決定)ボタンを押す。

通信が切断され、DESKTOP CONTROL UTILITY のメニュー画面に戻ります。

通信を再開する場合は、[コンピュータ検索] をクリックします。

以降は、前のページの手順10の操作を行います。

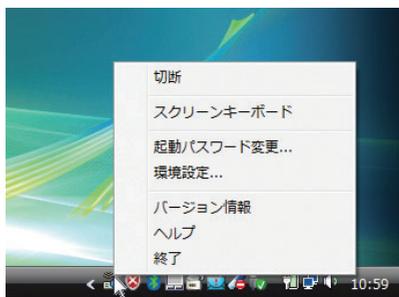
参考

- デスクトップ画面表示中に、タスクトレイのプロジェクターアイコンをクリックし、[切断] をクリックしても、通信を切断することができます。

Desktop Control Utility 1.0 を終了する

- 1 デスクトップ画面表示中に、タスクトレイのプロジェクターアイコン () をクリックする。

- 2 [終了] をクリックする。
Desktop Control Utility 1.0 が終了します。



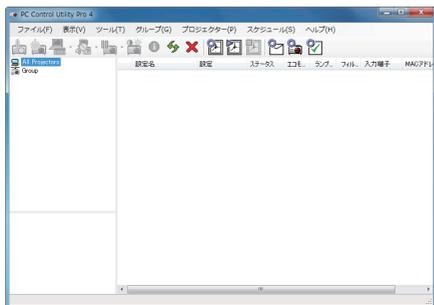
- 3 プロジェクター本体またはリモコンの (決定) ボタンを押す。
ネットワークメニュー画面が表示されます。

- 4 プロジェクター本体またはリモコンの (メニュー) ボタンを押す。
オンスクリーンメニューが表示されます。

- 5 [ネットワーク] 以外の入力端子を選択する。

8-7. LAN を経由して本機を操作する (PC Control Utility Pro 4)

PC Control Utility Pro 4 を使用すると、コンピュータから LAN を経由して本機を制御することができます。



PC Control Utility Pro 4 画面

● 主な制御機能

電源オン／オフ、信号切替、フリーズ、映像ブランク、音声ミュート、調整、エラー通知メール、イベントスケジュール

ここでは、本機を LAN に接続して、PC Control Utility Pro 4 を使用するまでの流れを説明します。PC Control Utility Pro 4 の詳しい操作については、PC Control Utility Pro 4 のヘルプをご覧ください。(🔗 231 ページ)



- PC Control Utility Pro 4 は、シリアル接続での制御も可能です。

本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(🔗 184 ページ)、「6-7. 無線 LAN と接続する (別売)」(🔗 185 ページ)、および「5-8. アプリケーションメニュー」の「ネットワーク設定」(🔗 151 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

PC Control Utility Pro 4 を起動する

- 1 Windows の「スタート」→「すべてのプログラム」または「プログラム」→「NEC Projector User Supportware」→「PC Control Utility Pro 4」→「PC Control Utility Pro 4」の順にクリックする。



- PC Control Utility Pro 4 のスケジュール機能を実行するにはコンピュータが起動している必要があります。
あらかじめコントロールパネルの『電源オプション』を確認して、スリープ設定やスタンバイ設定などを解除してください。

【例】Windows 7 の場合：

[コントロールパネル] → [システムとセキュリティ] → [電源オプション] → [コンピュータがスリープ状態になる時間を変更] の [コンピュータをスリープ状態にする] を「なし」に設定します。

注意

- オンスクリーンメニューのスタンバイモードを「省電力」に設定していると、ネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を介してプロジェクターの電源を入れることができません。また、スタンバイモードを「ネットワークスタンバイ」に設定していると、無線 LAN を介してプロジェクターの電源を入れることができません。

参考**● PC Control Utility Pro 4 のヘルプ表示方法****◆ PC Control Utility Pro 4 の起動中に表示する**

- 1 PC Control Utility Pro 4 ウィンドウの「ヘルプ (H)」 → 「ヘルプ (H)…」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

◆ スタートメニューから表示する

- 1 「スタート」 → 「すべてのプログラム」または「プログラム」 → 「NEC Projector User Supportware」 → 「PC Control Utility Pro 4」 → 「PC Control Utility Pro 4 Help」の順にクリックする。
ヘルプ画面が表示されます。

8-8. PowerPoint ファイルをスライド画像に変換する (Viewer PPT Converter 3.0)

Viewer PPT Converter 3.0 を使用すると、PowerPoint で作成したファイルを JPEG ファイルとインデックスファイル（拡張子が .idx）に変換することができます。変換した JPEG ファイルとインデックスファイル（拡張子が .idx）を USB メモリに保存すると、ビューワを使って投写することができます。この場合、本機にコンピュータを接続する必要がありません。



- PowerPoint がインストールされているコンピュータに、Viewer PPT Converter 3.0 をインストールすると、PowerPoint に Viewer PPT Converter 3.0 のアドイン機能が自動的に登録されます。

Viewer PPT Converter 3.0 のアドイン機能は、Viewer PPT Converter 3.0 をアンインストールする前に解除しておく必要があります。

アドイン機能の解除については、Viewer PPT Converter 3.0 のヘルプをご覧ください。

- Viewer PPT Converter 3.0 アドイン機能において [接続先選択] を実行すると、接続先として本機が表示されますが、本機では [スライドショー転送実行] を使用できません。
- Viewer PPT Converter 3.0 をインストールした場合は、インストールしたときの権限のまま、一度 Viewer PPT Converter 3.0 を起動してください。起動したら、そのまま Viewer PPT Converter 3.0 を終了してください。

※ 起動方法

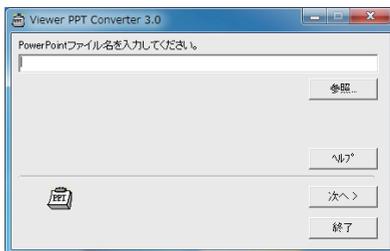
Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Viewer PPT Converter 3.0] → [Viewer PPT Converter 3.0] の順にクリックする。

PowerPoint ファイルを変換して USB メモリへ保存する

- 1 お使いのコンピュータの USB ポートに、USB メモリをセットする。

- 2 Windows の [スタート] → [すべてのプログラム] → [NEC Projector User Supportware] → [Viewer PPT Converter 3.0] → [Viewer PPT Converter 3.0] の順にクリックする。

Viewer PPT Converter 3.0 が起動します。



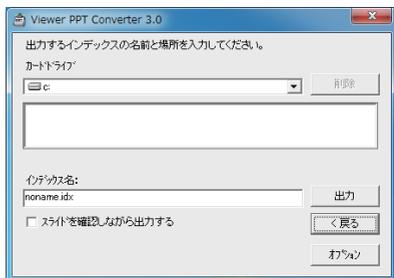
- 3 [参照] をクリックして、変換する PowerPoint ファイルを選択し、[開く] をクリックする。



- 4 [次へ>] をクリックする。

- 5 [カードドライブ] を選択し、[インデックス名] を入力する。

インデックス名は、8文字以内の半角英数字で指定してください。半角カタカナ、全角文字、およびロングファイル名は使用できません。



- 6 [出力] をクリックする。
確認メッセージが表示されます。

- 7 [OK] をクリックする。
ファイルの出力が始まります。

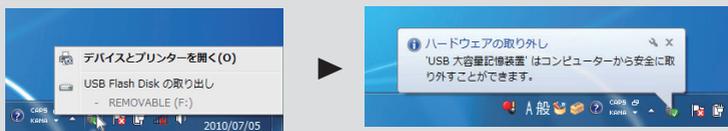
- 8 [OK] をクリックする。

- 9 [終了] をクリックする。
Viewer PPT Converter 3.0 が終了します。

- 10 コンピュータから USB メモリを取り外す。

注意

- コンピュータの USB ポートから USB メモリを取り外す場合は、タスクトレイの「ハードウェアの安全な取り外し」アイコンをクリックしてください。



8-9. Mac を使い LAN を経由して画像を投写する (Image Express Utility 2 for Mac)

Image Express Utility 2 for Mac OS を使用すると、Mac の画面をネットワーク（有線 LAN / 無線 LAN）を経由してプロジェクターへ伝送しスクリーンに投写することができます。

Image Express Utility 2 for Mac OS は、Mac OS X 10.2.8 以降で動作します。

Mac OS X (PowerPC) および Mac OS X (Intel) の両方で動作します。

以降、ここでは「Image Express Utility 2 for Mac OS」を「Image Express Utility 2」と省略します。

Image Express Utility 2 でできること

- ネットワークを利用して、Mac の画面をプロジェクターへ伝送し、スクリーンへ投写することができます。
- 1 台の Mac から複数台のプロジェクターへ画像を伝送することができます。

動作環境

対応 OS	Mac OS X 10.2.8 以降必須 Mac OS X 10.3.0 以降推奨
プロセッサ	PowerPC G3 600 メガヘルツ以上必須 PowerPC G4 800 メガヘルツ以上推奨 または Intel Core Solo 1.5 ギガヘルツ以上必須
メモリ	256 メガバイト以上必須
ネットワーク環境	・ TCP/IP をサポートした有線 LAN または無線 LAN 環境必須 ・ 無線 LAN カードは、AirMac と AirMac Extreme のみ動作を保証 ・ 「かんたん接続」は、AirMac と AirMac Extreme のみ対応
解像度	VGA(640 × 480) 以上必須 XGA(1024 × 768) 推奨 (NP-PA550WJL/NP-PA500UJL の場合は、1024 × 768 ~ 1280 × 800 を推奨)
画面の色	約 32,000 色カラー、約 1,670 万色カラー必須 ※ 256 色以下には対応していません。

本機を LAN に接続する

本書の「6-6. 有線 LAN と接続する」(🔗 184 ページ)、「6-7. 無線 LAN と接続する (別売)」(🔗 185 ページ)、および「5-8. アプリケーションメニュー」の「ネットワーク設定」(🔗 151 ページ)の説明に従って、本機を LAN に接続してください。

Image Express Utility 2 を操作する

● プロジェクターと接続する

1 プロジェクターの電源が入っていることを確認する。

2 Mac のメニューバーの AirMac ステータスアイコン () をクリックし、「AirMac を入にする」をクリックする。



AirMac ステータスアイコンが「」または「」に変わります。

- AirMac ステータスアイコンの種類と意味

 …AirMac : 切

 …AirMac : 入 (インフラストラクチャ接続時)

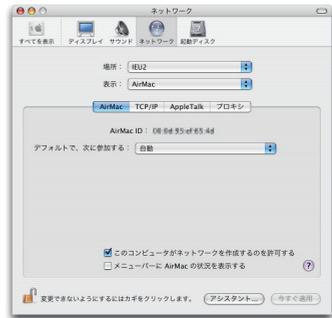
 …AirMac : 入 (アドホック接続時)

参考

● メニューバーに AirMac ステータスアイコン ( /  / ) が表示されていないときは

- 1 アップルメニュー () をクリックし、[システム環境設定 ...] をクリックする。
システム環境設定ウィンドウが表示されます。
- 2 [ネットワーク] をクリックする。
ネットワークの設定ウィンドウが表示されます。
- 3 [表示] をクリックし、「AirMac」をクリックする。
- 4 [AirMac] タブをクリックする。
AirMac の設定項目が表示されます。

- 5 設定項目の 1 番下の「メニューバーに AirMac ステータスを表示する」のチェックボックスをクリックし、チェックマーク () を付ける。
メニューバーに AirMac ステータスアイコン ( /  / ) が表示されます。
- 6 ネットワーク設定ウィンドウの左上の「」をクリックする。
ネットワーク設定ウィンドウが閉じます。



3 「Image Express Utility 2」フォルダ内の「Image Express Utility 2」アイコンをダブルクリックする。

初回起動時は、「ソフトウェア使用許諾契約」ウィンドウが表示されます。

画面の内容をよく確認し、「使用許諾契約の条項に同意します」をクリックし、[OK] ボタンをクリックしてください。

続いて「認証」ウィンドウが表示されます。



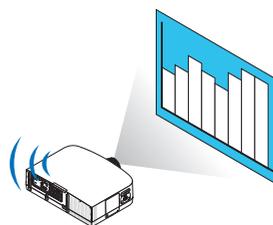
4 お使いの Mac の管理者の名前とパスワードを入力して [OK] ボタンをクリックする。

[プロジェクター選択] ウィンドウが表示されません。



5 接続するプロジェクター名の左側のチェックボックスをクリックしチェックマーク (☑) を付け、[接続] ボタンをクリックする。

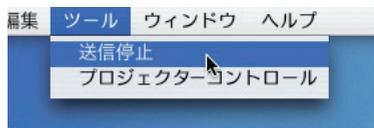
Mac とプロジェクターが無線 LAN で接続され、Mac の画面がプロジェクターから投写されます。



●画面の送信を停止する／再開する

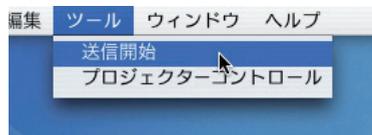
画面の送信を停止する

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし、[送信停止] をクリックする。
画面の送信が一時的に停止します。



画面の送信を再開する

- 1 メニューバーの [ツール] をクリックし、[送信開始] をクリックする。
画面の送信が再開します。



● Image Express Utility 2 を終了する

- 1 メニューバーの [Image Express Utility 2] をクリックし、[Image Express Utility 2 を終了] をクリックする。
Image Express Utility 2 が終了します。



9. 付 録

投写距離とスクリーンサイズ

本機は、5種類のレンズユニット（別売）が使用できます。このページの情報を参考にして、設置環境（スクリーンサイズと投写距離）に応じたレンズユニットをお使いください。また、レンズユニットの取り付け方法は、[172ページ](#)をご覧ください。

レンズユニットの種類と投写距離

適用機種 NP-PA600XJL/NP-PA500XJL

スクリーン サイズ	レンズユニットの形名				
	NP11FL	NP12ZL	NP13ZL	NP14ZL	NP15ZL
30型		0.7～0.9			
40型	0.6	0.9～1.2	1.2～2.4		
60型	1.0	1.4～1.9	1.8～3.7	3.6～5.8	5.7～8.7
80型	1.3	1.9～2.5	2.4～4.9	4.8～7.8	7.6～11.6
100型	1.6	2.4～3.2	3.0～6.1	6.0～9.7	9.6～14.6
120型	2.0	2.9～3.8	3.7～7.4	7.3～11.7	11.5～17.6
150型	2.5	3.7～4.8	4.6～9.2	9.1～14.7	14.4～22.0
200型		4.9～6.4	6.1～12.3	12.2～19.6	19.3～29.4
240型		5.9～7.7	7.4～14.8	14.7～23.6	23.2～35.3
300型		7.4～9.6	9.2～18.5	18.4～29.5	29.1～44.2
400型		9.8～12.8	12.3～24.7	24.6～39.4	38.8～59.0
500型		12.3～16.0	15.4～30.8	30.7～49.2	48.6～73.8

参考

● 画面サイズからの投写距離計算法

NP11FL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 0.8$: 0.6m (最小) ~ 2.5m (最大)

NP12ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 1.2 \sim H \times 1.6$: 0.7m (最小) ~ 16.0m (最大)

NP13ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 1.5 \sim H \times 3.0$: 1.2m (最小) ~ 30.8m (最大)

NP14ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 3.0 \sim H \times 4.8$: 3.6m (最小) ~ 49.2m (最大)

NP15ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 4.7 \sim H \times 7.3$: 5.7m (最小) ~ 73.8m (最大)

H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。

※近似計算ため上記表と数%の差があります。

(例) NP-PA600XJL/NP-PA500XJL でレンズユニット NP13ZL を使用して 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離

「スクリーンサイズと寸法表」([241ページ](#)) の表より、H (スクリーン幅) = 304.8cm となります。

投写距離は、 $304.8\text{cm} \times 1.5 \sim 304.8\text{cm} \times 3.0 = 457.2\text{cm} \sim 914.4\text{cm}$ となります (ズームレンズのため)。

適応機種 NP-PA550WJL

スクリーン サイズ	レンズユニットの形名				
	NP11FL	NP12ZL	NP13ZL	NP14ZL	NP15ZL
30型		0.7～1.0			
40型	0.7	1.0～1.3	1.3～2.5		
60型	1.0	1.5～2.0	1.9～3.8	3.8～6.1	5.9～9.1
80型	1.4	2.0～2.6	2.6～5.1	5.1～8.2	8.0～12.2
100型	1.7	2.5～3.3	3.2～6.4	6.3～10.2	10.0～15.4
120型	2.1	3.1～4.0	3.9～7.7	7.6～12.3	12.1～18.5
150型	2.6	3.8～5.0	4.8～9.7	9.6～15.4	15.2～23.1
200型		5.1～6.7	6.5～12.9	12.8～20.6	20.3～30.9
240型		6.2～8.0	7.8～15.5	15.4～24.7	24.4～37.1
300型		7.7～10.1	9.7～19.4	19.3～30.9	30.5～46.5
400型		10.3～13.4	13.0～25.9	25.8～41.3	40.7～62.0
500型		12.9～16.8	16.2～32.4	32.2～51.7	51.0～77.6

参考

● 画面サイズからの投写距離計算法

NP11FL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 0.8$: 0.7m (最小) ~ 2.6m (最大)

NP12ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 1.2 \sim W \times 1.6$: 0.7m (最小) ~ 16.8m (最大)

NP13ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 1.5 \sim W \times 3.0$: 1.3m (最小) ~ 32.4m (最大)

NP14ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 3.0 \sim W \times 4.8$: 3.8m (最小) ~ 51.7m (最大)

NP15ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 4.7 \sim W \times 7.2$: 5.9m (最小) ~ 77.6m (最大)

H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

(例) NP-PA550WJL でレンズユニット NP13ZL を使用して 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離

「スクリーンサイズと寸法表」([241 ページ](#)) の表より、H (スクリーン幅) = 323.1cm となります。

投写距離は、 $323.1\text{cm} \times 1.5 \sim 323.1\text{cm} \times 3.0 = 484.7\text{cm} \sim 969.3\text{cm}$ となります (ズームレンズのため)。

適応機種 NP-PA500UJL

スクリーン サイズ	レンズユニットの形名				
	NP11FL	NP12ZL	NP13ZL	NP14ZL	NP15ZL
30型		0.7～0.9			
40型	0.7	1.0～1.3	1.2～2.5		
60型	1.0	1.5～1.9	1.9～3.8	3.7～6.0	5.9～9.0
80型	1.4	2.0～2.6	2.5～5.1	5.0～8.0	7.9～12.1
100型	1.7	2.5～3.3	3.2～6.3	6.3～10.1	9.9～15.1
120型	2.1	3.0～3.9	3.4～7.6	7.5～12.1	11.9～18.2
150型	2.6	3.8～4.9	4.8～9.5	9.4～15.2	14.9～22.8
200型		5.1～6.6	6.6～12.7	12.6～20.3	20.0～30.5
240型		6.1～7.9	7.6～15.3	15.2～24.4	24.0～36.6
300型		7.6～9.9	9.6～19.1	19.0～31.5	30.1～45.8
400型		10.2～13.2	12.8～25.5	25.4～40.7	40.1～61.1
500型		12.7～16.5	16.0～31.9	31.8～50.9	50.2～76.4

参考

● 画面サイズからの投写距離計算法

NP11FL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 0.8 : 0.7m$ (最小) ~ 2.6m (最大)

NP12ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 1.2 \sim W \times 1.5 : 0.7m$ (最小) ~ 16.5m (最大)

NP13ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 1.5 \sim W \times 3.0 : 1.2m$ (最小) ~ 31.9m (最大)

NP14ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 2.9 \sim W \times 4.7 : 3.7m$ (最小) ~ 50.9m (最大)

NP15ZL レンズユニットの投写距離 (m) = $H \times 4.6 \sim W \times 7.1 : 5.9m$ (最小) ~ 76.4m (最大)

H (Horizontal) はスクリーン幅の寸法です。

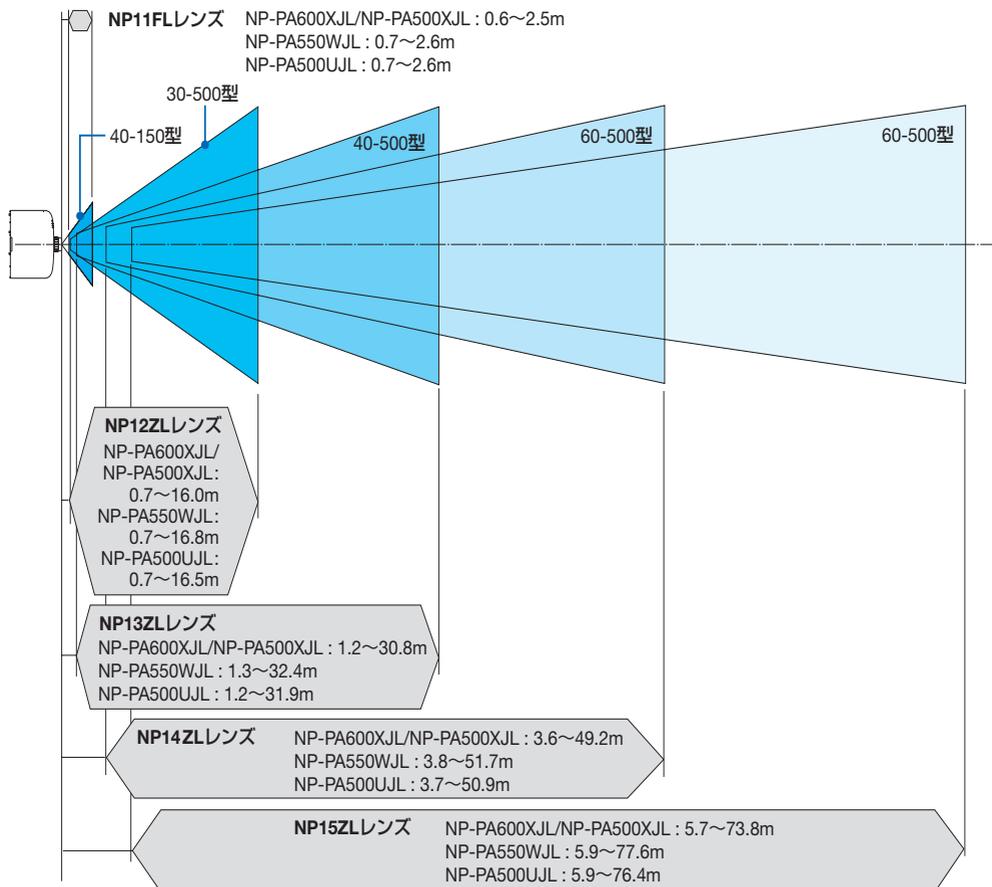
※簡易計算式のため数%の誤差があります。

(例) NP-PA500UJL でレンズユニット NP13ZL を使用して 150 型スクリーンに投写する場合の投写距離

「スクリーンサイズと寸法表」([241 ページ](#)) の表より、H (スクリーン幅) = 323.1cm となります。

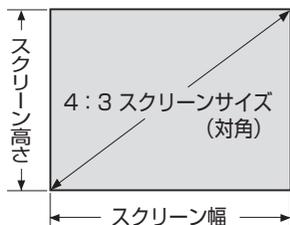
投写距離は、 $323.1cm \times 1.5 \sim 323.1cm \times 3.0 = 484.7cm \sim 969.3cm$ となります (ズームレンズのため)。

● 各レンズユニットの投写範囲



スクリーンサイズと寸法表

適応機種 NP-PA600XJL/NP-PA500XJL



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	61.0	45.7
40	81.3	61.0
60	121.9	91.4
80	162.6	121.9
100	203.2	152.4
120	243.8	182.9
150	304.8	228.6
200	406.4	304.8
240	487.7	365.8
300	609.6	457.2
400	812.8	609.6
500	1016.0	762.0

適応機種 NP-PA550WJL/NP-PA500UJL



サイズ (型)	スクリーン幅 (cm)	スクリーンの高さ (cm)
30	64.6	40.4
40	86.2	53.8
60	129.2	80.8
80	172.3	107.7
100	215.4	134.6
120	258.5	161.5
150	323.1	201.9
200	430.8	269.2
240	516.9	323.1
300	646.2	403.9
400	861.6	538.5
500	1077.0	673.1

レンズシフト範囲

本機にはレンズシフトダイヤルを回して画面位置を調整するレンズシフト機能があります。次の範囲内のレンズシフトができます。

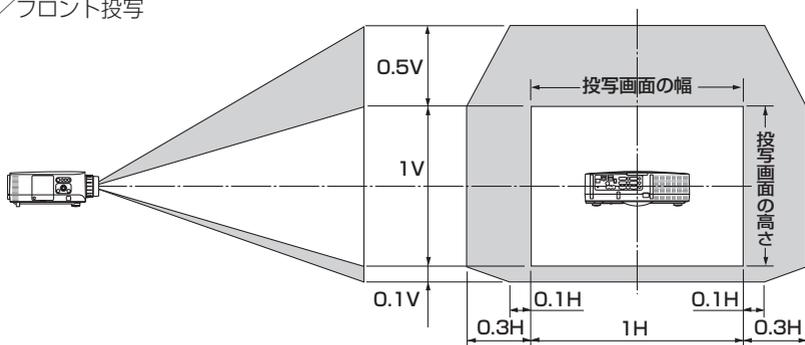
記号の意味：Vは垂直（投写画面の高さ）、Hは水平（投写画面の幅）を表わしています。

注意

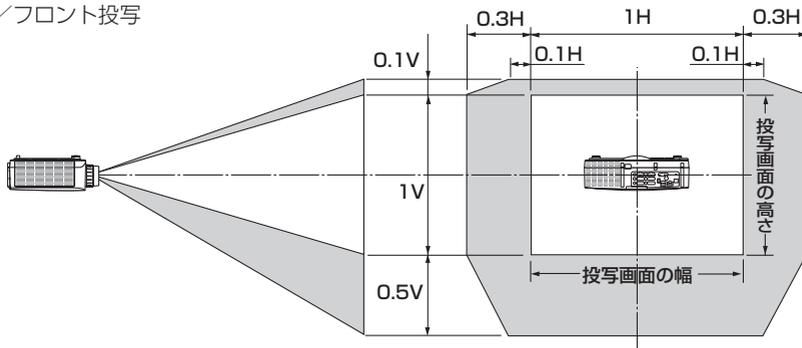
- レンズユニット「NP11FL」をお使いの場合、レンズシフト機能を利用することはできません。

適応機種 NP-PA600XJL/NP-PA500XJL

デスク／フロント投写

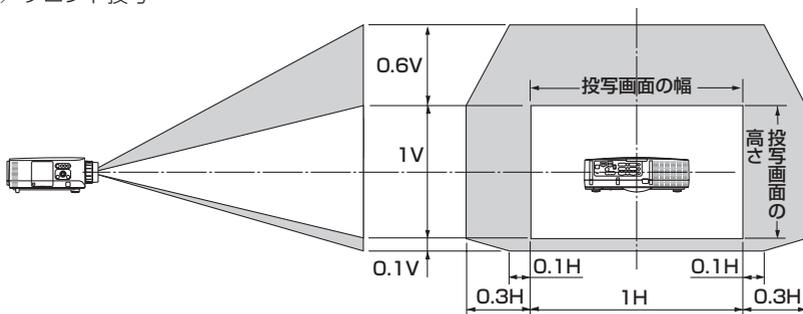


天吊り／フロント投写

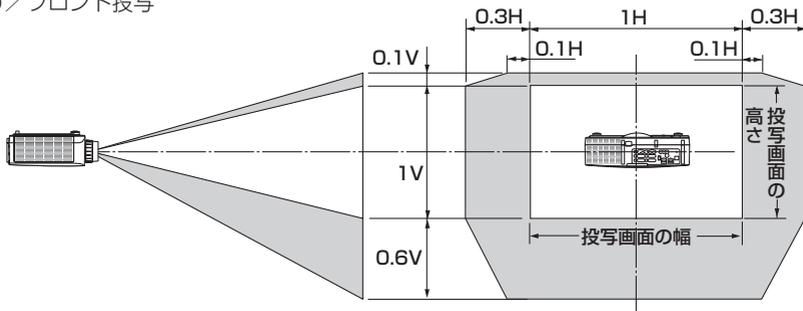


適応機種 NP-PA550WJL

デスク／フロント投写

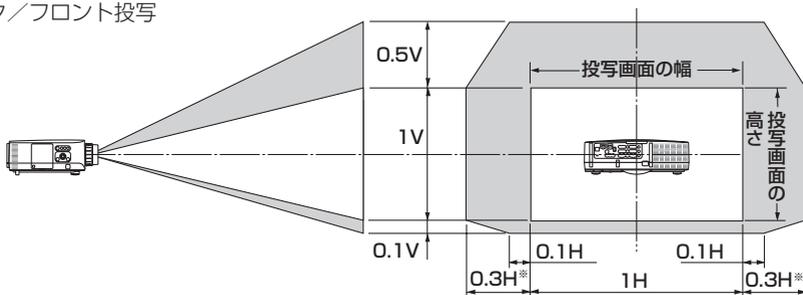


天吊り／フロント投写

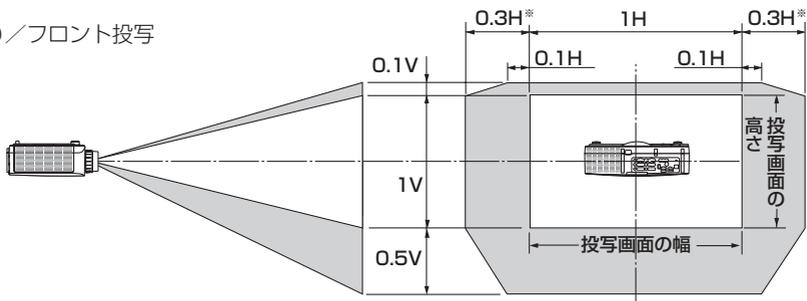


適応機種 NP-PA500UJL

デスク／フロント投写



天吊り／フロント投写



※：レンズユニット「NP13ZL」を使用して150型を超えて画面を投写する場合、水平方向のシフト範囲は、0.15Hまでになります。

(計算例) 150インチで投写している場合

NP-PA600XJL/NP-PA500XJLのプロジェクト (4:3パネル) で説明しています。

・ NP-PA550WJL および NP-PA500U のプロジェクト (16:10パネル) もスクリーン寸法や最大シフト値を差し替えて計算してください。

「スクリーンサイズと寸法表」(241ページ) の4:3スクリーン表により $H=304.8\text{cm}$ 、 $V=228.6\text{cm}$ になります。

垂直方向の調整範囲：上方向 $0.5 \times 228.6\text{cm} \doteq 114\text{cm}$ 、下方向 $0.1 \times 228.6\text{cm} \doteq 22\text{cm}$ 投写画面を移動することができます (レンズが中心位置の場合)。天吊り / フロント設置の場合は上下が逆になります。

水平方向の調整範囲：左方向 $0.3 \times 304.8\text{cm} \doteq 91\text{cm}$ 、右方向 $0.3 \times 304.8\text{cm} \doteq 91\text{cm}$ 投写画面を移動することができます。

※簡易計算式のため数%の誤差があります。

対応解像度一覧

アナログ RGB

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60/72/75/85/iMac
SVGA	800 × 600	4 : 3	56/60/72/75/85/iMac
XGA	1024 × 768 ^{*1}	4 : 3	60/70/75/85/iMac
XGA+	1152 × 864	4 : 3	60/70/75/85
WXGA	1280 × 768 ^{*2}	15 : 9	60
	1280 × 800 ^{*2}	16 : 10	60
	1360 × 768 ^{*4}	16 : 9	60
	1366 × 768 ^{*4}	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60/75/85
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60/75/85
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60/75
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
UXGA	1600 × 1200 ^{*3}	4 : 3	60/65/70/75
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*3}	16 : 10	60
HD	1280 × 720 ^{*2}	16 : 9	60
Full HD	1920 × 1080 ^{*3}	16 : 9	60
MAC 13"	640 × 480	4 : 3	67
MAC 16"	832 × 624	4 : 3	75
MAC 19"	1024 × 768	4 : 3	75
MAC 21"	1152 × 870 ^{*5}	4 : 3	75
MAC 23"	1280 × 1024	5 : 4	65

HDMI

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768 ^{*1}	4 : 3	60
HD	1280 × 720 ^{*2}	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768 ^{*2}	15 : 9	60
	1280 × 800 ^{*2}	16 : 10	60
	1366 × 768 ^{*4}	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200 ^{*3}	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080 ^{*3}	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*3}	16 : 10	60 Reduced Blanking
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60

SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	1440 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	1440 × 576	4:3 / 16:9	50

DisplayPort

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
VGA	640 × 480	4 : 3	60
SVGA	800 × 600	4 : 3	60
XGA	1024 × 768 ^{*1}	4 : 3	60
HD	1280 × 720 ^{*2}	16 : 9	60
WXGA	1280 × 768 ^{*2}	15 : 9	60
	1280 × 800 ^{*2}	16 : 10	60
	1366 × 768 ^{*4}	16 : 9	60
Quad-VGA	1280 × 960	4 : 3	60
SXGA	1280 × 1024	5 : 4	60
SXGA+	1400 × 1050	4 : 3	60
WXGA+	1440 × 900	16 : 10	60
WXGA++	1600 × 900	16 : 9	60
WSXGA+	1680 × 1050	16 : 10	60
UXGA	1600 × 1200 ^{*3}	4 : 3	60
Full HD	1920 × 1080 ^{*3}	16 : 9	60
WUXGA	1920 × 1200 ^{*3}	16 : 10	60 Reduced Blanking
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポーネント

信号名	解像度 (ドット)	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
HDTV(1080p)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV(1080i)	1920 × 1080	16 : 9	50/60
HDTV (720p)	1280 × 720	16 : 9	50/60
SDTV (480p)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV (576p)	720 × 576	4:3 / 16:9	50
SDTV(480i)	720 × 480	4:3 / 16:9	60
SDTV(576i)	720 × 576	4:3 / 16:9	50

コンポジット ビデオ / S-ビデオ

信号名	アスペクト比	垂直走査周波数 (Hz)
NTSC	4 : 3	60
PAL	4 : 3	50
PAL60	4 : 3	60
SECAM	4 : 3	50

*1: NP-PA600XJL/NP-PA500XJL はリアル表示

*2: NP-PA550WJL はリアル表示

*3: NP-PA500UJL はリアル表示

*4: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「16 : 9」に設定してください。

*5: オンスクリーンメニューのアスペクトを「自動」に設定しているときは正しく表示できないことがあります。本機の工場出荷時は「自動」に設定しています。該当する解像度の信号を投写するときは、アスペクトを「4 : 3」に設定してください。

・本機の解像度を超える信号はアドバンスド・アキュブレンドにより対応。

・アドバンスド・アキュブレンドの場合、文字や野線の太さなどが不均一になったり、色かにじんだりする場合があります。

・出荷時はその表示解像度 / 周波数の標準的な信号に合わせていますが、コンピュータの種類によっては調整が必要な場合があります。

仕様

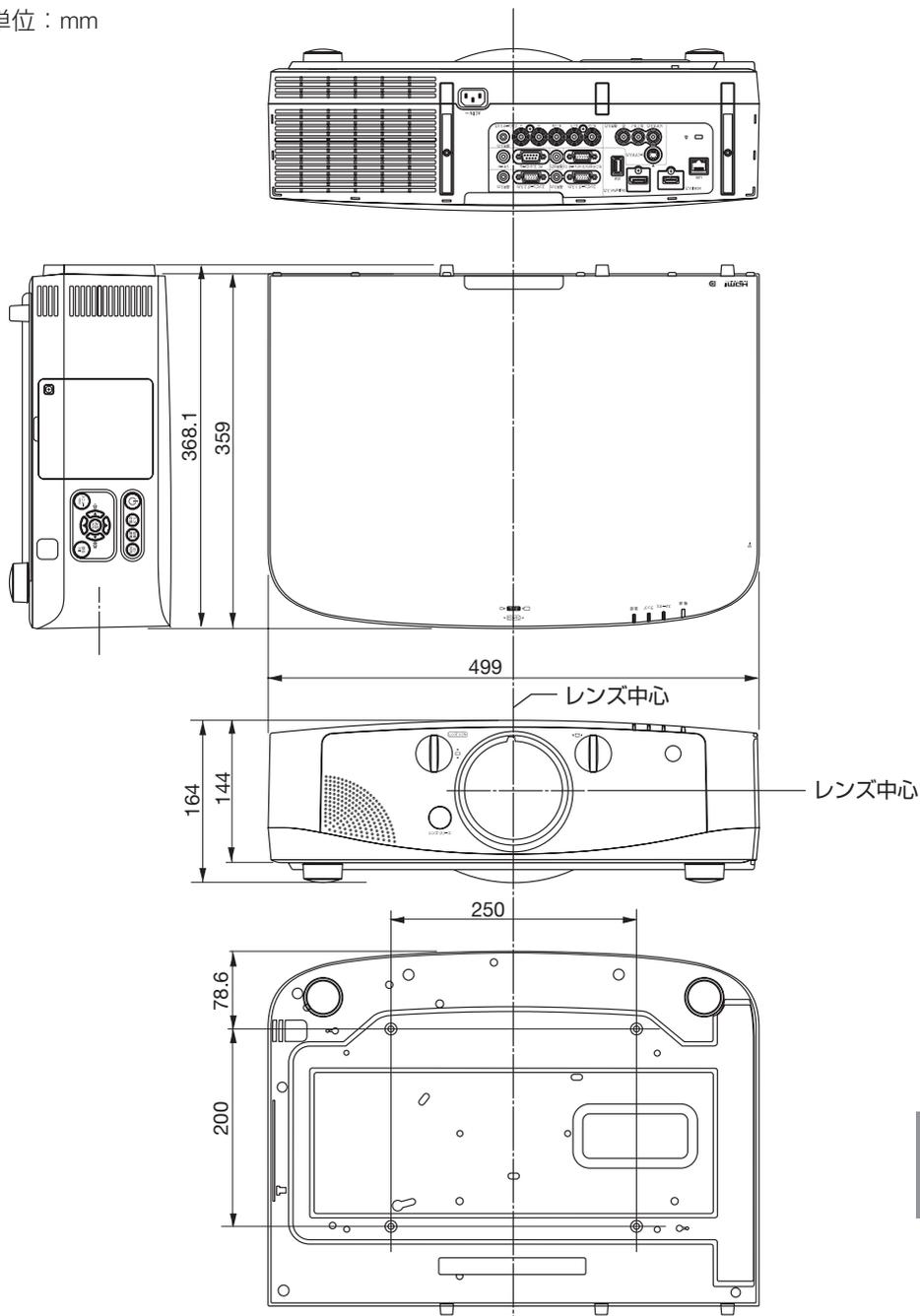
形名		NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/NP-PA550WJL/NP-PA500UJL		
方式		三原色液晶シヤッタ投影方式		
主要 部 品 仕 様	液晶パネル	サイズ	NP-PA600XJL/NP-PA500XJL:0.79 型 (MLA 付き) × 3 枚 (アスペクト比 4 : 3) NP-PA550WJL:0.75 型 (MLA 付き) × 3 枚 (アスペクト比 16:10) NP-PA500UJL:0.76 型 (MLA 付き) × 3 枚 (アスペクト比 16:10)	
		画素数 (*1)	NP-PA600XJL/NP-PA500XJL:786,432 画素 (1024 ドット×768 ライン) NP-PA550WJL:1,024,000 画素 (1280 ドット× 800 ライン) NP-PA500UJL:2,304,000 画素 (1920 ドット× 1200 ライン)	
	投写レンズ	ズーム	マニュアル (ズーム範囲はレンズユニットにより異なります)	
		フォーカス	マニュアル	
		レンズシフト	マニュアル	
	光源	330W AC ランプ (エコモード「オン」時 264W)		
	光学装置	ダイクロイックミラーによる光分離・クロスダイクロプリズムによる合成方式		
明るさ (*2) (*3)		NP-PA600XJL :6000lm、NP-PA500XJL:5000lm、 NP-PA550WJL:5500lm、NP-PA500UJL:5000lm		
コントラスト比 (*2) (全白 / 全黒)		2000:1		
画面サイズ (投写距離)		30 ~ 500 型 (投写距離はレンズユニットにより異なります)		
色再現性		10 ビット カラープロセッシング (約 10 億 7000 万色) (*4)		
音声出力		10W モノラルスピーカ内蔵		
走査周波数	水平	15 ~ 108kHz 未満 (RGB 入力は 24kHz 以上) VESA 準拠		
	垂直	48 ~ 120Hz (HDMI 入力は 50 ~ 85Hz) VESA 準拠		
主な調整機能		マニュアルズーム、マニュアルフォーカス、マニュアルレンズシフト、入力信号切替 (コンピュータ /HDMI/DisplayPort/ビデオ /S-ビデオ /ビューワ /ネットワーク)、画像自動調整、画面拡大、画面位置調整、ミュート (映像 / 音声とも)、電源オン / オフ、オンスクリーン表示 / 選択など		
最大表示解像度 (横×縦)		NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/NP-PA550WJL: 1920 × 1200 (アドバンスド・アキュブレンドによる対応) NP-PA500UJL:1920 × 1200		
入 力 信 号	R,G,B,H,V	RGB:0.7Vp-p / 75 Ω		
		Y:1.0Vp-p / 75 Ω (with Negative Polarity Sync)		
		Cb,Cr (Pb, Pr) : 0.7Vp-p / 75 Ω		
		H/V Sync:4.0Vp-p/TTL		
		Composite Sync : 4.0Vp-p / TTL		
	Sync on G : 1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync)			
	コンポジットビデオ	1.0Vp-p / 75 Ω		
	S-ビデオ	Y:1.0Vp-p / 75 Ω		
		C:0.286Vp-p / 75 Ω		

形名	NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/NP-PA550WJL/NP-PA500UJL		
入力信号	コンポーネント	Y:1.0Vp-p / 75 Ω (With Sync) Cb,Cr (Pb,Pr) :0.7Vp-p / 75 Ω DTV: 480i, 480p, 720p, 1080i, 1080p (60Hz) 576i, 576p, 720p, 1080i (50Hz) DVD: プログレッシブ信号 (50/60Hz)	
	音声	0.5Vrms / 22k Ω以上	
入出力端子	コンピュータ/ コンポーネント	映像入力	ミニ D-Sub 15 ピン× 2、BNC 端子× 5
		映像出力	ミニ D-Sub 15 ピン× 1
		音声入力	ステレオミニジャック× 3
		音声出力	ステレオミニジャック× 1 (全信号共通)
	HDMI	映像入力	HDMI® コネクタ タイプ A × 1 Deep Color (ディープカラー: 色深度) : 8/10/12 ビット対応 Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 LipSync 対応、HDCP 対応 (*5)
		音声入力	HDMI : サンプリング周波数 32/44.1/48KHz サンプリングビット 16/20/24bit
	DisplayPort	映像入力	DisplayPort × 1 データレート : 2.7Gbps/1.62Gbps レーン数 : 1 レーン/2 レーン/4 レーン 色深度 : 6 ビット、8 ビット、10 ビット Colorimetry : RGB、YCbCr444、YCbCr422 対応 HDCP 対応 (*5)
		音声入力	DisplayPort : サンプリング周波数 32/44.1/48KHz サンプリングビット 16/20/24bit
	ビデオ	映像入力	RCA × 1
		音声入力	RCA (RCA L/R) × 1
	S-ビデオ	映像入力	ミニ DIN4 ピン× 1
		音声入力	(ビデオの音声入力端子と共通)
	PC コントロール端子	D-Sub 9 ピン× 1	
	USB ポート	USB タイプ A × 1	
無線 LAN 用 USB ポート	USB タイプ A × 1		
LAN ポート	RJ-45 × 1、10BASE-T/100 BASE-TX		
リモート端子	ステレオミニジャック× 1		
使用環境	動作温度 : 5 ~ 40℃ (*6) 動作湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと) 保存温度 : - 10 ~ 50℃ 保存湿度 : 20 ~ 80% (ただし、結露しないこと)		
電源	AC 100V 50/60Hz (*7)		
消費電力	エコモードオフ時	464W / (NP-PA500UJL) 477W	
	エコモードオン時	372W / (NP-PA500UJL) 384W	
	スタンバイ時	ノーマル : 16W ネットワークスタンバイ : 6W 省電力 : 0.2W	
定格入力電流	5.1A		
外形寸法	499 (幅) × 144 (高) × 359 (奥行) mm (突起部含まず)		
質量	NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/NP-PA550WJL : 7.7kg (レンズユニット含まず) NP-PA500UJL : 7.8kg (レンズユニット含まず)		

- (* 1) : 有効画素数は 99.99%です。
 - (* 2) : 出荷時における本製品全体の平均的な値を示しており、JIS X6911:2003 データプロジェクターの仕様書様式にそって記載しています。測定方法、測定条件については、附属書 2 に基づいています。
 - (* 3) : 別売のレンズユニット NP13ZL を装着しエコモードが「オフ」、プリセットが高輝度モードのときの明るさです。エコモードを「オン」にすると、明るさが約 80%に低下します。また、プリセットで他のモードを選択すると明るさが多少低下します。
 - (* 4) : 入力端子で、ビューフ、ネットワークを選択しているときは、フルカラー（約 1677 万色以上）となります。
 - (* 5) : HDCP/HDCP 技術とは？
HDCP とは "High-bandwidth Digital Content Protection" の略称で、DisplayPort、HDMI を経由して送信されるデジタルコンテンツの不正コピー防止を目的とする著作権保護用システムのことをいいます。HDCP の規格は、Digital Content Protection, LLC という団体によって、策定・管理されています。
本機には、DisplayPort 入力端子、HDMI 入力端子を装備しています。
本機の DisplayPort 入力端子、HDMI 入力端子は、HDCP 技術を用いてコピープロテクトされているデジタルコンテンツを投写することができます。
ただし、HDCP の規格変更などが行われた場合、プロジェクターが故障していなくても、DisplayPort 入力端子、HDMI 入力端子の映像が表示されないことがあります。
映像：DeepColor (ディープカラー：色深度): 8/10/12 ビット、LipSync
音声：LPCM; チャンネル数; 2ch、サンプリング周波数: 32/44.1/48KHz、サンプリングビット: 16/20/24 ビット
 - (* 6) : 35 ~ 40℃は「強制エコモード」になります。
 - (* 7) : 高調波電流回路 JIS C 61000-3-2 適合品です。
- ・この仕様・意匠はお断りなく変更することがあります。

外觀図

単位：mm



ケーブルカバー（別売）の取り付けかた

別売のケーブルカバーを本体に取り付けると接続線がかくれてきれいな外観になります。



警告

- ケーブルカバーを取り付け後、必ずネジ止めしてください。ケーブルカバーが落下してけがをするおそれがあります。また、落下するとケーブルカバーが破損します。
- 電源コードを束ねてケーブルカバー内に収納しないでください。電源コードを束ねると火災の原因になります。
- ケーブルカバーに無理な力を加えないでください。ケーブルカバーが破損しけがをするおそれがあります。

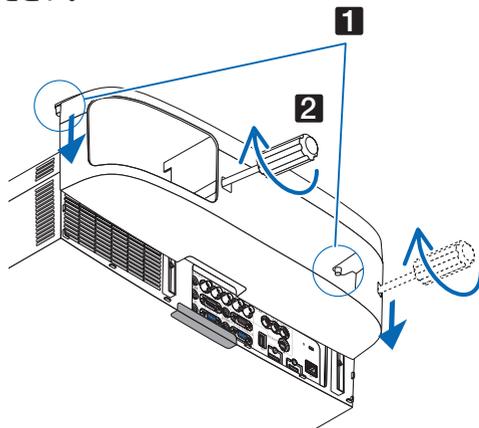
取り付けかた

- 準備： 1. 電源コードやケーブル類を本機と接続してください（図は接続線を省略しています）。
2. プラスドライバーを用意してください。

- 1** ケーブルカバーの左右端にある2箇所丸い突起を本体底面のミゾに入れる。



- 電源コードやケーブル類をケーブルカバーではさまないようにしてください。



- 2** ケーブルカバーネジを右に回してしめる。

- ・ネジは確実にしめてください。

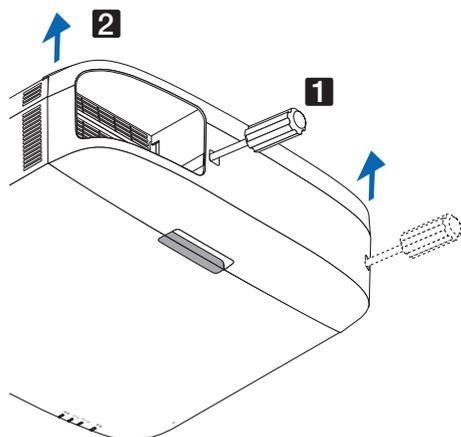
取り外しかた

- 1** ケーブルカバーネジを空転するまで左に回してゆるめます。

- ・ケーブルカバーが落下しないように手を添えて行います。
・ネジは外れません。

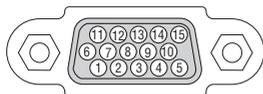
- 2** ケーブルカバーを外します。

- ・持ち上げると外れます。



コンピュータ1/2 映像入力端子のピン配列と信号名

各ピンの接続と信号レベル



信号レベル

ビデオ信号 : 0.7Vp-p (アナログ)

同期信号 : TTLレベル

ピン番号	RGB 信号 (アナログ)	YCbCr 信号
1	赤	Cr
2	緑またはシンクオングリーン	Y
3	青	Cb
4	接 地	
5	接 地	
6	赤 接 地	Cr 接 地
7	緑 接 地	Y 接 地
8	青 接 地	Cb 接 地
9	非接続	
10	同期信号 接 地	
11	非接続	
12	Bi-directional DATA (SDA)	
13	水平またはコンポジット同期	
14	垂直同期	
15	Data Clock	

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度接続や設定および操作に間違いがないかご確認ください。それでもなお異常なときは NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにお問い合わせください。

現象と確認事項

このようなとき	確認してください	参照ページ
電源が入らない	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	30
	ランプカバーが正しく取り付けられていますか。	197
	ランプハウス固定のネジがゆるんでいませんか。	197
	ランプ交換時間（目安）*を超えて使用していませんか。 新しいランプに交換してください。 交換後、本機をスタンバイ状態にして、リモコンの（ヘルプ）ボタンを 10 秒以上押し続けてください。本機内部で管理しているランプ時間の値がクリアされ電源が入るようになります。 ※保証時間ではありません。	146
	内部温度が高くなっていませんか。内部の温度が異常に高いと保護のため電源は入りません。しばらく待ってから電源を入れてください。	259
	標高約 1600m 以上の高地で本機を使用していませんか。 高地で使用する場合はオンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択してください。 高地で本機を使用する場合にファンモードで「高地」を選択していないと、温度プロテクタが働き、自動的に電源が切れることがあります。さらに、ランプ消灯後ランプの温度が上昇するため、温度プロテクタが働いて、電源が入らないことがあります。その場合は、しばらく待ってから電源を入れてください。	139
	上記の電源コードの接続、ランプ交換時間、本機の内部温度上昇などが原因として考えられない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	46
使用中に電源が切れる	オンスクリーンメニューのオフタイマー、オートパワーオフ、またはプログラムタイマーを「オン（時間を選択）」にしていますか。	130, 143, 168
映像が出ない	接続している入力を選んでいますか。本体の入力切替ボタンまたはリモコンの入力を選択するボタンを再度押してください。	33
	入力端子のケーブルが正しく接続されていますか。	175 ~ 183
	調整のコントラスト、明るさが最小になっていませんか。	122

映像が出ない	コンピュータ信号 (RGB) の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていますか。 コンピュータの解像度を確認してください。	244
	コンピュータ信号 (RGB) の場合、画面調整を正しく行っていますか。	44
	コンピュータの画面がうまく投写できない場合は、 256 ページ をご覧ください。	—
	HDMI 入力端子および DisplayPort 入力端子の映像がうまく投写できない場合は次の点をご確認ください。 お使いのコンピュータに内蔵されているグラフィックボードのドライバーを再インストールください。または最新のバージョンアップを適用してください。 再インストール、最新のバージョンアップに関しては、コンピュータ、グラフィックボードの取扱説明書を参照いただくか、コンピュータのサポート窓口にお問い合わせください。 なお、最新ドライバや最新 OS のインストールは、お客様の責任において行っていただきますようお願いいたします。これらインストールに起因するトラブル、不具合については一切の責任を負わないものとします。	—
	各設定が正しく調整・設定されていますか。	111
	それでも解決しない場合は、リセットを行ってください。	147
	セキュリティが有効になっている場合は、本機の電源を入れたときに、あらかじめ登録しておいたセキュリティキーワードを入力しないと映像は投写されません。	61
	ランプの消灯直後に電源を入れたときは、冷却のためにファンのみが回転し、映像が出るまでに時間がかかります。しばらくお待ちください。	—
	標高約 1600m 未満であっても高地で使用している場合、温度プロテクタが働いて、自動的に消灯することがあります。そのときはファンモードを「高地」に設定してください。	139
映像が歪む	正しく設置されていますか。	36
	台形状に歪む場合は台形補正を行ってください。	42
映像がぼやける	レンズのフォーカスは合っていますか。	38
	投写画面と本機が正しい角度で設置されていますか。	36
	投写距離がフォーカスの範囲を超えていませんか。	238
	レンズシフトの移動量が保証範囲を超えていませんか。	242
	レンズなどが結露していませんか。 気温が低い所に保管しておいて温かい所で電源を入れるとレンズや内部の光学部が結露することがあります。このような場合は結露がなくなるまで数分お待ちください。	—
映像の画質が悪い	コンピュータ信号 (RGB) の場合、 (自動調整) ボタンを押してください。	44

画面がちらつく	オンスクリーンメニューのファンモードで「高地」を選択した状態のまま本機を低地（標高約 1600m 未満）で使用すると、ランプが冷えずぎて画面がちらつくことがあります。 ファンモードで「高地」以外を選択してください。	139
映像が乱れる	本機に接続している信号ケーブルが断線していませんか。	—
映像が突然暗くなった	室温が高いため、強制エコモードになっていませんか。 ファンモードを「高速」に設定するなどして、本機内部の温度が下がるようにしてください。	51
水平または垂直方向に映像がずれて正常に表示されない	コンピュータ信号（RGB）の場合、水平、垂直を正しく調整しましたか。	123
	コンピュータ信号（RGB）の場合、入力信号が対応している解像度、周波数になっていませんか。 コンピュータの解像度を確認してください。	244
コンピュータ信号（RGB）で文字がちらついたり色がずれている	（自動調整） ボタンを押してください。改善されない場合は、オンスクリーンメニューのクロック周波数と位相を調整してください。	44 122,123
リモコンで操作できない	リモコンのリモコン送信部を本体のリモコン受光部に向けていますか。	26
	リモコンの電池が消耗していませんか。新しい電池と交換してください。	25
	リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はありませんか。	26
	リモコンの有効範囲（7m）を超えていませんか。	26
	コントロール ID 機能を設定している場合、リモコンの ID 番号とプロジェクターの ID 番号は一致していますか。 コントロール ID を「オン」にすると、本機のリモコンから本機を操作できなくなります。	137
	本機のリモコンを使って、コンピュータのマウス操作を行う場合は、添付のマウスレシーバをコンピュータに接続してください。	52
インジケータが点滅する	インジケータ表示一覧をご覧ください。	258,259
本機の動作が不安定になる	電源プラグをコンセントから抜いてください。そして約 5 分間待って再び電源プラグをコンセントに接続してください。	46

コンピュータの画面がうまく投写できない場合

コンピュータを接続して投写する際、うまく投写できない場合は、次のことをご確認ください。

●コンピュータの起動のタイミング

コンピュータと本機をコンピュータケーブルで接続し、本機とコンセントを電源コードで接続して本機をスタンバイ状態にしてから、コンピュータを起動してください。特にノートブックコンピュータの場合、接続してからコンピュータを起動しないと外部出力信号が出力されないことがあります。

参考

- 本機のオンスクリーンメニューを表示して、情報→信号の水平同期周波数を確認してください。
水平同期周波数が表示されていないときは、コンピュータから外部出力信号が出力されていません。(145 ページ)

●コンピュータの起動後に操作が必要な場合

ノートブックコンピュータの場合、起動したあとに外部出力信号を出力させるため、さらに操作が必要な場合があります（ノートブックコンピュータ自身の液晶画面に表示されていても、外部出力信号が出力されているとは限りません）。

参考

- Windows のノートブックコンピュータの場合は、ファンクションキーを使って「外部」に切り替えます。
[Fn]キーを押したまま (↵) などの絵表示や (LCD/VGA) の表示があるファンクションキーを押すと切り替わります。しばらく（プロジェクターが認識する時間）すると投写されます。
通常、キーを押すごとに「外部出力」→「コンピュータ画面と外部の同時出力」→「コンピュータ画面」…と繰り返します。
- Windows 7 の場合は、Windows キーを押したまま [P] キーを押すと、外部出力（モニタ出力）にすることができます。

【コンピュータメーカーとキー操作の例】

[Fn] + [F2]	MSI
[Fn] + [F3]	NEC, Panasonic, SOTEC, MITSUBISHI, Everex
[Fn] + [F4]	HP, Gateway
[Fn] + [F5]	ACER, TOSHIBA, SHARP, SOTEC
[Fn] + [F7]	SONY, IBM, Lenovo, HITACHI
[Fn] + [F8]	DELL, ASUS, EPSON, HITACHI
[Fn] + [F10]	FUJITSU

※詳しい操作は、お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
表に記載されていないメーカーのノートブックコンピュータをお使いの場合は、ノートブックコンピュータのヘルプ、または取扱説明書をご覧ください。

- Macintosh PowerBook は、ビデオミラーリングの設定を行います。

● ノートブックコンピュータの同時表示時の外部出力信号が正確ではない場合

ノートブックコンピュータの場合、自身の液晶画面は正常に表示されていても投写された画面が正常ではない場合があります。

多くの場合、ノートブックコンピュータの制限（コンピュータ自身の液晶画面と外部出力を同時に出力する場合は、標準規格に合った信号を出力できない）によることが考えられます。このときの外部出力信号が、本機で対応可能な信号の範囲から大きく外れている場合、調整を行っても正常に表示されないことがあります。

上記の場合は、ノートブックコンピュータの同時表示をやめ、外部出力のみのモードにする（液晶画面を閉じると、このモードになる場合が多い）操作を行うと、外部出力信号が標準規格に合った信号になることがあります。

● Macintosh を起動させたとき、画面が乱れたり何も表示しない場合

Macintosh 用信号アダプタ（市販）を使って接続したとき、ディップスイッチの設定を、Macintosh および本機の対応外の表示モードにした場合、表示が乱れたり、何も表示できなくなることがあります。万一表示できない場合は、ディップスイッチを 13 インチ固定モードに設定し、Macintosh を再起動してください。そのあと表示可能なモードに変更して、もう一度再起動してください。

● PowerBook と本機を同時に表示させる場合

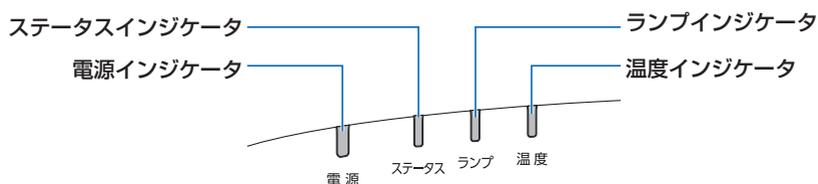
PowerBook ディスプレイのビデオミラーリングを「切」にしないと外部出力を 1024 × 768 ドットに設定できないことがあります。

● Macintosh の投写画面からフォルダなどが切れている場合

Macintosh に接続していたディスプレイを本機より高い解像度で使用していた場合、本機で投写した画面では、画面の隅にあったアイコンなどが画面からはみ出したり消えたりすることがあります。このような場合は、Macintosh の Finder 画面で option キーを押した状態で「表示」→「整頓する」を選択してください。はみ出したり消えたりしたアイコンが画面内に移動します。

インジケータ表示一覧

本体操作部の4つのインジケータが点灯、点滅しているときは、以下の説明を確認してください。



●電源インジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	主電源が切れている	—	
点滅	青色 (短い点滅)	電源オン準備中	
	青色 (長い点滅)	オフタイマー (有効状態) プログラムタイマー (オフ時刻有効状態)	しばらくお待ちください。
	オレンジ色 (短い点滅)	本体冷却中	しばらくお待ちください。
	オレンジ色 (長い点滅)	プログラムタイマー (オン時刻有効状態)	—
点灯	青色	電源オン状態	—
	オレンジ色	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「ノーマル」または「ネットワークスタンバイ」)	—
	赤色	スタンバイ状態 (スタンバイモードが「省電力」)	—

●ステータスインジケータ

インジケータ表示	本機の状態	行ってください	
消灯	異常なし、またはスタンバイ状態 (スタンバイモードが「省電力」または「ネットワークスタンバイ」)	—	
点滅	赤色 (1回周期)	カバー異常	ランプカバーが正しく取り付けられていません。正しく取り付けてください。(P.197ページ)
	赤色 (4回周期)	ファン異常	冷却ファンの回転が停止しています。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
	赤色 (9回周期)	アイリスエラー	アイリスが正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
点滅	オレンジ色	ネットワークの競合	本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時に同じネットワークに接続することはできません。本機の内蔵 LAN と無線 LAN を同時にネットワークに接続する場合は、異なるネットワークに接続してください。

点灯	緑色	スタンバイ状態（スタンバイモードが「ノーマル」）	—
点灯	オレンジ色	本体キーロック中にボタンを押したとき プロジェクターのID番号とリモコンのID番号が一致しないとき	本体キーロック中です。操作する場合は、設定を解除する必要があります。（🔗 136 ページ） コントロールIDを確認してください。（🔗 137, 138 ページ）

●ランプインジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		ランプ消灯	—
点滅	緑色	ランプ点灯失敗後の再点灯準備中	しばらくお待ちください。
	赤色	ランプ交換猶予時間中	ランプ残量が0%になり、ランプ交換の猶予時間（100時間）中です。すみやかにランプを交換してください。（🔗 194 ページ）
	赤色（6回周期）	ランプ不点灯	ランプが点灯しません。1分以上待って再度電源を入れてください。それでも点灯しない場合はNEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご相談ください。
点灯	赤色	ランプ使用時間超過	ランプ使用時間を超過しています。ランプを交換するまで本機の電源は入りません。（🔗 194 ページ）
	緑色	ランプ点灯中	—

●温度インジケータ

インジケータ表示		本機の状態	行ってください
消灯		異常なし	—
点滅	赤色（2回周期）	温度異常	温度プロテクタが動作しています。室温が高い場合は、本機を涼しい場所へ移動してください。（🔗 このページ） 涼しい場所へ移動しても点滅する場合は、周囲温度測定機能が正常に動作していません。NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターへ修理を依頼してください。
点灯	オレンジ色	周囲高温	周囲の温度が高くなっています。室温を下げてください。

●温度プロテクタが働いたときは

本機内部の温度が異常に高くなると、ランプが消灯し、温度インジケータが点滅します（2回点滅の繰り返し）。

同時に本機の温度プロテクタ機能が働いて、本機の電源が切れることがあります。このようなときは、以下のことを行ってください。

- ・電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・周囲の温度が高い場所に置いて使用しているときは、涼しい場所に設置しなおしてください。
- ・通風孔にほこりがたまっていたら、清掃してください。（🔗 189, 193 ページ）
- ・本機内部の温度が下がるまで、約1時間そのままにしてください。

トラブルチェックシート

本シートはトラブルに関するお問い合わせの際、迅速に故障箇所を判断させていただくためにご記入をお願いするものです。本書の「故障かな?と思ったら」をご覧ください。それでもトラブルが回避できない場合、本シートをご活用いただき、具体的な症状を NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターの受付担当者へお伝えください。 ※このページと次のページをコピーしてお使いください。

発生頻度 常時 時々 (回中 回) その他()

電源関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 電源が入らない (電源インジケータが青色に点灯しない)。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。<input type="checkbox"/> ランプを交換した場合、ランプ時間をクリアした。<input type="checkbox"/> Ⓧ ボタンを押しても電源が入らない。 | <input type="checkbox"/> 使用中、電源が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 電源プラグはコンセントにしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> ランプカバーは正しく取り付けられている。<input type="checkbox"/> オートパワーオフは「オフ」に設定されている。<input type="checkbox"/> オフタイマーは「オフ」に設定されている。 |
|--|--|

映像・音声関係

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> コンピュータの画面が投写されない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> コンピュータと本機を接続したあとにコンピュータを起動してもなおらない。<input type="checkbox"/> ノートブックコンピュータにおいて外部出力信号が出力されている。
Windowsの場合は、[Fn]キー+[F1]～[F12]キーのいずれかを押すと外部出力信号が出力されます(コンピュータによって異なります)。 | <input type="checkbox"/> 映像が歪む。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 台形に歪む (台形補正を実行してもなおらない)。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が出ない (ブルーバック・ロゴ・表示なし)。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> 入力端子にケーブルが、しっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 画面に何かメッセージが出ている。
()<input type="checkbox"/> 接続している入力を選択している。<input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。<input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。 | <input type="checkbox"/> 映像が切れる。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> 水平または垂直方向に映像がずれる。<input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力の場合、水平位置・垂直位置は正しく調整されている。<input type="checkbox"/> 入力是对応している解像度・周波数の信号である。<input type="checkbox"/> 数ドット欠けている。 |
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がちらつく。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> (自動調整) ボタンを押してもなおらない。<input type="checkbox"/> リセットを実行してもなおらない。<input type="checkbox"/> コンピュータ映像入力で文字がちらついたり、色がずれている。<input type="checkbox"/> ファンモードを「高地」から「自動」にしてもなおらない。 |

- | | |
|---|---|
| <input type="checkbox"/> 映像が暗い。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 明るさ・コントラストを調整してもなおらない。 | <input type="checkbox"/> 映像がぼやける・フォーカスが合わない。 |
| | <input type="checkbox"/> 音が出ない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 音声入力端子にケーブルがしっかり挿入されている。<input type="checkbox"/> 音量を調整してもなおらない。 |

その他

- | | |
|---|--|
| <input type="checkbox"/> リモコンが利かない。 <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> リモコンと本体のリモコン受光部との間に障害物はない。<input type="checkbox"/> 蛍光灯の近くに本体が設置されている。<input type="checkbox"/> プロジェクター本体のIDとリモコンのIDは一致している。 | <input type="checkbox"/> 本体操作パネルのボタンが利かない。
本体キーロック設定のある機種において <ul style="list-style-type: none"><input type="checkbox"/> 本体キーロック設定は「オフ」または「無効」に設定されている。<input type="checkbox"/> 本体の(戻る)ボタンを10秒以上押してもなおらない。 |
|---|--|

症状を具体的に記入してください。

使用状況・環境

プロジェクター

形名: NP-PA600XJL NP-PA500XJL
 NP-PA550WJL NP-PA500UJL

製造番号:
購入時期:
ランプ使用時間:
エコモード: オフ オン

入力信号情報:
水平同期周波数 [kHz]
垂直同期周波数 [Hz]
同期極性 H (+) (-)
V (+) (-)
同期形態 セパレート ミックス
 Gシンク

ステータスインジケータの状態
点灯 (オレンジ・緑)
点滅 (回/周期)

設置環境

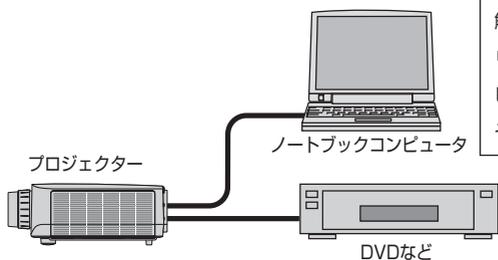
スクリーンサイズ: 型
タイプ: ホワイトマット ビーズ 偏光
 広視野角 ハイコントラスト

投写距離: m
投写方法: 天吊り 床置き

電源コンセントは?
 壁からのコンセントを直接利用している。
 電源用テーブルタップを利用している。
(他、接続機器の数: 台)
 電源ドラム (ロール式) を利用している。
(他、接続機器の数: 台)

コンピュータ

メーカー:
形名:
ノートブックコンピュータ・デスクトップ一体型
解像度:
リフレッシュレート:
ビデオボード:
その他:



信号ケーブル

純正・その他
(形名: 長さ: m)

分配器
形名:

スイッチャ
形名:

アダプタ
形名:

接続機器

ビデオ・DVD・カメラ・ゲーム・その他

メーカー:
形名:

海外へのご出張時等でご使用になる場合（トラベルケア）

この商品には、NEC ディスプレイソリューションズの国際保証「トラベルケア」が適用されています。

詳細は当社のホームページをご覧ください。

http://www.nec-display.com/dl/jp/pj_support/travel_care.html

索引

数字／アルファベット

4点補正	54,	129
AC IN 端子	19,	30
AMX BEACON		70
AV ミュート	25,	48
Desktop Control Utility 1.0	27,	223
DHCP	66,	153
DICOM SIM.		119
DisplayPort	21,	141, 176
DNS	66,	154
GCT (Geometric Correction Tool)		210
HDCP	182,	248
HDMI	21,	141, 176, 182
HTTP		63, 166
ID 表示		131
Image Express Utility 2 for Mac	27,	234
Image Express Utility 2.0	27,	213
Image Express Utility Lite	27,	207
IP アドレス	63,	66, 154
LAN	21,	71, 75
MAC アドレス		145
NEC Projector CD-ROM	17,	27
PC Control Utility Pro 4	27,	230
PIP/PICTURE BY PICTURE	57,	129
PJLink		166
sRGB		119
SSID	67,	156
USB (LAN) ポート	19,	187
USB メモリ	82,	84, 86
Viewer PPT Converter 3.0	27,	232
Virtual Remote Tool	27,	204
WEP	67,	156
WPA	67,	156
WPS	67,	163

五十音

【ア行】		
明るさ		122
アスペクト		124
アドバンスメニュー	111,	149, 167
アラートメール		165
位相		123
色温度		121
色補正		121

インジケータ表示		258
映像		119
エコメッセージ		131
エコモード	50,	106, 130
オートパワーオフ		143
オートパワーオン (COMP1/3)		143
オーバースキャン		124
オプション (1)		139
オプション (2)		142
オフタイマー	106,	130
オンスクリーンメニュー	106,	111
温度インジケータ	20,	259
温度プロテクタ		259
音声選択		141
音量		45

【カ行】

カーボンメータ		51
解像度	126,	244
画像設定		122
壁色補正		129
カラー		122
カラー方式		141
ガンマ補正		120
管理者モード		167
キーワード	60,	137
幾何学補正		210
基準ホワイトバランス		135
共有フォルダ		99
吸気口	19,	189
強制エコモード	51,	106
クローズドキャプション		130
クロック周波数		122
ゲートウェイ	66,	145, 154
ケーブルカバー		251
言語	31,	130
コントラスト		122
コントロール ID		137
コントロールウィンドウ		209
コンバージェンス		136
コンピュータケーブル	16,	30, 175, 183

【サ行】

サブネットマスク	66,	145, 154
サムネイル画面	91,	93

参照	120
色相	122
自動調整	44, 139
シームレススイッチング	141
シャープネス	122
情報	145
初期入力選択	34, 144
信号形式	127
信号選択	33
信号選択 (COMP3)	141
水平／垂直	123
ズームレバー／ズームリング	18, 40
スクリーンサイズ (映像)	120
スクリーンサイズ (投写距離)	238, 241
スクリーンサイズ (ビューワ)	96, 97
スタンバイモード	142
ステータスインジケータ	20, 258
ストラップ	16, 17
スピーカ	18, 45
スライド画面	91, 94
静止	48
静止画コントロールバー (ビューワ)	94
セキュリティ	60, 67, 137, 155
セキュリティバー	18
接続端子部	19, 21
設置 (1)	133
設置 (2)	136
セットアップ	129

【タ行】

台形歪み	42, 54, 129
台形補正	42, 129
ダイナミックコントラスト	121
ダイレクトパワーオフ	10, 32
ダイレクトパワーオン	143
調整	119
チルトフット	18, 40
ツール	167
ツールバー (Virtual Remote Tool)	204
通信速度	137
デインターレース	127
テストパターン	115
電源	31, 46
電源インジケータ	20, 258
電源コード	4, 16, 30, 47
投写距離	238
投写方法	133
盗難防止用ロック	19
動画コントロールバー (ビューワ)	95

ドメイン	68, 164, 165
ドライバー一覧画面	91

【ナ行】

入力信号	33, 209
入力端子	21, 65, 115
入力端子表示	131
ネットワークサービス	166
ネットワーク情報	163
ネットワーク設定	66, 151
ネットワークプロジェクター	71, 150

【ハ行】

バックグラウンド	132
ビーブ音	141
日付と時刻	171
ビューワ	82
ビューワオプションの設定	96
表示位置	58, 134
表示時間	132
表示色選択	131
ビデオレベル	128
ファンモード	106, 139
フィルタカバー	189, 198
フィルタ時間クリア	148, 191, 200
フィルタ使用時間	145
フィルタの交換	198
フィルタメッセージ	132
フィルタユニット	190, 198
フォーカスリング	18, 38
部分拡大	49
ブランキング	123
プリセット	119
プログラムタイマー	168
プロジェクター名	68, 164
ベーシック	129
ベーシックメニュー	111, 149, 167
防塵キャップ	16
ホワイトバランス	121
本体キーロック	136
本体操作部	18, 20

【マ行】

マウス	52, 75, 171, 226
無線 LAN	63, 70, 145, 153, 185
無線 LAN ユニット	67, 106, 155, 185
メール通知	69, 165

メディアサーバ	92,	102
メニュー設定		131
メニューモード		167
文字入力画面		110

【ヤ行】

有線 LAN	63,	66,	70,	145
	153,	184		

【ラ行】

ランプインジケータ	20,	259	
ランプカバー	18,	195	
ランプ残量	145,	146	
ランプ時間クリア	148,	200	
ランプ使用時間	145,	146	
ランプの交換		195	
ランプハウス	194,	196	
リセット		147	
リセット (映像)		122	
リモートデスクトップ		75	
リモコン	16,	23	
リモコン受光部	18,	26	
レンズ	18,	192	
レンズキャップ	18,	31,	47
レンズシフト	37,	242	
レンズシフトダイヤル	18,	37	
レンズユニット	9,	172,	192
ロゴ	132,	204	

別売品／商標について

●別売品

商 品 名		形 名
レンズユニット	固定焦点レンズ	NP11FL
	ズームレンズ	NP12ZL
	ズームレンズ	NP13ZL
	ズームレンズ	NP14ZL
	ズームレンズ	NP15ZL
ランプ	交換用ランプ	NP21LP
天吊り金具	天井用取付けユニット	NP14CM
ケーブルカバー		NP02CV
無線 LAN ユニット		NP02LM2

この他の別売品については、当社プロジェクター総合カタログをご覧ください。

●商標について

- ・ ViewLight、ビューライト、AccuBlend は、NEC ディスプレイソリューションズ株式会社の登録商標です。
- ・ Macintosh、PowerBook、Mac OS X は、米国 Apple Inc. の登録商標です。
- ・ Microsoft、Windows、Windows Vista、PowerPoint、Internet Explorer、.NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Adobe、Adobe PDF、Adobe Reader、および Acrobat は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Virtual Remote Tool は Nicom soft Ltd. の Win I2C/DDC ライブラリを利用しています。
- ・ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing,LLC の登録商標または商標です。



- ・ DisplayPort、DisplayPort Compliance Logo は Video Electronics Standards Association の商標です。



- ・ PJLink 商標は、日本・米国その他の国や地域における登録商標または出願商標です。
- ・ Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access (WPA, WPA2)® は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- ・ ブルーレイは、Blu-ray Disc Association の商標です。
- ・ CRESTRON および ROOMVIEW は、Crestron Electronics, Inc. の米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ その他取扱説明書に記載のメーカー名および商品名は、各社の登録商標または商標です。

保証と修理サービス（必ずお読みください）

保証書

この商品には、保証書を別途添付しております。

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保存してください。

●保証期間

- ・本体：お買い上げ日から1年間です。（ただし添付品は除く）
- ・本体に付属のランプ：次の（1）と（2）の早いほうまでです。
 - （1）お買い上げから6か月間。
 - （2）ランプ残量（[🔵145ページ](#)）が50%になるまで。

補修用性能部品の保有期間

当社は、このプロジェクターの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご質問は

製品の故障、修理に関するご質問は NEC プロジェクター・カスタマサポートセンター（電話番号：0120-610-161）にお願いいたします。

修理を依頼されるときは

「故障かな？と思ったら」（[🔵253ページ](#)）に従って調べていただき、あわせて「トラブルチェックシート」（[🔵260, 261ページ](#)）で現象を確認してください。その上でなお異常があるときは、電源を切り、必ず電源プラグを抜いてから、NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターにご連絡ください。

●保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。保証書の規定に従って NEC プロジェクター・カスタマサポートセンターが修理させていただきます。

●保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合には、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡していただきたい内容

品名	NEC データプロジェクター
形名	NP-PA600XJL/NP-PA500XJL/ NP-PA550WJL/NP-PA500UJL
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に
ご住所	付近の目印なども合わせてお知らせください。
お名前	
電話番号	
訪問ご希望日	

べんり メモ	お買い上げ 店名	☎ () -
-----------	-------------	---------

修理料金の仕組み

- ・ 技術料
故障した製品を正常に修復するための料金です。
技術者の人件費、技術教育費、測定機器等設備費、一般管理費等が含まれています。
+
- ・ 部品代
修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材などを含む場合もあります。
+
- ・ 引取費用
製品を引き取りするための費用です。

プロジェクターに関するお問い合わせから修理のご依頼まで プロジェクターの
トータルサポート窓口

NECプロジェクター・カスタマサポートセンター

- NEC製プロジェクターに関するお問い合わせや修理のご依頼を専任スタッフが受け
いたします。

TEL **0120-610-161** FAX 0120-134-516

受付時間 9:00～18:00 (土・日・祝日、その他特定日を除く)
通話料無料：携帯電話／PHS からでもご利用いただけます。

ホームページ <http://www.nec-display.com/jp/support/projector/>

法人様向けユーザーサポートクラブ

ViewLight CLUB ビューライトクラブ

入会金・年会費 無料



- より「安心」で「快適」に ViewLight をお使いいただくために様々なサポートを行う
ユーザーサポートクラブです。

入会方法 本機に添付しているチラシをご参照ください。

ホームページ <http://www.nec-display.com/jp/support/projector/vlclub/>

輸出に関する注意事項

本製品の輸出(個人による携行を含む)については、日本国および外国の法に基づいて許
可が必要となる場合があります。

必要な許可を取得せず輸出すると同法により罰せられます。

輸出に際しての許可の要否については、NECプロジェクター・カスタマサポートセン
ターにお問い合わせください。

NECディスプレイソリューションズ株式会社